

平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(平成26年度調査)

(5) 介護サービス事業所における医療職の勤務実態および
医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業
報 告 書

目 次

I 背景と目的	1
II 研究事業の実施体制.....	2
1. 検討委員会の設置・運営.....	2
2. 検討委員会における検討内容.....	2
III 調査研究の流れ	3
IV 調査方法	4
1. 調査の概要	4
2. 調査対象施設.....	4
3. 調査実施期間.....	4
4. 調査の方法	4
5. 調査項目	5
V 調査結果	7
1. 回収状況	7
2. 施設の基本属性.....	8
(1) 開設主体.....	8
(2) 定員数	8
(3) 職員体制.....	12
3. 医師・歯科医師の勤務状況.....	14
(1) 医師・歯科医師の勤務状況（特別養護老人ホーム）	14
1) 医師の勤務状況.....	14
2) 歯科医師の勤務状況.....	19
(2) オンコール・当直時の対応状況（医師）	23
1) 回答者属性.....	23
2) オンコール・当直時の対応状況.....	28
4. 看護職員の勤務状況.....	33
(1) 看護職員の勤務状況.....	33
(2) 夜勤時の業務内容.....	40
(3) オンコール・緊急時の対応状況.....	41
(4) 普段に担っている業務・役割.....	46
5. 看取りの実施状況.....	47
(1) 看取りに対する方針.....	47

(2) 看取りに対する希望.....	52
(3) 看取りに関与している職種.....	54
(4) 看取り介護を行う上での課題.....	57
(5) 看取り介護の実施状況（2014 年 4 月～6 月）	60
(6) 看取りに対する今後の意向.....	64
(7) 看取り事例調査結果.....	67
6. 利用者の状況.....	78
(1) 利用者の基本情報.....	78
(2) 利用者の状態・受療状況.....	84
(3) 利用者に必要な医療・介護.....	87
(4) 利用者本人および家族の希望.....	93
7. 療養病床転換意向について.....	101
8. まとめ	104
(1) 結果のまとめ.....	104
① 医療職の勤務状況.....	104
② 施設における看取りの実施状況.....	104
③ 利用者の状況.....	105
④ 介護療養病床の病床転換意向.....	106
(2) 考察	107
参考資料 1 集計表	109
I 施設票	111
II 従事者票（医師票・看護職員票）	136
III 利用者票	164
IV 看取り事例調査（タイムスタディ）	182
参考資料 2 調査票	189

介護サービス事業所における医療職の勤務実態および
医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業に係る
調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

(株)三菱総合研究所は介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業に係る調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、今村知明（奈良県立医科大学 教授）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長がその必要性を認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、(株)三菱総合研究所が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

調査検討組織 委員等

委員長	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
委員	池端 幸彦（一般社団法人日本慢性期医療協会 副会長）
委員	折茂 賢一郎（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）
委員	鴻江 圭子（公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長）
委員	沼田 美幸（公益社団法人日本看護協会 医療政策部長）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 森岡久尚
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 主査 米倉なほ
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 主査 西村緑

介護サービス事業所における医療職の勤務実態
および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業 調査概要

1. 調査の目的

本調査では、(1) 介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査研究事業および(2) 医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査を一体的に実施する。前者は介護サービス事業所における医療職種（医師、看護職員）の配置について、配置数・雇用形態及び業務内容、入所者の特性等の実態を把握し、これらの事業所の特性に応じた医療職種の配置のあり方について検討を行うとともに、次期報酬改定における検討のためのデータを収集することを目的とする。後者は介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議に基づく調査であり、介護保険施設等における日常的な医療的ケアの実施状況および看取りの実施状況に関する実態を把握し、それぞれが果たす社会的な役割およびその役割を果たす上で困難な点を明らかにするとともに、介護療養型医療施設に対しては、転換意向の状況も合わせて把握する。

2. 調査客体（客体数）

- ・ 介護療養型医療施設（悉皆、客体数約 1800 程度）
- ・ 介護老人保健施設（抽出、客体数 1800 程度）
- ・ 介護老人福祉施設（客体数 1800 程度）
- ・ 医療療養病床（抽出、客体数 1000 程度 ※横断調査のみ）

3. 主な調査項目

各施設類型において、以下の項目を調査する。

- ・ 夜間における医師・看護職員の配置、勤務状況および提供可能な医療
- ・ 施設における看取りの実施状況、実施上の課題等
- ・ 利用者特性、受療状況、日常的な医療的ケアの実施状況等
- ・ 介護療養型医療施設の転換意向に関する調査（介護療養型医療施設のみ）

4. 調査内容（調査票種類、調査内容等）

本調査は施設票および利用者票で構成される。施設票では事業所特性、医師・看護職員の勤務状況、看取りの実施状況、転換意向等について把握し、利用者票では利用者の特性等について把握する。

5. 調査方法（郵送調査等）

自記式調査票の郵送配布・回収を行う。

I 背景と目的

本業務は、平成 27 年度の介護報酬改定に向けて、社会保障審議会介護給付費分科会等において、介護サービス事業所における医療職のあり方について検討するための基礎資料を得ることを目的として実施した。介護サービス事業所における医療職種の配置数、雇用形態および業務内容、入所者の状態等の実態を把握するとともに、施設における看取りの状況についても把握することとした。

また、各施設類型別の利用者像について、利用者特性や日常的な医療的ケアの実施状況を把握し、それぞれが果たす社会的な役割およびその役割を果たす上で困難な点を明らかにするとともに、平成 23 年度の介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議を踏まえ、介護療養病床を有する介護療養型医療施設（以下、「介護療養病床」と略す）については病床転換の意向についても合わせて把握し、現時点での転換予定時期や、転換に当たっての課題等について把握することを目的とした。

上記目的のため、本業務においては、以下の 2 つの調査を実施した。なお、両調査は客体が同じであることから、一体的に調査を実施することとした。

- 1) 介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査（以下、「医療職のあり方に関する調査」と略す）
- 2) 特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床を有する医療機関（以下、「医療療養病床」と略す）における医療的ケアの実施状況および看取りの実施状況に関する横断調査、病床転換意向調査（以下、「横断調査」と略す）

II 研究事業の実施体制

1. 検討委員会の設置・運営

本研究の実施に際し、調査研究の企画、調査方法・様式の検討、調査結果の分析・まとめを行う場として、以下のとおり介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する調査研究事業に係る調査検討組織（以下、「検討委員会」という。）を設置した。

図表 1 介護サービス事業所における医療職の勤務実態および
医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業
検討委員会 委員

委員長	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
委員	池端 幸彦（一般社団法人日本慢性期医療協会 副会長）
	折茂 賢一郎（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）
	鴻江 圭子（公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長）
	沼田 美幸（公益社団法人日本看護協会 医療政策部長）

（敬称略、50音順）

<オブザーバー>

厚生労働省 老健局

<事務局>

株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

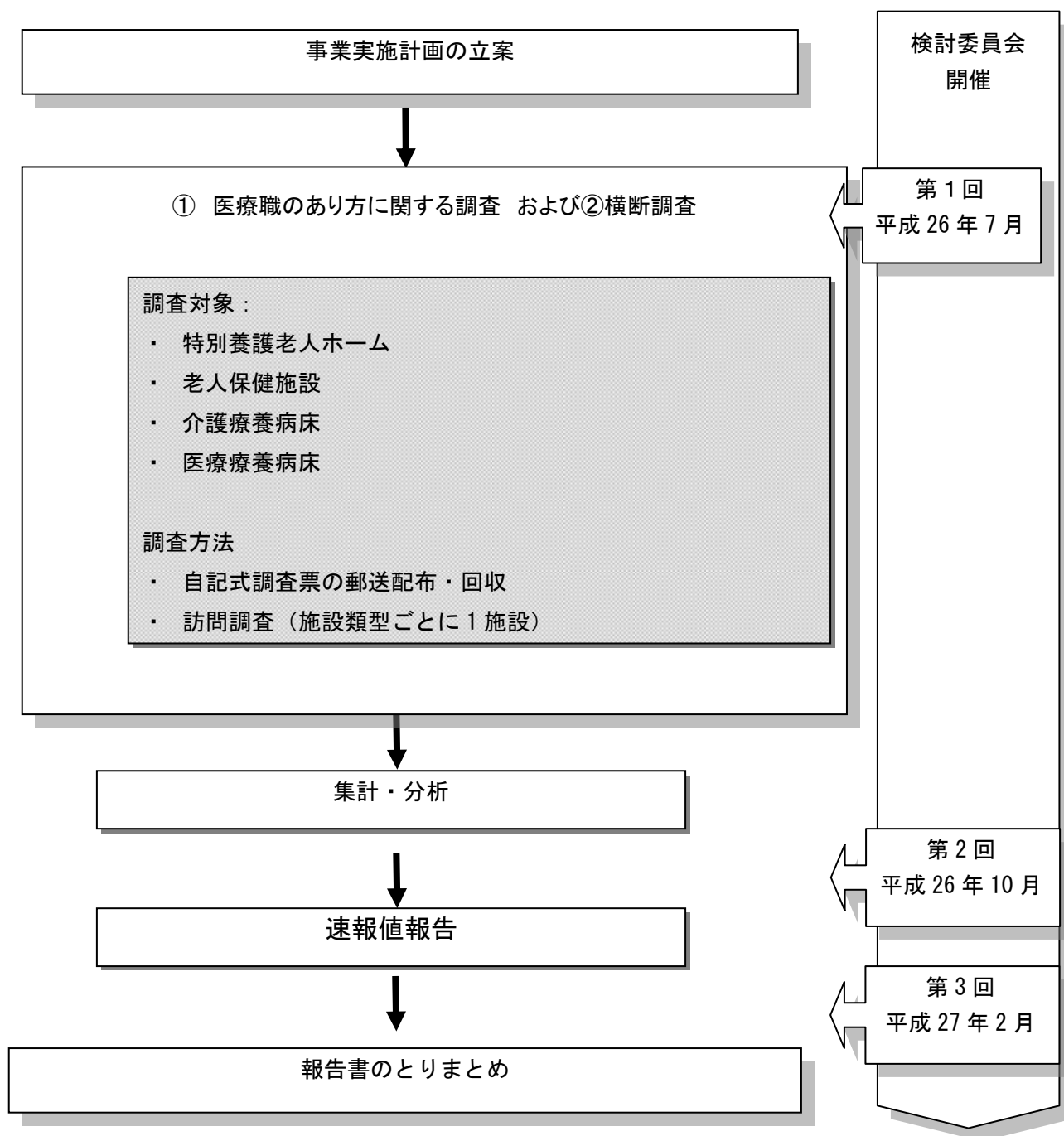
2. 検討委員会における検討内容

図表 2 検討委員会の開催時期と議題

回	時期	議 題
第1回	平成26年7月	○実施計画（案）について ○調査項目（案）について
第2回	平成26年10月	○アンケート調査結果（速報）について ○看取り対応調査およびヒアリング調査結果について
第3回	平成27年2月	○研究結果のとりまとめについて

III 調査研究の流れ

図表 3 調査研究のフロー



IV 調査方法

1. 調査の概要

介護サービス事業所における医師及び看護職員の配置数・雇用形態や業務内容、入所者の特性、介護保険施設等における日常的な医療的ケアや看取りの実施状況を把握するため、郵送配布・郵送回収によるアンケート調査を実施した。

2. 調査対象施設

調査対象施設は以下の通り。

図表 4 調査対象

施設種別	施設数	従事者票		利用者票	備考
		医師	看護職員		
特別養護老人ホーム	1,600	1名/施設	1名/施設	1/10抽出	無作為抽出
老人保健施設	1,600	1名/施設	1名/施設	1/10抽出	無作為抽出
介護療養病床	1,506	1名/施設	1名/施設	1/10抽出	悉皆
医療療養病床	1,000	－	－	1/10抽出	無作為抽出

※医療療養病床については、介護療養病床で調査対象となった施設を除外して抽出した。

※利用者は各施設より無作為に抽出した。

※医師は施設において最も長い時間勤務している者1名を対象とした。また、看護職員は調査時点から過去1ヶ月以内に夜間の勤務を実施した者のうち、最も長い時間勤務している者1名を対象とした。ただし、看護職員については、主たる業務が管理業務である者は可能な限り除外することとした。

3. 調査実施期間

平成26年8月

4. 調査の方法

本調査は、郵送配布・郵送回収により実施した。調査票の構成と記入者の対応は次の通りである。

図表 5 調査票の構成と記入者

調査票名	部数	記入者
施設票	1部	管理的な立場にある事務職員
従事者票（医師票、看護職員票）	医師1部／施設 看護職員1部／施設	施設において最も長い時間勤務している医師1名 過去1か月間に夜勤帯に勤務（オンコールによる呼出しを含む）をした看護職員のうち、施設において最も長い時間勤務している看護職員1名
利用者（患者）票	全利用者の1/10に該当する部数	利用者の状況を把握している看護職員

また、各施設類型それぞれ1施設に対し、看取りの実施状況や課題等について訪問調査を行った。訪問調査対象施設は以下のとおり。

図表 6 訪問調査対象事業所

類型	地域	実施日
特別養護老人ホーム	北海道	2014 年 9 月 19 日
老人保健施設	大阪府	2014 年 9 月 17 日
介護療養病床	京都府	2014 年 9 月 25 日
医療療養病床	北海道	2014 年 9 月 19 日

これらの施設に加え、さらに特別養護老人ホーム1施設、老人保健施設1施設、医療療養病床1施設の計7施設において、施設内（院内）看取りについて1事例を取り上げ、タイムスタディを実施した。

5. 調査項目

調査項目は以下のとおり。なお、調査票については参考資料2を参照のこと。

図表 7 施設票

大項目	具体的な項目
基本情報	・ 開設主体、開設年月、法人が運営する施設・事業所・サービス ・ 定員数、利用者数（要介護度別、性年齢別 等）
職員体制	・ 職種別・常勤／非常勤人数（実人数・常勤換算）
医師・歯科医師の勤務状況	・ 医師、歯科医師の雇用・配置契約 ・ 医師、歯科医師の対応状況（契約形態・勤務形態、勤務日数・勤務時間、夜間・休日等の対応状況 等）
介護報酬の算定状況	・ 各介護報酬の算定状況
医療的ケア等の状況	・ 各医療的ケア等の実施実績
入退所の状況	・ 施設における入退所者数 ・ 退所先所内訳
看取り（終末期ケアや死亡確認）について	・ 看取りの方針、指針内容の説明・同意取得の状況 ・ 利用者・家族の看取りに関する希望 ・ 看取りに関与している職種 ・ 看取りを行う上での課題 ・ 看取り介護を実施した利用者数 ・ 最期に医療機関に搬送した利用者の状況

図表 8 従事者票

大項目	具体的な項目
勤務状況	・ 勤務形態、就業形態、職種 ・ 勤務日数、勤務時間、急変等発生時の対応件数・日数

専門分野・保有資格・経験年数	・ 専門分野、保有資格 ・ 経験年数、うち慢性期・介護分野での経験年数
夜間の勤務日の業務内容（看護職員票）	・ 各業務内容に要した時間、件数
オンコール・緊急対応日・夜間当直日の状況	・ 一晩で呼び出された回数 ・ 呼び出された時間 ・ 対応に要した時間 ・ 対応内容（利用者の状態、処置内容等）
普段担っている業務・役割（看護職員票）	・ 各業務・役割の担当状況
看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与	・ 看取り計画に関与した件数 ・ 看取りを行なう上での課題 ・ 看取りに対する取り組み姿勢や意向

図表 9 利用者（患者）票

大項目	具体的な項目
基本情報	・ 性別、年齢、入所前の世帯構成 ・ 入所日、入所前の場所、入所理由 ・ 自宅の介護力
状態等	・ 有している傷病、病状の見通し ・ 認知症の有無 ・ 要介護度、障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度 ・ 医療区分、ADL、痛みの有無
受療状況	・ 対診の状況 ・ 現在受けている治療 ・ 機能訓練指導員による個別機能訓練 ・ 罹患している疾患、現在見られる状態 ・ 内服薬の種類
今後の生活・療養の場の見通し等	・ 利用者が必要と考える医療・介護の水準 ・ 最も適切と考えられる生活・療養の場 ・ 今後の生活・療養の場の見通し
利用者本人および家族の希望	・ 今後の生活の場に関する希望 ・ 看取りの場に関する希望

V 調査結果

1. 回収状況

本調査の回収状況は次のとおりであった。

図表 10 回収状況

施設種別	有効回収数（有効回収率）
特別養護老人ホーム	711（44.4%）
老人保健施設	803（50.2%）
介護療養病床	747（49.6%）
医療療養病床	303（30.3%）

なお、開設主体および要介護度別利用者数割合について、母集団との比較および、平成 23 年度介護サービス施設・事業所調査結果と比較したところ、大きな差は見られなかった。

2. 施設の基本属性

(1) 開設主体

開設主体について、特別養護老人ホームでは「社会福祉法人」が 96.2%と最も多く、ついで「公立」が 3.2%であった。

老人保健施設については、「医療法人」が 70.9%と最も多く、ついで「社会福祉法人」が 15.9%であった。

介護療養病床については、「医療法人」が 81.7%と最も多く、ついで「公立」が 6.0%であった。

医療療養病床については、「医療法人」が 76.2%と最も多く、ついで「公立」が 8.6%であった。

図表 11 開設主体

	件数	公立	社会福祉法人	医療法人	社団・財団法人	個人	その他	無回答
特別養護老人ホーム	711	23 3.2%	684 96.2%	—	—	—	4 0.6%	—
老人保健施設	803	29 3.6%	128 15.9%	569 70.9%	34 4.2%	—	39 4.9%	4 0.5%
介護療養病床	747	45 6.0%	—	610 81.7%	17 2.3%	43 5.8%	32 4.3%	—
医療療養病床	303	26 8.6%	—	231 76.2%	10 3.3%	10 3.3%	26 8.6%	—

(2) 定員数

特別養護老人ホームの定員数は、「50～130 人」が 91.1%と最も多く、ついで「131 人以上」が 3.1%となっており、平均定員数は 76.62 人であった。また、うち短期入所生活介護の平均定員数は 12.64 人であった。

図表 12 定員数【特別養護老人ホーム】

	件数	(単位均：人値) □	(単位中央：人値) □	(単位標準偏差：人) □
合計	711	76.62	70	28.22

図表 13 定員数【特別養護老人ホーム】うち短期入所生活介護

	件数	(単位均：床値) □	(単位中央：床値) □	(単位標準偏差：床) □
合計	711	12.64	10	7.44

老人保健施設の、平均定員数は 90.18 人であった。また、うち短期入所生活介護の平均定員数は 1.35 人であった。

図表 14 定員数【老人保健施設】

	件 数	(平 均： 単 位 ： 人 値) □	(中 央： 単 位 ： 人 値) □	(標 準 偏 ： 単 位 ： 差 人 値) □
合 計	803	90.18	100	31.29

図表 15 定員数【老人保健施設】うち短期入所生活介護

	件 数	(平 均： 単 位 ： 人 値) □	(中 央： 単 位 ： 人 値) □	(標 準 偏 ： 単 位 ： 差 人 値) □
合 計	793	1.35	0	4.14

介護療養病床の許可病床数をみると、介護療養病床では「～100 床」が 21.0%と最も多く、
ついで「～20 床」が 19.3%となっており、平均許可病床数は 46.77 床であった。

図表 16 許可病床数【介護療養病床】

	件 数	0 床	1 0 床	2 0 床	3 0 床	4 0 床	5 0 床	1 0 0 床
01 介護療養病床	747	-	135 18.1%	144 19.3%	79 10.6%	80 10.7%	69 9.2%	157 21.0%
02 01のうち短期入所療養 介護	747	215 28.8%	16 2.1%	24 3.2%	7 0.9%	7 0.9%	4 0.5%	3 0.4%
03 一般病床	747	103 13.8%	103 13.8%	50 6.7%	22 2.9%	35 4.7%	44 5.9%	81 10.8%
04 医療療養病床	747	57 7.6%	95 12.7%	60 8.0%	72 9.6%	63 8.4%	50 6.7%	119 15.9%
05 上記以外の病床	747	198 26.5%	11 1.5%	4 0.5%	2 0.3%	8 1.1%	6 0.8%	15 2.0%

	1 5 0 床	2 0 床	3 0 床	3 0 1 床 以上	無 回 答	(平 単 位 均 : 床 値) □	(標 準 位 偏 : 差 床) □
01 介護療養病床	46 6.2%	19 2.5%	9 1.2%	4 0.5%	5 0.7%	46.77	52.97
02 01のうち短期入所療養 介護	-	3 0.4%	-	10 1.3%	458 61.3%	1.84	8.64
03 一般病床	31 4.1%	13 1.7%	7 0.9%	1 0.1%	257 34.4%	38.34	50.57
04 医療療養病床	35 4.7%	20 2.7%	16 2.1%	6 0.8%	154 20.6%	50.73	63.7
05 上記以外の病床	4 0.5%	1 0.1%	5 0.7%	8 1.1%	485 64.9%	26.46	80.36

医療療養病床の許可病床数をみると、医療療養病床では「～100 床」が 26.4%と最も多く、
ついで「～50 床」が 16.2%となっており、平均許可病床数は 71.45 床であった。

図表 17 許可病床数【医療療養病床】

	件 数	0 床	1 0 床	2 0 床	3 0 床	4 0 床	5 0 床	1 0 0 床
01 一般病床	303	33 10.9%	—	6 2.0%	21 6.9%	23 7.6%	16 5.3%	59 19.5%
02 医療療養病床	303	—	6 2.0%	22 7.3%	34 11.2%	43 14.2%	49 16.2%	80 26.4%
03 介護療養病床	303	26 8.6%	10 3.3%	28 9.2%	7 2.3%	20 6.6%	14 4.6%	38 12.5%
04 上記以外の病床	303	63 20.8%	2 0.7%	1 0.3%	3 1.0%	6 2.0%	6 2.0%	9 3.0%

	1 5 0 床	2 0 0 床	3 0 0 床	3 0 1 床 以上	無 回 答	(平 単 位 均 : 床 値) □	(標 準 位 偏 : 差 床 値) □
01 一般病床	17 5.6%	8 2.6%	5 1.7%	3 1.0%	112 37.0%	63.79	72.85
02 医療療養病床	38 12.5%	16 5.3%	9 3.0%	4 1.3%	2 0.7%	71.45	58.89
03 介護療養病床	4 1.3%	—	3 1.0%	—	153 50.5%	39.2	40.94
04 上記以外の病床	5 1.7%	—	2 0.7%	1 0.3%	205 67.7%	26.58	54.49

(3) 職員体制

各サービス種別の職員体制については、以下の通りであった。

図表 18 職員体制【常勤・非常勤換算人員】

	特別養護老人ホーム						老人保健施設					
	常勤			非常勤			常勤			非常勤		
	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □
01 医師	637	0.04	0.25	637	0.14	0.16	720	0.91	0.41	720	0.21	0.36
02 01のうち医療療養病床専従	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03 01のうち医療療養病床兼務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04 歯科医師	637	0.01	0.24	637	0.02	0.07	720	0	0.05	720	0	0.04
05 看護職員	637	3.61	1.69	637	0.87	1.09	720	8.72	3.71	720	1.57	1.79
06 05のうち看護師	622	2.08	1.67	232	1.18	0.99	708	4.66	3.35	382	1.61	1.44
07 介護職員	637	29.24	12.71	637	4.46	5.09	720	27.99	12.17	720	3.06	3.7
08 07のうち介護福祉士	624	16.24	9.44	479	1.76	1.93	706	19.07	10.47	475	1.57	1.91
09 08うち認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	624	2.3	4.66	479	0.41	1.22	720	0.42	1.22	720	0.02	0.21
09 生活相談員・支援相談員	637	1.49	0.83	637	0.03	0.24	720	1.65	0.94	720	0.04	0.19
10 理学療法士(PT)	637	0.1	0.31	637	0.02	0.08	720	1.83	1.6	720	0.21	0.6
10 作業療法士(OT)	637	0.11	0.33	637	0.01	0.09	720	1.31	1.22	720	0.16	0.47
11 言語聴覚士(ST)	637	0.01	0.12	637	0	0.06	720	0.22	0.45	720	0.05	0.18
12 薬剤師	-	-	-	-	-	-	720	0.08	0.21	720	0.21	0.25
13 歯科衛生士	637	0.03	0.17	637	0.02	0.13	720	0.05	0.27	720	0.04	0.15
14 栄養士	637	1.22	0.83	637	0.03	0.16	720	1.28	1.09	720	0.05	0.22
15 栄養士のうち管理栄養士	537	1.01	0.57	15	0.73	0.54	614	1.17	0.61	15	0.81	0.86
16 介護支援専門員	637	1.28	1.74	637	0.06	0.28	720	1.6	1.3	720	0.05	0.21

	介護療養病床						医療療養病床					
	常勤			非常勤			常勤			非常勤		
	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □	件 数	平(単 位均: 人) 値 □	(標 準位 偏: 差 人) □
01 医師	610	2.07	2.68	610	1.36	2.1	253	4.48	9.98	253	2.55	4.86
02 01のうち医療療養病床専従	-	-	-	-	-	-	218	0.67	1.45	173	0.3	0.9
03 01のうち医療療養病床兼務	-	-	-	-	-	-	218	2.03	2.81	173	1.08	1.5
04 歯科医師	610	0.04	0.23	610	0.02	0.15	253	0.05	0.29	253	0.02	0.17
05 看護職員	610	14.02	19.48	610	2.33	3.77	253	33.91	36.99	253	5.34	8.64
06 05のうち看護師	582	8.37	14.82	316	2.37	2.96	247	22.47	29.27	177	4.66	6.14
07 介護職員	610	14.45	17.52	610	1.56	2.76	-	-	-	-	-	-
08 07のうち介護福祉士	547	7.47	10.21	249	0.64	1.1	-	-	-	-	-	-
09 08うち認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	547	0.06	0.83	249	0	0	-	-	-	-	-	-
09 生活相談員・支援相談員	610	0.48	1.2	610	0.02	0.26	-	-	-	-	-	-
10 理学療法士(PT)	610	2.13	5.77	610	0.12	0.56	253	5.67	9.46	253	0.14	0.63
10 作業療法士(OT)	610	1.1	3.7	610	0.05	0.31	253	2.94	6.22	253	0.07	0.38
11 言語聴覚士(ST)	610	0.48	1.81	610	0.04	0.34	253	1.25	2.84	253	0.06	0.29
12 薬剤師	610	0.89	1.33	610	0.19	0.55	253	1.66	2.06	253	0.21	0.45
13 歯科衛生士	610	0.11	0.6	610	0.03	0.18	253	0.13	0.48	253	0.08	0.39
14 栄養士	610	1.14	1.77	610	0.07	0.32	253	1.43	1.38	253	0.07	0.29
15 栄養士のうち管理栄養士	318	1.44	1.4	26	1.33	1.14	177	1.7	1.08	8	1.52	0.52
16 介護支援専門員	610	1.11	1.4	610	0.07	0.25	-	-	-	-	-	-

定員 100 人あたりに換算した、主な職員数は以下のとおりである。

図表 19 換算人員合計（定員 100 人あたり）

	特別養護老人ホーム			老人保健施設			介護療養病床			医療療養病床		
	件数	（単位均：人） 値 □	（標準位偏：差人） □	件数	（単位均：人） 値 □	（標準位偏：差人） □	件数	（単位均：人） 値 □	（標準位偏：差人） □	件数	（単位均：人） 値 □	（標準位偏：差人） □
医師	637	0.21	0.38	720	1.35	0.97	610	9.35	11.33	253	10.74	13.61
看護職員	637	6.1	2.43	720	11.69	3.92	610	31.56	18.92	253	38.03	18.53
うち看護師	628	4.54	3.13	720	6.41	3.57	600	20.41	18.19	251	28.72	22.98
介護職員	637	44.05	13.63	720	34.3	9.35	610	32.54	17.79	-	-	-
うち介護福祉士	628	24.88	13.81	720	21.51	9.26	600	19.14	17.26	-	-	-
PT	637	0.16	0.44	720	2.37	2.03	610	5.9	12.21	253	8.9	12.71
OT	637	0.15	0.46	720	1.68	1.56	610	2.49	6.64	253	4.6	8.42
ST	637	0.02	0.14	720	0.28	0.52	610	1.01	3.23	253	1.84	3.9

※ただし、介護療養病床および医療療養病床については、医療機関全体の配置数を記載している票も含まれていると考えられるため、必ずしも当該サービス部分に該当する職員数を示していない可能性がある。

3. 医師・歯科医師の勤務状況

(1) 医師・歯科医師の勤務状況（特別養護老人ホーム）

1) 医師の勤務状況

医師の雇用・配置契約については「医師が特定された関係での外部医療機関との契約（個人で開設した診療所や、所属医師が一名の医療法人等）」が 66.2%と最も多く、ついで「施設で雇用」が 16.9%、「医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約」が 15.0%であった。

図表 20 2014年6月（1ヶ月間）の医師の雇用・配置契約（複数回答）

	件数	施設で雇用	医師が特定された関係での外部医療機関との契約（個人で開設した診療所や、所属医師が一名の医療法人等）	医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約	無回答
合 計	711	120 16.9%	471 66.2%	107 15.0%	62 8.7%

各施設において勤務した医師（1145 人）の状況をみると、契約形態については「医師が特定された関係での契約」が 63.5%と最も多く、ついで「施設で雇用」が 19.2%、「医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした契約」が 13.4%であった。

図表 21 契約形態

	件数	施設で雇用	医師が特定された関係での契約	医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした契約	無回答
合 計	1145	220 19.2%	727 63.5%	154 13.4%	44 3.8%

勤務形態については「常勤」が 2.6%、「非常勤」が 92.9%であった。

図表 22 勤務形態

	件数	常勤	非常勤	無回答
合 計	1145	30 2.6%	1064 92.9%	51 4.5%

専門科については「内科」が 57.5%と最も多く、ついで「精神科」が 13.4%、「外科」が 7.2%であった。

図表 23 専門科（複数回答）

	件数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科	血液内科	皮膚科	アレルギー科
合 計	1145	658 57.5%	20 1.7%	33 2.9%	33 2.9%	1 0.1%	32 2.8%	7 0.6%	2 0.2%	46 4.0%	4 0.3%

	リウマチ科	感染症内科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科	消化器外科
合 計	6 0.5%	-	12 1.0%	154 13.4%	19 1.7%	83 7.2%	1 0.1%	2 0.2%	1 0.1%	-	11 1.0%

	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科	産婦人科	産科
合 計	17 1.5%	4 0.3%	16 1.4%	39 3.4%	3 0.3%	-	12 1.0%	6 0.5%	3 0.3%	8 0.7%	-

	婦人科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	無回答
合 計	6 0.5%	8 0.7%	2 0.2%	3 0.3%	1 0.1%	-	-	49 4.3%

一か月に施設に勤務した医師数については「1 人」が 58.8%と最も多く、ついで「2 人」が 25.7%、「3 人」が 7.9%となっており、一か月に勤務した平均医師数は 1.65 人であった。

図表 24 一か月に勤務した医師数（1 施設あたり）

	件数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	無回答	(単位：人) 平均値 □	(単位：人) 標準偏差 □
合 計	711	5 0.7%	418 58.8%	183 25.7%	56 7.9%	26 3.7%	23 3.2%	-	1.65	1

医師の一か月の施設における勤務日数は「～8 日」が 34.6%と最も多く、ついで「～4 日」が 33.3%、「～12 日」が 19.1%となっており、一か月の平均勤務日数は 7.8 日であった。

図表 25 医師の一か月の勤務日数（1 施設あたり）

	件数	～4 日	～8 日	～12 日	～16 日	～20 日	21 日以上	無回答	(単位：日) 平均値 □	(単位：日) 標準偏差 □
合 計	711	237 33.3%	246 34.6%	136 19.1%	23 3.2%	17 2.4%	30 4.2%	22 3.1%	7.82	5.35

医師の一か月の施設における合計勤務時間については「～10 時間」が 38.1%と最も多く、ついで「～20 時間」が 35.3%、「～30 時間」が 9.8%となっており、一か月の平均合計勤務時間は 17.5 時間であった。

図表 26 医師の一か月の合計勤務時間（1 施設あたり）

	件数	0 時間	～10 時間	～20 時間	～30 時間	～40 時間	～50 時間	～1 00 時間	～1 50 時間
合 計	711	26 3.7%	271 38.1%	251 35.3%	70 9.8%	27 3.8%	12 1.7%	19 2.7%	6 0.8%

	～1 50 時間	～2 00 時間	～2 50 時間	～3 00 時間	30 0 時間超	無回答	(単位：時間) 平均値 □	(単位：時間) 標準偏差 □
合 計	6 0.8%	7 1.0%	-	-	-	22 3.1%	17.5	22.57

医師の一か月の夜間対応をみると、「訪問」回数は「0回」が81.0%と最も多く、ついで「1回」が9.4%、「2回」が3.9%となっており、一か月の平均対応回数は0.3回であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0回」が80.2%と最も多く、ついで「1回」が5.3%、「3回」が3.5%となっており、一か月の平均対応回数は0.7回であった。

図表 27 医師の一か月の夜間対応（訪問/電話メール）回数（1施設あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
訪問	711	576 81.0%	67 9.4%	28 3.9%	6 0.8%	5 0.7%	2 0.3%	1 0.1%
電話、メール	711	570 80.2%	38 5.3%	22 3.1%	25 3.5%	11 1.5%	5 0.7%	5 0.7%

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	（単位均：回値）□	（標準偏差：差回）□
合計	-	1 0.1%	2 0.3%	1 0.1%	22 3.1%	0.31	0.99
電話、メール	3 0.4%	-	2 0.3%	8 1.1%	22 3.1%	0.65	2.57

医師の一か月の日曜・祝日対応をみると、「訪問」回数は「0回」が87.6%と最も多く、ついで「1回」が5.2%、「2回」が2.5%となっており、一か月の平均対応回数は0.2回であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0回」が80.0%と最も多く、ついで「1回」が5.3%、「2回」が4.2%となっており、一か月の平均対応回数は0.5回であった。

図表 28 医師の一か月の日曜・祝日対応（訪問/電話メール）回数（1施設あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
訪問	711	623 87.6%	37 5.2%	18 2.5%	3 0.4%	3 0.4%	4 0.6%	-
電話、メール	711	569 80.0%	38 5.3%	30 4.2%	14 2.0%	16 2.3%	8 1.1%	4 0.6%

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	（単位均：回値）□	（標準偏差：差回）□
訪問	-	-	-	1 0.1%	22 3.1%	0.18	0.72
電話、メール	5 0.7%	3 0.4%	1 0.1%	1 0.1%	22 3.1%	0.5	1.39

医師の一か月の平日日中の勤務時間外対応をみると、「訪問」回数は「0回」が82.4%と最も多く、ついで「1回」が5.2%、「2回」が2.7%となっており、一か月の平均対応回数は0.5回であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0回」が75.1%と最も多く、ついで「1回」が4.8%、「2回」が4.4%となっており、一か月の平均対応回数は1.5回であった。

図表 29 医師の一か月の平日日中の勤務時間外対応（訪問/電話メール）回数（1施設あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
訪問	711	586 82.4%	37 5.2%	19 2.7%	11 1.5%	14 2.0%	5 0.7%	4 0.6%
電話、メール	711	534 75.1%	34 4.8%	31 4.4%	17 2.4%	12 1.7%	9 1.3%	6 0.8%

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	（単位均：回） 値 □	（標準偏差：差回） □
訪問	2 0.3%	4 0.6%	3 0.4%	4 0.6%	22 3.1%	0.5	1.73
電話、メール	3 0.4%	8 1.1%	3 0.4%	32 4.5%	22 3.1%	1.48	4.74

2) 歯科医師の勤務状況

歯科医師の雇用・配置契約については「歯科医師が特定された関係での外部医療機関との契約（個人で開設した歯科診療所や、所属歯科医師が一名の医療法人等）」が 40.9%と最も多く、ついで「歯科医師が特定されておらず、複数の歯科医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約」が 18.0%、「施設で雇用」が 1.4%であった。

図表 30 2014年6月（1ヶ月間）の歯科医師の雇用・配置契約（複数回答）

	件数	施設で雇用	歯科医師が特定された関係での外部医療機関との契約（個人で開設した歯科診療所や、所属歯科医師が一名の医療法人等）	歯科医師が特定されておらず、複数の歯科医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約	無回答
合計	711	10 1.4%	291 40.9%	128 18.0%	299 42.1%

各施設において勤務した歯科医師の契約形態については、「歯科医師が特定された関係での契約」が 68.7%と最も多く、ついで「歯科医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした契約」が 23.2%、「施設で雇用」が 3.6%であった。

図表 31 契約形態

	件数	施設で雇用	歯科医師が特定された関係での契約	歯科医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした契約	無回答
合計	469	17 3.6%	322 68.7%	109 23.2%	21 4.5%

勤務形態については「常勤」が 1.7%、「非常勤」が 87.0%であった。

図表 32 勤務形態

	件数	常勤	非常勤	無回答
合 計	469	8 1.7%	408 87.0%	53 11.3%

一か月に施設に勤務した歯科医師数については「1 人」が 56.1%と最も多く、ついで「0 人」が 39.0%、「2 人」が 4.9%となっており、一か月に勤務した平均歯科医師数は 0.7 人であった。

図表 33 一か月に勤務した歯科医師数（1 施設あたり）

	件数	0 人	1 人	2 人	無回答	(単位：人) 平均値 □	(単位：人) 標準偏差 □
合 計	711	277 39.0%	399 56.1%	35 4.9%	—	0.66	0.57

一か月に歯科医師が勤務した施設における、歯科医師の一ヵ月間の勤務日数については「～7 日」が 44.3%と最も多く、ついで「0 日」が 8.7%、「～14 日」が 6.6%となっており、一か月の平均勤務日数は 3.8 日であった。

図表 34 歯科医師の一か月の勤務日数（1 施設あたり）

	件数	0 日	～7 日	～14 日	～21 日	～28 日	～30 日	無回答	(単位：日) 平均値 □	(単位：日) 標準偏差 □
合 計	711	62 8.7%	315 44.3%	47 6.6%	6 0.8%	3 0.4%	1 0.1%	277 39.0%	3.8	3.58

※無回答は歯科医師が勤務しなかった施設を指す。以下同じ。

歯科医師の一か月の施設における合計勤務時間については「～10 時間」が 38.1%と最も多く、ついで「0 時間」が 10.0%、「～20 時間」が 8.7%となっており、一か月の平均合計勤務時間は 7.69 時間であった。

図表 35 歯科医師の一か月の合計勤務時間（1 施設あたり）

	件数	0 時間	1 0 時間	2 0 時間	3 0 時間	4 0 時間	5 0 時間	1 0 0 時間
合 計	711	71 10.0%	271 38.1%	62 8.7%	14 2.0%	11 1.5%	1 0.1%	3 0.4%

	1 5 0 時間	2 0 0 時間	2 5 0 時間	3 0 0 時間	3 0 0 時間超	無回答	（単位均：時間） □	（単位偏：差時間） □
合 計	-	1 0.1%	-	-	-	277 39.0%	7.69	12.47

歯科医師の一か月の夜間対応をみると、「訪問」回数は「0 回」が 60.5%と最も多く、ついで「4 回」が 0.4%、「1 回」が 0.1%であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0 回」が 60.9%と最も多く、ついで「2 回」が 0.1%であった。

図表 36 歯科医師の一か月の夜間対応（訪問/電話メール）回数（1 施設あたり）

	件数	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
訪問	711	430 60.5%	1 0.1%	-	-	3 0.4%	-	-
電話、メール	711	433 60.9%	-	1 0.1%	-	-	-	-

	7 回	8 回	9 回	1 0 回以上	無回答	（単位均：回数） □	（単位偏：差回） □
訪問	-	-	-	-	277 39.0%	0.03	0.33
電話、メール	-	-	-	-	277 39.0%	0	0.1

歯科医師の一か月の日曜・祝日対応をみると、「訪問」回数は「0回」が60.6%と最も多く、ついで「1回」「4回」「5回」が0.1%であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0回」が61.0%と最も多かった。

図表 37 歯科医師の一か月の日曜・祝日対応（訪問/電話メール）回数（1施設あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
訪問	711	431 60.6%	1 0.1%	-	-	1 0.1%	1 0.1%	-
電話、メール	711	434 61.0%	-	-	-	-	-	-

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	（単位均：回値） □	（標準偏差：差回） □
訪問	-	-	-	-	277 39.0%	0.02	0.31
電話、メール	-	-	-	-	277 39.0%	0	0

歯科医師の一か月の平日日中の勤務時間外対応をみると、「訪問」回数は「0回」が57.8%と最も多く、ついで「4回」が1.1%、「2回」が0.8%となっており、一か月の平均対応回数は0.2回であった。

一方、「電話、メール」による対応は「0回」が59.8%と最も多く、ついで「1回」「2回」「3回」が0.4%であった。

図表 38 歯科医師の一か月の平日日中の勤務時間外対応（訪問/電話メール）回数（1施設あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
訪問	711	411 57.8%	4 0.6%	6 0.8%	2 0.3%	8 1.1%	1 0.1%	1 0.1%
電話、メール	711	425 59.8%	3 0.4%	3 0.4%	3 0.4%	-	-	-

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	（単位均：回値） □	（標準偏差：差回） □
訪問	-	1 0.1%	-	-	277 39.0%	0.17	0.81
電話、メール	-	-	-	-	277 39.0%	0.04	0.31

（２）オンコール・当直時の対応状況（医師）

１）回答者属性

勤務形態について、特別養護老人ホームでは「常勤」が 4.7%、「非常勤」が 93.6%であった。また、老人保健施設では「常勤」が 94.3%、「非常勤」が 5.5%、介護療養病床では「常勤」が 93.5%、「非常勤」が 5.5%、医療療養病床では「常勤」が 91.2%、「非常勤」が 7.7%であった。

図表 39 勤務形態

	件 数	常 勤	非 常 勤	無 回 答
合 計	2355	1658 70.4%	675 28.7%	22 0.9%
特別養護老人ホーム	612	29 4.7%	573 93.6%	10 1.6%
老人保健施設	767	723 94.3%	42 5.5%	2 0.3%
介護療養病床	703	657 93.5%	39 5.5%	7 1.0%
医療療養病床	273	249 91.2%	21 7.7%	3 1.1%

就業形態について、特別養護老人ホームでは「専従」が 19.4%、「兼務」が 71.7%であった。また、老人保健施設では「専従」が 70.5%、「兼務」が 27.8%、介護療養病床では「専従」が 48.6%、「兼務」が 49.5%、医療療養病床では「専従」が 53.1%、「兼務」が 45.4%であった。

図表 40 就業形態

	件 数	専 従	兼 務	無 回 答
合 計	2355	1147 48.7%	1124 47.7%	84 3.6%
特別養護老人ホーム	612	119 19.4%	439 71.7%	54 8.8%
老人保健施設	767	541 70.5%	213 27.8%	13 1.7%
介護療養病床	703	342 48.6%	348 49.5%	13 1.8%
医療療養病床	273	145 53.1%	124 45.4%	4 1.5%

勤務日数について、特別養護老人ホームでは「～7日」が59.6%と最も多く、ついで「～14日」が29.1%となっており、平均勤務日数は5.9日であった。

老人保健施設では「～21日」が52.8%と最も多く、ついで「～7日」が21.6%となっており、平均勤務日数は17.1日であった。

介護療養病床では「～28日」が41.5%と最も多く、ついで「～21日」が28.9%となっており、平均勤務日数は19.7日であった。

医療療養病床では「～21日」が39.6%と最も多く、ついで「～28日」が37.7%となっており、平均勤務日数は18.9日であった。

図表 41 勤務日数

	件数	0日	～7日	～14日	～21日	～28日	～35日	～42日	無回答	平均：日 (単位：日) □	標準偏差：日 (単位：日) □
合 計	2355	-	682 29.0%	217 9.2%	734 31.2%	543 23.1%	57 2.4%	122 5.2%		15.23	8.61
特別養護老人ホーム	612	-	365 59.6%	178 29.1%	18 2.9%	5 0.8%	-	46 7.5%		5.87	3.97
老人保健施設	767	-	166 21.6%	15 2.0%	405 52.8%	143 18.6%	11 1.4%	27 3.5%		17.07	7.2
介護療養病床	703	-	110 15.6%	16 2.3%	203 28.9%	292 41.5%	41 5.8%	41 5.8%		19.71	7.45
医療療養病床	273	-	41 15.0%	8 2.9%	108 39.6%	103 37.7%	5 1.8%	8 2.9%		18.92	6.82

勤務日数のうち、夜間勤務日数についてみると、特別養護老人ホームでは「0日」が60.1%と最も多く、ついで「～7日」が2.5%となっており、平均は0.1日であった。

老人保健施設では、「0日」が69.2%と最も多く、ついで「～7日」が5.7%となっており、平均は0.5日であった。

介護療養病床については「～7日」が45.3%と最も多く、ついで「0日」が25.1%となっており、平均は4.8日であった。

医療療養病床では「～7日」が61.1%と最も多く、ついで「0日」が16.6%となっており、平均は4.4日であった。

図表 42 うち夜間勤務日数

	件数	0日	～7日	～14日	～21日	～28日	～30日	無回答	(単位：日) 平均値 □	(単位：日) 標準偏差 □
合 計	2233	1062 47.6%	518 23.2%	82 3.7%	27 1.2%	14 0.6%	17 0.8%	513 23.0%	2.33	4.83
特別養護老人ホーム	566	340 60.1%	14 2.5%	—	—	—	—	212 37.5%	0.08	0.46
老人保健施設	740	512 69.2%	42 5.7%	1 0.1%	3 0.4%	—	2 0.3%	180 24.3%	0.45	2.49
介護療養病床	662	166 25.1%	300 45.3%	59 8.9%	16 2.4%	12 1.8%	14 2.1%	95 14.4%	4.75	6.38
医療療養病床	265	44 16.6%	162 61.1%	22 8.3%	8 3.0%	2 0.8%	1 0.4%	26 9.8%	4.36	4.75

勤務時間について、特別養護老人ホームでは「～10 時間」が 66.1%と最も多く、ついで「～20 時間」が 19.3%となっており、平均勤務時間は 12.5 時間であった。

老人保健施設では「～200 時間」が 33.2%と最も多く、ついで「～10 時間」が 27.3%となっており、平均勤務時間は 97.2 時間であった。

介護療養病床では「～200 時間」が 28.1%と最も多く、ついで「～10 時間」が 16.8%となっており、平均勤務時間は 146.8 時間であった。

医療療養病床では「～200 時間」が 26.4%と最も多く、ついで「～250 時間」が 17.4%となっており、平均勤務時間は 159.0 時間であった。

図表 43 勤務時間

	件数	0 時間	10 時間	20 時間	30 時間	40 時間	50 時間	100 時間
合 計	2233	3 0.1%	722 32.3%	138 6.2%	45 2.0%	128 5.7%	26 1.2%	75 3.4%
特別養護老人ホーム	566	—	374 66.1%	109 19.3%	21 3.7%	11 1.9%	1 0.2%	8 1.4%
老人保健施設	740	1 0.1%	202 27.3%	9 1.2%	10 1.4%	67 9.1%	11 1.5%	27 3.6%
介護療養病床	662	2 0.3%	111 16.8%	16 2.4%	10 1.5%	35 5.3%	11 1.7%	27 4.1%
医療療養病床	265	—	35 13.2%	4 1.5%	4 1.5%	15 5.7%	3 1.1%	13 4.9%

	150 時間	200 時間	250 時間	300 時間	300 時間超	無回答	（単位均：時間） □	（単位偏：時間） □
合 計	202 9.0%	508 22.7%	155 6.9%	64 2.9%	52 2.3%	115 5.2%	97.54	100.6
特別養護老人ホーム	4 0.7%	6 1.1%	1 0.2%	—	—	31 5.5%	12.53	24.15
老人保健施設	123 16.6%	246 33.2%	16 2.2%	2 0.3%	2 0.3%	24 3.2%	97.18	76.56
介護療養病床	55 8.3%	186 28.1%	92 13.9%	39 5.9%	36 5.4%	42 6.3%	146.82	111.11
医療療養病床	20 7.5%	70 26.4%	46 17.4%	23 8.7%	14 5.3%	18 6.8%	159.01	109.6

勤務時間のうち、夜間勤務時間についてみると、特別養護老人ホームでは「0 時間」が 58.9%と最も多く、ついで「～10 時間」が 2.6%となっており、平均は 0.2 時間であった。

老人保健施設では「0 時間」が 64.8%と最も多く、ついで「～10 時間」が 3.1%となっており、平均は 2.2 時間であった。

介護療養病床では「0 時間」が 23.6%と最も多く、ついで「～100 時間」が 22.5%となっており、平均は 49.6 時間であった。

医療療養病床では「～100 時間」が 27.5%と最も多く、ついで「0 時間」が 16.6%となっており、平均は 54.0 時間であった。

図表 44 うち夜間勤務時間

	件数	0 時間	1 0 時間	2 0 時間	3 0 時間	4 0 時間	5 0 時間	1 0 時間	1 5 0 時間	2 0 0 時間	2 0 0 時間超	無回答	平均：単位均：時間（）□	標準：単位偏：時間（）□
合 計	2115	965 45.6%	69 3.3%	80 3.8%	29 1.4%	39 1.8%	47 2.2%	216 10.2%	47 2.2%	15 0.7%	23 1.1%	585 27.7%	23.84	50.41
特別養護老人ホーム	535	315 58.9%	14 2.6%	-	-	-	1 0.2%	-	-	-	-	205 38.3%	0.21	2.67
老人保健施設	715	463 64.8%	22 3.1%	5 0.7%	3 0.4%	3 0.4%	1 0.1%	9 1.3%	1 0.1%	-	-	208 29.1%	2.19	11.23
介護療養病床	618	146 23.6%	27 4.4%	49 7.9%	15 2.4%	23 3.7%	25 4.0%	139 22.5%	36 5.8%	8 1.3%	16 2.6%	134 21.7%	49.6	66.69
医療療養病床	247	41 16.6%	6 2.4%	26 10.5%	11 4.5%	13 5.3%	20 8.1%	68 27.5%	10 4.0%	7 2.8%	7 2.8%	38 15.4%	53.97	59.36

2) オンコール・当直時の対応状況

一晩あたりのオンコール／呼び出し回数について、特別養護老人ホームでは「1回」が41.2%と最も多く、ついで「2回」が6.4%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.0回であった。

老人保健施設については、「1回」が38.9%と最も多く、ついで「2回」が10.8%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.1回であった。

介護療養病床については、「1回」が40.4%と最も多く、ついで「2回」が12.4%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.4回であった。

医療療養病床については、「1回」が44.0%と最も多く、ついで「2回」が14.3%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.6回であった。

図表 45 オンコール／呼び出し回数（一晩あたり）

	件 数	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
合 計	2355	137 5.8%	954 40.5%	248 10.5%	57 2.4%	23 1.0%	8 0.3%	5 0.2%
特別養護老人ホーム	612	19 3.1%	252 41.2%	39 6.4%	3 0.5%	-	-	-
老人保健施設	767	23 3.0%	298 38.9%	83 10.8%	10 1.3%	4 0.5%	-	-
介護療養病床	703	71 10.1%	284 40.4%	87 12.4%	29 4.1%	12 1.7%	4 0.6%	3 0.4%
医療療養病床	273	24 8.8%	120 44.0%	39 14.3%	15 5.5%	7 2.6%	4 1.5%	2 0.7%

	7 回	8 回	9 回	1 0 回 以 上	無 回 答	（平 単 位 均 ： 回 値） □	（標 準 位 偏 ： 差 回 ） □
合 計	3 0.1%	-	-	7 0.3%	913 38.8%	1.24	1.09
特別養護老人ホーム	-	-	-	-	299 48.9%	0.97	0.4
老人保健施設	1 0.1%	-	-	-	348 45.4%	1.09	0.54
介護療養病床	-	-	-	5 0.7%	208 29.6%	1.38	1.34
医療療養病床	2 0.7%	-	-	2 0.7%	58 21.2%	1.6	1.66

対応に要した時間について、特別養護老人ホームでは「～30分」が28.7%と最も多く、ついで「～10分」が15.5%となっており、対応に要した平均時間は39.3分であった。

老人保健施設については、「～10分」が28.9%と最も多く、ついで「～30分」が14.8%となっており、対応に要した平均時間は44.5分であった。

介護療養病床については、「～30分」が13.7%と最も多く、ついで「～20分」が11.4%となっており、対応に要した平均時間は44.9分であった。

医療療養病床については、「～30分」が16.8%と最も多く、ついで「～10分」が13.2%となっており、対応に要した平均時間は43.4分であった。

図表 46 対応に要した時間（合計／分）

	件数	0分	10分	20分	30分	40分	50分	60分
合 計	3567	26 0.7%	717 20.1%	433 12.1%	673 18.9%	125 3.5%	83 2.3%	401 11.2%
特別養護老人ホーム	1064	12 1.1%	165 15.5%	151 14.2%	305 28.7%	65 6.1%	34 3.2%	143 13.4%
老人保健施設	1527	7 0.5%	441 28.9%	172 11.3%	226 14.8%	29 1.9%	33 2.2%	179 11.7%
介護療養病床	703	5 0.7%	75 10.7%	80 11.4%	96 13.7%	18 2.6%	13 1.8%	54 7.7%
医療療養病床	273	2 0.7%	36 13.2%	30 11.0%	46 16.8%	13 4.8%	3 1.1%	25 9.2%

	120分	180分	240分	300分	360分以上	無回答	（単位均：分） □	（単位標準偏：差分） □
合 計	303 8.5%	91 2.6%	29 0.8%	9 0.3%	7 0.2%	670 18.8%	42.75	47.55
特別養護老人ホーム	69 6.5%	22 2.1%	5 0.5%	—	2 0.2%	91 8.6%	39.29	37.37
老人保健施設	165 10.8%	53 3.5%	15 1.0%	7 0.5%	4 0.3%	196 12.8%	44.53	53.66
介護療養病床	47 6.7%	12 1.7%	7 1.0%	2 0.3%	—	294 41.8%	44.91	47.38
医療療養病床	22 8.1%	4 1.5%	2 0.7%	—	1 0.4%	89 32.6%	43.41	47.92

オンコールで呼び出された際の利用者／患者の状態について、特別養護老人ホームでは「看取り期の対応」が55.5%と最も多く、ついで「バイタルサインの低下」が18.2%、「発熱」が13.3%であった。

老人保健施設については、「発熱」が27.3%と最も多く、ついで「バイタルサインの低下」「看取り期の対応」が23.4%、「呼吸障害」が15.8%であった。

介護療養病床については、「バイタルサインの低下」が27.3%と最も多く、ついで「発熱」が25.3%、「看取り期の対応」が21.1%であった。

医療療養病床については、「バイタルサインの低下」が27.5%と最も多く、ついで「発熱」が23.2%、「呼吸障害」が18.1%であった。

図表 47 利用者／患者の状態（オンコール／呼び出された理由）（複数回答）

	件数	バイタルサインの低下	発熱	意識障害	頭痛	けいれん・麻痺	呼吸障害	誤嚥	胸痛	不整脈	嘔気・嘔吐
合 計	3702	855 23.1%	833 22.5%	437 11.8%	29 0.8%	93 2.5%	526 14.2%	66 1.8%	48 1.3%	59 1.6%	218 5.9%
特別養護老人ホーム	1064	194 18.2%	142 13.3%	109 10.2%	5 0.5%	14 1.3%	94 8.8%	9 0.8%	7 0.7%	4 0.4%	40 3.8%
老人保健施設	1527	357 23.4%	417 27.3%	217 14.2%	11 0.7%	51 3.3%	241 15.8%	29 1.9%	23 1.5%	22 1.4%	108 7.1%
介護療養病床	762	208 27.3%	193 25.3%	82 10.8%	9 1.2%	21 2.8%	128 16.8%	25 3.3%	11 1.4%	25 3.3%	55 7.2%
医療療養病床	349	96 27.5%	81 23.2%	29 8.3%	4 1.1%	7 2.0%	63 18.1%	3 0.9%	7 2.0%	8 2.3%	15 4.3%

	腹痛	便秘	尿量減少	点滴等の カテーテル	転倒・転落	不眠	せん妄	吐血・下血	看取り期の 対応	その他	無回答
合 計	81 2.2%	15 0.4%	88 2.4%	46 1.2%	185 5.0%	46 1.2%	54 1.5%	70 1.9%	1166 31.5%	374 10.1%	205 5.5%
特別養護老人ホーム	14 1.3%	4 0.4%	21 2.0%	5 0.5%	21 2.0%	1 0.1%	2 0.2%	9 0.8%	591 55.5%	100 9.4%	45 4.2%
老人保健施設	28 1.8%	3 0.2%	35 2.3%	13 0.9%	111 7.3%	24 1.6%	24 1.6%	40 2.6%	358 23.4%	181 11.9%	59 3.9%
介護療養病床	21 2.8%	6 0.8%	29 3.8%	20 2.6%	36 4.7%	14 1.8%	20 2.6%	18 2.4%	161 21.1%	61 8.0%	72 9.4%
医療療養病床	18 5.2%	2 0.6%	3 0.9%	8 2.3%	17 4.9%	7 2.0%	8 2.3%	3 0.9%	56 16.0%	32 9.2%	29 8.3%

処置内容について、特別養護老人ホームでは「看取り・死亡診断」が63.5%と最も多く、ついで「診察」が25.3%、「他医療機関へ搬送」が7.8%であった。

老人保健施設については、「診察」が32.5%と最も多く、ついで「看取り・死亡診断」が26.9%、「輸液」が20.9%であった。

介護療養病床については、「診察」が55.2%と最も多く、ついで「輸液」が23.1%、「看取り・死亡診断」が23.0%であった。

医療療養病床については、「診察」が64.5%と最も多く、ついで「輸液」が24.9%、「投薬（輸液を除く）」が23.2%であった。

図表 48 処置内容等（複数回答）

	件数	診察	創を伴う処置（縫合）	創以外処置（縫合）	蘇生処置	看取り・死亡診断	抜去されたカテーテルの再留	血液検査	心電図検査
合 計	3702	1412 38.1%	11 0.3%	41 1.1%	116 3.1%	1331 36.0%	40 1.1%	106 2.9%	112 3.0%
特別養護老人ホーム	1064	269 25.3%	1 0.1%	5 0.5%	15 1.4%	676 63.5%	3 0.3%	23 2.2%	15 1.4%
老人保健施設	1527	497 32.5%	2 0.1%	20 1.3%	42 2.8%	410 26.9%	10 0.7%	41 2.7%	38 2.5%
介護療養病床	762	421 55.2%	7 0.9%	12 1.6%	43 5.6%	175 23.0%	20 2.6%	27 3.5%	39 5.1%
医療療養病床	349	225 64.5%	1 0.3%	4 1.1%	16 4.6%	70 20.1%	7 2.0%	15 4.3%	20 5.7%

	画像検査	酸素投与	投薬（輸液を除く）	輸液	緊急手術を含む（内科）	他送医療機関へ搬	その他	無回答
合 計	91 2.5%	496 13.4%	565 15.3%	664 17.9%	9 0.2%	368 9.9%	389 10.5%	328 8.9%
特別養護老人ホーム	17 1.6%	61 5.7%	66 6.2%	82 7.7%	—	83 7.8%	60 5.6%	64 6.0%
老人保健施設	28 1.8%	235 15.4%	262 17.2%	319 20.9%	7 0.5%	268 17.6%	225 14.7%	142 9.3%
介護療養病床	28 3.7%	145 19.0%	156 20.5%	176 23.1%	2 0.3%	12 1.6%	77 10.1%	91 11.9%
医療療養病床	18 5.2%	55 15.8%	81 23.2%	87 24.9%	—	5 1.4%	27 7.7%	31 8.9%

看取り期の対応の処置内容について、特別養護老人ホームでは「看取り・死亡診断」が93.9%と最も多く、ついで「診察」が13.4%であった。

老人保健施設については、「看取り・死亡診断」が91.1%と最も多く、ついで「診察」が21.8%であった。

介護療養病床については、「看取り・死亡診断」が78.9%と最も多く、ついで「診察」が40.4%であった。

医療療養病床については、「看取り・死亡診断」が80.4%と最も多く、ついで「診察」が30.4%であった。

図表 49 処置内容等（看取り期の対応）（複数回答）

	件数	診察	創を伴う処置（縫合）	創以外処置（縫合）	蘇生処置	看取り・死亡診断	抜去されたカテーテルの再留	血液検査	心電図検査
合 計	1166	239 20.5%	3 0.3%	3 0.3%	39 3.3%	1053 90.3%	2 0.2%	4 0.3%	23 2.0%
特別養護老人ホーム	591	79 13.4%	1 0.2%	1 0.2%	4 0.7%	555 93.9%	—	—	4 0.7%
老人保健施設	358	78 21.8%	—	—	12 3.4%	326 91.1%	—	1 0.3%	9 2.5%
介護療養病床	161	65 40.4%	2 1.2%	2 1.2%	19 11.8%	127 78.9%	2 1.2%	3 1.9%	9 5.6%
医療療養病床	56	17 30.4%	—	—	4 7.1%	45 80.4%	—	—	1 1.8%

	画像検査	酸素投与	投薬（輸液を除く）	輸液	緊急手術を含む（内科）	他送医療機関へ搬送	その他	無回答
合 計	2 0.2%	86 7.4%	14 1.2%	39 3.3%	—	5 0.4%	50 4.3%	32 2.7%
特別養護老人ホーム	—	20 3.4%	3 0.5%	4 0.7%	—	3 0.5%	8 1.4%	12 2.0%
老人保健施設	—	28 7.8%	3 0.8%	13 3.6%	—	—	29 8.1%	8 2.2%
介護療養病床	2 1.2%	34 21.1%	4 2.5%	18 11.2%	—	2 1.2%	10 6.2%	8 5.0%
医療療養病床	—	4 7.1%	4 7.1%	4 7.1%	—	—	3 5.4%	4 7.1%

4. 看護職員の勤務状況

(1) 看護職員の勤務状況

<看護職員票>

1) 回答者属性：

勤務形態について、特別養護老人ホームでは「常勤」が95.7%、老人保健施設については、「常勤」が98.1%、介護療養病床については、「常勤」が98.9%、医療療養病床については、「常勤」が99.3%であった。

図表 50 勤務形態

	件 数	常 勤	非 常 勤	無 回 答
合 計	2466	2412 97.8%	26 1.1%	28 1.1%
特別養護老人ホーム	675	646 95.7%	13 1.9%	16 2.4%
老人保健施設	782	767 98.1%	8 1.0%	7 0.9%
介護療養病床	728	720 98.9%	5 0.7%	3 0.4%
医療療養病床	281	279 99.3%	—	2 0.7%

就業形態について、特別養護老人ホームでは「専従」が91.1%、「兼務」が6.2%であった。老人保健施設については、「専従」が89.8%、「兼務」が6.6%であり、介護療養病床については、「専従」が75.7%、「兼務」が20.5%、医療療養病床については、「専従」が85.4%、「兼務」が10.0%であった。

図表 51 就業形態

	件 数	専 従	兼 務	無 回 答
合 計	2466	2108 85.5%	271 11.0%	87 3.5%
特別養護老人ホーム	675	615 91.1%	42 6.2%	18 2.7%
老人保健施設	782	702 89.8%	52 6.6%	28 3.6%
介護療養病床	728	551 75.7%	149 20.5%	28 3.8%
医療療養病床	281	240 85.4%	28 10.0%	13 4.6%

職種について、特別養護老人ホームでは「看護師」が 65.9%、「准看護師」が 28.7%であった。

老人保健施設については、「看護師」が 64.1%、「准看護師」が 33.8%であった。

介護療養病床については、「看護師」が 66.6%、「准看護師」が 32.1%であった。

医療療養病床については、「看護師」が 75.8%、「准看護師」が 23.5%であった。

図表 52 職種

	件 数	看護 師	准看護 師	無回 答
合 計	2466	1644 66.7%	758 30.7%	64 2.6%
特別養護老人ホーム	675	445 65.9%	194 28.7%	36 5.3%
老人保健施設	782	501 64.1%	264 33.8%	17 2.2%
介護療養病床	728	485 66.6%	234 32.1%	9 1.2%
医療療養病床	281	213 75.8%	66 23.5%	2 0.7%

2) 勤務状況：

勤務日数について、特別養護老人ホームでは「～21 日」が 68.1%と最も多く、ついで「～28 日」が 20.3%となっており、平均勤務日数は 20.4 日であった。

老人保健施設については、「～21 日」が 64.8%と最も多く、ついで「～28 日」が 26.0%となっており、平均勤務日数は 20.4 日であった。

介護療養病床については、「～21 日」が 59.9%と最も多く、ついで「～28 日」が 30.6%となっており、平均勤務日数は 20.5 日であった。

医療療養病床については、「～21 日」が 68.3%と最も多く、ついで「～28 日」が 22.1%となっており、平均勤務日数は 20.2 日であった。

図表 53 勤務日数

	件 数	0 日	7 日	1 4 日	2 1 日	2 8 日	3 0 日	無回 答	平(単 均： 日 値) □	標(単 準位 偏： 差日) □
合 計	2466	-	44 1.8%	60 2.4%	1595 64.7%	625 25.3%	34 1.4%	108 4.4%	20.4	3.22
特別養護老人ホーム	675	-	20 3.0%	3 0.4%	460 68.1%	137 20.3%	7 1.0%	48 7.1%	20.42	3.3
老人保健施設	782	-	10 1.3%	27 3.5%	507 64.8%	203 26.0%	8 1.0%	27 3.5%	20.39	3
介護療養病床	728	-	11 1.5%	19 2.6%	436 59.9%	223 30.6%	11 1.5%	28 3.8%	20.46	3.34
医療療養病床	281	-	3 1.1%	11 3.9%	192 68.3%	62 22.1%	8 2.8%	5 1.8%	20.24	3.29

うち夜間勤務日数について、特別養護老人ホームでは「0日」が63.2%と最も多く、ついで「～7日」が4.5%となっており、平均夜間勤務日数は0.5日であった。

老人保健施設については、「～7日」が67.7%と最も多く、ついで「～14日」が17.5%となっており、平均夜間勤務日数は5.2日であった。

介護療養病床については、「～7日」が68.1%と最も多く、ついで「～14日」が26.4%となっており、平均夜間勤務日数は6.0日であった。

医療療養病床については、「～7日」が63.4%と最も多く、ついで「～14日」が27.9%となっており、平均夜間勤務日数は6.7日であった。

図表 54 うち夜間勤務日数

	件数	0日	～7日	～14日	～21日	～28日	～30日	無回答	平均：日 値 □	標準偏差：日 差 □
合 計	2358	477 20.2%	1191 50.5%	404 17.1%	40 1.7%	2 0.1%	2 0.1%	242 10.3%	4.69	3.87
特別養護老人ホーム	627	396 63.2%	28 4.5%	10 1.6%	2 0.3%	—	—	191 30.5%	0.51	2.06
老人保健施設	755	67 8.9%	511 67.7%	132 17.5%	14 1.9%	—	2 0.3%	29 3.8%	5.23	3.52
介護療養病床	700	12 1.7%	477 68.1%	185 26.4%	9 1.3%	1 0.1%	—	16 2.3%	5.98	3.1
医療療養病床	276	2 0.7%	175 63.4%	77 27.9%	15 5.4%	1 0.4%	—	6 2.2%	6.7	3.91

勤務時間について、特別養護老人ホームでは「～10 時間」が 48.3%と最も多く、ついで「～200 時間」が 40.8%となっており、平均勤務時間は 82.4 時間であった。

老人保健施設については、「～200 時間」が 57.2%と最も多く、ついで「～10 時間」が 20.4%となっており、平均勤務時間は 128.0 時間であった。

介護療養病床については、「～200 時間」が 54.9%と最も多く、ついで「～10 時間」が 12.4%となっており、平均勤務時間は 140.9 時間であった。

医療療養病床については、「～200 時間」が 62.3%と最も多く、ついで「～150 時間」が 14.9%となっており、平均勤務時間は 148.4 時間であった。

図表 55 勤務時間

	件数	0 時間	10 時間	20 時間	30 時間	40 時間	50 時間	100 時間
合 計	2358	—	560 23.7%	14 0.6%	3 0.1%	25 1.1%	3 0.1%	36 1.5%
特別養護老人ホーム	627	—	303 48.3%	1 0.2%	—	9 1.4%	—	1 0.2%
老人保健施設	755	—	154 20.4%	8 1.1%	1 0.1%	3 0.4%	2 0.3%	13 1.7%
介護療養病床	700	—	87 12.4%	3 0.4%	1 0.1%	10 1.4%	1 0.1%	11 1.6%
医療療養病床	276	—	16 5.8%	2 0.7%	1 0.4%	3 1.1%	—	11 4.0%

	150 時間	200 時間	250 時間	300 時間	300 時間超	無回答	（単位均：時間） □	（単位標準偏差：時間） □
合 計	223 9.5%	1244 52.8%	54 2.3%	14 0.6%	8 0.3%	174 7.4%	121.83	73.38
特別養護老人ホーム	16 2.6%	256 40.8%	2 0.3%	1 0.2%	—	38 6.1%	82.44	78.94
老人保健施設	69 9.1%	432 57.2%	17 2.3%	4 0.5%	2 0.3%	50 6.6%	127.95	70.64
介護療養病床	97 13.9%	384 54.9%	26 3.7%	8 1.1%	5 0.7%	67 9.6%	140.91	63.84
医療療養病床	41 14.9%	172 62.3%	9 3.3%	1 0.4%	1 0.4%	19 6.9%	148.35	49.92

うち夜間勤務時間について、特別養護老人ホームでは「0 時間」が 57.9%と最も多く、ついで「～10 時間」が 2.5%となっており、平均夜間勤務時間は 1.9 時間であった。

老人保健施設については、「～100 時間」が 39.4%と最も多く、ついで「～50 時間」「～150 時間」が 8.4%となっており、平均夜間勤務時間は 62.0 時間であった。

介護療養病床については、「～100 時間」が 52.0%と最も多く、ついで「～150 時間」が 11.1%となっており、平均夜間勤務時間は 71.8 時間であった。

医療療養病床については、「～100 時間」が 57.2%と最も多く、ついで「～150 時間」が 12.1%となっており、平均夜間勤務時間は 74.4 時間であった。

図表 56 うち夜間勤務時間

	件数	0 時間	10 時間	20 時間	30 時間	40 時間	50 時間	100 時間	150 時間	200 時間	200 時間超	無回答	（単位均：時 値間）□	（単位偏：時 差間）□
合 計	2184	404 18.5%	41 1.9%	70 3.2%	21 1.0%	80 3.7%	124 5.7%	758 34.7%	160 7.3%	25 1.1%	3 0.1%	498 22.8%	53.54	42.37
特別養護老人ホーム	589	341 57.9%	15 2.5%	3 0.5%	4 0.7%	3 0.5%	3 0.5%	4 0.7%	-	-	-	216 36.7%	1.85	8.52
老人保健施設	705	53 7.5%	14 2.0%	35 5.0%	10 1.4%	24 3.4%	59 8.4%	278 39.4%	59 8.4%	12 1.7%	-	161 22.8%	62.02	37.22
介護療養病床	633	9 1.4%	10 1.6%	23 3.6%	7 1.1%	38 6.0%	39 6.2%	329 52.0%	70 11.1%	10 1.6%	2 0.3%	96 15.2%	71.83	35.26
医療療養病床	257	1 0.4%	2 0.8%	9 3.5%	-	15 5.8%	23 8.9%	147 57.2%	31 12.1%	3 1.2%	1 0.4%	25 9.7%	74.43	33.59

一日あたりの急変発生時の対応件数について、特別養護老人ホームでは「0 件」が 25.5%と最も多く、ついで「1 件」が 19.5%となっており、平均対応件数は 2.8 件であった。

老人保健施設については、「0 件」が 34.2%と最も多く、ついで「1 件」が 14.2%となっており、平均対応件数は 2.3 件であった。

介護療養病床については、「0 件」が 44.3%と最も多く、ついで「1 件」が 12.6%となっており、平均対応件数は 2.3 件であった。

医療療養病床については、「0 件」が 36.6%と最も多く、ついで「1 件」が 10.1%となっており、平均対応件数は 2.7 件であった。

図表 57 急変発生時の対応件数（一日あたり）

	件 数	0 件	1 件	2 件	3 件	4 件	5 件	6 件
合 計	2358	829 35.2%	345 14.6%	195 8.3%	121 5.1%	62 2.6%	61 2.6%	26 1.1%
特別養護老人ホーム	627	160 25.5%	122 19.5%	67 10.7%	37 5.9%	26 4.1%	19 3.0%	12 1.9%
老人保健施設	755	258 34.2%	107 14.2%	57 7.5%	41 5.4%	15 2.0%	23 3.0%	4 0.5%
介護療養病床	700	310 44.3%	88 12.6%	45 6.4%	28 4.0%	13 1.9%	13 1.9%	6 0.9%
医療療養病床	276	101 36.6%	28 10.1%	26 9.4%	15 5.4%	8 2.9%	6 2.2%	4 1.4%

	7 件	8 件	9 件	1 0 件 以 上	無 回 答	（平 均： 単位 ：件 値） □	（標 準位 偏： 差：件 ） □
合 計	22 0.9%	19 0.8%	11 0.5%	93 3.9%	574 24.3%	2.48	8.18
特別養護老人ホーム	7 1.1%	9 1.4%	5 0.8%	34 5.4%	129 20.6%	2.79	4.8
老人保健施設	12 1.6%	5 0.7%	4 0.5%	32 4.2%	197 26.1%	2.33	5.36
介護療養病床	2 0.3%	4 0.6%	2 0.3%	19 2.7%	170 24.3%	2.27	9.41
医療療養病床	1 0.4%	1 0.4%	-	8 2.9%	78 28.3%	2.69	15.06

うち夜間帯件数について、特別養護老人ホームでは「1 件」が 32.5%と最も多く、ついで「0 件」が 21.0%となっており、平均対応件数は 2.3 件であった。

老人保健施設については、「1 件」が 36.7%と最も多く、ついで「0 件」が 23.0%となっており、平均対応件数は 2.2 件であった。

介護療養病床については、「1 件」が 53.2%と最も多く、ついで「0 件」が 16.8%となっており、平均対応件数は 2.1 件であった。

医療療養病床については、「1 件」が 44.3%と最も多く、ついで「2 件」が 18.6%となっており、平均対応件数は 3.2 件であった。

図表 58 うち夜間帯件数（一日あたり）

	件 数	0 件	1 件	2 件	3 件	4 件	5 件	6 件
合 計	955	186 19.5%	380 39.8%	146 15.3%	59 6.2%	36 3.8%	30 3.1%	13 1.4%
特別養護老人ホーム	338	71 21.0%	110 32.5%	59 17.5%	20 5.9%	12 3.6%	9 2.7%	3 0.9%
老人保健施設	300	69 23.0%	110 36.7%	45 15.0%	20 6.7%	10 3.3%	12 4.0%	5 1.7%
介護療養病床	220	37 16.8%	117 53.2%	24 10.9%	11 5.0%	8 3.6%	4 1.8%	2 0.9%
医療療養病床	97	9 9.3%	43 44.3%	18 18.6%	8 8.2%	6 6.2%	5 5.2%	3 3.1%

	7 件	8 件	9 件	1 0 件 以 上	無 回 答	（平 均： 単位 ：件 値） □	（標 準位 偏： 差件 ） □
合 計	8 0.8%	8 0.8%	4 0.4%	38 4.0%	47 4.9%	2.3	5.23
特別養護老人ホーム	2 0.6%	4 1.2%	1 0.3%	16 4.7%	31 9.2%	2.28	3.8
老人保健施設	3 1.0%	3 1.0%	3 1.0%	11 3.7%	9 3.0%	2.15	3.24
介護療養病床	2 0.9%	1 0.5%	—	10 4.5%	4 1.8%	2.14	3.86
医療療養病床	1 1.0%	—	—	1 1.0%	3 3.1%	3.16	12.22

(2) 夜勤時の業務内容

夜勤を行った日（オンコール勤務は含まない）のうち、直近の一日の業務内容について尋ねた（途中からオンコール勤務に切り替えた場合は、以降の時間は含まない）。

特別養護老人ホームにおいては、1 か月間（平成 26 年 6 月）に夜間勤務があったと回答したのは、調査対象となった看護職員のうち 6.4%であった。一方、老人保健施設ではほぼ 9 割、介護療養病床、医療療養病床ではほぼすべてであった。

夜勤を行った日の看護職員の夜間の平均勤務時間は、特別養護老人ホームで 7.6 時間、老人保健施設・介護療養病床・医療療養病床ではそれぞれ 15.6～15.7 時間程度であった。

どの施設類型とも「健康管理、健康状態確認」に割く時間が長く、老人保健施設以外では 1 割以上を占めていた。特別養護老人ホームでは「看取りへの関与」「診療の補助」に割く時間が他の施設類型に比べ長い傾向にあった。

図表 59 夜勤時の業務内容

	特別養護老人ホーム n=675		老人保健施設 n=782		介護療養病床 n=728		医療療養病床 n=281	
	平均 値	単位： 分 （％）	平均 値	単位： 分 （％）	平均 値	単位： 分 （％）	平均 値	単位： 分 （％）
該当サービス以外に従事	6.8	1.2%	2.9	0.3%	50.9	5.5%	12.4	1.2%
業務準備（自身の身支度等の業務に向けての準備）	8.0	2.3%	16.8	1.9%	19.3	2.1%	20.1	2.2%
健康管理（バイタルサイン確認（入浴・リハビリテーション時等の確認を除く）、健康状態確認（日常会話、声かけによる確認を含む））	55.0	12.4%	78.0	8.3%	103.8	11.1%	134.2	14.2%
診療の補助	32.6	7.0%	9.0	1.2%	10.8	1.1%	12.5	1.3%
移動の介助	8.6	1.7%	38.2	4.0%	24.5	2.6%	20.1	2.2%
居室、リビング等での見守り	14.1	2.2%	76.3	7.9%	28.0	3.0%	21.7	2.3%
食事介助（配膳、下膳含む）	30.3	6.9%	76.4	8.2%	76.3	8.2%	70.0	7.5%
排泄ケア	10.4	1.8%	80.1	8.4%	89.6	9.7%	84.5	9.1%
服薬介助（服薬の見守り、服薬状況の確認を含む）	17.5	3.4%	40.8	4.4%	34.2	3.6%	33.1	3.5%
口腔ケア	8.5	1.8%	27.6	3.0%	35.1	3.8%	34.5	3.7%
記録（リハビリ記録を除く）	31.7	7.1%	68.4	7.3%	91.5	9.8%	108.2	11.6%
会議 ※看取りに関するもの以外	21.7	5.6%	5.7	0.7%	4.0	0.4%	2.3	0.3%
連絡・調整	13.8	3.1%	25.9	2.8%	21.9	2.4%	20.4	2.2%
利用者／患者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	15.5	3.4%	17.9	2.1%	12.0	1.3%	16.2	1.7%
ナースコール対応	7.4	1.2%	55.1	5.7%	33.2	3.6%	42.1	4.6%
看取りへの関与	24.3	9.0%	7.5	1.2%	6.6	0.7%	6.5	0.7%
服薬管理（薬の区分け・与薬の準備、配布を含む）	34.4	6.8%	50.0	5.4%	38.6	4.1%	41.5	4.4%
巡視	17.0	4.1%	68.0	7.2%	76.8	8.2%	79.7	8.4%
更衣介助	9.5	1.6%	26.9	2.8%	15.6	1.7%	13.5	1.4%
休憩	41.0	7.1%	111.3	12.1%	115.9	12.4%	115.4	12.3%
その他	44.7	10.1%	50.5	5.1%	49.1	5.2%	54.7	5.7%
合 計	458.3		933.0		936.5		942.3	

※本調査では、17 時～翌 9 時の間を夜間帯として、この時間帯に勤務した職員の状況を尋ねた。また、各業務内容について、無回答分は除外して平均値を算出した、

(3) オンコール・緊急時の対応状況

一晩あたりのオンコール／呼び出し回数について、特別養護老人ホームでは「1回」が44.6%と最も多く、ついで「2回」が18.2%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.3回であった。

老人保健施設については、「1回」が33.0%と最も多く、ついで「2回」が11.8%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は1.5回であった。

介護療養病床については、「1回」が22.3%と最も多く、ついで「0回」が11.5%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は2.3回であった。

医療療養病床については、「1回」が23.5%と最も多く、ついで「0回」が11.4%となっており、平均オンコール／呼び出し回数は2.6回であった。

図表 60 オンコール／呼び出し回数（一晩あたり）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
合 計	2466	157 6.4%	787 31.9%	282 11.4%	91 3.7%	51 2.1%	34 1.4%	8 0.3%
特別養護老人ホーム	675	9 1.3%	301 44.6%	123 18.2%	14 2.1%	4 0.6%	1 0.1%	—
老人保健施設	782	32 4.1%	258 33.0%	92 11.8%	30 3.8%	11 1.4%	6 0.8%	2 0.3%
介護療養病床	728	84 11.5%	162 22.3%	51 7.0%	33 4.5%	27 3.7%	23 3.2%	5 0.7%
医療療養病床	281	32 11.4%	66 23.5%	16 5.7%	14 5.0%	9 3.2%	4 1.4%	1 0.4%

	7回	8回	9回	10回以上	無回答	平均：(単位：回) □	標準偏差：(単位：回) □
合 計	11 0.4%	8 0.3%	4 0.2%	32 1.3%	1001 40.6%	1.77	2.87
特別養護老人ホーム	—	—	—	2 0.3%	221 32.7%	1.31	2.04
老人保健施設	3 0.4%	2 0.3%	—	5 0.6%	341 43.6%	1.46	1.81
介護療養病床	4 0.5%	4 0.5%	3 0.4%	16 2.2%	316 43.4%	2.29	3.29
医療療養病床	4 1.4%	2 0.7%	1 0.4%	9 3.2%	123 43.8%	2.59	4.95

対応に要した時間について、特別養護老人ホームでは「～120 分未満」が 17.7%と最も多く、ついで「～180 分未満」が 12.8%となっており、対応に要した平均時間は 81.0 分であった。

老人保健施設については、「～120 分未満」が 15.3%と最も多く、ついで「～40 分未満」が 13.6%となっており、対応に要した平均時間は 65.8 分であった。

介護療養病床については、「～120 分未満」が 15.1%と最も多く、ついで「～40 分未満」が 8.5%となっており、対応に要した平均時間は 75.2 分であった。

医療療養病床については、「～120 分未満」が 19.6%と最も多く、ついで「～40 分未満」が 7.5%となっており、対応に要した平均時間は 86.1 分であった。

図表 61 対応に要した時間（合計／分）

	件数	0分	10分未満	20分未満	30分未満	40分未満	50分未満	60分未満
合 計	5242	55 1.0%	308 5.9%	457 8.7%	240 4.6%	553 10.5%	166 3.2%	68 1.3%
特別養護老人ホーム	2015	11 0.5%	242 12.0%	145 7.2%	66 3.3%	168 8.3%	38 1.9%	17 0.8%
老人保健施設	2218	31 1.4%	54 2.4%	260 11.7%	140 6.3%	302 13.6%	85 3.8%	35 1.6%
介護療養病床	728	11 1.5%	10 1.4%	41 5.6%	25 3.4%	62 8.5%	32 4.4%	12 1.6%
医療療養病床	281	2 0.7%	2 0.7%	11 3.9%	9 3.2%	21 7.5%	11 3.9%	4 1.4%

	120分未満	180分未満	240分未満	300分未満	300分以上	無回答	（単位均：分値） □	（単位標準偏差：差分） □
合 計	862 16.4%	496 9.5%	254 4.8%	83 1.6%	87 1.7%	1613 30.8%	74.02	84.04
特別養護老人ホーム	357 17.7%	257 12.8%	142 7.0%	35 1.7%	43 2.1%	494 24.5%	81.03	86.24
老人保健施設	340 15.3%	172 7.8%	85 3.8%	40 1.8%	29 1.3%	645 29.1%	65.81	76.8
介護療養病床	110 15.1%	47 6.5%	23 3.2%	6 0.8%	9 1.2%	340 46.7%	75.2	88.14
医療療養病床	55 19.6%	20 7.1%	4 1.4%	2 0.7%	6 2.1%	134 47.7%	86.08	111.33

オンコールで呼び出された際の利用者／患者の状態について、特別養護老人ホームでは「バイタルサインの低下」「看取り期の対応」が18.4%と最も多く、ついで「発熱」が18.0%であった。

老人保健施設については、「発熱」が21.6%と最も多く、ついで「バイタルサインの低下」が15.6%であった。

介護療養病床については、「バイタルサインの低下」が22.1%と最も多く、ついで「発熱」が16.3%であった。

医療療養病床については、「バイタルサインの低下」が20.9%と最も多く、ついで「呼吸障害」が14.8%であった。

図表 62 利用者／患者の状態（オンコール／呼び出された理由）（複数回答）

	件数	バイタルサインの低下	発熱	意識障害	頭痛	けいれん・麻痺	呼吸障害	誤嚥	胸痛	不整脈	嘔気・嘔吐
合 計	6380	1186 18.6%	1168 18.3%	594 9.3%	51 0.8%	117 1.8%	746 11.7%	119 1.9%	72 1.1%	131 2.1%	422 6.6%
特別養護老人ホーム	2015	371 18.4%	363 18.0%	183 9.1%	10 0.5%	38 1.9%	209 10.4%	32 1.6%	13 0.6%	11 0.5%	147 7.3%
老人保健施設	2218	347 15.6%	480 21.6%	213 9.6%	33 1.5%	57 2.6%	238 10.7%	52 2.3%	42 1.9%	39 1.8%	154 6.9%
介護療養病床	1564	346 22.1%	255 16.3%	147 9.4%	8 0.5%	13 0.8%	213 13.6%	23 1.5%	15 1.0%	54 3.5%	102 6.5%
医療療養病床	583	122 20.9%	70 12.0%	51 8.7%	-	9 1.5%	86 14.8%	12 2.1%	2 0.3%	27 4.6%	19 3.3%

	腹痛	便秘	尿量減少	点滴等の カテーテル	転倒・転落	不眠	せん妄	吐血・下血	看取り期の 対応	その他	無回答
合 計	141 2.2%	57 0.9%	226 3.5%	191 3.0%	429 6.7%	211 3.3%	136 2.1%	105 1.6%	759 11.9%	752 11.8%	1925 30.2%
特別養護老人ホーム	32 1.6%	13 0.6%	42 2.1%	55 2.7%	166 8.2%	9 0.4%	9 0.4%	33 1.6%	371 18.4%	279 13.8%	424 21.0%
老人保健施設	68 3.1%	34 1.5%	67 3.0%	79 3.6%	226 10.2%	101 4.6%	46 2.1%	41 1.8%	181 8.2%	297 13.4%	586 26.4%
介護療養病床	32 2.0%	8 0.5%	90 5.8%	45 2.9%	23 1.5%	77 4.9%	59 3.8%	20 1.3%	147 9.4%	132 8.4%	661 42.3%
医療療養病床	9 1.5%	2 0.3%	27 4.6%	12 2.1%	14 2.4%	24 4.1%	22 3.8%	11 1.9%	60 10.3%	44 7.5%	254 43.6%

処置内容について、特別養護老人ホームでは「医師への連絡・相談」が22.1%と最も多く、ついで「看取り・死亡診断」が16.3%、「他医療機関へ搬送」が15.1%であった。

老人保健施設については、「医師への連絡・相談」が29.4%と最も多く、ついで「診察」が15.9%、「輸液」が15.0%であった。

介護療養病床については、「医師への連絡・相談」が23.5%と最も多く、ついで「診察」が17.1%、「輸液」が14.8%であった。

医療療養病床については、「医師への連絡・相談」が25.7%と最も多く、ついで「酸素投与」が18.5%、「診察」が16.5%であった。

図表 63 処置内容等（複数回答）

	件数	診察	創を伴う処置（縫合）	創以外処置（縫合）	蘇生処置	看取り・死亡診断	抜去・留置されたカテーテルの再留	血液検査	心電図検査
合 計	6380	992 15.5%	22 0.3%	255 4.0%	125 2.0%	634 9.9%	146 2.3%	131 2.1%	159 2.5%
特別養護老人ホーム	2015	276 13.7%	9 0.4%	74 3.7%	35 1.7%	328 16.3%	45 2.2%	42 2.1%	33 1.6%
老人保健施設	2218	352 15.9%	5 0.2%	154 6.9%	37 1.7%	144 6.5%	57 2.6%	46 2.1%	55 2.5%
介護療養病床	1564	268 17.1%	3 0.2%	16 1.0%	32 2.0%	109 7.0%	33 2.1%	30 1.9%	58 3.7%
医療療養病床	583	96 16.5%	5 0.9%	11 1.9%	21 3.6%	53 9.1%	11 1.9%	13 2.2%	13 2.2%

	画像検査	酸素投与	投与薬（輸液を除く）	輸液	緊急手術を含む（内科）	医師談への連絡・相談	他送医療機関へ搬送	その他	無回答
合 計	92 1.4%	779 12.2%	564 8.8%	718 11.3%	3 0.0%	1616 25.3%	625 9.8%	1269 19.9%	2216 34.7%
特別養護老人ホーム	37 1.8%	176 8.7%	156 7.7%	85 4.2%	1 0.0%	446 22.1%	305 15.1%	497 24.7%	547 27.1%
老人保健施設	28 1.3%	251 11.3%	283 12.8%	332 15.0%	1 0.0%	652 29.4%	305 13.8%	433 19.5%	644 29.0%
介護療養病床	21 1.3%	244 15.6%	78 5.0%	232 14.8%	1 0.1%	368 23.5%	13 0.8%	242 15.5%	757 48.4%
医療療養病床	6 1.0%	108 18.5%	47 8.1%	69 11.8%	—	150 25.7%	2 0.3%	97 16.6%	268 46.0%

看取り期の対応の処置内容について、特別養護老人ホームでは「看取り・死亡診断」が79.0%と最も多く、ついで「医師への連絡・相談」が47.2%であった。

老人保健施設については、「看取り・死亡診断」が64.6%と最も多く、ついで「医師への連絡・相談」が45.3%であった。

介護療養病床については、「医師への連絡・相談」が59.9%と最も多く、ついで「看取り・死亡診断」が51.0%であった。

医療療養病床については、「看取り・死亡診断」「医師への連絡・相談」が63.3%と最も多く、ついで「診察」が33.3%であった。

図表 64 処置内容等（看取り期の対応）（複数回答）

	件数	診察	創を伴う処置（縫合）	創以外処置（縫合）	蘇生処置	看取り・死亡診断	抜去・置換されたカテーテルの再留	血液検査	心電図検査
合 計	759	183 24.1%	5 0.7%	15 2.0%	39 5.1%	523 68.9%	11 1.4%	16 2.1%	47 6.2%
特別養護老人ホーム	371	68 18.3%	1 0.3%	4 1.1%	12 3.2%	293 79.0%	5 1.3%	2 0.5%	9 2.4%
老人保健施設	181	42 23.2%	-	6 3.3%	8 4.4%	117 64.6%	4 2.2%	8 4.4%	8 4.4%
介護療養病床	147	53 36.1%	1 0.7%	2 1.4%	13 8.8%	75 51.0%	1 0.7%	2 1.4%	24 16.3%
医療療養病床	60	20 33.3%	3 5.0%	3 5.0%	6 10.0%	38 63.3%	1 1.7%	4 6.7%	6 10.0%

	画像検査	酸素投与	投薬（輸液を除く）	輸液	緊急救急手術を含む（内科）	医師・看護師への連絡・相談	他送医療機関へ搬送	その他	無回答
合 計	12 1.6%	172 22.7%	25 3.3%	99 13.0%	1 0.1%	383 50.5%	14 1.8%	158 20.8%	29 3.8%
特別養護老人ホーム	1 0.3%	42 11.3%	4 1.1%	6 1.6%	1 0.3%	175 47.2%	10 2.7%	74 19.9%	11 3.0%
老人保健施設	2 1.1%	36 19.9%	16 8.8%	50 27.6%	-	82 45.3%	3 1.7%	46 25.4%	4 2.2%
介護療養病床	5 3.4%	71 48.3%	-	32 21.8%	-	88 59.9%	1 0.7%	26 17.7%	9 6.1%
医療療養病床	4 6.7%	23 38.3%	5 8.3%	11 18.3%	-	38 63.3%	-	12 20.0%	5 8.3%

(4) 普段に担っている業務・役割

看護職員が普段に担っている業務・役割は以下の通りであった。特別養護老人ホームにおいては、「喀痰吸引・胃ろう等に関する介護職員への指導・助言」「介護職員向け研修の実施（講師など）」「他医療機関への連絡調整（主治医等）」などにおいて、他の施設類型よりも看護職員が担っている割合が高かった。また、介護療養病床と医療療養病床においては、「個別援助計画の作成、確認」について、看護職員が関与している割合が特別養護老人ホーム、老人保健施設よりも高かった。

図表 65 普段に担っている業務・役割（複数回答）

	特別養護老人ホーム (n=675)			老人保健施設 (n=782)			介護療養病床 (n=728)			医療療養病床 (n=281)		
	担当している	担当していない	無回答	担当している	担当していない	無回答	担当している	担当していない	無回答	担当している	担当していない	無回答
喀痰吸引・胃ろう等に関する介護職員への指導・助言	485 71.9%	156 23.1%	34 5.0%	345 44.1%	403 51.5%	34 4.3%	267 36.7%	434 59.6%	27 3.7%	103 36.7%	166 59.1%	12 4.3%
介護職員向け研修の実施（講師など）	412 61.0%	230 34.1%	33 4.9%	303 38.7%	446 57.0%	33 4.2%	155 21.3%	547 75.1%	26 3.6%	38 13.5%	229 81.5%	14 5.0%
他医療機関への連絡調整（主治医等）	555 82.2%	94 13.9%	26 3.9%	361 46.2%	390 49.9%	31 4.0%	199 27.3%	502 69.0%	27 3.7%	58 20.6%	207 73.7%	16 5.7%
リハ職（PT・OT・ST等）との利用者／患者に関する情報共有	328 48.6%	304 45.0%	43 6.4%	620 79.3%	132 16.9%	30 3.8%	445 61.1%	250 34.3%	33 4.5%	182 64.8%	85 30.2%	14 5.0%
ケアマネジャーとの相談、連携	520 77.0%	125 18.5%	30 4.4%	611 78.1%	145 18.5%	26 3.3%	510 70.1%	188 25.8%	30 4.1%	91 32.4%	176 62.6%	14 5.0%
ケアプランの作成、確認	156 23.1%	485 71.9%	34 5.0%	273 34.9%	478 61.1%	31 4.0%	305 41.9%	400 54.9%	23 3.2%	47 16.7%	222 79.0%	12 4.3%
個別援助計画の作成、確認	131 19.4%	498 73.8%	46 6.8%	216 27.6%	523 66.9%	43 5.5%	317 43.5%	375 51.5%	36 4.9%	122 43.4%	144 51.2%	15 5.3%
サービス担当者会議への参加	346 51.3%	290 43.0%	39 5.8%	430 55.0%	320 40.9%	32 4.1%	446 61.3%	257 35.3%	25 3.4%	72 25.6%	194 69.0%	15 5.3%
ケアカンファレンスへの参加	522 77.3%	124 18.4%	29 4.3%	608 77.7%	146 18.7%	28 3.6%	523 71.8%	177 24.3%	28 3.8%	148 52.7%	118 42.0%	15 5.3%
ケアカンファレンスの召集・連絡調整	57 8.4%	577 85.5%	41 6.1%	122 15.6%	629 80.4%	31 4.0%	211 29.0%	491 67.4%	26 3.6%	60 21.4%	207 73.7%	14 5.0%
ケアカンファレンスの司会進行	27 4.0%	612 90.7%	36 5.3%	103 13.2%	648 82.9%	31 4.0%	205 28.2%	494 67.9%	29 4.0%	66 23.5%	201 71.5%	14 5.0%
家族への連絡調整	385 57.0%	260 38.5%	30 4.4%	458 58.6%	300 38.4%	24 3.1%	440 60.4%	267 36.7%	21 2.9%	167 59.4%	101 35.9%	13 4.6%
利用者・家族からの相談対応／患者・家族からの相談対応	446 66.1%	198 29.3%	31 4.6%	534 68.3%	217 27.7%	31 4.0%	497 68.3%	209 28.7%	22 3.0%	198 70.5%	74 26.3%	9 3.2%

5. 看取りの実施状況

(1) 看取りに対する方針

看取りの方針について、特別養護老人ホームでは「看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立て看取りを行っている」が56.4%と最も多く、ついで「看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい」が16.6%であった。

老人保健施設については、「看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立て看取りを行っている」が51.6%と最も多く、ついで「看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい」が19.2%であった。

介護療養病床については、「看取り期に入った利用者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない」が58.1%と最も多く、ついで「看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立て看取りを行っている」が28.2%であった。

医療療養病床については、「看取り期に入った利用者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない」が52.8%と最も多く、ついで「看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立て看取りを行っている」が35.3%であった。

図表 66 貴施設の看取りの方針

	件数	看して 取、看 取り 個別 期別 にに を入 看行 つ取 たり て利 計い 用画 るを に立 対て	看し取 取看 取り 取り 期計 には 画入 行は つ立 たて て利 いて 用る い が に 、い 対看	看後い 取条 り件 はが 行整 つえ ば い対 ない を が考 え 今た	看もて 取対 い り 応 は す い （ 行 予 定 お は な い 、 （ 今 考 後 え	無 回 答
特別養護老人ホーム	711	401 56.4%	117 16.5%	118 16.6%	54 7.6%	21 3.0%
老人保健施設	803	414 51.6%	81 10.1%	154 19.2%	136 16.9%	18 2.2%
介護療養病床	747	211 28.2%	434 58.1%	43 5.8%	34 4.6%	25 3.3%
医療療養病床	303	107 35.3%	160 52.8%	12 4.0%	17 5.6%	7 2.3%

看取りに関する指針について、特別養護老人ホームでは「ある」が77.6%と最も多く、ついで「現在なく、作成の予定もない」が12.8%であった。

老人保健施設については、「ある」が49.8%と最も多く、ついで「現在なく、作成の予定もない」が31.0%であった。

介護療養病床については、「現在なく、作成の予定もない」が46.7%と最も多く、ついで「ある」が31.9%であった。医療療養病床については、「現在なく、作成の予定もない」が47.9%と最も多く、ついで「ある」が26.7%であった。

また、これを看取り介護加算／ターミナルケア加算の取得状況別にみると、特別養護老人ホームにおいては、加算を算定していない施設であっても62.6%で看取り指針があるとの回答であった。老人保健施設においては、ターミナルケア加算を算定している施設では看取り指針が「ある」と回答した割合が8割を占めていたが、算定していない施設では27.7%が「ない」との回答であり、「現在なく、作成の予定もない」施設も約半数を占めていた。

図表 67 貴施設の看取りに関する指針

	件数	ある	現在成 は中 ない あ が る 、	現 の 在 予 定 く も 、 な 作 い 成	無 回 答
特別養護老人ホーム	711	552 77.6%	46 6.5%	91 12.8%	22 3.1%
老人保健施設	803	400 49.8%	130 16.2%	249 31.0%	24 3.0%
介護療養病床	747	238 31.9%	133 17.8%	349 46.7%	27 3.6%
医療療養病床	303	81 26.7%	68 22.4%	145 47.9%	9 3.0%

図表 68 貴施設の看取りに関する指針/マニュアル（看取り介護加算/ターミナルケア加算の算定有無別）

<特別養護老人ホーム>

	件数	ある	現在成 は中 ない あ が る 、	現 の 在 予 定 く も 、 な 作 い 成	無 回 答
合 計	711	552 77.6%	46 6.5%	91 12.8%	22 3.1%
算定あり	289	288 99.7%	-	-	1 0.3%
算定なし	422	264 62.6%	46 10.9%	91 21.6%	21 5.0%

<老人保健施設>

	件数	ある	現在成 は中 ない あ が る 、	現 の 在 予 定 く も 、 な 作 い 成	無 回 答
合 計	803	400 49.8%	130 16.2%	249 31.0%	24 3.0%
算定あり	327	268 82.0%	40 12.2%	17 5.2%	2 0.6%
算定なし	476	132 27.7%	90 18.9%	232 48.7%	22 4.6%

利用者本人への看取り指針内容の説明、同意書の取得について、特別養護老人ホームでは「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が48.5%、「していない」が44.0%であった。老人保健施設については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が39.5%、「していない」が55.0%であった。

介護療養病床については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が28.6%、「していない」が66.5%であった。医療療養病床については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が30.0%、「していない」が67.3%であった。

看取り介護加算／ターミナルケア加算算定状況別にみると、特別養護老人ホーム、老人保健施設ともに、「看取り指針・看取り計画についての説明および同意の取得をしている」施設は6割を超えていた。

図表 69 利用者本人への看取り指針内容の説明、同意書の取得について

	件数	看、取 り明を 指おし 針よて にびい つ同 る意 ての	し て い な い	無 回 答
特別養護老人ホーム	711	345 48.5%	313 44.0%	53 7.5%
老人保健施設	803	317 39.5%	442 55.0%	44 5.5%
介護療養病床	747	214 28.6%	497 66.5%	36 4.8%
医療療養病床	303	91 30.0%	204 67.3%	8 2.6%

図表 70 利用者本人への看取り指針／ターミナルケアマニュアルの内容の説明、同意書の取得について（看取り介護加算／ターミナルケア加算の算定有無別）

<特別養護老人ホーム>

	件数	看、取 り明を 指おし 針よて にびい つ同 る意 ての	し て い な い	無 回 答
合 計	711	345 48.5%	313 44.0%	53 7.5%
算定あり	289	180 62.3%	102 35.3%	7 2.4%
算定なし	422	165 39.1%	211 50.0%	46 10.9%

<老人保健施設>

	件数	看、取 り明を 指おし 針よて にびい つ同 る意 ての	し て い な い	無 回 答
合 計	803	317 39.5%	442 55.0%	44 5.5%
算定あり	327	207 63.3%	118 36.1%	2 0.6%
算定なし	476	110 23.1%	324 68.1%	42 8.8%

利用者本人への看取り指針内容の説明、同意書の取得時期について、特別養護老人ホームでは「入所時」が60.0%と最も多く、ついで「急性憎悪時」が57.7%であった。

老人保健施設については、「急性憎悪時」が76.0%と最も多く、ついで「入所時」が23.0%であった。

介護療養病床については、「急性憎悪時」が59.8%と最も多く、ついで「入院時」が52.3%であった。

医療療養病床については、「急性憎悪時」が62.6%と最も多く、ついで「入院時」が61.5%であった。

図表 71 利用者本人への看取り指針内容の説明、同意書の取得時期について（複数回答）

	件数	入所・入院時	急性増悪時	特に定めていない	無回答
特別養護老人ホーム	345	207 60.0%	199 57.7%	47 13.6%	7 2.0%
老人保健施設	317	73 23.0%	241 76.0%	58 18.3%	—
介護療養病床	214	112 52.3%	128 59.8%	35 16.4%	—
医療療養病床	91	56 61.5%	57 62.6%	11 12.1%	2 2.2%

利用者の家族への看取り指針内容の説明、同意書の取得について、特別養護老人ホームでは「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が74.3%、「していない」が19.5%であった。

老人保健施設については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が60.1%、「していない」が34.6%であった。

介護療養病床については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が55.7%、「していない」が39.8%であった。

医療療養病床については、「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」が57.8%、「していない」が38.6%であった。

図表 72 利用者の家族への看取り指針内容の説明、同意書の取得について

	件数	看、取 り説明 を指し 針によ ってい つ同意 するの	して いない	無 回 答
特別養護老人ホーム	711	528 74.3%	139 19.5%	44 6.2%
老人保健施設	803	483 60.1%	278 34.6%	42 5.2%
介護療養病床	747	416 55.7%	297 39.8%	34 4.6%
医療療養病床	303	175 57.8%	117 38.6%	11 3.6%

看取り介護加算／ターミナルケア加算算定状況別にみると、特別養護老人ホームでは算定していない施設においても6割未満で「看取り指針について、説明および同意の取得をしている」との回答であったが、老人保健施設では算定していない施設におけるその割合は34.0%であった。

図表 73 利用者家族への看取り指針／ターミナルケアマニュアルの内容の説明、同意書の取得について（看取り介護加算／ターミナルケア加算の算定有無別）

＜特別養護老人ホーム＞

＜老人保健施設＞

	件数	看、取 取説明を 指針おし てにびい つ同意 意の	して いない	無 回 答
合 計	711	528 74.3%	139 19.5%	44 6.2%
算定あり	289	287 99.3%	2 0.7%	-
算定なし	422	241 57.1%	137 32.5%	44 10.4%

	件数	看、取 取説明を 指針おし てにびい つ同意 意の	して いない	無 回 答
合 計	803	483 60.1%	278 34.6%	42 5.2%
算定あり	327	321 98.2%	4 1.2%	2 0.6%
算定なし	476	162 34.0%	274 57.6%	40 8.4%

利用者の家族への看取り指針内容の説明、同意書の取得時期について、特別養護老人ホームでは「急性憎悪時」が67.8%と最も多く、ついで「入所時」が61.4%であった。

老人保健施設については、「急性憎悪時」が82.8%と最も多く、ついで「入所時」が22.2%であった。

介護療養病床については、「急性憎悪時」が66.8%と最も多く、ついで「入院時」が57.5%であった。

医療療養病床については、「入院時」が66.3%と最も多く、ついで「急性憎悪時」が64.6%であった。

図表 74 利用者の家族への看取り指針内容の説明、同意書の取得時期について（複数回答）

	件数	入 所・ 入院 時	急 性 増 悪 時	特 に 定 め て い な い	無 回 答
特別養護老人ホーム	528	324 61.4%	358 67.8%	35 6.6%	2 0.4%
老人保健施設	483	107 22.2%	400 82.8%	63 13.0%	1 0.2%
介護療養病床	416	239 57.5%	278 66.8%	34 8.2%	-
医療療養病床	175	116 66.3%	113 64.6%	15 8.6%	-

（２）看取りに対する希望

利用者本人の看取りに関する希望について、特別養護老人ホームでは「希望を聞いていない」が37.8%と最も多く、ついで「入所時に希望を聞いている」が26.6%であった。

老人保健施設については、「希望を聞いていない」が50.8%と最も多く、ついで「病状が悪化した際に希望を聞いている」が25.8%であった。

介護療養病床については、「希望を聞いていない」が46.9%と最も多く、ついで「病状が悪化した際に希望を聞いている」が17.5%であった。

医療療養病床については、「希望を聞いていない」が48.8%と最も多く、ついで「入院時に希望を聞いている」が19.1%であった。

図表 75 利用者本人の看取りに関する希望

	件数	入所希望・を聞いている	病状に希望を聞いている	希望を聞いていない	その他	無回答
特別養護老人ホーム	711	189 26.6%	114 16.0%	269 37.8%	61 8.6%	78 11.0%
老人保健施設	803	77 9.6%	207 25.8%	408 50.8%	50 6.2%	61 7.6%
介護療養病床	747	126 16.9%	131 17.5%	350 46.9%	95 12.7%	45 6.0%
医療療養病床	303	58 19.1%	45 14.9%	148 48.8%	39 12.9%	13 4.3%

利用者本人の看取りに関する希望の把握の仕方について、特別養護老人ホームでは「面談」が82.8%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が19.1%であった。

老人保健施設については、「面談」が95.1%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が8.8%であった。

介護療養病床については、「面談」が93.8%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が4.7%であった。

医療療養病床については、「面談」が85.4%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が7.8%であった。

図表 76 利用者本人の看取りに関する希望の把握の仕方について（複数回答）

	件数	面談	アンケート等への記入	その他	無回答
特別養護老人ホーム	303	251 82.8%	58 19.1%	11 3.6%	20 6.6%
老人保健施設	284	270 95.1%	25 8.8%	6 2.1%	4 1.4%
介護療養病床	257	241 93.8%	12 4.7%	5 1.9%	10 3.9%
医療療養病床	103	88 85.4%	8 7.8%	5 4.9%	8 7.8%

利用者の家族の看取りに関する希望について、特別養護老人ホームでは「入所時に希望を聞いている」が36.3%と最も多く、ついで「病状が悪化した際に希望を聞いている」が36.1%であった。

老人保健施設については、「病状が悪化した際に希望を聞いている」が48.4%と最も多く、ついで「希望を聞いていない」が22.0%であった。

介護療養病床については、「病状が悪化した際に希望を聞いている」が42.8%と最も多く、ついで「入院時に希望を聞いている」が39.5%であった。

医療療養病床については、「入院時に希望を聞いている」が45.9%と最も多く、ついで「病状が悪化した際に希望を聞いている」が38.6%であった。

図表 77 利用者の家族の看取りに関する希望

	件数	入所希望・入院時にい	病状に悪化を希望し聞きたい	希望を聞いていない	その他	無回答
特別養護老人ホーム	711	258 36.3%	257 36.1%	74 10.4%	19 2.7%	103 14.5%
老人保健施設	803	134 16.7%	389 48.4%	177 22.0%	21 2.6%	82 10.2%
介護療養病床	747	295 39.5%	320 42.8%	43 5.8%	23 3.1%	66 8.8%
医療療養病床	303	139 45.9%	117 38.6%	24 7.9%	8 2.6%	15 5.0%

利用者家族の看取りに関する希望の把握の仕方について、特別養護老人ホームでは「面談」が86.2%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が19.4%であった。

老人保健施設については、「面談」が96.0%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が7.6%であった。

介護療養病床については、「面談」が94.5%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が5.9%であった。

医療療養病床については、「面談」が91.0%と最も多く、ついで「アンケート等への記入」が5.5%であった。

図表 78 利用者の家族の看取りに関する希望の把握の仕方について（複数回答）

	件数	面談	アンケート等への記入	その他	無回答
特別養護老人ホーム	515	444 86.2%	100 19.4%	13 2.5%	26 5.0%
老人保健施設	523	502 96.0%	40 7.6%	9 1.7%	9 1.7%
介護療養病床	615	581 94.5%	36 5.9%	11 1.8%	21 3.4%
医療療養病床	256	233 91.0%	14 5.5%	4 1.6%	17 6.6%

(3) 看取りに関与している職種

看取りに関与している職種は以下のとおりであった。

特別養護老人ホームでは、「看取り計画作成（連絡・調整含む）」に関与している職種として介護支援専門員、看護職員、生活相談員を挙げる施設が半数以上を占めていた。また、看取りの各対応いずれについても看護職員が関与している施設の割合が高く、特に「看取り期の判断に関する情報共有」「死後の処置」については75%以上の施設で看護職員が関与していた。

図表 79 看取りの各対応に関与している職種
 <特別養護老人ホーム>（看取りを実施している施設）

	件数	施設長	医師	看護職員	介護職員	生活相談員	介護支援専門員	その他	無回答
01 看取り指針の作成	518	381 73.6%	251 48.5%	393 75.9%	290 56.0%	367 70.8%	330 63.7%	89 17.2%	60 11.6%
02 本人及び家族への説明	518	107 20.7%	362 69.9%	419 80.9%	157 30.3%	409 79.0%	311 60.0%	29 5.6%	10 1.9%
03 看取り期の判断に関する情報共有	518	301 58.1%	437 84.4%	489 94.4%	447 86.3%	456 88.0%	439 84.7%	142 27.4%	18 3.5%
04 看取り期の家族への説明、同意取得	518	110 21.2%	360 69.5%	423 81.7%	174 33.6%	416 80.3%	317 61.2%	29 5.6%	12 2.3%
05 看取りカンファレンスの開催	518	162 31.3%	207 40.0%	450 86.9%	434 83.8%	418 80.7%	435 84.0%	137 26.4%	53 10.2%
06 看取り計画作成（連絡・調整含む）	518	85 16.4%	124 23.9%	360 69.5%	321 62.0%	341 65.8%	421 81.3%	88 17.0%	64 12.4%
07 看取り計画の見直し	518	89 17.2%	136 26.3%	378 73.0%	341 65.8%	327 63.1%	407 78.6%	93 18.0%	80 15.4%
08 亡くなる際の付き添い	518	70 13.5%	69 13.3%	419 80.9%	445 85.9%	252 48.6%	202 39.0%	91 17.6%	34 6.6%
09 死亡直前の家族への連絡	518	39 7.5%	35 6.8%	399 77.0%	279 53.9%	369 71.2%	222 42.9%	17 3.3%	10 1.9%
10 死亡直前・直後の家族へのサポート	518	111 21.4%	117 22.6%	432 83.4%	385 74.3%	430 83.0%	318 61.4%	35 6.8%	14 2.7%
11 死後の処置	518	15 2.9%	35 6.8%	492 95.0%	427 82.4%	97 18.7%	83 16.0%	18 3.5%	15 2.9%
12 施設内お見送り	518	441 85.1%	98 18.9%	490 94.6%	490 94.6%	474 91.5%	449 86.7%	218 42.1%	18 3.5%
13 家族へのグリーフケア	518	110 21.2%	40 7.7%	303 58.5%	266 51.4%	351 67.8%	284 54.8%	35 6.8%	117 22.6%
14 看取りの評価・振り返り	518	182 35.1%	78 15.1%	419 80.9%	411 79.3%	391 75.5%	389 75.1%	107 20.7%	82 15.8%

老人保健施設では、ほぼすべての項目で看護職員の関わりが半数を超えていた。「看取り期の判断に関する情報共有」に参与している職種として介護支援専門員、看護職員、支援相談員を挙げる施設が半数以上を占めていた。

＜老人保健施設＞（看取りを実施している施設）

	件数	施設長	医師	看護職員	介護職員	支援相談員	介護支援専門員	その他	無回答
01 看取りに関するガイドライン等の作成	495	289 58.4%	289 58.4%	386 78.0%	250 50.5%	274 55.4%	260 52.5%	98 19.8%	68 13.7%
02 本人及び家族への説明	495	272 54.9%	383 77.4%	391 79.0%	115 23.2%	274 55.4%	255 51.5%	26 5.3%	11 2.2%
03 看取り期の判断に関する情報共有	495	304 61.4%	391 79.0%	453 91.5%	397 80.2%	367 74.1%	379 76.6%	148 29.9%	22 4.4%
04 看取り期の家族への説明、同意取得	495	252 50.9%	370 74.7%	394 79.6%	118 23.8%	275 55.6%	271 54.7%	27 5.5%	16 3.2%
05 看取りカンファレンスの開催	495	226 45.7%	316 63.8%	429 86.7%	389 78.6%	356 71.9%	395 79.8%	166 33.5%	41 8.3%
06 看取り計画作成（連絡・調整含む）	495	147 29.7%	202 40.8%	364 73.5%	296 59.8%	270 54.5%	383 77.4%	100 20.2%	50 10.1%
07 看取り計画の見直し	495	163 32.9%	224 45.3%	389 78.6%	323 65.3%	245 49.5%	373 75.4%	113 22.8%	57 11.5%
08 亡くなる際の付き添い	495	105 21.2%	182 36.8%	434 87.7%	381 77.0%	106 21.4%	110 22.2%	32 6.5%	42 8.5%
09 死亡直前の家族への連絡	495	71 14.3%	102 20.6%	448 90.5%	202 40.8%	177 35.8%	130 26.3%	8 1.6%	17 3.4%
10 死亡直前・直後の家族へのサポート	495	119 24.0%	181 36.6%	437 88.3%	329 66.5%	278 56.2%	235 47.5%	41 8.3%	24 4.8%
11 死後の処置	495	24 4.8%	39 7.9%	472 95.4%	360 72.7%	25 5.1%	28 5.7%	5 1.0%	21 4.2%
12 施設内お見送り	495	281 56.8%	331 66.9%	466 94.1%	452 91.3%	396 80.0%	380 76.8%	197 39.8%	21 4.2%
13 家族へのグリーフケア	495	81 16.4%	95 19.2%	310 62.6%	230 46.5%	248 50.1%	229 46.3%	35 7.1%	120 24.2%
14 看取りの評価・振り返り	495	154 31.1%	201 40.6%	375 75.8%	340 68.7%	283 57.2%	319 64.4%	115 23.2%	97 19.6%

介護療養病床では、他の施設類型と比較し、医師の関与と看護職員の関与度合いが高くなっていた。特に、「本人及び家族への説明」「看取り期の家族への説明、同意取得」については、医師の関与が最も高く、その他の項目では看護職員の関与が高くなっており、医療職が中心となって看取りにかかわっていることが示唆された。

また、介護職員については「看取り期の判断に関する情報共有」「死後の処置」「院内お見送り」の項目において、関与割合が半数を超えていた。

＜介護療養病床＞（看取りを実施している施設）

	件数	医師	看護職員	介護職員	支援相談員	介護支援専門員	その他	無回答
01 看取りに関するガイドライン等の作成	645	222 34.4%	299 46.4%	119 18.4%	51 7.9%	153 23.7%	33 5.1%	315 48.8%
02 本人及び家族への説明	645	606 94.0%	482 74.7%	44 6.8%	68 10.5%	207 32.1%	8 1.2%	20 3.1%
03 看取り期の判断に関する情報共有	645	531 82.3%	566 87.8%	405 62.8%	122 18.9%	342 53.0%	57 8.8%	59 9.1%
04 看取り期の家族への説明、同意取得	645	578 89.6%	443 68.7%	38 5.9%	47 7.3%	163 25.3%	5 0.8%	47 7.3%
05 看取りカンファレンスの開催	645	280 43.4%	393 60.9%	282 43.7%	87 13.5%	266 41.2%	50 7.8%	237 36.7%
06 看取り計画作成（連絡・調整含む）	645	181 28.1%	342 53.0%	141 21.9%	63 9.8%	215 33.3%	21 3.3%	277 42.9%
07 看取り計画の見直し	645	177 27.4%	312 48.4%	130 20.2%	55 8.5%	192 29.8%	21 3.3%	309 47.9%
08 亡くなる際の付き添い	645	279 43.3%	521 80.8%	274 42.5%	15 2.3%	90 14.0%	35 5.4%	99 15.3%
09 死亡直前の家族への連絡	645	219 34.0%	615 95.3%	149 23.1%	26 4.0%	105 16.3%	14 2.2%	19 2.9%
10 死亡直前・直後の家族へのサポート	645	293 45.4%	597 92.6%	283 43.9%	63 9.8%	194 30.1%	17 2.6%	38 5.9%
11 死後の処置	645	48 7.4%	626 97.1%	464 71.9%	-	36 5.6%	6 0.9%	18 2.8%
12 院内お見送り	645	554 85.9%	625 96.9%	551 85.4%	136 21.1%	316 49.0%	124 19.2%	16 2.5%
13 家族へのグリーフケア	645	138 21.4%	358 55.5%	174 27.0%	54 8.4%	156 24.2%	16 2.5%	261 40.5%
14 看取りの評価・振り返り	645	196 30.4%	375 58.1%	249 38.6%	56 8.7%	206 31.9%	29 4.5%	256 39.7%

（４）看取り介護を行う上での課題

看取り介護を行う上での課題について、特別養護老人ホームでは「看取り介護を行うことで職員の精神的負担が増す」が 37.4%と最も多く、ついで「研修等を通じた知識・技術の習得が不足している」が 36.7%であった。

老人保健施設については、「施設全体として看取り介護の経験が不足している」が 41.1%と最も多く、ついで「研修等を通じた知識・技術の習得が不足している」が 40.1%であった。

介護療養病床については、「看取り介護のために利用できる個室がない」が 40.0%と最も多く、ついで「看取り介護を行うための夜間の体制が十分でない」が 35.3%であった。

医療療養病床については、「看取り介護を行うための夜間の体制が十分でない」が 34.3%と最も多く、ついで「研修等を通じた知識・技術の習得が不足している」が 33.3%であった。

図表 80 看取り介護を行う上での課題（複数回答）

	件数	施設極めの方針として	施設が医師の（し）に医師による（配）対（置）応	医師が療養機し関いとの連携	施設が内職のし職員の連	看取りが利ない用い介で護きのるた個室	利観備用察がするをるい医療めのに設	施設処内職でが行少ない医	看た不取りのし介看護を職行員うが	看た不取りのし介看護を職行員うが
特別養護老人ホーム	711	49 6.9%	175 24.6%	160 22.5%	55 7.7%	124 17.4%	149 21.0%	209 29.4%	175 24.6%	144 20.3%
老人保健施設	803	186 23.2%	186 23.2%	117 14.6%	60 7.5%	315 39.2%	212 26.4%	222 27.6%	245 30.5%	179 22.3%
介護療養病床	747	106 14.2%	68 9.1%	52 7.0%	16 2.1%	299 40.0%	65 8.7%	122 16.3%	188 25.2%	141 18.9%
医療療養病床	303	42 13.9%	40 13.2%	27 8.9%	4 1.3%	98 32.3%	29 9.6%	53 17.5%	84 27.7%	59 19.5%

	看たが取め十の分介夜で護間なをの行体う制	施設取不設り足全介し体護てとのいし経るて験看が	看この取と負担介職が護員増をのす行精う神	看事取務り負担護がに増係する	研識不修・足等技しを術て通のいじ習るた得知が	利族り用が介者施設をび内望そのまの看な家取い	利連ない者がの十家族にとのれ	その他	無回答
特別養護老人ホーム	239 33.6%	213 30.0%	266 37.4%	78 11.0%	261 36.7%	31 4.4%	37 5.2%	41 5.8%	91 12.8%
老人保健施設	289 36.0%	330 41.1%	283 35.2%	68 8.5%	322 40.1%	53 6.6%	47 5.9%	22 2.7%	83 10.3%
介護療養病床	264 35.3%	149 19.9%	143 19.1%	24 3.2%	257 34.4%	13 1.7%	40 5.4%	43 5.8%	112 15.0%
医療療養病床	104 34.3%	65 21.5%	66 21.8%	11 3.6%	101 33.3%	8 2.6%	22 7.3%	30 9.9%	29 9.6%

特別養護老人ホームにおいて、看取り介護加算の算定状況別に看取り介護を行う上での課題をみると、看取り介護加算を算定していない施設では概ねどの項目においても割合が高くなっており、特に「施設の医師（配置医師）による対応が難しい」「看取り介護を行うための看護職員が不足している」「施設全体として看取り介護の経験が不足している」などで、10%以上の差が見られた。一方、「看取り介護を行うことで職員の精神的負担が増す」「看取り介護に係る事務負担が増す」については、算定ありの施設の方が高い割合となっていた。

図表 81 看取り介護を行う上での課題（複数回答）

看取り介護加算算定状況別：特別養護老人ホーム

	件数	施設極めの方針として	施設医師の医師による配置	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携	施設医師の医師による連携
合計	711	49 6.9%	175 24.6%	160 22.5%	55 7.7%	124 17.4%	149 21.0%	209 29.4%	175 24.6%	144 20.3%
算定あり	289	3 1.0%	37 12.8%	48 16.6%	14 4.8%	36 12.5%	50 17.3%	78 27.0%	46 15.9%	48 16.6%
算定なし	422	46 10.9%	138 32.7%	112 26.5%	41 9.7%	88 20.9%	99 23.5%	131 31.0%	129 30.6%	96 22.7%

	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題	看取り介護を行う上での課題
合計	239 33.6%	213 30.0%	266 37.4%	78 11.0%	261 36.7%	31 4.4%	37 5.2%	41 5.8%	91 12.8%
算定あり	85 29.4%	60 20.8%	120 41.5%	37 12.8%	90 31.1%	9 3.1%	20 6.9%	28 9.7%	31 10.7%
算定なし	154 36.5%	153 36.3%	146 34.6%	41 9.7%	171 40.5%	22 5.2%	17 4.0%	13 3.1%	60 14.2%

老人保健施設において、ターミナルケア加算の算定状況別に看取り介護を行う上での課題をみると、ターミナルケア加算を算定していない施設では、概ねどの項目においても割合が高くなっており、特に「施設の方針として積極的でない」「施設の医師による対応が難しい」「利用者を医療的に観察するための設備がない」「ターミナルケアを行うための看護職員が不足している」「ターミナルケアを行うための夜間の体制が十分ではない」「施設全体としてターミナルケアの経験が不足している」などで、10%以上の差が見られた。一方、「看取り介護を行うことで職員の精神的負担が増す」については、算定ありの施設の方がやや高い割合となっていた。

図表 82 看取り介護を行う上での課題（複数回答）

ターミナルケア加算算定状況別：老人保健施設

	件数	施設が積極的の方針を打ちしている	施設が医師による対応が難しい	医師が医療機関との連携が難しい	施設が内職員の連携が難しい	看取りできる個室が足りない	利用者が利用しやすい設備がない	施設が内職員の少ない	利用者がみた不足の看護職を雇う	利用者がみた不足の介護職を雇う
合 計	803	186 23.2%	186 23.2%	117 14.6%	60 7.5%	315 39.2%	212 26.4%	222 27.6%	245 30.5%	179 22.3%
算定あり	327	15 4.6%	30 9.2%	31 9.5%	23 7.0%	119 36.4%	63 19.3%	67 20.5%	76 23.2%	60 18.3%
算定なし	476	171 35.9%	156 32.8%	86 18.1%	37 7.8%	196 41.2%	149 31.3%	155 32.6%	169 35.5%	119 25.0%

	利用者がみた不足の看護職を雇う	施設がみた不足の看護職を雇う	利用者がみた不足の介護職を雇う	施設がみた不足の介護職を雇う	利用者がみた不足の看護職を雇う	施設がみた不足の看護職を雇う	利用者がみた不足の看護職を雇う	施設がみた不足の看護職を雇う	その他	無回答
合 計	289 36.0%	330 41.1%	283 35.2%	68 8.5%	322 40.1%	53 6.6%	47 5.9%	22 2.7%	83 10.3%	
算定あり	84 25.7%	94 28.7%	117 35.8%	20 6.1%	119 36.4%	17 5.2%	11 3.4%	10 3.1%	33 10.1%	
算定なし	205 43.1%	236 49.6%	166 34.9%	48 10.1%	203 42.6%	36 7.6%	36 7.6%	12 2.5%	50 10.5%	

（５）看取り介護の実施状況（2014 年 4 月～6 月）

死亡退所者のうち、個別の看取り計画を作成した利用者の割合についてみると、特別養護老人ホームでは平均が 31.3％であり、全ての死亡退所者に看取り計画を作成した施設は 8.3％であった。老人保健施設では個別のターミナルケア計画を作成した利用者割合の平均は 56.4％であり、全ての死亡退所者に看取り計画を作成した施設は 20.2％であった。

図表 83 死亡退所者に占める個別の看取り計画を作成した利用者の割合

	件数	死亡退所者 ・退院施設	0 %	2 0 %未満	4 0 %未満	6 0 %未満	8 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	（単位：％） 平均値 □	標準偏差
特別養護老人ホーム	711	200 28.1%	220 30.9%	4 0.6%	41 5.8%	47 6.6%	40 5.6%	14 2.0%	59 8.3%	86 12.1%	31.3	37.7
老人保健施設	803	392 48.8%	129 16.1%	1 0.1%	17 2.1%	35 4.4%	34 4.2%	17 2.1%	162 20.2%	16 2.0%	56.4	43.8
介護療養病床	747	267 35.7%	280 37.5%	1 0.1%	7 0.9%	8 1.1%	17 2.3%	14 1.9%	124 16.6%	29 3.9%	34.2	45.4
医療療養病床	303	41 13.5%	161 53.1%	2 0.7%	6 2.0%	5 1.7%	10 3.3%	15 5.0%	52 17.2%	11 3.6%	30.6	43.2

施設で最期まで看取った人数については、特別養護老人ホームでは平均 1.8 人、老人保健施設では平均 1.4 人、介護療養病床では平均 3.5 人、医療療養病床では平均 7.1 人であった。

図表 84 施設で最期まで看取った人数

	件数	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
特別養護老人ホーム	711	1.81	2.08
老人保健施設	803	1.37	2.15
介護療養病床	747	3.47	6.14
医療療養病床	303	7.09	8.79

最期に医療機関に搬送した人数については、特別養護老人ホームでは平均 0.7 人、老人保健施設では平均 0.8 人、介護療養病床および医療療養病床では平均 0.3 人であった。

図表 85 最期に医療機関に搬送した人数

	件 数	平(単 位 均: 人 値) □	標(単 準 位 偏: 差 人) □
特別養護老人ホーム	711	0.69	1.38
老人保健施設	803	0.76	2.19
介護療養病床	747	0.33	1.33
医療療養病床	303	0.28	1.29

うち搬送後 1 週間以内に死亡した人数については、特別養護老人ホームでは平均 1.0 人、老人保健施設では平均 0.8 人、介護療養病床では平均 0.6 人、医療療養病床では平均 0.7 人であった。

図表 86 うち搬送後 1 週間以内に死亡した人数

	件 数	平(単 位 均: 人 値) □	標(単 準 位 偏: 差 人) □
特別養護老人ホーム	320	0.98	0.99
老人保健施設	288	0.81	0.91
介護療養病床	199	0.61	0.9
医療療養病床	91	0.68	1.2

医療機関への搬送を決定した理由について、特別養護老人ホームでは「家族・親族の希望」が 37.0%と最も多く、ついで「施設では行えない処置が必要となったため」が 32.8%であった。

老人保健施設については、「施設では行えない処置が必要となったため」が 37.9%と最も多く、ついで「家族・親族の希望」が 36.2%であった。

介護療養病床については、「家族・親族の希望」が 33.6%と最も多く、ついで「施設では行えない処置が必要となったため」が 30.3%であった。

医療療養病床については、「家族・親族の希望」が 32.3%と最も多く、ついで「施設では行えない処置が必要となったため」が 29.4%であった。

図表 87 医療機関への搬送を決定した理由（複数回答）

	件数	家族・親族の希望	施設で行えないためケア	検査が必要となつた検査	施設で行えないため処	施設（薬を除外）のため投	麻薬による疼痛管理	緊急手術が必要とな	施設で対応が判断でき	その他	無回答
特別養護老人ホーム	711	263 37.0%	153 21.5%	158 22.2%	233 32.8%	57 8.0%	21 3.0%	33 4.6%	58 8.2%	30 4.2%	268 37.7%
老人保健施設	803	291 36.2%	218 27.1%	261 32.5%	304 37.9%	121 15.1%	33 4.1%	59 7.3%	73 9.1%	18 2.2%	271 33.7%
介護療養病床	747	251 33.6%	101 13.5%	186 24.9%	226 30.3%	46 6.2%	19 2.5%	133 17.8%	34 4.6%	16 2.1%	333 44.6%
医療療養病床	303	98 32.3%	36 11.9%	61 20.1%	89 29.4%	16 5.3%	5 1.7%	64 21.1%	13 4.3%	7 2.3%	129 42.6%

医療機関への搬送を決定した際における、利用者の状態の変化の有無について、特別養護老人ホームでは「主たる疾患・症状が悪化した」が 31.9%と最も多く、ついで「合併症の発生や想定外の事態が生じた」が 16.6%であった。

老人保健施設については、「主たる疾患・症状が悪化した」が 34.4%と最も多く、ついで「合併症の発生や想定外の事態が生じた」が 21.5%であった。

介護療養病床については、「合併症の発生や想定外の事態が生じた」が 21.4%と最も多く、ついで「主たる疾患・症状が悪化した」が 20.1%であった。

医療療養病床については、「主たる疾患・症状が悪化した」が 23.8%と最も多く、ついで「合併症の発生や想定外の事態が生じた」が 22.8%であった。

図表 88 医療機関への搬送を決定した際における、利用者の状態の変化の有無

	件数	それ化はでなかつた	主たる悪疾・患した症	合併症の発生や	その他	無回答
特別養護老人ホーム	711	48 6.8%	227 31.9%	118 16.6%	19 2.7%	299 42.1%
老人保健施設	803	41 5.1%	276 34.4%	173 21.5%	19 2.4%	294 36.6%
介護療養病床	747	53 7.1%	150 20.1%	160 21.4%	16 2.1%	368 49.3%
医療療養病床	303	14 4.6%	72 23.8%	69 22.8%	9 3.0%	139 45.9%

医療機関への搬送の際にみられた症状・状態について、特別養護老人ホームでは「バイタルサインの低下」が38.1%と最も多く、ついで「意識障害」が27.8%であった。

老人保健施設については、「バイタルサインの低下」が38.2%と最も多く、ついで「意識障害」が31.1%であった。

介護療養病床については、「バイタルサインの低下」が24.1%と最も多く、ついで「意識障害」が23.3%であった。

医療療養病床については、「バイタルサインの低下」が21.5%と最も多く、ついで「意識障害」が19.1%であった。

図表 89 医療機関への搬送の際にみられた症状・状態（複数回答）

	件数	バイタルサインの低下	発熱	意識障害	頭痛	けいれん・麻痺	呼吸障害	誤嚥	胸痛	不整脈	嘔気・嘔吐
特別養護老人ホーム	711	271 38.1%	177 24.9%	198 27.8%	6 0.8%	45 6.3%	164 23.1%	56 7.9%	23 3.2%	35 4.9%	56 7.9%
老人保健施設	803	307 38.2%	209 26.0%	250 31.1%	7 0.9%	84 10.5%	210 26.2%	54 6.7%	36 4.5%	39 4.9%	70 8.7%
介護療養病床	747	180 24.1%	111 14.9%	174 23.3%	9 1.2%	66 8.8%	147 19.7%	34 4.6%	44 5.9%	46 6.2%	35 4.7%
医療療養病床	303	65 21.5%	32 10.6%	58 19.1%	3 1.0%	22 7.3%	53 17.5%	4 1.3%	24 7.9%	24 7.9%	8 2.6%

	腹痛	便秘	尿量減少	点滴等の カテーテル	転倒・転落	不眠	せん妄	吐血・下血	その他	無回答
特別養護老人ホーム	28 3.9%	5 0.7%	39 5.5%	4 0.6%	28 3.9%	4 0.6%	5 0.7%	41 5.8%	55 7.7%	282 39.7%
老人保健施設	44 5.5%	10 1.2%	61 7.6%	15 1.9%	66 8.2%	3 0.4%	9 1.1%	65 8.1%	86 10.7%	277 34.5%
介護療養病床	46 6.2%	6 0.8%	35 4.7%	8 1.1%	48 6.4%	3 0.4%	6 0.8%	81 10.8%	61 8.2%	361 48.3%
医療療養病床	22 7.3%	4 1.3%	16 5.3%	4 1.3%	21 6.9%	1 0.3%	4 1.3%	43 14.2%	33 10.9%	138 45.5%

（６）看取りに対する今後の意向

医師の看取りに対する取り組み姿勢について、特別養護老人ホームでは「積極的」が 32.5%と最も多く、ついで「どちらでもない」が 23.5%であった。老人保健施設については、「どちらでもない」が 26.2%と最も多く、ついで「積極的」が 24.5%であった。介護療養病床については、「積極的」が 29.9%と最も多く、ついで「どちらでもない」が 29.0%であった。医療療養病床については、「積極的」が 30.8%と最も多く、ついで「どちらでもない」が 28.9%であった。

看護職員の看取りに対する取り組み姿勢について、特別養護老人ホームでは「積極的」が 32.1%と最も多く、ついで「やや積極的」が 27.0%であった。老人保健施設については、「どちらでもない」が 26.9%と最も多く、ついで「やや積極的」が 24.6%であった。介護療養病床については、「どちらでもない」が 39.0%と最も多く、ついで「やや積極的」が 25.0%であった。医療療養病床については、「どちらでもない」が 40.2%と最も多く、ついで「やや積極的」が 27.8%であった。

図表 90 看取りに対する取り組み姿勢

<医師>

	件数	積極的	やや積極的	どちらでもない	やや消極的	消極的	無回答
合 計	2355	681 28.9%	542 23.0%	628 26.7%	101 4.3%	97 4.1%	306 13.0%
特別養護老人ホーム	612	199 32.5%	117 19.1%	144 23.5%	17 2.8%	13 2.1%	122 19.9%
老人保健施設	767	188 24.5%	175 22.8%	201 26.2%	60 7.8%	66 8.6%	77 10.0%
介護療養病床	703	210 29.9%	184 26.2%	204 29.0%	15 2.1%	10 1.4%	80 11.4%
医療療養病床	273	84 30.8%	66 24.2%	79 28.9%	9 3.3%	8 2.9%	27 9.9%

<看護職員>

	件数	積極的	やや積極的	どちらでもない	やや消極的	消極的	無回答
合 計	2466	573 23.2%	634 25.7%	757 30.7%	157 6.4%	147 6.0%	198 8.0%
特別養護老人ホーム	675	217 32.1%	182 27.0%	150 22.2%	36 5.3%	25 3.7%	65 9.6%
老人保健施設	782	156 19.9%	192 24.6%	210 26.9%	71 9.1%	80 10.2%	73 9.3%
介護療養病床	728	155 21.3%	182 25.0%	284 39.0%	37 5.1%	27 3.7%	43 5.9%
医療療養病床	281	45 16.0%	78 27.8%	113 40.2%	13 4.6%	15 5.3%	17 6.0%

医師の看取りに関する（施設／貴院）の方針に対する満足度について、特別養護老人ホームでは「どちらでもない」が30.1%と最も多く、ついで「満足」が25.2%であった。老人保健施設については、「どちらでもない」が40.0%と最も多く、ついで「やや満足」が24.1%であった。介護療養病床については、「どちらでもない」が33.1%と最も多く、ついで「やや満足」が28.9%であった。医療療養病床については、「どちらでもない」が32.6%と最も多く、ついで「やや満足」が30.8%であった。

看護職員の看取りに関する（施設／貴院）の方針に対する満足度について、特別養護老人ホームでは「どちらでもない」が32.9%と最も多く、ついで「やや満足」が26.2%であった。老人保健施設については、「どちらでもない」が40.4%と最も多く、ついで「やや満足」が23.3%であった。介護療養病床については、「どちらでもない」が41.6%と最も多く、ついで「やや満足」が27.5%であった。医療療養病床については、「どちらでもない」が47.3%と最も多く、ついで「やや満足」が24.6%であった。

図表 91 看取りに関する（施設／貴院）の方針に対する満足度

<医師>

	件数	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
合 計	2355	536 22.8%	607 25.8%	813 34.5%	69 2.9%	17 0.7%	313 13.3%
特別養護老人ホーム	612	154 25.2%	135 22.1%	184 30.1%	13 2.1%	3 0.5%	123 20.1%
老人保健施設	767	157 20.5%	185 24.1%	307 40.0%	29 3.8%	8 1.0%	81 10.6%
介護療養病床	703	161 22.9%	203 28.9%	233 33.1%	20 2.8%	5 0.7%	81 11.5%
医療療養病床	273	64 23.4%	84 30.8%	89 32.6%	7 2.6%	1 0.4%	28 10.3%

<看護職員>

	件数	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
合 計	2466	328 13.3%	628 25.5%	974 39.5%	269 10.9%	64 2.6%	203 8.2%
特別養護老人ホーム	675	137 20.3%	177 26.2%	222 32.9%	56 8.3%	16 2.4%	67 9.9%
老人保健施設	782	97 12.4%	182 23.3%	316 40.4%	88 11.3%	22 2.8%	77 9.8%
介護療養病床	728	79 10.9%	200 27.5%	303 41.6%	85 11.7%	18 2.5%	43 5.9%
医療療養病床	281	15 5.3%	69 24.6%	133 47.3%	40 14.2%	8 2.8%	16 5.7%

医師の看取りへの取り組みに対する今後の意向について、特別養護老人ホームでは「積極的」が32.5%と最も多く、ついで「どちらでもない」が23.5%であった。老人保健施設については、「どちらでもない」が26.2%と最も多く、ついで「積極的」が24.5%であった。介護療養病床については、「積極的」が29.9%と最も多く、ついで「どちらでもない」が29.0%であった。医療療養病床については、「積極的」が30.8%と最も多く、ついで「どちらでもない」が28.9%であった。

看護職員の看取りに対する取り組み姿勢について、特別養護老人ホームでは「積極的」が34.1%と最も多く、ついで「やや積極的」が26.8%であった。老人保健施設については、「やや積極的」が27.7%と最も多く、ついで「どちらでもない」が26.9%であった。介護療養病床については、「どちらでもない」が38.7%と最も多く、ついで「やや積極的」が25.0%であった。医療療養病床については、「どちらでもない」が40.2%と最も多く、ついで「やや積極的」が30.6%であった。

図表 92 看取りへの取り組みに対する今後の意向

<医師>

	件数	積極的	やや積極的	どちらでもない	やや消極的	消極的	無回答
合 計	2355	681 28.9%	542 23.0%	628 26.7%	101 4.3%	97 4.1%	306 13.0%
特別養護老人ホーム	612	199 32.5%	117 19.1%	144 23.5%	17 2.8%	13 2.1%	122 19.9%
老人保健施設	767	188 24.5%	175 22.8%	201 26.2%	60 7.8%	66 8.6%	77 10.0%
介護療養病床	703	210 29.9%	184 26.2%	204 29.0%	15 2.1%	10 1.4%	80 11.4%
医療療養病床	273	84 30.8%	66 24.2%	79 28.9%	9 3.3%	8 2.9%	27 9.9%

<看護職員>

	件数	積極的	やや積極的	どちらでもない	やや消極的	消極的	無回答
合 計	2466	604 24.5%	666 27.0%	749 30.4%	142 5.8%	95 3.9%	210 8.5%
特別養護老人ホーム	675	230 34.1%	181 26.8%	144 21.3%	30 4.4%	24 3.6%	66 9.8%
老人保健施設	782	157 20.1%	217 27.7%	210 26.9%	66 8.4%	55 7.0%	77 9.8%
介護療養病床	728	174 23.9%	182 25.0%	282 38.7%	33 4.5%	9 1.2%	48 6.6%
医療療養病床	281	43 15.3%	86 30.6%	113 40.2%	13 4.6%	7 2.5%	19 6.8%

（７）看取り事例調査結果

本調査においては、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床の各類型１施設に対し、看取りの実態について訪問調査を実施した。以下にその概要を示す。

１．特別養護老人ホームの状況（79 床、北海道）

１．貴施設／貴院の看取り対応への取組について

○施設内看取りに対する方針

特別養護老人ホームに「看取り介護加算」が導入された平成 18 年度頃から、岡山県の特別養護老人ホーム・さくばらホームを参考にして、施設内看取り介護を開始した。平成 19 年度には当時のさくばらホーム施設長に当施設に来ていただき、看取りについての研修を職員で受講した。その中で、最期まで出来ることが自分達にはあるという思いを聞き、当時の看護係長にも自分たちが最期までそばで寄り添いたいという気持ちがあったことから、今までは入居者を最終的には病院に送っていたが、施設における看取りに積極的に対応する方針を打ち出し、看取りができるように準備を整えてきた。次第に他の職員のあいだでも看取りを施設の使命として捉える土壤ができてきた。

平成 18 年以降、当施設内で看取りの委員会を立ち上げ、取り組み等を整備してきた。当初は看取り指針に該当するものは無かったが、短期入所生活介護の利用者の 1 人が契機となり、施設での看取りが始まった。その利用者は認知症を有しており、短期入所生活介護の後に認知症対応型共同生活介護を利用されていたが、施設と折り合いがつかずに再び当施設へ戻ってきた。その後心不全等の理由で入退院を繰り返し、病院と短期入所生活介護の利用を交互に行っているような状態であった。最終的には治療を特にすることも不可能な段階となり、家族の強い希望があって施設内で看取りを行うこととなった。それ以前は利用者の死については、病院で亡くなったことを間接的に聞きする場合が多かったが、施設での看取りによって家族の方に喜んで頂けることが多く、積極的に取り組んでいくこととなった。

○入居者を看取際の職員体制

通常、夜勤帯には看護職員は不在で介護職員のみのため、看取りを行うことについて介護職員の不安はかなり大きかった。死に接する機会が乏しいためか、「看取り」による責任の重さを嫌がる声もあった。そこで、看護職員、作業療法士、管理栄養士、事務職、調理員等の多職種が集まってカンファレンスをすることで、「一人で状況を抱えているわけではない」ことを共有した。看取りが迫っている利用者がいる場合には、看護職員が休日や夜間でも様子を見に来る等のフォローをしていくことが介護職員の意識の醸成に繋がっている。また、介護職員の中で経験の浅い職員が看取り期の夜勤を担当する際には、先輩介護職員が帰らず残ってサポートをすることが日常的にある。そばに居るだけでサポートをしてもらった職員は心強く感じている。その気持ちが次の時に引き継がれ、支える体制が必然的に出来ている。

配置医は家族への病状等の説明を行うとともに、利用者の状態に応じて夜中もすぐに駆けつけてくれる。利用者で看取り期に入っている方がいる場合は、看護職員から予め電話で報告を入れる。看取りを進めていくうえで医師の協力は必要不可欠であり、職員に安心をもたらす存在である。

看取り期の利用者のために職員配置を変えることは原則としていないが、自然に職員がその方のもとへ集まるような形になる。一人で知らないうちに亡くなるということは避けたいので、

夜勤帯でも 15～30 分おきに様子を見に行く等、関与の頻度は増す。看護職員が勤務時間後も残って落ち着くまで様子を見て、夜間はオンコールで駆けつける等、医療面でのバックアップ体制があるため、介護職員は安心してケアができる。

夜間の看護職員に対するオンコールの負担は、やや重いと感ずるときもある。看取り期の利用者の数にもよるが、ひと月に 3 回くらいは夜中に実際に施設へ駆けつけるような事態が発生する。看取りだけではなく、日常的な利用者の急変等によるオンコールも掛かってくるので、日勤帯終了時には、ある程度のことに対応できるように準備し、介護職員にアドバイスをを行う。看取り期の利用者がある場合は、自宅にいても常に電話に出られるように配慮している。

介護職員も看取り期の利用者のもとには頻回に見回りに行き、実際に看取りをしたあとはエンゼルケアをして、施設から見送るまでの流れを行うので、看取り直前は緊張感をもって勤務している。

最期のお別れが夜中であっても、職員が連絡をとり 10 名前後の職員が駆けつける。例えば病院で亡くなった時にも連絡が入った時には、病院にも職員が大勢駆けつける。毎日色々な思いを持ち、ケアにあたっているのも、最期のお別れをしたいという気持ちがあり、自然に集まるようになった。

○多職種での連携についての工夫

看取り委員会は多職種で構成しており、主として看取りに関する講演会を聞いたり本を読んだり等、職員間の情報共有を行っている。現在は、同意書を頂いたケースを毎月職員会議の場で紹介し、「こういった最期にしていきたい」というイメージを職員で共有する。

○看取りに関する設備について

多床室の利用者で、看取りが近くなられた方は静養室に移動いただく。静養室は個室ではないのだが、ケースに応じて利用者の家族もゆっくりと過ごせるように、間取り等が変更可能である。利用者の家族からの宿泊希望があれば、短期入所生活介護の利用者を調整する等して、利用者に静養室ではなく二人部屋へ移動していただき寝泊まりしてもらうこともある。ユニット型の利用者は概ね自分のお部屋で亡くなる。当初は看取り期に入られた方は、経過観察をしやすいように医務室から近い部屋に移そうと考えていたが、家族が傍にいてくださる場合は、周囲の顔なじみの方々がいらっしゃるなかで亡くなるという形も良いのではないかと考えるようになった。

○看取り期（ターミナル期）の対応の主な流れ

「看取り期」と称される時期が始まるタイミングについては、個人差が非常に大きいため、その判断は職員の勘に頼る部分が多い。平成 18 年から合わせてこれまでに 36 件の看取りを実施してきたが、長期間に渡る看取り期を経る方もいれば、1～2 日で急変して亡くなる方もいる。近年は胃がんや肺がんを患っている方が増え、発見されてから 1 年も経たないうちに余命宣告される方も多い。

利用者の家族には通常、CT の結果や看護記録、診断内容等の各種記録を郵送もしくは手渡ししている。カンファレンスにおいて看取り 1～2 週間前と予想されたタイミングで、通常の記録ではなく「24 時間シート」というものに切り替えていく。シートは利用者の部屋に置いておき、家族が来訪時に確認することが可能である。

看取り期の医療処置については悩まれる家族が多い。点滴はしないという方針であったとしても、利用者が食べられず痩せていく状態や、苦しそうな状態を見ると、やはり処置をすると

いう方向に流れ、病院へ一時的に通院することもある。

○看取り期に特に留意していること

看取り期になると通常「食べられない、飲めない」という状況になることが多いが、意外にも施設外での食事の際は食べられる方や、突如として意識が明確になる方もいる。いわゆる「終の挨拶」のような、一時の回復を利用者が見せるときがある。看取り期だから安静にしなくては、と決めつけずに、自宅に帰ることや好きな食べ物を食べることも含めて「利用者が日常の中で何が出来るのか」を考えていくようにしている。まれに劇的な回復を見せる方もいるので、よく見ていないと分からない部分もある。

○看取りを行う上での課題

入所の段階から、その方の生活様式を可能な限り聞き取っていくことが重要。早い段階から好きなものを把握していくことが望ましいので、初期のアセスメントを充実させていく必要がある。職員個々人の「聞き取りの能力」を高める必要があり、聞き取りの技術向上のために研修等に職員を参加させているが、限られた機会のなかで詳細を確認していく技術を高めたい。

現在は当施設でも契約時に看取り指針や今まで看取った事例の説明について生活相談員、看護職員が中心となり実施している。

2. これまでの看取り事例について

以前は経口摂取が出来なくなった際に、医療的な処置として胃ろうの増設くらいしか選択肢がなかった。しかし昨今は社会情勢が変化し、「管」に頼らないで迎える最期、医療処置を過度にしない看取りもあるという理解がある家族も増えてきた。親の死への価値観が変容し、「延命しない、自然な形」を望まれる方が増えてきた。

看取り介護を始めた頃は決まりごとがあり、あくまで職員主導でルールに則って実施していたが、徐々に家族の参画が積極的になってきた。お互いに相談をしながら、家族の意見を優先する形で看取りがなされ始めている。看取り指針を踏まえて、最終的には家族の要望を汲み取る形にシフトしていった結果、良い事例が出てきているのではないかな。基本的に家族が看取りの中心にあり、それを施設で支えていく形式が、看取りの質を向上させているように感じる。逆に困難さを感じた事例というのは、家族が非協力的であったり、その意思統一が難しいということが原因になってきていることが多い。

2. 老人保健施設の状況（157 床、大阪府）

1. 貴施設／貴院の看取り対応への取組について

○施設内看取りに対する方針

施設における看取りには積極的に取り組んでおり、年間約 30 件程度の看取りを行っている。2 年半前からは、看取りは全職員、全職種が関わるべきものという考えから全職員参加型の勉強会を月 1 回開催するようになった。施設での看取りを行っていなかった時期は、急性期病院では老衰の看取りの高齢者の受け入れが困難な状況にあり、看護職員が医師や外部機関等との様々な調整を行わなければならず、負担が大きかった。施設での看取りを開始してから、看護職員の負担が軽減され、さらに本人や家族の満足感も向上している。

当施設では、在宅復帰の延長上に看取りがあるという考え方で取り組んでいる。最期までその人らしく暮らしてもらうため、短期入所療養介護や通所リハビリテーションを活用しつつ在宅で過ごしていただき、最期には当施設に入所して自然な形で看取するという方針である。これが理想的な老健での看取りのあり方ではないかと考えている。

○利用者を看取られる際の職員体制

有志による看取りチームを結成し、施設内の看取りに対応している。看取りチームにはパートタイム勤務者も含む全職員、全職種が参画可能であり、職員が自ら希望してチームの一員となる。栄養士やセラピストもチームの一員としてそれぞれの役割を担っている。看取りチームのリーダーは看護職員の場合が多いが、他の職種がリーダーとなるケースもある。日頃の勉強会等を通して、介護職員も利用者の身体状況について把握できるようになってきており、必要に応じて看護職員に報告、相談を行っている。

夜間については、常時看護職員 2 名、介護職員 7 名の計 9 名が配置されている。看取りフロア（4 階）は他のフロア同様、看護職員 1 名、介護職員 2 名の計 3 名で夜勤を行っている。8 名体制で加算の対象となるが、より質の高いケアを提供するため 9 名体制をとっている。この分は他の加算を取ることで補完している（常勤介護職員全員が介護福祉士の資格を有している）。常に看取りに対応できる体制を整えているため、看取り期に職員の業務量や負担が特別増えるということはない。夜間の医師の対応はオンコール体制であり、2 名の医師で分担して担当している。医師が 1 名しかいない施設で看取りを行うのは、医師の負担が大きくなると思われる。

○看取りに関する設備について

前回の改築時に看取り専用の個室を設けるとともに、看取りが重なった際に利用できる部屋として多目的部屋を設置した。看取り用の個室、多目的部屋とも家族が宿泊できる作りであった。以前は各フロアで看取りを行っていたが、認知症の利用者が入居するフロア（2 階）やショートステイ利用者も利用するフロア（3 階）では、利用者や職員の活動も多く、看取りを行う家族が落ち着いて過ごすことができなかったため、新たに 4 階を看取り専用のフロアとした。看取り用の個室には必要最低限の医療機器（酸素、点滴）の他、好きなものを食べてもらえるように冷蔵庫を完備している。また、家族用のベッドや布団、クーラーなど、利用者・家族が快適に過ごせるような設備を充実させている。

○看取り期の対応の主な流れ

看取り期に入る前の段階で、日頃から利用者や家族の意志や希望を把握しておくことが重要である。入所時には「私の望みシート」を作成し、本人・家族の希望を記入してもらっている。シートには「どのように最期を迎えたいか」について記入する欄が設けてある。

食事量が半減し、体重が 3kg 減少した時点を目安に、医師とも相談の上、本人から「看取り同意書」をもらう。看取りの意向については入所時にも確認しているが、改めてこの時点でも確認する。さらに、利用者の兄弟や子どもなど家族の意向についても改めて確認する。「看取り同意書」の作成をもって看取り期に入ったとの認識になる。家族に対しても、本人の意識がしっかりしているうちに会いにきていただき、十分にお別れの機会を持ってもらうよう促している。

看取り期に入った利用者は、それまで居たフロアから 4 階に移動する。長く過ごしたフロアに留まることを希望する利用者もいるので、その際はぎりぎりまでそのフロアで過ごしてもらい、最期に 4 階の個室に移ることもある。死後の処置は施設の職員が行い、身体を綺麗にして、化粧などを施し、本人が事前に用意しておいた着物や洋服に着替えさせる。最後は正面玄関から職員全員でお見送りを行う。

通夜・告別式への対応は、通夜の開催 1 時間前（まだ他の参列者が来ていない時間帯）に、看取りチームのメンバー 2 名がユニフォーム姿で弔問する。家族へのグリーフケアの一環でもあるが、職員のモチベーション向上にもつながる機会である。平等性という観点から、2 名で訪問すると決めている。お亡くなりになった家族に対しては、その後に「看取りケア実施に関するアンケート」を送付する。月 1 回の看取り勉強会では、そのアンケート調査結果や家族からの手紙等を用いた事後的な評価、利用者の看取り方針の検討などを行っている。

○看取り期に特に留意していること

自然な形でお亡くなりになることを施設の方針としているので、基本的に延命処置（利尿剤投与、降圧剤投与、心臓マッサージ等）は実施しない。酸素飽和度が下がってくるとつい酸素濃度を上げてしまう看護職員もいるが（急性期病院から移ってきたばかりの看護職員に多い）、これは苦しい期間を延ばしてしまうだけの行為なので、治る見込みがない利用者に対しては極力行わないように指導している。点滴も、行い続けると浮腫が出てしまうが、点滴をせずに亡くなると、綺麗な状態のままのご遺体となる。

また、最期は本人が一番してほしいと思っていることを叶えてあげるようにしている。ハイリスク者であっても入浴や飲酒を認めるなど、病院の立場だったらできないことも施設では行える。このような看取りを行うためには、常日頃から家族とコミュニケーションを密にとっておくことが大変重要なポイントとなる。家族と直接会って情報交換をするだけでなく、利用者の部屋に連絡帳を置き、利用者に関わった全職員がその都度日頃の利用者の様子などを記入している。些細なことでもできるだけ記入するようにしている。連絡帳があることでより家族に安心してもらうことができると考えている。家族に対しては、無理のない範囲で看取り期に関わってもらうようにしている。家族が疲れてしまわないよう、配慮している。また、なるべく家族が看取りの場に立ち会えるよう、連絡のタイミング等配慮している。

利用者の死に際し、若い職員や経験が少ない職員は精神的負担を感じることもあるので、密な声かけを心がけるなど、職員に対するグリーフケアも行っている。看取りに対して消極的な職員には、機会を見つけて都度施設の方針や看取りの意義を説明している。

○看取りを行う上での課題

看取りに対する方針や気持ちが、本人、家族、職員においても揺らぐことがある。職員の気持ちがぶれると、利用者や家族も不安になるため、本人の希望を踏まえた上で、施設としての方針がぶれないよう、職員に対して意識づけをすることが重要である。また家族との良好なコミュニケーションを普段から心がける必要がある。利用者本人の意識がなくなってからの家族へのサポートは大変重要である。看取りにおいては、家族の和解の場を提供したいと考えている。財産問題や嫁姑問題などの確執を解消した上で最期を迎えてほしいと考えている。

看取り期に入ってから亡くなるまでの期間は人それぞれである。加算を算定できる期間を3ヶ月～半年など、もう少し延長してもよいのではないか。23：50 ごろお亡くなりになった場合でも、当日の加算はその日の分しか算定できない。死後の処置などを行っていると、必ず翌日になってしまう。加算算定の際はこうしたケースも考慮してほしい。例えばお見送りをする時点まで加算対象とするといったことが考えられる。

2. これまでの看取り事例について

困難だった（苦労した）ケースとして、危険な状態にあった利用者が最期の機会ということで自宅に外泊していた際に亡くなった事例があった。口頭ではもし亡くなった場合は施設に戻していただくようお願いしていたが、体調が急変した場到大勢の親戚がいたこともあり、救急車で病院に運ばれてしまい、本人や近い家族の希望に反し、延命処置もされてしまった。死亡診断書を作成するために、当院の医師が搬送先の病院に出向いた。口頭だけではなく、文書で緊急時の対応について伝えるべきだったと反省したケースであった。

3. 介護療養病床の状況（180 床、京都府）

1. 貴施設／貴院の看取り対応への取組について

○施設内看取りに対する方針

慢性期の末期に近い高齢者を受け入れているケースが多いため、入院の前に家族と治療等の方針や対応の限界について話し合いを行い、家族の要望も聞き取る。ほとんどの患者がリハビリテーションや治療を行い、看取りへと向かう流れである。看取りの研修の実施や看取り指針も整備している。急性期病院は、「助ける、そして治療して退院」という認識と思うが、介護療養病床は「最期までその人らしく生きる」ということが前提となってくる。延命処置を行っても回復が見込めないことの合意がとれた時点でターミナルカンファレンスを開催し、看取りまで「見守るケア」を行う。

事前に看取りについて書面で確認をとることは家族の心情として難しく、同意書は取得しづらい。最初に家族のキーパーソンと話し合った際に、「結論が家族の総意であるか」ということを確認しているため、家族内の揉め事はほとんどない。同意書の取得有無も必要だが、家族のなかのキーパーソンとの意思疎通ができているかが大変重要である。

○患者を看取られる際の職員体制

経口摂取および言語のリハビリテーションは亡くなるまで継続する。可能な限り生活に則したリハビリテーションを実施し、医療のリハビリテーションのような時間で区切るような方法ではない。口腔ケアのために常勤の歯科衛生士を2名配置しており、管理栄養士も配置基準より加配している。

○多職種での連携について工夫していること

看取りについては、勉強会やカンファレンスにて職種を超えて意識の統一を目指している。看取りのテーマについては、過去2回程勉強会で取り上げた。カンファレンスの参加は多職種にわたるが、中でもQOLを上げる観点から、歯科衛生士と管理栄養士は必ず参加することとしている。

○看取りに関する設備について

先代の院長の時代に、当院の建てられている地区が第1種住居専用地域の指定を受けた。第1種住居専用地域には通常病院は建てられないが、先に病院があり、指定を開業後に受けたため、認められている。ただし建て替えや建て増しには住民説明会等が必要である。他の患者に配慮して看取りの際に個室は欠かせないが、個室は現在2つのみである。

○看取り期（ターミナル期）の対応の主な流れ

「看取り期」へ切り替えていくタイミングについては、介護保険の利用者であればたとえば要介護度が悪化したとき等、ある程度わかりやすいタイミングがある。「看取り期」という言葉の定義は難しいが、加算の対象である死亡30日前からというのは、介護療養病床においては長すぎるように思う。概ね2週間前になると、喀痰吸引等が常に必要なため、当該患者への手厚い職員配置が必要となる。看取りカンファレンスは早い方で1か月前に開かれることもあるが、多職種が集まり意思統一をして、手厚くケアしていくのは2週間くらいが多い。主に見回りの頻度が増加する。患者の家族に連絡をするのは、なるべく心の準備をしてもらえる

よう、死亡の1か月前くらいが目安である。もちろんその時点から状態が改善し、持ち直す患者もおられる。

胃ろうによる経管栄養や経鼻経管栄養を用いるかどうかは、患者が元気だったときの考えを重要視している。家族にはなるべく経管栄養を選択しないようにある程度説得はする。胃ろうはサービスを提供する側からすると都合がよい事もあるが、やはり経口摂取の方が人間としての尊厳を保つ上で重要である。また、当院では病状に差し障りない患者には、希望すれば週1日、酒も提供している。ターミナルを迎える患者には好きな食べ物を食べてもらうなど QOL を上げていくことを模索している。当院では「微笑み食」と呼んでいるが、好きな食べ物は口に入りやすい傾向がある。

死亡後は遺族に対して看取りのアンケートを10年以上にわたり実施しており、院内でもその結果を公表している。問題がありそうなケースが分かった場合、事実確認をして原因を突き止めるようにしている。

○看取り期に特に留意していること

ターミナルケアに入る前に、急変する患者もおられる。前触れもなく急変する可能性があることを、入院時に家族に対し伝えている。

○看取りを行う上での課題

後見人を立てているような身寄りのない患者、家族から縁を切られた患者もおられるが、後見人も延命についてまでは関与ができない。こうした場合は担当のケアマネジャーが総合的に判断するようにしてはどうかと考える。また、居宅と施設のケアマネジャーを共通にしていかなければ、退院後のことなど把握が難しい。

現在、当院の看取りの指針やマニュアルを改訂している最中であるが、原案を作ってそれに対して意見を言い合うため、かなり時間を要している。ガイドライン自体は色々あるのだが、なかなか決定的なものが出てきていない。看取りに関しては、宗教観や地域特性等が大きく関わってくるため、全国一律で「看取り」の定義を決めるのはとても困難なことであるように思う。リビングウィルについては、法的整備をして多くの人に書いてもらうようにしていくことが必要である。

2. これまでの看取り事例について

納得がいく看取りができた事例は以下のとおり。がんのターミナルの患者で、普段は症状として倦怠感・痛み等があった。愛犬を大変可愛がっておられたが、入院するタイミングで近所に譲られた。関係者の協力を得て、その犬を病院まで連れてきてもらい面会したことで、とても表情が良くなり、痛みを訴えることも減った。看護職員の方1名が付き添って外出した際に自宅に寄り、近所の方とも会えたが、その2日後には亡くなった。

一方で、困難な（苦労が多かった）事例もある。最近はあまりないが、家族が患者の延命をとにかく希望されるケースは困難を覚える。年金の受給を引き伸ばすためや、手形が落ちるまで延命してほしい等の要望もときに聞かれる。また、後見人がついている患者も最近多いが、死亡のタイミングでその任を解かれるという場合は、死亡後の手続き等についてやり取りができず、困ることがある。

4. 医療療養病床の状況（245 床、北海道）

1. 貴施設／貴院の看取り対応への取組について

○施設内看取りに対する方針

以前から高齢の患者は多かったが、現在は若年層の入院も多く、年齢幅は 20～100 歳代まで幅広い。最近の当院患者の傾向として、がんの末期の方及び疼痛コントロールの必要な終末期の方が増えており、基礎疾患が原因で看取りに繋がるケースが多い。看取りにおいては、患者の家族と一緒に進めていく形が主流となってきている。また、患者の家族も疾病等に関する色々な情報を把握されており、延命に関する治療の選択肢を自ら提案される方もいる。当院のみでは対応が難しい場合は、他の医療機関との連携を行うときもある。

家族の看取りに関する意向は原則として入院時に聞いており、書面も取り交わしている。ただ、書面に対して迷いや葛藤があるというご家族もいるため、書面での意志表明が全てではないという認識でスタッフは対応している。本人が意志疎通可能な状態であれば本人の意志を尊重するが、不明な場合はまず「苦しめないようにする」ことを優先してケアを行う。基本的に当院で最期まで療養したいという患者が大半であるが、自宅近くで最期を迎えたいという希望が家族にある場合は、自宅に近い医療機関と連携することで希望を叶えるようにしている。

特に経口摂取については多くの方が最期まで続けたいと望まれる。それゆえに胃ろうと経鼻栄養に切り替えるタイミングでは、家族も大いに悩まれるため、当院では担当医と複数回相談するなかで決定して頂くようにしている。神経難病の患者等は、看取りの段階になって呼吸器をつけないでいると、かなり苦しそうで、家族が見ていて辛い思いをすることがある。経口摂取が不可能となった後の点滴に関しても、当初はしない方針で決めていた家族も、患者本人が痩せていくのを見てみると気持ちが揺らいでくる。「やはり点滴をしてもらえないか」と家族が言われた場合は、出来る限り要望は叶えていく方針で対応する。

難病やパーキンソン病患者の方も増えつつあり、当院で急変して亡くなる方も多い。同じ疾病でも進行のスピードが異なり、突然急死というケースもありうる。疾患数を幾つか持つような患者が多いため、合併症の危険が高い。基礎疾患の治療の関係上転院して、転院先で亡くなる方もいる。

○患者を看取る際の職員体制

看取り期に入っても、職員体制が大きく変わることはない。夜間帯は、看護師 1 名及びケアワーカー 2 名で対応している。

○多職種での連携についての工夫

スタッフ内では、看護職員よりもケアワーカーのほうが、患者の生活そのものをよく把握している。人数は看護職員のほうが多いが、家族が訪問された際のやりとりなどはケアワーカーが把握している場合も多い。とにかく最期まで経口摂取を望まれる患者と家族が多いため、訪問看護ステーションと相談して嚥下造影検査を行うこともある。ケアワーカーも看護職員も家族が訪問された際は、お話しするチャンスと考え、可能な範囲で話しかけるようにしている。場合によっては医師との面談を打診する場合もある。

○看取りに関する設備

既に看取りのタイミングが近いと分かっている患者の家族には早めにその旨お知らせし、患者に付き添われるかどうかを尋ねておく。院内には家族が宿泊可能な部屋も用意しているが、

基本的に看取りが近い患者は個室に移動するため、個室に付随している家族用控室や簡易ベッドを利用されることが多い。個室については8つの病棟共有で2部屋のみであるため、院内で調整しながら利用している。部屋代は個室を利用する場合も同額で、家族が宿泊する場合も追加料金は頂いてない。時には家族の要望により、看取りの直前まで大部屋で様子を見るケースもある。あるいは大部屋で療養中に急変し、そのままその部屋で最期を迎えられる方もいる。

○看取り期（ターミナル期）の対応の主な流れ

入院時にスタッフでカンファレンスを行い、チームで入院中のケアを検討する。以前は入院時カンファレンスと終末期のカンファレンスは分けていたが、合同で行うケースも増えてきた。家族の看取りに対する気持ちも入院時カンファレンスで共有をする。患者によっては入院時から看取りを見据えている方もいるため、療養環境を出来る限り大きく変えないよう、居室や病床配置をコントロールしている。

看取り期へ入る節目の判断は患者それぞれで異なってはくるものの、看護職員の経験上、読み取れる要素は幾つかある。食べる量、バイタルサイン、目の感じ等はいつもとやや異なるということが多い。感じたことは申し送りで他の職員に伝えるが、個々のアセスメント能力にも違いがあるので、様子の捉え方もスタッフにより異なっているのが実情である。状態がずっと悪かった方が、少し状態が改善するような気配を見せたあとに亡くなられることが意外によくあるので、ひとつの目安にはなる。

一概に亡くなられるタイミングを予測はできないが、看取り期という判断を下したあと、実際に亡くなられるまでの間は、やはり関わりの頻度は増えてくる。当院では患者のQOL向上の観点から清潔を保つことを重視しており、ミスト浴を導入してからは入浴に対する患者の疲労度が軽減し、短時間で綺麗にすることができるようになった。個室の洗面所で洗髪ができるので、お風呂が体力面で厳しい場合は洗髪だけ行う。

○看取り期に特に留意していること

施設に比べると、急変が起こる患者も多く、特に夜間の急変の場合は、現場は対応に追われ、家族の気持ちもなかなかついていかない。こうした場合に備えて、日頃から家族とのコミュニケーションをはかり、理解を高めていくことが重要である。キーパーソンが遠方地の家族である場合は、さらに難しい条件となる。回数は少ないが、面会にいらっしゃったタイミングでスタッフがお話しさせてもらうようにしておくことを心がけている。こうした日常の関わりについては、看護職員だけではなくケアワーカーも大きく携わっている。家族とのコミュニケーションの密度により、患者の家族がどう病状を受容するかという点が異なってくる。関係性が乏しいと、なかなかこちらの説明を聞き入れてもらえないこともある。夜勤時は夜勤の体制に変わり、昼間ケアをするスタッフとは違うスタッフが関わることになるため、さらに配慮を要する。コミュニケーションを多くとることで、患者の家族は「病院側がちゃんと治療やケアをやってくれている」という実感を持ち、安心してくれる。やはり信頼関係が肝心であり、家族の安心にも繋がる。家族には3～6か月の頻度で行われるカンファレンスの結果を、レポートとして郵送するようにしている。また、患者の日常的なリハビリテーションの内容、治療方針/生活の目標/状態像を簡潔な様式に記載し、家族にお渡ししている。それらの内容や方針が変わった際は医師を通じて説明も行う。頻度としては短い人で3か月に1回の更新である。リハビリテーションについては、セラピストが記入し、それを病棟で入力するというプロセスで更新している。

○看取りを行う上での課題

家族へのお声掛けのタイミングは難しい。最期には家族に立ち会って頂きたいという気持ちが強いので、家族が間に合わなかったということが起こるのはどうしても避けたい。

2. その他

死亡後に関しては、ターミナルカンファレンスの振り返りと、今後のケアに活かせるような反省をチームで共有する。「ターミナルレポート」は患者が亡くなるたびに必ず提出するようにしていて、それらの書類については家族にもお渡ししている。看取りの渦中にあっては家族の率直なご意見等をなかなか伺えないため、患者本人が亡くなられたあと、家族のご感想・ご意見を伺う機会を設けている。

6. 利用者の状況

(1) 利用者の基本情報

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床各々について、全利用者の1/10を抽出して横断的な比較調査を行った。主な属性は以下のとおりである。

性別について、特別養護老人ホームでは「男」が21.4%、「女」が78.2%であった。老人保健施設については、「男」が26.5%、「女」が73.2%であった。介護療養病床については、「男」が27.1%、「女」が72.6%であった。医療療養病床については、「男」が38.6%、「女」が61.1%であった。

図表 93 性別

	件数	男	女	無回答
合 計	17866	4730 26.5%	13077 73.2%	59 0.3%
特別養護老人ホーム	5236	1123 21.4%	4096 78.2%	17 0.3%
老人保健施設	6672	1766 26.5%	4883 73.2%	23 0.3%
介護療養病床	3992	1082 27.1%	2897 72.6%	13 0.3%
医療療養病床	1966	759 38.6%	1201 61.1%	6 0.3%

年齢について、特別養護老人ホームでは「85～94歳」が49.5%と最も多く、ついで「75～84歳」が28.1%となっており、平均年齢は86.38歳であった。

老人保健施設については、「85～94歳」が47.3%と最も多く、ついで「75～84歳」が29.8%となっており、平均年齢は85.26歳であった。

介護療養病床については、「85～94歳」が45.7%と最も多く、ついで「75～84歳」が28.8%となっており、平均年齢は85.36歳であった。

医療療養病床については、「85～94歳」が36.0%と最も多く、ついで「75～84歳」が32.0%となっており、平均年齢は81.22歳であった。

図表 94 年齢

	件数	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答	平(単位均：歳値)□	(標準偏差：歳)□
合 計	17866	450 2.5%	1506 8.4%	5237 29.3%	8277 46.3%	2090 11.7%	306 1.7%	85.17	8.82
特別養護老人ホーム	5236	54 1.0%	343 6.6%	1469 28.1%	2594 49.5%	689 13.2%	87 1.7%	86.38	7.84
老人保健施設	6672	132 2.0%	553 8.3%	1988 29.8%	3153 47.3%	725 10.9%	121 1.8%	85.26	8.42
介護療養病床	3992	94 2.4%	346 8.7%	1151 28.8%	1823 45.7%	522 13.1%	56 1.4%	85.36	8.8
医療療養病床	1966	170 8.6%	264 13.4%	629 32.0%	707 36.0%	154 7.8%	42 2.1%	81.22	11.18

認知症の有無について、特別養護老人ホームでは「認知症あり」が82.8%、「認知症なし」が15.5%であった。老人保健施設については、「認知症あり」が76.4%、「認知症なし」が21.9%であった。介護療養病床については、「認知症あり」が78.6%、「認知症なし」が19.1%であった。医療療養病床については、「認知症あり」が56.9%、「認知症なし」が40.0%であった。

図表 95 認知症の有無

	件 数	認 知 症 あ り	認 知 症 な し	無 回 答
合 計	17866	13691 76.6%	3821 21.4%	354 2.0%
特別養護老人ホーム	5236	4336 82.8%	813 15.5%	87 1.7%
老人保健施設	6672	5097 76.4%	1461 21.9%	114 1.7%
介護療養病床	3992	3139 78.6%	761 19.1%	92 2.3%
医療療養病床	1966	1119 56.9%	786 40.0%	61 3.1%

要介護度について、特別養護老人ホームでは「要介護5」が33.3%と最も多く、ついで「要介護4」が31.5%、「要介護3」が22.3%であった。

老人保健施設については、「要介護4」が26.7%と最も多く、ついで「要介護3」が23.2%、「要介護5」が20.4%であった。

介護療養病床については、「要介護5」が55.2%と最も多く過半数を占めており、ついで「要介護4」が29.7%であった。

医療療養病床については、「未申請及び申請中」が33.8%と最も多く、ついで「要介護5」が28.5%、「要介護4」が13.8%であった。

図表 96 要介護度

	件 数	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	未中 申請 及 び 申 請	無 回 答
合 計	17866	889 5.0%	1778 10.0%	3161 17.7%	4884 27.3%	5864 32.8%	719 4.0%	571 3.2%
特別養護老人ホーム	5236	139 2.7%	383 7.3%	1167 22.3%	1648 31.5%	1741 33.3%	6 0.1%	152 2.9%
老人保健施設	6672	629 9.4%	1146 17.2%	1547 23.2%	1780 26.7%	1361 20.4%	16 0.2%	193 2.9%
介護療養病床	3992	44 1.1%	127 3.2%	308 7.7%	1185 29.7%	2202 55.2%	32 0.8%	94 2.4%
医療療養病床	1966	77 3.9%	122 6.2%	139 7.1%	271 13.8%	560 28.5%	665 33.8%	132 6.7%

認知症高齢者の日常生活自立度について、特別養護老人ホームでは「Ⅲa」が 29.1%と最も多く、ついで「Ⅳ」が 24.0%、「Ⅱb」が 13.8%であった。

老人保健施設については、「Ⅲa」が 28.3%と最も多く、ついで「Ⅱb」が 19.2%、「Ⅳ」が 13.1%であった。

介護療養病床については、「Ⅳ」が 38.0%と最も多く、ついで「Ⅲa」が 20.5%、「Ⅲb」が 11.8%であった。

医療療養病床については、「Ⅳ」が 28.0%と最も多く、ついで「自立」が 14.0%、「Ⅲa」が 11.9%であった。

図表 97 認知症高齢者の日常生活自立度

	件数	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	無回答
合 計	17866	898 5.0%	1056 5.9%	1215 6.8%	2425 13.6%	4462 25.0%	1861 10.4%	4202 23.5%	786 4.4%	521 2.9%	440 2.5%
特別養護老人ホーム	5236	165 3.2%	239 4.6%	306 5.8%	722 13.8%	1522 29.1%	583 11.1%	1259 24.0%	201 3.8%	70 1.3%	169 3.2%
老人保健施設	6672	351 5.3%	603 9.0%	698 10.5%	1278 19.2%	1887 28.3%	658 9.9%	875 13.1%	143 2.1%	61 0.9%	118 1.8%
介護療養病床	3992	107 2.7%	112 2.8%	116 2.9%	278 7.0%	819 20.5%	472 11.8%	1518 38.0%	322 8.1%	164 4.1%	84 2.1%
医療療養病床	1966	275 14.0%	102 5.2%	95 4.8%	147 7.5%	234 11.9%	148 7.5%	550 28.0%	120 6.1%	226 11.5%	69 3.5%

医療区分について、特別養護老人ホームでは「医療区分 1」が 55.3%と最も多く、ついで「医療区分 2」が 12.6%、「不明」が 10.3%であった。

老人保健施設については、「医療区分 1」が 61.6%と最も多く、ついで「医療区分 2」が 11.2%、「不明」が 10.7%であった。

介護療養病床については、「医療区分 1」が 59.4%と最も多く、ついで「医療区分 2」が 19.0%、「医療区分 3」が 5.6%であった。

医療療養病床については、「医療区分 2」が 41.7%と最も多く、ついで「医療区分 3」が 29.4%、「医療区分 1」が 24.6%であった。

図表 98 医療区分

	件 数	医 療 区 分 1	医 療 区 分 2	医 療 区 分 3	不 明	無 回 答
合 計	17866	9859 55.2%	2982 16.7%	1167 6.5%	1467 8.2%	2391 13.4%
特別養護老人ホーム	5236	2893 55.3%	660 12.6%	173 3.3%	537 10.3%	973 18.6%
老人保健施設	6672	4111 61.6%	744 11.2%	193 2.9%	712 10.7%	912 13.7%
介護療養病床	3992	2371 59.4%	758 19.0%	223 5.6%	207 5.2%	433 10.8%
医療療養病床	1966	484 24.6%	820 41.7%	578 29.4%	11 0.6%	73 3.7%

ADL の状況：移動について、特別養護老人ホームでは「全介助」が 53.2%と最も多く、ついで「一部介助」が 22.2%、「見守り」が 13.3%であった。

老人保健施設については、「全介助」が 38.1%と最も多く、ついで「一部介助」が 21.8%、「自立」が 20.8%であった。

介護療養病床については、「全介助」が 83.8%と最も多く、ついで「一部介助」が 10.2%、「見守り」が 3.3%であった。

医療療養病床については「全介助」が 73.5%と最も多く、ついで「一部介助」が 12.7%、「自立」が 7.1%であった。

図表 99 ADL の状況：移動

	件 数	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 介 助	無 回 答
合 計	17866	2119 11.9%	2163 12.1%	3273 18.3%	10120 56.6%	191 1.1%
特別養護老人ホーム	5236	515 9.8%	697 13.3%	1163 22.2%	2788 53.2%	73 1.4%
老人保健施設	6672	1386 20.8%	1210 18.1%	1453 21.8%	2543 38.1%	80 1.2%
介護療養病床	3992	79 2.0%	133 3.3%	407 10.2%	3344 83.8%	29 0.7%
医療療養病床	1966	139 7.1%	123 6.3%	250 12.7%	1445 73.5%	9 0.5%

ADL の状況：食事について、特別養護老人ホームでは「全介助」が 31.1%と最も多く、ついで「自立」が 23.0%、「見守り」が 22.6%であった。

老人保健施設については、「自立」が 42.2%と最も多く、ついで「見守り」が 21.9%、「全介助」が 20.4%であった。

介護療養病床については、「全介助」が 63.3%と最も多く、ついで「一部介助」が 17.3%、「見守り」が 11.0%であった。

医療療養病床については「全介助」が 59.7%と最も多く、ついで「自立」が 16.0%、「一部介助」が 13.5%であった。

図表 100 ADL の状況：食事

	件 数	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 介 助	無 回 答
合 計	17866	4629 25.9%	3269 18.3%	3040 17.0%	6684 37.4%	244 1.4%
特別養護老人ホーム	5236	1203 23.0%	1181 22.6%	1136 21.7%	1627 31.1%	89 1.7%
老人保健施設	6672	2816 42.2%	1464 21.9%	949 14.2%	1359 20.4%	84 1.3%
介護療養病床	3992	296 7.4%	439 11.0%	690 17.3%	2525 63.3%	42 1.1%
医療療養病床	1966	314 16.0%	185 9.4%	265 13.5%	1173 59.7%	29 1.5%

ADL の状況：排泄について、特別養護老人ホームでは「全介助」が 59.5%と最も多く、ついで「一部介助」が 25.1%、「自立」が 7.0%であった。

老人保健施設については、「全介助」が 43.4%と最も多く、ついで「一部介助」が 30.4%、「自立」が 15.3%であった。

介護療養病床については、「全介助」が 89.1%と最も多く、ついで「一部介助」が 6.3%、「見守り」が 2.0%であった。

医療療養病床については「全介助」が 76.6%と最も多く、ついで「一部介助」が 11.1%、「自立」が 7.9%であった。

図表 101 ADL の状況：排泄

	件 数	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 介 助	無 回 答
合 計	17866	1616 9.0%	1155 6.5%	3816 21.4%	11073 62.0%	206 1.2%
特別養護老人ホーム	5236	364 7.0%	363 6.9%	1315 25.1%	3118 59.5%	76 1.5%
老人保健施設	6672	1022 15.3%	635 9.5%	2030 30.4%	2895 43.4%	90 1.3%
介護療養病床	3992	74 1.9%	80 2.0%	253 6.3%	3555 89.1%	30 0.8%
医療療養病床	1966	156 7.9%	77 3.9%	218 11.1%	1505 76.6%	10 0.5%

ADL の状況：入浴について、特別養護老人ホームでは「全介助」が 66.6%と最も多く、ついで「一部介助」が 26.7%、「見守り」が 3.7%であった。

老人保健施設については、「全介助」が 50.4%と最も多く、ついで「一部介助」が 40.0%、「見守り」が 5.8%であった。

介護療養病床については、「全介助」が 92.1%と最も多く、ついで「一部介助」が 5.8%、「見守り」が 1.1%であった。

医療療養病床については「全介助」が 80.4%と最も多く、ついで「一部介助」が 13.8%、「見守り」が 3.0%であった。

図表 102 ADL の状況：入浴

	件 数	自立	見 守 り	一 部 介 助	全 介 助	無 回 答
合 計	17866	291 1.6%	686 3.8%	4572 25.6%	12109 67.8%	208 1.2%
特別養護老人ホーム	5236	77 1.5%	196 3.7%	1397 26.7%	3488 66.6%	78 1.5%
老人保健施設	6672	162 2.4%	387 5.8%	2672 40.0%	3362 50.4%	89 1.3%
介護療養病床	3992	10 0.3%	44 1.1%	231 5.8%	3678 92.1%	29 0.7%
医療療養病床	1966	42 2.1%	59 3.0%	272 13.8%	1581 80.4%	12 0.6%

ADL の状況：入浴について、特別養護老人ホームでは「全介助」が 59.0%と最も多く、ついで「一部介助」が 30.2%、「見守り」が 5.7%であった。

老人保健施設については、「全介助」が 41.7%と最も多く、ついで「一部介助」が 38.7%、「自立」が 9.2%であった。

介護療養病床については、「全介助」が 85.9%と最も多く、ついで「一部介助」が 11.1%、「見守り」が 1.4%であった。

医療療養病床については「全介助」が 75.1%と最も多く、ついで「一部介助」が 15.3%、「自立」が 5.4%であった。

図表 103 ADL の状況：着替え

	件 数	自立	見 守 り	一 部 介 助	全 介 助	無 回 答
合 計	17866	939 5.3%	1022 5.7%	4908 27.5%	10773 60.3%	224 1.3%
特別養護老人ホーム	5236	184 3.5%	299 5.7%	1582 30.2%	3089 59.0%	82 1.6%
老人保健施設	6672	614 9.2%	600 9.0%	2583 38.7%	2780 41.7%	95 1.4%
介護療養病床	3992	34 0.9%	57 1.4%	442 11.1%	3428 85.9%	31 0.8%
医療療養病床	1966	107 5.4%	66 3.4%	301 15.3%	1476 75.1%	16 0.8%

（２）利用者の状態・受療状況

有している傷病について、特別養護老人ホームでは「高血圧」が 46.6%と最も多く、ついで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 40.1%、「心臓病」が 24.3%であった。

老人保健施設については、「高血圧」が 45.5%と最も多く、ついで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 42.2%、「心臓病」が 25.7%であった。

介護療養病床については、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 58.9%と最も多く、ついで「高血圧」が 39.9%、「心臓病」が 29.7%であった。

医療療養病床については「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 49.5%と最も多く、ついで「高血圧」が 33.6%、「心臓病」が 29.1%であった。

図表 104 有している傷病（複数回答）

	件数	高血圧	脳・卒中 （脳出血・ 脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症 （脂質異常症）	肺炎・呼吸器 支那炎	胃腸・肝臓・胆 膵臓	腎臓・前立腺	筋骨格系 （骨折・脱臼・ 変形性関節症等）	外傷等 （転倒・骨折等）
合 計	17866	7730 43.3%	8240 46.1%	4747 26.6%	3088 17.3%	1139 6.4%	2523 14.1%	2261 12.7%	1831 10.2%	3485 19.5%	2675 15.0%
特別養護老人ホーム	5236	2442 46.6%	2099 40.1%	1272 24.3%	813 15.5%	401 7.7%	570 10.9%	666 12.7%	464 8.9%	1104 21.1%	740 14.1%
老人保健施設	6672	3036 45.5%	2818 42.2%	1717 25.7%	1168 17.5%	470 7.0%	766 11.5%	804 12.1%	647 9.7%	1523 22.8%	1308 19.6%
介護療養病床	3992	1591 39.9%	2350 58.9%	1186 29.7%	696 17.4%	178 4.5%	622 15.6%	537 13.5%	438 11.0%	615 15.4%	392 9.8%
医療療養病床	1966	661 33.6%	973 49.5%	572 29.1%	411 20.9%	90 4.6%	565 28.7%	254 12.9%	282 14.3%	243 12.4%	235 12.0%

	がん （新生物）	血液・免疫 の病	うつ病	パーキンソン 病	目の病 気	耳の病 気	その他	ない	無回答
合 計	1124 6.3%	522 2.9%	1016 5.7%	949 5.3%	1354 7.6%	272 1.5%	5124 28.7%	268 1.5%	129 0.7%
特別養護老人ホーム	304 5.8%	163 3.1%	346 6.6%	313 6.0%	474 9.1%	96 1.8%	1686 32.2%	120 2.3%	36 0.7%
老人保健施設	405 6.1%	194 2.9%	343 5.1%	276 4.1%	570 8.5%	106 1.6%	1820 27.3%	108 1.6%	59 0.9%
介護療養病床	234 5.9%	102 2.6%	210 5.3%	205 5.1%	218 5.5%	54 1.4%	1169 29.3%	24 0.6%	24 0.6%
医療療養病床	181 9.2%	63 3.2%	117 6.0%	155 7.9%	92 4.7%	16 0.8%	449 22.8%	16 0.8%	10 0.5%

主傷病（複数の傷病を有している場合）について、特別養護老人ホームでは「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 24.1%と最も多く、ついで「高血圧」が 13.6%、「心臓病」が 8.8%であった。

老人保健施設については、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 29.7%と最も多く、ついで「高血圧」が 9.7%、「心臓病」が 9.1%であった。

介護療養病床については、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 44.3%と最も多く、ついで「心臓病」が 7.1%、「高血圧」が 5.6%であった。

医療療養病床については「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 32.7%と最も多く、ついで「肺炎・気管支炎等の呼吸器の病気」が 10.6%、「心臓病」が 7.0%であった。

図表 105 主傷病（複数の傷病を有している場合）

	件数	高血圧	脳・卒中 （脳出血・ 脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症 （脂質異常症）	肺炎・呼吸器 の病気	胃腸・肝臓・胆 の病気	腎臓・前立腺 の病気	筋骨格系の 病気	外傷等 （転倒・骨 折等）
合 計	17469	1592 9.1%	5533 31.7%	1453 8.3%	901 5.2%	32 0.2%	696 4.0%	393 2.2%	382 2.2%	854 4.9%	861 4.9%
特別養護老人ホーム	5080	690 13.6%	1223 24.1%	448 8.8%	306 6.0%	17 0.3%	136 2.7%	114 2.2%	75 1.5%	218 4.3%	111 2.2%
老人保健施設	6505	633 9.7%	1930 29.7%	590 9.1%	336 5.2%	14 0.2%	185 2.8%	137 2.1%	143 2.2%	437 6.7%	497 7.6%
介護療養病床	3944	221 5.6%	1746 44.3%	280 7.1%	170 4.3%	1 0.0%	170 4.3%	99 2.5%	78 2.0%	133 3.4%	135 3.4%
医療療養病床	1940	48 2.5%	634 32.7%	135 7.0%	89 4.6%	－	205 10.6%	43 2.2%	86 4.4%	66 3.4%	118 6.1%

	がん （新生物）	血液・免疫 の病気	うつ病	パーキンソン 病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
合 計	370 2.1%	120 0.7%	272 1.6%	501 2.9%	65 0.4%	13 0.1%	2691 15.4%	3 0.0%	737 4.2%
特別養護老人ホーム	81 1.6%	37 0.7%	106 2.1%	171 3.4%	31 0.6%	6 0.1%	957 18.8%	－	353 6.9%
老人保健施設	107 1.6%	49 0.8%	107 1.6%	146 2.2%	32 0.5%	6 0.1%	965 14.8%	－	191 2.9%
介護療養病床	88 2.2%	19 0.5%	36 0.9%	87 2.2%	2 0.1%	－	553 14.0%	2 0.1%	124 3.1%
医療療養病床	94 4.8%	15 0.8%	23 1.2%	97 5.0%	－	1 0.1%	216 11.1%	1 0.1%	69 3.6%

周辺症状の有無について、特別養護老人ホームでは「無気力」が 23.1%と最も多く、ついで「誤認」が 21.8%、「妄想」が 19.0%であった。

老人保健施設については、「誤認」が 24.1%と最も多く、ついで「無気力」が 20.3%、「妄想」が 18.1%であった。

介護療養病床については、「無気力」が 31.1%と最も多く、ついで「誤認」が 16.1%、「妄想」が 14.5%であった。

医療療養病床については「無気力」が 25.9%と最も多く、ついで「誤認」が 17.5%、「せん妄」が 16.7%であった。

図表 106 周辺症状の有無（複数回答）

	件数	幻覚	妄想	せん妄	抑うつ	誤認	無気力	暴言	暴力	徘徊	わめく	その他	無回答
合 計	13691	1635 11.9%	2310 16.9%	1674 12.2%	1631 11.9%	2873 21.0%	3300 24.1%	1835 13.4%	1016 7.4%	1294 9.5%	1626 11.9%	2429 17.7%	1713 12.5%
特別養護老人ホーム	4336	598 13.8%	826 19.0%	494 11.4%	530 12.2%	944 21.8%	1000 23.1%	695 16.0%	389 9.0%	524 12.1%	553 12.8%	646 14.9%	581 13.4%
老人保健施設	5097	549 10.8%	925 18.1%	558 10.9%	558 10.9%	1228 24.1%	1034 20.3%	658 12.9%	336 6.6%	595 11.7%	514 10.1%	1003 19.7%	708 13.9%
介護療養病床	3139	393 12.5%	454 14.5%	435 13.9%	396 12.6%	505 16.1%	976 31.1%	376 12.0%	230 7.3%	125 4.0%	445 14.2%	580 18.5%	301 9.6%
医療療養病床	1119	95 8.5%	105 9.4%	187 16.7%	147 13.1%	196 17.5%	290 25.9%	106 9.5%	61 5.5%	50 4.5%	114 10.2%	200 17.9%	123 11.0%

今後 30 日の病状見通しについて、特別養護老人ホームでは「不変」が 80.0%と最も多く、ついで「軽快」が 6.1%、「悪化」が 6.0%であった。

老人保健施設については、「不変」が 83.7%と最も多く、ついで「軽快」が 6.0%、「悪化」が 3.6%であった。

介護療養病床については、「不変」が 86.1%と最も多く、ついで「悪化」が 5.7%、「軽快」が 2.8%であった。

医療療養病床については「不変」が 71.2%と最も多く、ついで「軽快」が 14.9%、「悪化」が 6.7%であった。

図表 107 今後 30 日の病状見通し

	件数	治癒	軽快	不変	悪化	タを ー実 ミ施 ナル スル ケ状 ア態	無回答
合 計	17866	140 0.8%	1122 6.3%	14606 81.8%	914 5.1%	443 2.5%	641 3.6%
特別養護老人ホーム	5236	40 0.8%	320 6.1%	4187 80.0%	312 6.0%	132 2.5%	245 4.7%
老人保健施設	6672	68 1.0%	397 6.0%	5582 83.7%	242 3.6%	122 1.8%	261 3.9%
介護療養病床	3992	11 0.3%	112 2.8%	3438 86.1%	229 5.7%	101 2.5%	101 2.5%
医療療養病床	1966	21 1.1%	293 14.9%	1399 71.2%	131 6.7%	88 4.5%	34 1.7%

（３）利用者に必要な医療・介護

利用者に必要と考える医療について、特別養護老人ホームでは「外来医療で対応可能」が 47.8%と最も多く、ついで「不要」が 23.3%、「在宅医療があれば対応可能」が 18.4%であった。

老人保健施設については、「外来医療で対応可能」が 41.5%と最も多く、ついで「在宅医療があれば対応可能」が 27.9%、「不要」が 19.8%であった。

介護療養病床については、「入院医療が必要」が 51.6%と最も多く、ついで「在宅医療があれば対応可能」が 34.0%、「外来医療で対応可能」が 7.9%であった。

医療療養病床については「入院医療が必要」が 53.5%と最も多く、ついで「在宅医療があれば対応可能」が 29.2%、「外来医療で対応可能」が 13.0%であった。

図表 108 利用者に必要と考える医療

	件数	入院医療が必要	在宅対応医療が可能	外来医療で対応可能	不要	無回答
合 計	17866	3926 22.0%	4752 26.6%	5845 32.7%	2758 15.4%	585 3.3%
特別養護老人ホーム	5236	291 5.6%	962 18.4%	2504 47.8%	1222 23.3%	257 4.9%
老人保健施設	6672	526 7.9%	1860 27.9%	2770 41.5%	1320 19.8%	196 2.9%
介護療養病床	3992	2058 51.6%	1356 34.0%	315 7.9%	176 4.4%	87 2.2%
医療療養病床	1966	1051 53.5%	574 29.2%	256 13.0%	40 2.0%	45 2.3%

その理由について、特別養護老人ホームでは「常時又は頻回な医療処置」が 41.2%と最も多く、ついで「医師による常時又は頻繁な評価」が 35.1%、「高度な医療処置」が 8.2%であった。

老人保健施設については、「常時又は頻回な医療処置」が 40.7%と最も多く、ついで「医師による常時又は頻繁な評価」が 39.7%、「高度な医療処置」が 4.0%であった。

介護療養病床については、「常時又は頻回な医療処置」が 43.6%と最も多く、ついで「医師による常時又は頻繁な評価」が 31.9%、「高度な医療処置」が 2.2%であった。

医療療養病床については「常時又は頻回な医療処置」が 61.7%と最も多く、ついで「医師による常時又は頻繁な評価」が 27.5%、「高度な医療処置」が 7.0%であった。

図表 109 入院医療が必要な理由（複数回答）

	件数	高度な医療処置	常時又は頻回な医療処置	医師又は頻回な常時評価	その他	無回答
合 計	3926	165 4.2%	1880 47.9%	1257 32.0%	734 18.7%	177 4.5%
特別養護老人ホーム	291	24 8.2%	120 41.2%	102 35.1%	44 15.1%	16 5.5%
老人保健施設	526	21 4.0%	214 40.7%	209 39.7%	75 14.3%	25 4.8%
介護療養病床	2058	46 2.2%	898 43.6%	657 31.9%	490 23.8%	79 3.8%
医療療養病床	1051	74 7.0%	648 61.7%	289 27.5%	125 11.9%	57 5.4%

利用者に必要と考える介護について、特別養護老人ホームでは「施設への入所が必要」が86.1%と最も多く、ついで「居宅サービスの利用で対応可能」が4.6%、「ほぼ不要」が2.8%であった。

老人保健施設については、「施設への入所が必要」が69.6%と最も多く、ついで「居宅サービスの利用で対応可能」が27.6%、「ほぼ不要」が0.8%であった。

介護療養病床については、「施設への入所が必要」が76.7%と最も多く、ついで「居宅サービスの利用で対応可能」が16.1%、「ほぼ不要」が2.7%であった。

医療療養病床については「施設への入所が必要」が59.4%と最も多く、ついで「居宅サービスの利用で対応可能」が20.9%、「ほぼ不要」が12.1%であった。

図表 110 利用者に必要と考える介護

	件数	施設への入所が必要	居宅利用サービスで対応可能	ほぼ不要	無回答
合 計	17866	13380 74.9%	3132 17.5%	546 3.1%	808 4.5%
特別養護老人ホーム	5236	4507 86.1%	240 4.6%	149 2.8%	340 6.5%
老人保健施設	6672	4643 69.6%	1839 27.6%	53 0.8%	137 2.1%
介護療養病床	3992	3062 76.7%	643 16.1%	107 2.7%	180 4.5%
医療療養病床	1966	1168 59.4%	410 20.9%	237 12.1%	151 7.7%

これを自宅の介護力別にみると、特別養護老人ホームにおいては、自宅介護力にかかわらず「施設への入所が必要」の割合が8割～9割を占めていたが、老人保健施設、医療療養病床においては、自宅介護力がある場合と比較し、自宅介護力がない場合は特に、「施設への入所が必要」の割合が高かった。

図表 111 利用者に必要と考える介護（自宅の介護力別）
＜特別養護老人ホーム＞

	件数	施設への入所が必要	居宅利用サービスで対応可能	ほぼ不要	無回答
合 計	5236	4507 86.1%	240 4.6%	149 2.8%	340 6.5%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	3524	3071 87.1%	140 4.0%	103 2.9%	210 6.0%
日中のみ、介護を出来る人がいる	87	73 83.9%	3 3.4%	1 1.1%	10 11.5%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	670	588 87.8%	35 5.2%	12 1.8%	35 5.2%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	383	331 86.4%	24 6.3%	7 1.8%	21 5.5%

<老人保健施設>

	件 数	施 必 設 要 へ の 入 所 が	居 利 宅 用 サ で ー 対 ビ 応 ス 可 の 能	ほ ぼ 不 要	無 回 答
合 計	6672	4643 69.6%	1839 27.6%	53 0.8%	137 2.1%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	4232	3198 75.6%	921 21.8%	30 0.7%	83 2.0%
日中のみ、介護を出来る人がいる	130	73 56.2%	52 40.0%	2 1.5%	3 2.3%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	988	615 62.2%	344 34.8%	10 1.0%	19 1.9%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	806	426 52.9%	364 45.2%	5 0.6%	11 1.4%

<介護療養病床>

	件 数	施 必 設 要 へ の 入 所 が	居 利 宅 用 サ で ー 対 ビ 応 ス 可 の 能	ほ ぼ 不 要	無 回 答
合 計	3992	3062 76.7%	643 16.1%	107 2.7%	180 4.5%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	2840	2293 80.7%	357 12.6%	72 2.5%	118 4.2%
日中のみ、介護を出来る人がいる	54	42 77.8%	10 18.5%	1 1.9%	1 1.9%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	424	298 70.3%	103 24.3%	11 2.6%	12 2.8%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	278	153 55.0%	112 40.3%	6 2.2%	7 2.5%

<医療療養病床>

	件 数	施 必 設 要 へ の 入 所 が	居 利 宅 用 サ で ー 対 ビ 応 ス 可 の 能	ほ ぼ 不 要	無 回 答
合 計	1966	1168 59.4%	410 20.9%	237 12.1%	151 7.7%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	1226	826 67.4%	179 14.6%	115 9.4%	106 8.6%
日中のみ、介護を出来る人がいる	28	13 46.4%	12 42.9%	3 10.7%	-
夜間のみ、介護を出来る人がいる	218	114 52.3%	67 30.7%	25 11.5%	12 5.5%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	237	71 30.0%	107 45.1%	51 21.5%	8 3.4%

生活の場に関する本人の希望と利用者に必要と考える介護の水準のクロス集計をおこなったところ、老人保健施設においては、居宅サービスの利用で対応可能と考えられる利用者のうち、45.9%が自宅での療養を希望していた。

図表 112 今後の生活の場に関する本人の希望／利用者に必要と考える介護
＜特別養護老人ホーム＞

	件数	意思能 の表示が不	希い望な をい把握して	貴の施設養 を希望で	自宅希望 での療養を	医養を機 関望での療	貴外の施設 ・貴施設以	その他	無回答
合 計	5236	2196 41.9%	729 13.9%	1839 35.1%	259 4.9%	28 0.5%	11 0.2%	53 1.0%	121 2.3%
施設への入所が必要	4507	1956 43.4%	610 13.5%	1609 35.7%	203 4.5%	22 0.5%	8 0.2%	44 1.0%	55 1.2%
居宅サービスの利用で対応可能	240	41 17.1%	57 23.8%	90 37.5%	44 18.3%	1 0.4%	2 0.8%	1 0.4%	4 1.7%
ほぼ不要	149	62 41.6%	39 26.2%	38 25.5%	6 4.0%	3 2.0%	1 0.7%	－	－

＜老人保健施設＞

	件数	意思能 の表示が不	希い望な をい把握して	貴の施設養 を希望で	自宅希望 での療養を	医養を機 関望での療	貴外の施設 ・貴施設以	その他	無回答
合 計	6672	2218 33.2%	1091 16.4%	1462 21.9%	1507 22.6%	23 0.3%	209 3.1%	53 0.8%	109 1.6%
施設への入所が必要	4643	1905 41.0%	782 16.8%	1079 23.2%	615 13.2%	16 0.3%	153 3.3%	38 0.8%	55 1.2%
居宅サービスの利用で対応可能	1839	266 14.5%	284 15.4%	354 19.2%	844 45.9%	4 0.2%	53 2.9%	13 0.7%	21 1.1%
ほぼ不要	53	10 18.9%	7 13.2%	5 9.4%	21 39.6%	2 3.8%	2 3.8%	－	6 11.3%

＜介護療養病床＞

	件数	意思能 の表示が不	希い望な をい把握して	貴の施設養 を希望で	自宅希望 での療養を	医養を機 関望での療	貴外の施設 ・貴施設以	その他	無回答
合 計	3992	2399 60.1%	346 8.7%	751 18.8%	334 8.4%	7 0.2%	32 0.8%	43 1.1%	80 2.0%
施設への入所が必要	3062	1972 64.4%	237 7.7%	594 19.4%	176 5.7%	4 0.1%	26 0.8%	21 0.7%	32 1.0%
居宅サービスの利用で対応可能	643	250 38.9%	88 13.7%	122 19.0%	147 22.9%	1 0.2%	5 0.8%	16 2.5%	14 2.2%
ほぼ不要	107	73 68.2%	9 8.4%	16 15.0%	3 2.8%	1 0.9%	－	2 1.9%	3 2.8%

<医療療養病床>

	件 数	意 思 可 能 の 表 示 が 不	希 い 望 な い を い 把 握 し て	貴 の 施 療 養 を 希 望 で	自 宅 希 望 で の 療 養 を	医 療 機 関 を 希 望 で の 療	貴 外 の 施 療 養 を 希 望 で の 療 養 を 希 望 で の 療 養 を 希 望 で	そ の 他	無 回 答
合 計	1966	956 48.6%	217 11.0%	312 15.9%	330 16.8%	12 0.6%	56 2.8%	21 1.1%	62 3.2%
施設への入所が必要	1168	665 56.9%	139 11.9%	193 16.5%	74 6.3%	6 0.5%	44 3.8%	16 1.4%	31 2.7%
居宅サービスの利用で対応可能	410	97 23.7%	42 10.2%	61 14.9%	191 46.6%	2 0.5%	10 2.4%	1 0.2%	6 1.5%
ほぼ不要	237	107 45.1%	24 10.1%	38 16.0%	57 24.1%	3 1.3%	2 0.8%	3 1.3%	3 1.3%

(4) 利用者本人および家族の希望

最も適切と考えられる生活・療養の場について、特別養護老人ホームでは「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 85.3%と最も多く、ついで「自宅（家族等との同居も含む）」が 5.3%、「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設（自院・他院を問わず）」が 1.6%であった。

老人保健施設については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 34.9%と最も多く、ついで「介護老人保健施設」が 25.9%、「自宅（家族等との同居も含む）」が 22.6%であった。

介護療養病床については、「介護療養型医療施設（自院・他院を問わず）」が 51.8%と最も多く、ついで「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 16.2%、「自宅（家族等との同居も含む）」が 11.1%であった。

医療療養病床については「医療療養病床（自院・他院を問わず）」が 45.0%と最も多く、ついで「自宅（家族等との同居も含む）」が 19.7%、「介護療養型医療施設（自院・他院を問わず）」が 10.2%であった。

図表 113 最も適切と考えられる生活・療養の場

	件数	自宅同居（家族等も含む）	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設	その他の介護施設	一般病院を問わない（一・一般他病棟を問わない）	医療療養型病院を問わない（医療・療養）	介護療養型医療施設（自院・他院を問わず）	その他の病院を問わない（自・他）	その他	無回答
合計	17866	2614 14.6%	7640 42.8%	2195 12.3%	660 3.7%	85 0.5%	1430 8.0%	2638 14.8%	48 0.3%	118 0.7%	438 2.5%
特別養護老人ホーム	5236	276 5.3%	4468 85.3%	85 1.6%	60 1.1%	11 0.2%	79 1.5%	85 1.6%	14 0.3%	21 0.4%	137 2.6%
老人保健施設	6672	1508 22.6%	2326 34.9%	1728 25.9%	434 6.5%	26 0.4%	152 2.3%	285 4.3%	13 0.2%	72 1.1%	128 1.9%
介護療養病床	3992	442 11.1%	648 16.2%	251 6.3%	101 2.5%	29 0.7%	314 7.9%	2068 51.8%	14 0.4%	10 0.3%	115 2.9%
医療療養病床	1966	388 19.7%	198 10.1%	131 6.7%	65 3.3%	19 1.0%	885 45.0%	200 10.2%	7 0.4%	15 0.8%	58 3.0%

自宅の介護力別にみると、特別養護老人ホーム以外においては、介護力の有無と最も適切な生活・療養の場が自宅であるか否かについての関連が見られ、自宅介護力がある場合は最も適切と考えられる場が「自宅」との回答が多くなっていた。

図表 114 最も適切と考えられる生活・療養の場（自宅の介護力別）
＜特別養護老人ホーム＞

	件数	自宅同居（家族等含む）	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	その他の介護施設	一般病院を問わず	医療療養病院を問わず	介護施設を問わず	施設を問わず	その他	無回答
合計	5236	276 5.3%	4468 85.3%	85 1.6%	60 1.1%	11 0.2%	79 1.5%	85 1.6%	14 0.3%	21 0.4%	137 2.6%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	3524	156 4.4%	3073 87.2%	53 1.5%	41 1.2%	4 0.1%	52 1.5%	45 1.3%	6 0.2%	11 0.3%	83 2.4%
日中のみ、介護を出来る人がいる	87	5 5.7%	73 83.9%	1 1.1%	-	-	2 2.3%	2 2.3%	-	-	4 4.6%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	670	49 7.3%	555 82.8%	13 1.9%	7 1.0%	2 0.3%	5 0.7%	12 1.8%	4 0.6%	3 0.4%	20 3.0%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	383	22 5.7%	319 83.3%	5 1.3%	4 1.0%	-	10 2.6%	12 3.1%	1 0.3%	-	10 2.6%

＜老人保健施設＞

	件数	自宅同居（家族等含む）	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	その他の介護施設	一般病院を問わず	医療療養病院を問わず	介護施設を問わず	施設を問わず	その他	無回答
合計	6672	1508 22.6%	2326 34.9%	1728 25.9%	434 6.5%	26 0.4%	152 2.3%	285 4.3%	13 0.2%	72 1.1%	128 1.9%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	4232	698 16.5%	1623 38.4%	1159 27.4%	291 6.9%	18 0.4%	107 2.5%	190 4.5%	12 0.3%	52 1.2%	82 1.9%
日中のみ、介護を出来る人がいる	130	41 31.5%	44 33.8%	29 22.3%	7 5.4%	1 0.8%	2 1.5%	4 3.1%	-	-	2 1.5%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	988	317 32.1%	292 29.6%	249 25.2%	54 5.5%	4 0.4%	18 1.8%	36 3.6%	-	4 0.4%	14 1.4%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	806	334 41.4%	207 25.7%	159 19.7%	51 6.3%	1 0.1%	13 1.6%	24 3.0%	1 0.1%	5 0.6%	11 1.4%

＜介護療養病床＞

	件数	自宅同居（家族等含む）	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	その他の介護施設	一般病院を問わず	医療療養病院を問わず	介護施設を問わず	施設を問わず	その他	無回答
合計	3992	442 11.1%	648 16.2%	251 6.3%	101 2.5%	29 0.7%	314 7.9%	2068 51.8%	14 0.4%	10 0.3%	115 2.9%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	2840	225 7.9%	481 16.9%	179 6.3%	75 2.6%	20 0.7%	221 7.8%	1545 54.4%	12 0.4%	9 0.3%	73 2.6%
日中のみ、介護を出来る人がいる	54	6 11.1%	14 25.9%	3 5.6%	2 3.7%	-	6 11.1%	23 42.6%	-	-	-
夜間のみ、介護を出来る人がいる	424	75 17.7%	73 17.2%	33 7.8%	13 3.1%	2 0.5%	30 7.1%	189 44.6%	-	1 0.2%	8 1.9%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	278	90 32.4%	36 12.9%	14 5.0%	4 1.4%	3 1.1%	22 7.9%	103 37.1%	1 0.4%	-	5 1.8%

＜医療療養病床＞

	件数	自宅同居も含む（家族等と）	介護施設（老人福祉施設）	介護施設（老人保健施設）	その他の介護施設	一般病院を問わず	医療・療養病院を問わず	介護施設（養老型医療）	施設を問わず	その他の病院を問わず	その他	無回答
合 計	1966	388 19.7%	198 10.1%	131 6.7%	65 3.3%	19 1.0%	885 45.0%	200 10.2%	7 0.4%	15 0.8%	58 3.0%	
日中、夜間ともに介護を出 来る人がいない	1226	131 10.7%	138 11.3%	79 6.4%	48 3.9%	7 0.6%	641 52.3%	134 10.9%	4 0.3%	7 0.6%	37 3.0%	
日中のみ、介護を出来る人 がいる	28	13 46.4%	3 10.7%	-	1 3.6%	-	7 25.0%	3 10.7%	-	1 3.6%	-	
夜間のみ、介護を出来る人 がいる	218	65 29.8%	15 6.9%	22 10.1%	4 1.8%	7 3.2%	82 37.6%	14 6.4%	-	2 0.9%	7 3.2%	
日中、夜間とも介護を出来 る人がいる	237	128 54.0%	13 5.5%	10 4.2%	1 0.4%	3 1.3%	59 24.9%	16 6.8%	-	3 1.3%	4 1.7%	

今後の生活・療養の場の見通しについて、特別養護老人ホームでは「現時点で、最も適切と考えられる場所での生活・療養する見通しが立っている」が83.2%、老人保健施設については、「現時点で、最も適切と考えられる場所での生活・療養する見通しが立っている」が32.6%、介護療養病床については、「現時点で、最も適切と考えられる場所での生活・療養する見通しが立っている」が54.7%、医療療養病床については、「現時点で、最も適切と考えられる場所での生活・療養する見通しが立っている」が54.8%であった。

図表 115 今後の生活・療養の場の見通し

	件数	現らす 時れる 点る見 で場通 、所し 最でが もの立 適生っ 切活て と・い 考療る え養	現らす 時れる 点る見 で場通 、所し 最でが もの立 適生っ 切活て と・い 考療な え養い	無 回 答
合 計	17866	9792 54.8%	7478 41.9%	596 3.3%
特別養護老人ホーム	5236	4357 83.2%	593 11.3%	286 5.5%
老人保健施設	6672	2173 32.6%	4330 64.9%	169 2.5%
介護療養病床	3992	2184 54.7%	1719 43.1%	89 2.2%
医療療養病床	1966	1078 54.8%	836 42.5%	52 2.6%

今後の生活の場に関する本人の希望について、特別養護老人ホームでは「意思の表示が不可能」が41.9%と最も多く、ついで「貴施設・貴院での療養を希望」が35.1%、「希望を把握していない」が13.9%であった。

老人保健施設については、「意思の表示が不可能」が33.2%と最も多く、ついで「自宅での療養を希望」が22.6%、「貴施設・貴院での療養を希望」が21.9%であった。

介護療養病床については、「意思の表示が不可能」が60.1%と最も多く、ついで「貴施設・貴院での療養を希望」が18.8%、「希望を把握していない」が8.7%であった。

医療療養病床については「意思の表示が不可能」が48.6%と最も多く、ついで「自宅での療養を希望」が16.8%、「貴施設・貴院での療養を希望」が15.9%であった。

図表 116 今後の生活の場に関する本人の希望

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養・貴院で希望	自宅希望での療養を	医療を希望関望での療	貴外の施設介護・貴施設希望	その他	無回答
合 計	17866	7769 43.5%	2383 13.3%	4364 24.4%	2430 13.6%	70 0.4%	308 1.7%	170 1.0%	372 2.1%
特別養護老人ホーム	5236	2196 41.9%	729 13.9%	1839 35.1%	259 4.9%	28 0.5%	11 0.2%	53 1.0%	121 2.3%
老人保健施設	6672	2218 33.2%	1091 16.4%	1462 21.9%	1507 22.6%	23 0.3%	209 3.1%	53 0.8%	109 1.6%
介護療養病床	3992	2399 60.1%	346 8.7%	751 18.8%	334 8.4%	7 0.2%	32 0.8%	43 1.1%	80 2.0%
医療療養病床	1966	956 48.6%	217 11.0%	312 15.9%	330 16.8%	12 0.6%	56 2.8%	21 1.1%	62 3.2%

これを自宅の介護力別にみたものが以下のとおりである。介護力の有無と今後の生活の場に関する本人の希望の間には関連が見られ、自宅介護力がない場合はある場合と比較して、「貴施設・貴院での療養を希望」の割合が高くなっていた。

図表 117 今後の生活の場に関する本人の希望（自宅の介護力別）

＜特別養護老人ホーム＞

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養・貴院で希望	自宅希望での療養を	医療を希望関望での療	貴外の施設介護・貴施設希望	その他	無回答
合 計	5236	2196 41.9%	729 13.9%	1839 35.1%	259 4.9%	28 0.5%	11 0.2%	53 1.0%	121 2.3%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	3524	1449 41.1%	472 13.4%	1308 37.1%	159 4.5%	21 0.6%	9 0.3%	38 1.1%	68 1.9%
日中のみ、介護を出来る人がいる	87	39 44.8%	15 17.2%	26 29.9%	3 3.4%	1 1.1%	-	1 1.1%	2 2.3%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	670	313 46.7%	89 13.3%	204 30.4%	43 6.4%	1 0.1%	2 0.3%	3 0.4%	15 2.2%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	383	178 46.5%	61 15.9%	99 25.8%	30 7.8%	1 0.3%	-	4 1.0%	10 2.6%

<老人保健施設>

	件 数	意 可 思 能 の 表 示 が 不	希 い 望 な い を 把 握 し て	貴 の 施 療 設 養 ・ を 貴 希 院 望 で	自 希 宅 望 で の 療 養 を	医 養 療 を 機 希 関 望 で の 療	貴 外 の 施 療 設 介 ・ 養 護 を 貴 希 院 望 以 で	そ の 他	無 回 答
合 計	6672	2218 33.2%	1091 16.4%	1462 21.9%	1507 22.6%	23 0.3%	209 3.1%	53 0.8%	109 1.6%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	4232	1425 33.7%	733 17.3%	1046 24.7%	738 17.4%	16 0.4%	167 3.9%	38 0.9%	69 1.6%
日中のみ、介護を出来る人がいる	130	36 27.7%	16 12.3%	35 26.9%	37 28.5%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%	2 1.5%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	988	311 31.5%	137 13.9%	199 20.1%	310 31.4%	2 0.2%	18 1.8%	4 0.4%	7 0.7%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	806	255 31.6%	109 13.5%	100 12.4%	314 39.0%	3 0.4%	12 1.5%	2 0.2%	11 1.4%

<介護療養病床>

	件 数	意 可 思 能 の 表 示 が 不	希 い 望 な い を 把 握 し て	貴 の 施 療 設 養 ・ を 貴 希 院 望 で	自 希 宅 望 で の 療 養 を	医 養 療 を 機 希 関 望 で の 療	貴 外 の 施 療 設 介 ・ 養 護 を 貴 希 院 望 以 で	そ の 他	無 回 答
合 計	3992	2399 60.1%	346 8.7%	751 18.8%	334 8.4%	7 0.2%	32 0.8%	43 1.1%	80 2.0%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	2840	1725 60.7%	258 9.1%	568 20.0%	200 7.0%	6 0.2%	21 0.7%	23 0.8%	39 1.4%
日中のみ、介護を出来る人がいる	54	30 55.6%	3 5.6%	16 29.6%	5 9.3%	-	-	-	-
夜間のみ、介護を出来る人がいる	424	237 55.9%	29 6.8%	80 18.9%	53 12.5%	1 0.2%	6 1.4%	12 2.8%	6 1.4%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	278	163 58.6%	22 7.9%	32 11.5%	52 18.7%	-	-	3 1.1%	6 2.2%

<医療療養病床>

	件 数	意 可 思 能 の 表 示 が 不	希 い 望 な い を 把 握 し て	貴 の 施 療 設 養 ・ を 貴 希 院 望 で	自 希 宅 望 で の 療 養 を	医 養 療 を 機 希 関 望 で の 療	貴 外 の 施 療 設 介 ・ 養 護 を 貴 希 院 望 以 で	そ の 他	無 回 答
合 計	1966	956 48.6%	217 11.0%	312 15.9%	330 16.8%	12 0.6%	56 2.8%	21 1.1%	62 3.2%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	1226	645 52.6%	127 10.4%	238 19.4%	118 9.6%	6 0.5%	44 3.6%	14 1.1%	34 2.8%
日中のみ、介護を出来る人がいる	28	6 21.4%	4 14.3%	4 14.3%	13 46.4%	-	-	1 3.6%	-
夜間のみ、介護を出来る人がいる	218	99 45.4%	22 10.1%	25 11.5%	58 26.6%	2 0.9%	3 1.4%	1 0.5%	8 3.7%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	237	79 33.3%	22 9.3%	17 7.2%	106 44.7%	2 0.8%	1 0.4%	2 0.8%	8 3.4%

今後の生活の場に関する家族の希望について、特別養護老人ホームでは「貴施設・貴院での療養を希望」が85.6%と最も多く、ついで「希望を把握していない」が7.0%、「意思の表示が不可能」が1.5%であった。老人保健施設については、「貴施設・貴院での療養を希望」が58.6%と最も多く、ついで「貴施設・貴院以外の介護施設での療養を希望」が19.6%、「希望を把握していない」が9.1%であった。

介護療養病床については、「貴施設・貴院での療養を希望」が82.4%と最も多く、ついで「貴施設・貴院以外の介護施設での療養を希望」が6.2%、「希望を把握していない」が3.8%であった。医療療養病床については「貴施設・貴院での療養を希望」が63.0%と最も多く、ついで「自宅での療養を希望」が10.7%、「貴施設・貴院以外の介護施設での療養を希望」が10.4%であった。

図表 118 今後の生活の場に関する家族の希望

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養を希望	自宅希望での療養を	医療を希望との療	貴施設の療養を希望	その他	無回答
合 計	17866	276 1.5%	1265 7.1%	12917 72.3%	733 4.1%	210 1.2%	1780 10.0%	273 1.5%	412 2.3%
特別養護老人ホーム	5236	78 1.5%	367 7.0%	4481 85.6%	9 0.2%	72 1.4%	24 0.5%	68 1.3%	137 2.6%
老人保健施設	6672	55 0.8%	605 9.1%	3909 58.6%	454 6.8%	89 1.3%	1306 19.6%	129 1.9%	125 1.9%
介護療養病床	3992	93 2.3%	153 3.8%	3289 82.4%	60 1.5%	26 0.7%	246 6.2%	44 1.1%	81 2.0%
医療療養病床	1966	50 2.5%	140 7.1%	1238 63.0%	210 10.7%	23 1.2%	204 10.4%	32 1.6%	69 3.5%

これを自宅の介護力別にみたものが以下のとおりである。老人保健施設においては、介護力がある場合は、自宅での療養を希望する割合が2割、医療療養病床では4割であり、介護力がない場合と比較して割合が高くなっていた。

図表 119 今後の生活の場に関する家族の希望（自宅の介護力別）
＜特別養護老人ホーム＞

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養を希望	自宅希望での療養を	医療を希望との療	貴施設の療養を希望	その他	無回答
合 計	5236	78 1.5%	367 7.0%	4481 85.6%	9 0.2%	72 1.4%	24 0.5%	68 1.3%	137 2.6%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	3524	58 1.6%	245 7.0%	3038 86.2%	4 0.1%	46 1.3%	12 0.3%	46 1.3%	75 2.1%
日中のみ、介護を出来る人がいる	87	4 4.6%	5 5.7%	71 81.6%	1 1.1%	3 3.4%	－	1 1.1%	2 2.3%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	670	4 0.6%	40 6.0%	592 88.4%	－	10 1.5%	6 0.9%	3 0.4%	15 2.2%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	383	2 0.5%	27 7.0%	331 86.4%	2 0.5%	5 1.3%	2 0.5%	5 1.3%	9 2.3%

<老人保健施設>

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養・貴院で希望	自宅希望での療養を	医療機関希望での療養	貴施設の療養・貴院希望で	その他	無回答
合 計	6672	55 0.8%	605 9.1%	3909 58.6%	454 6.8%	89 1.3%	1306 19.6%	129 1.9%	125 1.9%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	4232	45 1.1%	409 9.7%	2575 60.8%	130 3.1%	64 1.5%	844 19.9%	80 1.9%	85 2.0%
日中のみ、介護を出来る人がいる	130	1 0.8%	13 10.0%	81 62.3%	15 11.5%	2 1.5%	15 11.5%	1 0.8%	2 1.5%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	988	2 0.2%	60 6.1%	561 56.8%	116 11.7%	7 0.7%	215 21.8%	17 1.7%	10 1.0%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	806	2 0.2%	43 5.3%	426 52.9%	162 20.1%	10 1.2%	136 16.9%	19 2.4%	8 1.0%

<介護療養病床>

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養・貴院で希望	自宅希望での療養を	医療機関希望での療養	貴施設の療養・貴院希望で	その他	無回答
合 計	3992	93 2.3%	153 3.8%	3289 82.4%	60 1.5%	26 0.7%	246 6.2%	44 1.1%	81 2.0%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	2840	79 2.8%	108 3.8%	2378 83.7%	17 0.6%	20 0.7%	164 5.8%	35 1.2%	39 1.4%
日中のみ、介護を出来る人がいる	54	1 1.9%	5 9.3%	39 72.2%	2 3.7%	-	6 11.1%	1 1.9%	-
夜間のみ、介護を出来る人がいる	424	4 0.9%	4 0.9%	351 82.8%	12 2.8%	2 0.5%	39 9.2%	3 0.7%	9 2.1%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	278	3 1.1%	6 2.2%	220 79.1%	23 8.3%	-	20 7.2%	1 0.4%	5 1.8%

<医療療養病床>

	件数	意思の表示が不可能	希望を把握していない	貴施設の療養・貴院で希望	自宅希望での療養を	医療機関希望での療養	貴施設の療養・貴院希望で	その他	無回答
合 計	1966	50 2.5%	140 7.1%	1238 63.0%	210 10.7%	23 1.2%	204 10.4%	32 1.6%	69 3.5%
日中、夜間ともに介護を出来る人がいない	1226	38 3.1%	85 6.9%	858 70.0%	45 3.7%	13 1.1%	124 10.1%	21 1.7%	42 3.4%
日中のみ、介護を出来る人がいる	28	1 3.6%	3 10.7%	11 39.3%	8 28.6%	-	4 14.3%	-	1 3.6%
夜間のみ、介護を出来る人がいる	218	2 0.9%	9 4.1%	134 61.5%	36 16.5%	3 1.4%	24 11.0%	1 0.5%	9 4.1%
日中、夜間とも介護を出来る人がいる	237	2 0.8%	7 3.0%	99 41.8%	97 40.9%	4 1.7%	17 7.2%	5 2.1%	6 2.5%

7. 療養病床転換意向について

介護療養病床の転換意向についてみると、「全ての病床について転換予定がある」病院が10.0%を占めていた。一方で、「転換の予定は未定であり、全ての病床について検討していない」病院が半数を超えていた。

図表 120 介護療養病床の転換意向（2014年6月末現在の状況）（複数回答）

	件数	全換 て予 定の 病 床 あ る つ い て 転	一換 部予 定の 病 床 あ る つ い て 転	転一に 換部つ のまい 予たて 定は検 は全討 未て中 定の だ病 が床	転りて 換、検 の全討 予てし 定のて は病い 未床な 定にい でつ あい	無 回 答
合 計	747	75 10.0%	29 3.9%	218 29.2%	387 51.8%	44 5.9%

介護療養病床の転換予定（2014年6月末現在の状況）については、以下の通りであった。

図表 121 介護療養病床の転換予定（2014年6月末現在の状況）

	件数	平 ま 成 で 2 に 7 年 換 3 予 月 定	平 ま 成 で 3 に 0 年 換 3 予 月 定	転 換 時 期 は 未 定	無 回 答
01 一般病床	317	2 0.6%	4 1.3%	19 6.0%	292 92.1%
02 医療療養病床	317	34 10.7%	47 14.8%	94 29.7%	150 47.3%
03 01, 02以外の医療保険 適用病床	317	-	5 1.6%	9 2.8%	303 95.6%
04 従来型介護老人保健施 設	317	1 0.3%	2 0.6%	8 2.5%	306 96.5%
05 療養型介護老人保健施 設	317	4 1.3%	11 3.5%	30 9.5%	272 85.8%
06 介護老人福祉施設(地 域密着型含む)	317	1 0.3%	2 0.6%	6 1.9%	308 97.2%
07 認知症対応型共同生活 介護事業所	317	1 0.3%	-	2 0.6%	314 99.1%
介護事業所(有料老人ホーム、 サービス付き高齢者向け住	317	1 0.3%	2 0.6%	2 0.6%	313 98.7%
09 小規模多機能型居宅介 護事業所	317	-	-	1 0.3%	316 99.7%
10 複合型サービス事業所	317	-	1 0.3%	1 0.3%	315 99.4%
11 04～10以外の介護 サービス事業所	317	-	1 0.3%	1 0.3%	315 99.4%
12 病床の廃止、減床	317	-	4 1.3%	4 1.3%	309 97.5%
13 01～12以外	317	-	2 0.6%	6 1.9%	309 97.5%

転換を検討している施設における、病床転換の意思決定において重要な要素は、「転換後の経営状況・採算性」「現在の介護療養病床の患者の介護ニーズ」「今後の報酬水準および政策動向」等の割合が高く、50%を超えていた。

図表 122 意思決定をする上で重要な要素（転換を検討している施設）（複数回答）

	件数	現在の病 床先の 介護療 養の 転	現在の病 床の 介護療 養の ニ	医師の確 保、看護 職員の 確	転換後の 採算性 の 状	補助金等 の 有 無	行政後押 しの有無 の 指 導	金融機関 等 の 有 無	近隣地域の 医療	および介 護のニ ーズ	所属する 法人の 針	今後の報 酬水準 動向	その他	無回答
合 計	317	128 40.4%	168 53.0%	116 36.6%	217 68.5%	66 20.8%	52 16.4%	31 9.8%	152 47.9%	77 24.3%	164 51.7%	5 1.6%	19 6.0%	

転換を検討していない施設における、転換が未定である理由は、「今後の報酬水準および政策動向をみて判断したいため」(55.3%)、「地域における、介護療養病床のニーズが高いため」(54.8%)が多く、5割を超えていた。

図表 123 転換が未定である理由（複数回答）

があるため 転換後の経営や資金繰り等に不安	難なため 建物改修が費用、面積等の面で困	が難しいため 介護サービス事業所との兼ね合い 同一法人内で保有している病床や	め 一部の病床を転換したばかりのた	ーズが高いため 地域における、介護療養病床のニ	みて判断したため 今後の報酬水準および政策動向を	るため 介護療養病床の経営が安定してい	ているため 現在の体制で患者の症状が安定し	件 数	
76 19.6%	84 21.7%	15 3.9%	4 1.0%	212 54.8%	214 55.3%	77 19.9%	112 28.9%	387	合計

	法人理念や職員意識等からみて、医療機関でなくなる・転換をする	現在入院している患者の転換先、入院し先を見つけることが困難なため	職員確保、配置が困難なため	介護保険サービスの運営ノウハウがないため	患者や家族の理解を得ることが困難なため	院内で転換について検討したこと	その他	無回答
合 計	49 12.7%	103 26.6%	49 12.7%	12 3.1%	37 9.6%	38 9.8%	14 3.6%	17 4.4%

意思決定をする上で重要な要素（転換を検討していない施設）については「転換後の経営状況、採算性」が 60.7%と最も多く、ついで「現在の療養病床の患者の介護ニーズ」が 54.5%、「地域におけるニーズ」が 45.5%であった。

図表 124 意思決定をする上で重要な要素（転換を検討していない施設）（複数回答）

	件数	現る受け入れの先で、保	現患者の療養病床のニーズ	医師、看護師、職員の	転換後の採算性の経営状況	補助金等の公的な	行政からの指導や	金融機関の有無からの	地域におけるニーズ	所針属する法人の方	その他	無回答
合計	387	144 37.2%	211 54.5%	89 23.0%	235 60.7%	87 22.5%	55 14.2%	11 2.8%	176 45.5%	60 15.5%	8 2.1%	16 4.1%

8. まとめ

(1) 結果のまとめ

本調査では、介護サービス事業所における医療職種の配置数、雇用形態および業務内容、入所者の状態等の実態を把握するとともに、施設における看取りの状況について把握した。また、施設類型別の利用者特性や日常的な医療的ケアの実施状況、さらに平成 23 年度の介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議を踏まえ、介護療養病床については病床転換の意向についても合わせて把握した。

① 医療職の勤務状況

各施設において、医師については通常最も長い時間勤務している医師 1 名、看護職員については過去 1 か月間に夜勤帯に勤務（オンコールによる呼出しを含む）した看護職員のうち、通常最も長い時間勤務している看護職員 1 名を調査対象とし、1 ヶ月間の勤務状況や夜間帯における緊急時の対応状況について尋ねた。

医師の 1 ヶ月の平均勤務日数及び平均勤務時間は、特別養護老人ホームではそれぞれ 5.9 日、12.5 時間であった。老人保健施設ではそれぞれ 17.1 日、97.2 時間、介護療養病床ではそれぞれ 19.7 日 146.8 時間、医療療養型病床ではそれぞれ 18.9 日、159.0 時間であった。また、勤務時間に占める夜間勤務時間の割合をみると、特別養護老人ホームでは平均 1.0%、老人保健施設では 2.1%、介護療養病床では 25.6%、医療療養型病床では 28.3%であった。

看護職員の 1 ヶ月の平均勤務日数は各施設類型とも約 20 日であった。平均勤務時間は、特別養護老人ホームでは 82.4 時間、老人保健施設では 128.0 時間、介護療養病床では 140.9 時間、医療療養型病床では 148.4 時間であった。また、1 ヶ月の平均夜間勤務時間は、特別養護老人ホームでは 1.9 時間、老人保健施設では 62.2 時間、介護療養病床では 71.8 時間、医療療養型病床では 74.4 時間であった。

医師が一晩にオンコールおよび緊急対応のため呼び出される回数はいずれの施設類型でも 1～2 回程度であり、呼び出された理由としては、特別養護老人ホームでは「看取り期の対応」が 55.5%を占め、その他「バイタルサインの悪化」「発熱」などが他の理由と比べ高かった。一方、老人保健施設、介護療養病床、医療療養型病床では、「バイタルサインの悪化」や「発熱」で呼び出される割合が「看取り期の対応」よりも高かった。

看護職員の夜勤時の業務内容については、どの施設類型においても「健康管理、健康状態確認」に割く時間が長く、夜勤時間の 1 割前後を占めていた。特別養護老人ホームでは「看取りへの関与」「診療の補助」に割く時間が他の施設類型に比べ長い傾向にあった。また、看護職員が一晩にオンコールおよび緊急対応のため呼び出される回数はいずれの施設類型でも 1～2 回程度であり、呼び出された理由としては「バイタルサインの低下」「発熱」が多かった。また特別養護老人ホームでは「看取り期の対応」が 2 割程度と他の施設類型に比べその割合が高かった。

② 施設における看取りの実施状況

各施設における看取りの方針や実施状況、今後の意向等について尋ねた。

看取りの方針については、特別養護老人ホームおよび老人保健施設では、半数以上の施設が「看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている」と回答していた。一方、介護療養病床および医療療養型病床では、「看取り期に入った利用者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない」との施設が半数以上を占めており、「看取

り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている」施設は3割程度であった。

看取りの指針の整備状況については、特別養護老人ホームでは「ある」と回答した施設が8割近くを占め、また老人保健施設では約5割が「ある」と回答していた。一方、介護療養病床および医療療養病床では「現在なく、作成の予定もない」と回答した施設が5割近くを占めていた。

2104年4月～6月における看取り介護の実施状況について尋ねたところ、施設で最期まで看取った人数は、特別養護老人ホームでは平均1.8人、老人保健施設では平均1.4人、介護療養病床では平均3.5人、医療療養病床では平均7.1人であった。

看取りの各対応については、看護職員が中心的な役割を果たしていることが示唆された。特別養護老人ホームでは、看取りの各対応いずれについても看護職員が関与している施設の割合が半数以上と高く、特に「看取り期の判断に関する情報共有」「死後の処置」については75%以上の施設で看護職員が関与していた。老人保健施設、介護療養病床においてもほぼすべての項目で看護職員の関わりが半数を超えていた。なお、介護療養病床では他の施設類型と比較し、「本人及び家族への説明」「看取り期の家族への説明、同意取得」における医師の関与度合いが高いという特徴が見られた。

各施設の医師および看護職員に看取りに対する取組み姿勢を尋ねたところ、いずれの施設類型においても約5割の医師が「積極的」あるいは「やや積極的」と回答していた。一方、看護職員では、特に特別養護老人ホームで「積極的」あるいは「やや積極的」と回答する看護職員の割合が高く、約6割を占めていた。看取りに対する今後の意向についても同様の結果が得られた。

看取り介護を行なう上での課題としては、すべての施設類型において、3割以上の施設が「看取り介護を行うための夜間の体制が十分でない」「研修等を通じた知識・技術の習得が不足している」を挙げていた。また、「看取り介護を行なう看護職員が不足している」との回答も3割前後と多かった。特別養護老人ホームおよび老人保健施設では、3割以上の施設で「看取り介護を行なうことで職員の精神的負担が増す」と回答していた。

③ 利用者の状況

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床それぞれについて、全利用者の1/10を抽出して横断的な比較調査を行った。

利用者の属性については、特別養護老人ホームでは約8割、老人保健施設および介護療養病床では約7割、医療療養病床では約6割を女性が占めていた。平均年齢については特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床で85～86歳、医療療養病床では81歳であった。

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床では認知症を有する利用者が8割前後を占め、特に特別養護老人ホームでその割合が高かった。一方、医療療養病床では認知症を有する利用者の割合が約6割と他の施設類型に比べ低くなっていた。

利用者の要介護度についてみると、特に介護療養病床では要介護5の者の割合が高く、半数以上を占めていた。一方、老人保健施設では「要介護度1」「要介護度2」の割合が他の施設類型に比べ高く、それぞれ1割、2割程度であった。また、医療区分については、医療療養病床において医療区分3の者が約3割を占めていた。

ADLの状況についてみると、「移動」については介護療養病床および医療療養型病床で「全介助」の割合が高く、それぞれ8割以上、7割以上となっていた。「食事」「排泄」「入浴」「着替え」についても同様に、介護療養病床および医療療養型病床で「全介助」の割合が高かった。

一方、老人保健施設では、他の施設類型に比べ、いずれの行為についても「自立」の割合が高い傾向がみられた。

利用者が有している傷病については、いずれの施設類型においても「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」が多かった。

利用者に必要と考える介護の水準について尋ねたところ、いずれの施設類型においても「施設への入所が必要」との回答が多数派であったが、老人保健施設では「居宅サービスの利用で対応可能」との回答が他の施設類型に比べ多く、3割近くを占めていた。

最も適切と考えられる療養の場についてみると、特別養護老人ホーム、介護療養病床、医療療養病床ともに自施設類型が適切との割合が多かったが、老人保健施設においては、「介護老人福祉施設」が34.9%を占め、「自宅」（22.6%）や「介護老人保健施設」（25.9%）が適切と考えられる者の割合よりも高かった。老人保健施設の場合は、特別養護老人ホームの待機者や、在宅復帰を前提とした者が入所しているため、最も適切と考えられる場にばらつきが生じているものと考えられる。

④ 介護療養病床の病床転換意向

介護療養病床の病床転換意向についてみると、全ての病床について転換を予定している医療機関が1割を占めていた。転換の意思決定において必要な要素は、「転換後の経営状況・採算性」「現在の介護療養病床の患者の介護ニーズ」「今後の報酬水準および政策動向」等の割合が高く、5割を超えていた。

転換を検討していない施設における、転換が未定である理由は、「今後の報酬水準および政策動向をみて判断したいため」（55.3%）、「地域における、介護療養病床のニーズが高いため」（54.8%）が多く、5割を超えていた。意思決定をする上で重要な要素は、「転換後の経営状況・採算性」「現在の介護療養病床の患者の介護ニーズ」「地域におけるニーズ」等の割合が高かった。

(2) 考察

本調査では、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床の各施設類型において、医療職の配置・医療行為の実施、看取りの状況、利用者の状況（施設横断的な比較）について把握した。

2104 年 4 月～6 月における看取り介護の実施状況について、施設で最期まで看取った人数は、特別養護老人ホームでは平均 1.8 人、老人保健施設では平均 1.4 人、介護療養病床では平均 3.5 人、医療療養病床では平均 7.1 人であったにもかかわらず、医師がオンコールで呼び出された際の利用者／患者の状態については、特別養護老人ホームでは「看取り期の対応」が 55.5%と最も多く、他の施設類型よりも高い傾向が見られた。一方で、老人保健施設、介護療養病床、医療療養病床では、診療行為等で呼び出される割合が多くなっていた。

これは、多くの特別養護老人ホームでは診療行為等の必要が少なく、また医師が常駐していないため、特別養護老人ホームにおいては、看取り期の対応としてに重点的に医師が呼ばれる一方、医師が常駐している、あるいは併設施設に常駐していることが多い他の施設類型では、医療処置の延長上に看取りが行われていると考えられるため、相対的に「看取り期の対応」の割合が小さくなっている可能性があると考えられる。

看取りの各段階に関与する職種の状況についてみると。特別養護老人ホームにおいては、看護職員、生活相談員、介護職員が看取りの各段階に関与しており、幅広い職種が看取りにかかわっている傾向が見られた。また老人保健施設では主として看護職員が看取りの一連の流れを通じて多くかかわっており、介護療養病床では、特に看取り期の判断や家族への説明は医師、看取り開始からの段階では看護職員が主として関与するなど、医療職が中心となった看取りへの取り組みを行っており、各施設類型ごとに「看取り」の捉え方、あり方がそれぞれ異なることが示唆された。

訪問調査の結果からも、特別養護老人ホームでは、職員や利用者も「生活の場」という認識があり、そこでの「看取り」は、暮らしの場で自然体で生活し、その延長として亡くなることと捉えられていた。老人保健施設では、在宅復帰の延長上に看取りがある、すなわち短期入所療養介護や通所リハビリテーションなどを活用して在宅生活を支援する一方、家族が利用者を在宅生活で支えきれなくなった場合は再度入所して支援を行い、最終的には施設で最期を迎える、という考え方である。

一方で、介護療養病床では介護的視点からのリハビリテーションや治療の一連の流れの中、最期にその人らしく亡くなることを看取りと捉え、医療が必要な者が多い医療療養病床では日常的な医療行為の継続を経て、その延長として亡くなることを看取りとして捉えられており、施設の機能によって看取りの捉え方も様々であることが明らかとなった。

よって、今後施設における看取りの取組を推進するためには、施設が果たすべき機能を踏まえた上で、推進方策を検討する必要があると考えられる。

利用者・患者の状況についてみると、各施設類型それぞれで利用者の状態に相違が見られた。利用者の要介護度は、特に介護療養病床では要介護 5 の者の割合が高く半数以上を占め、老人保健施設では要介護度 1 と 2 の者の割合が比較的高く、医療療養病床では医療区分 3 の者が 3 割を占めるなど、類型ごとに特徴が見られており、現状では各施設機能の目的に沿った入所がなされているものと考えられた。

最も適切と考えられる生活・療養の場について、特別養護老人ホーム、介護療養病床、医療療養病床では、それぞれ自施設類型との回答が多かったが、老人保健施設については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 34.9%と最も多く、ついで「介護老人保健施設」が 25.9%、「自宅（家族等との同居も含む）」が 22.6%であり、適切と考えられる場が多様であった。老人保健施設の場合は、中間施設としての役割から特別養護老人ホームの待機者や、在宅復帰を前提とした者が入所しているため、最も適切と考えられる場にばらつきが生じているものと考えられる。利用者に必要な介護の水準についても、老人保健施設では「居宅サービスの利用で対応可能」との回答が他の施設類型に比べ多く 3 割近くを占めるなど、施設を中間地点として自宅へ復帰することが前提とした入所者が他施設と比較して多いことが示唆された。

参考資料 1

集計表

I 施設票

1. 特別養護老人ホーム

図表 125 関連法人が運営する施設（複数回答）

	件数	病院	有床診療所	無床診療所	介護老人保健施設	事業所 認知症対応型共同生活介護	有料老人ホーム、サービス等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅、等	その他	無回答
合 計	711	92 12.9%	13 1.8%	110 15.5%	127 17.9%	226 31.8%	137 19.3%	200 28.1%	191 26.9%	

図表 126 うち、併設している施設（複数回答）

	件数	病院	有床診療所	無床診療所	介護老人保健施設	事業所 認知症対応型共同生活介護	有料老人ホーム、サービス等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅、等	その他	無回答
合計	520	13 2.5%	3 0.6%	37 7.1%	27 5.2%	72 13.8%	35 6.7%	64 12.3%	338 65.0%	

図表 127 関連法人が運営する事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	711	343 48.2%	47 6.6%	84 11.8%	45 6.3%	19 2.7%	603 84.8%	95 13.4%	692 97.3%	66 9.3%	103 14.5%	26 3.7%	570 80.2%	118 16.6%	10 1.4%

図表 128 うち、併設している事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	701	122 17.4%	20 2.9%	18 2.6%	9 1.3%	3 0.4%	278 39.7%	20 2.9%	332 47.4%	14 2.0%	25 3.6%	4 0.6%	248 35.4%	50 7.1%	353 50.4%

図表 129 要介護度別利用者数割合（施設の利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均値 (単位：%) □	標準偏差 (単位：%) □
要介護1	711	271 38.1%	380 53.4%	48 6.8%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	11 1.5%	2.81	3.73
要介護2	711	59 8.3%	398 56.0%	214 30.1%	24 3.4%	5 0.7%	-	-	-	-	-	-	-	11 1.5%	8.07	5.94
要介護3	711	-	53 7.5%	259 36.4%	297 41.8%	82 11.5%	7 1.0%	1 0.1%	1 0.1%	-	-	-	-	11 1.5%	20.84	8.03
要介護4	711	1 0.1%	-	37 5.2%	187 26.3%	333 46.8%	123 17.3%	19 2.7%	-	-	-	-	-	11 1.5%	33.02	8.19
要介護5	711	1 0.1%	5 0.7%	64 9.0%	184 25.9%	226 31.8%	158 22.2%	49 6.9%	10 1.4%	3 0.4%	-	-	-	11 1.5%	33.97	11.5
要介護1～3	711	-	24 3.4%	84 11.8%	234 32.9%	170 23.9%	120 16.9%	52 7.3%	15 2.1%	-	-	-	1 0.1%	11 1.5%	31.72	12.82
要介護4～5	711	1 0.1%	-	-	5 0.7%	23 3.2%	43 6.0%	117 16.5%	176 24.8%	226 31.8%	87 12.2%	22 3.1%	-	11 1.5%	66.99	13.64

図表 130 2014 年 6 月の施設サービス費（複数回答）

	件数	介護福祉施設サービス費（Ⅰ）	介護福祉施設サービス費（Ⅱ）	介護福祉施設サービス費（Ⅲ）	小規模介護福祉施設サービス費（Ⅰ）	小規模介護福祉施設サービス費（Ⅱ）	小規模介護福祉施設サービス費（Ⅲ）	ユニット型介護福祉施設サービス費（Ⅰ）	ユニット型介護福祉施設サービス費（Ⅱ）	小規模施設サービス費（Ⅰ）	小規模施設サービス費（Ⅱ）	旧施設サービス費（Ⅰ）	旧施設サービス費（Ⅱ）	小規模施設サービス費（Ⅰ）	小規模施設サービス費（Ⅱ）	ユニット型介護福祉施設サービス費（Ⅰ）	ユニット型介護福祉施設サービス費（Ⅱ）	ユニット型介護福祉施設サービス費（Ⅲ）	無回答
合計	711	195 27.4%	328 46.1%	9 1.3%	11 1.5%	18 2.5%	-	183 25.7%	8 1.1%	12 1.7%	-	162 22.8%	7 1.0%	24 3.4%	-	-	-	-	151 21.2%

図表 131 加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
01 夜勤職員配置加算	711	537 75.5%	132 18.6%	42 5.9%
02 日常生活継続支援加算	711	489 68.8%	169 23.8%	53 7.5%
03 看護体制加算(Ⅰ)	711	565 79.5%	102 14.3%	44 6.2%
04 看護体制加算(Ⅱ)	711	374 52.6%	250 35.2%	87 12.2%
05 看護体制加算(Ⅲ)	711	2 0.3%	528 74.3%	181 25.5%
06 夜間職員配置加算	711	160 22.5%	403 56.7%	148 20.8%
07 個別機能訓練加算	711	358 50.4%	265 37.3%	88 12.4%
08 退所前訪問相談援助加算	711	5 0.7%	559 78.6%	147 20.7%
09 退所後訪問相談援助加算	711	3 0.4%	561 78.9%	147 20.7%
10 退所時相談援助加算	711	4 0.6%	560 78.8%	147 20.7%
11 退所前連携加算	711	6 0.8%	558 78.5%	147 20.7%
12 経口移行加算	711	20 2.8%	544 76.5%	147 20.7%
13 経口維持加算(Ⅰ)	711	27 3.8%	534 75.1%	150 21.1%
14 経口維持加算(Ⅱ)	711	88 12.4%	483 67.9%	140 19.7%
15 在宅復帰支援機能加算	711	3 0.4%	559 78.6%	149 21.0%
16 在宅・入所相互利用加算	711	5 0.7%	560 78.8%	146 20.5%
17 認知症専門ケア加算	711	24 3.4%	539 75.8%	148 20.8%
18 サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	711	89 12.5%	479 67.4%	143 20.1%
19 サービス提供体制強化加算(Ⅱ)・ (Ⅲ)	711	126 17.7%	459 64.6%	126 17.7%

図表 132 看取り介護加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
(1) 死亡日以前4日以上30日以下	711	284 39.9%	376 52.9%	51 7.2%
(2) 死亡日以前2日又は3日	711	277 39.0%	379 53.3%	55 7.7%
(3) 死亡日	711	276 38.8%	380 53.4%	55 7.7%

図表 133 医療的ケアへの対応可否

	件数	日中の対応可否			夜間の対応可否		
		実施可能	実施不可能	無回答	実施可能	実施不可能	無回答
01 血糖測定・インスリン注射(自己管理・介助を含む)	711	524 73.7%	61 8.6%	126 17.7%	48 6.8%	491 69.1%	172 24.2%
02 静脈内注射(点滴を含む)	711	395 55.6%	145 20.4%	171 24.1%	49 6.9%	458 64.4%	204 28.7%
03 中心静脈栄養の管理	711	38 5.3%	454 63.9%	219 30.8%	6 0.8%	484 68.1%	221 31.1%
04 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	711	47 6.6%	451 63.4%	213 30.0%	7 1.0%	483 67.9%	221 31.1%
05 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	711	442 62.2%	104 14.6%	165 23.2%	219 30.8%	296 41.6%	196 27.6%
06 酸素療法	711	422 59.4%	124 17.4%	165 23.2%	305 42.9%	220 30.9%	186 26.2%
07 レスピレーター(人工呼吸器)の管理	711	24 3.4%	471 66.2%	216 30.4%	8 1.1%	482 67.8%	221 31.1%
08 気管切開のケア	711	94 13.2%	407 57.2%	210 29.5%	14 2.0%	475 66.8%	222 31.2%
09 疼痛の管理	711	350 49.2%	152 21.4%	209 29.4%	177 24.9%	311 43.7%	223 31.4%
10 09のうち麻薬を用いるもの	502	132 26.3%	293 58.4%	77 15.3%	41 8.4%	379 77.7%	68 13.9%
11 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	711	600 84.4%	24 3.4%	87 12.2%	202 28.4%	361 50.8%	148 20.8%
12 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	711	305 42.9%	221 31.1%	185 26.0%	229 32.2%	279 39.2%	203 28.6%
13 褥瘡の処置	711	579 81.4%	15 2.1%	117 16.5%	148 20.8%	385 54.1%	178 25.0%
カテーテル、留置カテーテル等)の管理	711	532 74.8%	45 6.3%	134 18.8%	244 34.3%	290 40.8%	177 24.9%
15 喀痰吸引	711	593 83.4%	15 2.1%	103 14.5%	388 54.6%	182 25.6%	141 19.8%
16 ネブライザー	711	283 39.8%	214 30.1%	214 30.1%	93 13.1%	395 55.6%	223 31.4%
17 創傷処置(褥瘡を除く)	711	543 76.4%	29 4.1%	139 19.5%	172 24.2%	347 48.8%	192 27.0%
18 服薬管理(注射を除く)	711	620 87.2%	—	91 12.8%	469 66.0%	102 14.3%	140 19.7%
19 認知症に関する専門的ケア	711	263 37.0%	204 28.7%	244 34.3%	211 29.7%	250 35.2%	250 35.2%
20 排便	707	557 78.8%	18 2.5%	132 18.7%	106 15.0%	411 58.1%	190 26.9%
21 浣腸	708	526 74.3%	39 5.5%	143 20.2%	89 12.6%	423 59.7%	196 27.7%
22 一時的導尿	711	384 54.0%	114 16.0%	213 30.0%	56 7.9%	424 59.6%	231 32.5%
23 その他	711	18 2.5%	10 1.4%	683 96.1%	4 0.6%	20 2.8%	687 96.6%

図表 134 施設利用者の医療機関等での受療実人数の割合（利用者に占める割合）

	件数	0%	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	100%未満	100%	無回答	（単位：％） 平均値 □	（単位：％） 標準偏差 □
01 外部医療機関への延べ通院者数	711	18 2.5%	155 21.8%	192 27.0%	109 15.3%	69 9.7%	34 4.8%	15 2.1%	8 1.1%	7 1.0%	3 0.4%	7 1.0%	6 0.8%	88 12.4%	21.49	19
02 外部医療機関への延べ入院者数	711	73 10.3%	463 65.1%	86 12.1%	9 1.3%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	3 0.4%	76 10.7%	5.63	7.95
03 外部医療機関からの訪問診療訪問回数	711	274 38.5%	82 11.5%	39 5.5%	19 2.7%	10 1.4%	13 1.8%	8 1.1%	7 1.0%	11 1.5%	6 0.8%	20 2.8%	26 3.7%	196 27.6%	17.44	31.2
04 外部医療機関からの往診に係る延べ訪問回数	711	247 34.7%	100 14.1%	32 4.5%	27 2.7%	11 1.5%	19 2.7%	1 0.1%	7 1.0%	4 0.6%	4 0.6%	13 1.8%	35 4.9%	219 30.8%	17.12	31.28

図表 135 死亡退所者の退所者に対する割合

	件数	0%	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	100%未満	100%	無回答	（単位：％） 平均値 □	（単位：％） 標準偏差 □
合 計	711	162 22.8%	1 0.1%	9 1.3%	21 3.0%	21 3.0%	14 2.0%	44 6.2%	61 8.6%	40 5.6%	50 7.0%	3 0.4%	205 28.8%	80 11.3%	57.11	40.16

図表 136 個別に看取り計画を立てた利用者の死亡退所者に占める割合

	件数	死亡退所だった施設	0%	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	100%未満	100%	無回答
合 計	711	200 28.1%	220 30.9%	4 0.6%	41 5.8%	47 6.6%	40 5.6%	14 2.0%	59 8.3%	86 12.1%

図表 137 施設内研修の実施

	件数	行っていない	行っている	無回答
合 計	711	33 4.6%	661 93.0%	17 2.4%

図表 138 研修の対象職種（複数回答）

	件数	介護職員	看護職員	その他	無回答
合 計	661	621 93.9%	588 89.0%	390 59.0%	30 4.5%

図表 139 研修の種類、テーマ（複数回答）

	件 数	看 取 り	急 変 時 対 応	感 染 症 対 策 、 予	介 護 引 職 員 の 喀 痰	介 護 事 故 防 止	そ の 他	無 回 答
合 計	661	414 62.6%	493 74.6%	633 95.8%	378 57.2%	568 85.9%	172 26.0%	8 1.2%

図表 140 利用者の急変時にスタッフが利用できる相談体制

	件 数	体 制 は な い	体 制 が あ る	無 回 答
合 計	711	36 5.1%	647 91.0%	28 3.9%

図表 141 相談対応職種（複数回答）

	件 数	医 師	看 護 職 員	介 護 職 員	そ の 他	無 回 答
合 計	647	254 39.3%	585 90.4%	116 17.9%	92 14.2%	7 1.1%

図表 142 利用者の医療に関する情報（カルテ・看護記録等）

	件数	電子化されている	現在電子化している導	入を考えている	現在電子化しても考え	っていない	無回答
合計	711	203 28.6%	116 16.3%	346 48.7%	46 6.5%		

図表 143 利用者情報の施設外での閲覧可否

	件数	施 可 設 能 外 で 閲 覧 が	施 不 設 可 外 で 閲 覧 は	無 回 答
合 計	203	21 10.3%	179 88.2%	3 1.5%

図表 144 実習生の受け入れ

	件数	行 っ て い な い	行 っ て い る	無 回 答
合 計	711	90 12.7%	599 84.2%	22 3.1%

図表 145 対象としている職種（複数回答）

	件数	介 学 護 生 職 員 （ 介 護	看 学 護 生 職 員 （ 看 護	そ の 他	無 回 答
合 計	599	495 82.6%	159 26.5%	248 41.4%	29 4.8%

図表 146 地域との交流（複数回答）

	件数	地 流 域 会 住 民 の 開 催 の 交	ボ 受 ラ け ン 入 テ ィ アの	祭 ト りの 等 の 催 イ ベ ン	地 康 域 相 住 談 民 ・ への 講 習 健 等	そ の 他	無 回 答
合 計	711	299 42.1%	646 90.9%	582 81.9%	173 24.3%	50 7.0%	35 4.9%

2. 老人保健施設

図表 147 関連法人が運営する施設（複数回答）

	件数	病院	有床診療所	無床診療所	介護老人福祉施設（特養）	認知症対応型共同生活介護事業所	その他の高齢者向け住宅、サービス等（高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅、サービス等（高齢者向け住宅、サービス等）	その他	無回答
合計	803	487 60.6%	110 13.7%	211 26.3%	241 30.0%	273 34.0%	190 23.7%	117 14.6%	49 6.1%	

図表 148 うち、併設している施設（複数回答）

	件数	病院	有床診療所	無床診療所	介護老人福祉施設（特養）	認知症対応型共同生活介護事業所	有料老人ホーム、サービス等（その他の高齢者住まい等）	付加高齢者向け住宅、等	その他	無回答
合計	754	158 21.0%	32 4.2%	50 6.6%	61 8.1%	81 10.7%	39 5.2%	51 6.8%	439 58.2%	

図表 149 関連法人が運営する事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	803	325 40.5%	30 3.7%	377 46.9%	326 40.6%	124 15.4%	287 35.7%	747 93.0%	219 27.3%	749 93.3%	86 10.7%	44 5.5%	674 83.9%	74 9.2%	8 1.0%

図表 150 うち、併設している事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	795	112 14.1%	8 1.0%	140 17.6%	133 16.7%	54 6.8%	73 9.2%	352 44.3%	65 8.2%	332 41.8%	17 2.1%	12 1.5%	317 39.9%	25 3.1%	379 47.7%

図表 151 要介護度別利用者数割合（施設の利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	(単位: %) 平均値 □	(単位: %) 標準偏差 □
要介護1	803	53 6.6%	379 47.2%	303 37.7%	50 6.2%	9 1.1%	-	-	-	-	-	-	-	9 1.1%	9.88	6.68
要介護2	803	15 1.9%	72 9.0%	398 49.6%	272 33.9%	33 4.1%	2 0.2%	1 0.1%	-	1 0.1%	-	-	-	9 1.1%	18.11	7.38
要介護3	803	12 1.5%	15 1.9%	168 20.9%	453 56.4%	135 16.8%	10 1.2%	1 0.1%	-	-	-	-	-	9 1.1%	23.88	7.16
要介護4	803	4 0.5%	9 1.1%	102 12.7%	410 51.1%	236 29.4%	27 3.4%	5 0.6%	-	1 0.1%	-	-	-	9 1.1%	27.08	7.63
要介護5	803	6 0.7%	69 8.6%	367 45.7%	242 30.1%	66 8.2%	22 2.7%	9 1.1%	8 1.0%	3 0.4%	1 0.1%	-	1 0.1%	9 1.1%	20.63	11.27
要介護1～3	803	6 0.7%	6 0.7%	17 2.1%	25 3.1%	64 8.0%	187 23.3%	263 32.8%	176 21.9%	39 4.9%	9 1.1%	-	2 0.2%	9 1.1%	51.86	14.08
要介護4・5	803	2 0.2%	1 0.1%	10 1.2%	42 5.2%	174 21.7%	246 30.6%	205 25.5%	63 7.8%	25 3.1%	15 1.9%	5 0.6%	6 0.7%	9 1.1%	47.71	14.04

図表 152 2014 年 6 月の施設サービス費（複数回答）

	件数	介護保険施設サービス費（Ⅰ）	従来型（Ⅱ）	在宅強化型（Ⅲ）	介護保険施設サービス費（Ⅳ）	ユニビニット型介護保険施設サービス費（Ⅴ）	は（Ⅵ）	ユニビニット型介護保険施設サービス費（Ⅶ）	は（Ⅷ）	ユニビニット型介護保険施設サービス費（Ⅸ）	無回答
合計	803	603 75.1%	71 8.8%	28 3.5%	68 8.5%	2 0.2%	1 0.1%	65 8.1%			

図表 153 加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
01 夜勤職員配置加算	803	698 86.9%	90 11.2%	15 1.9%
02 短期集中リハビリテーション実施加算	803	716 89.2%	73 9.1%	14 1.7%
03 認知症短期集中リハビリテーション実施加算	803	302 37.6%	466 58.0%	35 4.4%
04 入所前後訪問指導加算	803	133 16.6%	623 77.6%	47 5.9%
05 退所前訪問指導加算	803	243 30.3%	522 65.0%	38 4.7%
06 退所後訪問指導加算	803	120 14.9%	635 79.1%	48 6.0%
07 退所時指導加算	803	408 50.8%	364 45.3%	31 3.9%
08 退所時情報提供加算	803	411 51.2%	360 44.8%	32 4.0%
09 退所前連携加算	803	376 46.8%	390 48.6%	37 4.6%
10 老人訪問看護指示加算	803	35 4.4%	718 89.4%	50 6.2%
11 在宅復帰・在宅療養支援機能加算	803	147 18.3%	612 76.2%	44 5.5%
12 経口移行加算	803	69 8.6%	658 81.9%	76 9.5%
13 経口維持加算(Ⅰ)	803	35 4.4%	689 85.8%	79 9.8%
14 経口維持加算(Ⅱ)	803	194 24.2%	536 66.7%	73 9.1%
15 在宅復帰支援機能加算(介護療養型のみ)	803	4 0.5%	663 82.6%	136 16.9%
16 認知症専門ケア加算	803	88 11.0%	637 79.3%	78 9.7%
17 サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	803	555 69.1%	185 23.0%	63 7.8%
18 サービス提供体制強化加算(Ⅱ)・(Ⅲ)	803	186 23.2%	514 64.0%	103 12.8%

図表 154 ターミナルケア加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
(1) 死亡日以前4日以上30日以下	803	310 38.6%	465 57.9%	28 3.5%
(2) 死亡日以前2日又は3日	803	309 38.5%	466 58.0%	28 3.5%
(3) 死亡日	803	313 39.0%	464 57.8%	26 3.2%

図表 155 医療的ケアへの対応可否

	件数	日中の対応可否			夜間の対応可否		
		実施可能	実施不可能	無回答	実施可能	実施不可能	無回答
01 血糖測定・インスリン注射(自己管理・介助を含む)	803	664 82.7%	30 3.7%	109 13.6%	515 64.1%	149 18.6%	139 17.3%
02 静脈内注射(点滴を含む)	803	620 77.2%	44 5.5%	139 17.3%	497 61.9%	141 17.6%	165 20.5%
03 中心静脈栄養の管理	803	72 9.0%	540 67.2%	191 23.8%	60 7.5%	554 69.0%	189 23.5%
04 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	803	55 6.8%	565 70.4%	183 22.8%	36 4.5%	583 72.6%	184 22.9%
05 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	803	596 74.2%	62 7.7%	145 18.1%	542 67.5%	103 12.8%	158 19.7%
06 酸素療法	803	499 62.1%	136 16.9%	168 20.9%	471 58.7%	160 19.9%	172 21.4%
07 レスピレーター(人工呼吸器)の管理	803	34 4.2%	579 72.1%	190 23.7%	31 3.9%	584 72.7%	188 23.4%
08 気管切開のケア	803	207 25.8%	411 51.2%	185 23.0%	171 21.3%	444 55.3%	188 23.4%
09 疼痛の管理	803	505 62.9%	119 14.8%	179 22.3%	464 57.8%	156 19.4%	183 22.8%
10 09のうち麻薬を用いるもの	624	161 25.8%	382 61.2%	81 13.0%	139 22.4%	403 65.0%	78 12.6%
11 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	803	656 81.7%	32 4.0%	115 14.3%	568 70.7%	97 12.1%	138 17.2%
12 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	803	415 51.7%	213 26.5%	175 21.8%	395 49.2%	227 28.3%	181 22.5%
13 褥瘡の処置	803	673 83.8%	12 1.5%	118 14.7%	547 68.1%	102 12.7%	154 19.2%
カテーテル、留置カテーテル等)の管理	803	654 81.4%	22 2.7%	127 15.8%	585 72.9%	73 9.1%	145 18.1%
15 喀痰吸引	803	676 84.2%	13 1.6%	114 14.2%	597 74.3%	74 9.2%	132 16.4%
16 ネブライザー	803	477 59.4%	138 17.2%	188 23.4%	417 51.9%	193 24.0%	193 24.0%
17 創傷処置(褥瘡を除く)	803	650 80.9%	12 1.5%	141 17.6%	521 64.9%	109 13.6%	173 21.5%
18 服薬管理(注射を除く)	803	701 87.3%	1 0.1%	101 12.6%	648 80.7%	28 3.5%	127 15.8%
19 認知症に関する専門的ケア	803	421 52.4%	176 21.9%	206 25.7%	378 47.1%	213 26.5%	212 26.4%
20 排便	803	669 83.3%	7 0.9%	127 15.8%	535 66.6%	112 13.9%	156 19.4%
21 浣腸	803	639 79.6%	21 2.6%	143 17.8%	499 62.1%	137 17.1%	167 20.8%
22 一時的導尿	803	586 73.0%	49 6.1%	168 20.9%	487 60.6%	131 16.3%	185 23.0%
23 その他	803	18 2.2%	12 1.5%	773 96.3%	13 1.6%	15 1.9%	775 96.5%

図表 156 施設利用者の医療機関等での受療実人数の割合（利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均値（単位：%）	標準偏差（単位：%）
01 外部医療機関への延べ通院者数①実人数	803	65 8.1%	294 36.6%	200 24.9%	88 11.0%	23 2.9%	17 2.1%	7 0.9%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	105 13.1%	12.4	11.95
02 外部医療機関からの往診に係る延べ訪問回数①実人数	803	441 54.9%	114 14.2%	53 6.6%	20 2.5%	11 1.4%	7 0.9%	2 0.2%	-	1 0.1%	-	1 0.1%	153 19.1%	4.16	9.78

図表 157 死亡退所者の退所者に対する割合

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均値（単位：%）	標準偏差（単位：%）
合 計	803	387 48.2%	176 21.9%	96 12.0%	59 7.3%	23 2.9%	18 2.2%	12 1.5%	7 0.9%	2 0.2%	1 0.1%	4 0.5%	18 2.2%	8.73	15.03

図表 158 個別に看取り計画を立てた利用者の死亡退所者に占める割合

	件数	死亡退所・退院施設	0 %	2 0 %未満	4 0 %未満	6 0 %未満	8 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答
合計	803	392 48.8%	129 16.1%	1 0.1%	17 2.1%	35 4.4%	34 4.2%	17 2.1%	162 20.2%	16 2.0%

3. 介護療養病床

図表 159 施設区分

	件 数	病 院	診 療 所	無 回 答
合 計	747	568 76.0%	179 24.0%	-

図表 160 関連法人が運営する施設（複数回答）

	件 数	介護老人福祉施設	認知症対応型共同生活介護事業所	介護老人保健施設	有料老人ホーム、サニール等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅等（その他）	無回答
合 計	747	77 10.3%	149 19.9%	224 30.0%	112 15.0%	104 13.9%	331 44.3%

図表 161 うち、併設している施設（複数回答）

	件 数	介護老人福祉施設	認知症対応型共同生活介護事業所	介護老人保健施設	有料老人ホーム、サニール等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅等（その他）	無回答
合 計	416	16 3.8%	29 7.0%	73 17.5%	25 6.0%	19 4.6%	298 71.6%

図表 162 関連法人が運営する事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定生活介護施設入所者	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	747	169 22.6%	18 2.4%	356 47.7%	286 38.3%	253 33.9%	186 24.9%	386 51.7%	96 12.9%	463 62.0%	35 4.7%	28 3.7%	401 53.7%	43 5.8%	88 11.8%

図表 163 うち、併設している事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定生活介護施設入所者	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合計	659	36 5.5%	3 0.5%	77 11.7%	76 11.5%	49 7.4%	45 6.8%	136 20.6%	25 3.8%	124 18.8%	10 1.5%	8 1.2%	119 18.1%	8 1.2%	462 70.1%

図表 164 入院患者数

	件数	0人	10人	20人	30人	40人	50人	60人	70人	80人	90人	100人以上	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
01 介護療養病床	747	2 0.3%	158 21.2%	133 17.8%	72 9.6%	86 11.5%	46 6.2%	144 19.3%	39 5.2%	15 2.0%	8 1.1%	5 0.7%	39 5.2%	47.22	122.03

図表 165 病床稼働率

	件数	0 %	1 0 % 未 満	2 0 % 未 満	3 0 % 未 満	4 0 % 未 満	5 0 % 未 満	6 0 % 未 満	7 0 % 未 満	8 0 % 未 満	9 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	1 0 0 %	無 回 答	（単位 均：% 値）□	（単位 偏：差% ）□
01 介護療養病床	747	2 0.3%	-	5 0.7%	7 0.9%	4 0.5%	9 1.2%	14 1.9%	34 4.6%	43 5.8%	111 14.9%	246 32.9%	231 30.9%	41 5.5%	88.96	16.57

図表 166 要介護度別利用者数割合（施設の利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 % 未満	2 0 % 未満	3 0 % 未満	4 0 % 未満	5 0 % 未満	6 0 % 未満	7 0 % 未満	8 0 % 未満	9 0 % 未満	1 0 0 % 未満	1 0 0 %	無回答	平均値 (単位：%) □	標準偏差 (単位：%) □
要介護1	747	597 79.9%	102 13.7%	27 3.6%	7 0.9%	1 0.1%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	12 1.6%	1.3	4.12
要介護2	747	456 61.0%	205 27.4%	52 7.0%	14 1.9%	6 0.8%	-	2 0.3%	-	-	-	-	-	12 1.6%	3.03	6.16
要介護3	747	231 30.9%	256 34.3%	160 21.4%	62 8.3%	15 2.0%	3 0.4%	7 0.9%	-	-	1 0.1%	-	-	12 1.6%	8.19	9.87
要介護4	747	37 5.0%	25 3.3%	80 10.7%	186 24.9%	210 28.1%	98 13.1%	67 9.0%	17 2.3%	5 0.7%	1 0.1%	-	9 1.2%	12 1.6%	31.99	16.53
要介護5	747	23 3.1%	5 0.7%	15 2.0%	49 6.6%	67 9.0%	116 15.5%	145 19.4%	144 19.3%	83 11.1%	50 6.7%	16 2.1%	22 2.9%	12 1.6%	54.7	21.71
要介護1～3	747	204 27.3%	199 26.6%	162 21.7%	74 9.9%	47 6.3%	21 2.8%	20 2.7%	3 0.4%	2 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	12 1.6%	12.51	14.96
要介護4・5	747	2 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	3 0.4%	15 2.0%	28 3.7%	50 6.7%	67 9.0%	169 22.6%	200 26.8%	197 26.4%	12 1.6%	86.69	15.79

図表 167 2014 年 6 月の施設サービス費（複数回答）

	件数	療養型介護療養施設サービス費（Ⅰ）	療養型介護療養施設サービス費（Ⅱ）	療養型介護療養施設サービス費（Ⅲ）	施設サービス費（Ⅰ）	施設サービス費（Ⅱ）	ユニット型療養型介護療養施設サービス費（Ⅰ）	ユニット型療養型介護療養施設サービス費（Ⅱ）	ユニット型療養型介護療養施設サービス費（Ⅲ）	無回答
合計	747	638 85.4%	54 7.2%	16 2.1%	1 0.1%	2 0.3%	-	-	-	53 7.1%

図表 168 加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
01 認知症行動・心理症状 緊急対応加算	747	-	606 81.1%	141 18.9%
02 サービス提供体制強化 加算(Ⅰ)	747	256 34.3%	346 46.3%	145 19.4%
03 サービス提供体制強化 加算(Ⅱ)・(Ⅲ)	747	358 47.9%	296 39.6%	93 12.4%
04 経口移行加算	747	50 6.7%	555 74.3%	142 19.0%
05 経口維持加算(Ⅰ)	747	19 2.5%	580 77.6%	148 19.8%
06 経口維持加算(Ⅱ)	747	54 7.2%	548 73.4%	145 19.4%
07 認知症専門ケア加算	747	12 1.6%	589 78.8%	146 19.5%
08 夜間勤務等看護(Ⅰ)	747	4 0.5%	564 75.5%	179 24.0%
09 夜間勤務等看護(Ⅱ)	747	7 0.9%	562 75.2%	178 23.8%
10 夜間勤務等看護(Ⅲ)	747	86 11.5%	509 68.1%	152 20.3%
11 夜間勤務等看護(Ⅳ)	747	282 37.8%	352 47.1%	113 15.1%

図表 169 医療的ケアへの対応可否

		日中の対応可否			夜間の対応可否		
	件数	実施可能	実施不可能	無回答	実施可能	実施不可能	無回答
01 血糖測定・インスリン注射(自己管理・介助を含む)	747	595 79.7%	25 3.3%	127 17.0%	537 71.9%	67 9.0%	143 19.1%
02 静脈内注射(点滴を含む)	747	593 79.4%	18 2.4%	136 18.2%	551 73.8%	45 6.0%	151 20.2%
03 中心静脈栄養の管理	747	354 47.4%	187 25.0%	206 27.6%	343 45.9%	196 26.2%	208 27.8%
04 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	747	38 5.1%	483 64.7%	226 30.3%	24 3.2%	495 66.3%	228 30.5%
05 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	747	489 65.5%	76 10.2%	182 24.4%	476 63.7%	84 11.2%	187 25.0%
06 酸素療法	747	547 73.2%	34 4.6%	166 22.2%	542 72.6%	39 5.2%	166 22.2%
07 レスピレーター(人工呼吸器)の管理	747	95 12.7%	429 57.4%	223 29.9%	90 12.0%	433 58.0%	224 30.0%
08 気管切開のケア	747	382 51.1%	167 22.4%	198 26.5%	369 49.4%	177 23.7%	201 26.9%
09 疼痛の管理	747	473 63.3%	71 9.5%	203 27.2%	461 61.7%	82 11.0%	204 27.3%
10 09のうち麻薬を用いるもの	544	311 57.2%	179 32.9%	54 9.9%	292 53.8%	194 35.7%	57 10.5%
11 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	747	648 86.7%	13 1.7%	86 11.5%	613 82.1%	29 3.9%	105 14.1%
12 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	747	522 69.9%	59 7.9%	166 22.2%	514 68.8%	61 8.2%	172 23.0%
13 褥瘡の処置	747	616 82.5%	12 1.6%	119 15.9%	514 68.8%	82 11.0%	151 20.2%
カテーテル、留置カテーテル等)の管理	747	621 83.1%	9 1.2%	117 15.7%	597 79.9%	19 2.5%	131 17.5%
15 喀痰吸引	747	647 86.6%	3 0.4%	97 13.0%	634 84.9%	8 1.1%	105 14.1%
16 ネブライザー	747	494 66.1%	64 8.6%	189 25.3%	467 62.5%	83 11.1%	197 26.4%
17 創傷処置(褥瘡を除く)	747	562 75.2%	24 3.2%	161 21.6%	489 65.5%	76 10.2%	182 24.4%
18 服薬管理(注射を除く)	747	664 88.9%	—	83 11.1%	637 85.3%	11 1.5%	99 13.3%
19 認知症に関する専門的ケア	747	244 32.7%	263 35.2%	240 32.1%	207 27.7%	296 39.6%	244 32.7%
20 排便	747	618 82.7%	8 1.1%	121 16.2%	537 71.9%	59 7.9%	151 20.2%
21 浣腸	747	562 75.2%	32 4.3%	153 20.5%	496 66.4%	71 9.5%	180 24.1%
22 一時的導尿	747	496 66.4%	47 6.3%	204 27.3%	479 64.1%	59 7.9%	209 28.0%
23 その他	747	35 4.7%	15 2.0%	697 93.3%	27 3.6%	21 2.8%	699 93.6%

図表 170 1 か月間に外部医療機関で受療した実人数の割合（利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 % 未満	2 0 % 未満	3 0 % 未満	4 0 % 未満	5 0 % 未満	6 0 % 未満	7 0 % 未満	8 0 % 未満	9 0 % 未満	1 0 0 % 未満	1 0 0 %	無回答	平均値	（単位：％） □	（単位：偏差％） □
合計	747	422 56.5%	200 26.8%	38 5.1%	18 2.4%	2 0.3%	-	2 0.3%	2 0.3%	-	1 0.1%	-	-	62 8.3%	2.99		7.45

図表 171 死亡退所者の退所者に対する割合

	件数	0 %	1 0 % 未満	2 0 % 未満	3 0 % 未満	4 0 % 未満	5 0 % 未満	6 0 % 未満	7 0 % 未満	8 0 % 未満	9 0 % 未満	1 0 0 % 未満	1 0 0 %	無回答	平均値	（単位：％） □	（単位：偏差％） □
合計	747	176 23.6%	37 5.0%	42 5.6%	47 6.3%	46 6.2%	42 5.6%	58 7.8%	46 6.2%	25 3.3%	33 4.4%	4 0.5%	52 7.0%	139 18.6%	35.36		33.47

図表 172 個別に看取り計画を立てた利用者の死亡退所者に占める割合

	件数	死亡退所者・つ退た院施	0 %	2 0 % 未満	4 0 % 未満	6 0 % 未満	8 0 % 未満	1 0 0 % 未満	1 0 0 %	無回答
合計	747	267 35.7%	280 37.5%	1 0.1%	7 0.9%	8 1.1%	17 2.3%	14 1.9%	124 16.6%	29 3.9%

4. 医療療養病床

図表 173 施設区分

	件 数	病 院	診 療 所	無 回 答
合 計	303	301 99.3%	2 0.7%	-

図表 174 関連法人が運営する施設（複数回答）

	件 数	介護老人福祉施設	認知症対応型共同生活介護事業所	介護老人保健施設	有料老人ホーム、サニール等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅等（その他）	無回答
合 計	303	33 10.9%	50 16.5%	99 32.7%	47 15.5%	40 13.2%	141 46.5%

図表 175 うち、併設している施設（複数回答）

	件 数	介護老人福祉施設	認知症対応型共同生活介護事業所	介護老人保健施設	有料老人ホーム、サニール等（その他の高齢者住まい等）	付き高齢者向け住宅等（その他）	無回答
合 計	162	35 21.6%	50 30.9%	100 61.7%	47 29.0%	40 24.7%	-

図表 176 関連法人が運営する事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定生活介護施設入所者	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合 計	303	68 22.4%	8 2.6%	143 47.2%	125 41.3%	65 21.5%	72 23.8%	147 48.5%	34 11.2%	96 31.7%	13 4.3%	11 3.6%	151 49.8%	11 3.6%	68 22.4%

図表 177 うち、併設している事業所・サービス（複数回答）

	件数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定生活介護施設入所者	福祉用具貸与	居宅介護支援	その他	無回答
合 計	235	68 28.9%	8 3.4%	143 60.9%	125 53.2%	65 27.7%	73 31.1%	147 62.6%	35 14.9%	96 40.9%	14 6.0%	12 5.1%	151 64.3%	11 4.7%	-

図表 178 入院患者数

	件数	0人	10人	20人	30人	40人	50人	60人	70人	80人	90人	301人以上	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
02 医療療養病床	303	1 0.3%	9 3.0%	28 9.2%	48 15.8%	44 14.5%	39 12.9%	63 20.8%	30 9.9%	12 4.0%	9 3.0%	2 0.7%	18 5.9%	63.65	56.34

図表 179 病床稼働率

	件数	0 %	1 0 % 未 満	2 0 % 未 満	3 0 % 未 満	4 0 % 未 満	5 0 % 未 満	6 0 % 未 満	7 0 % 未 満	8 0 % 未 満	9 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	1 0 0 %	無 回 答	（単位 均：% 値）□	（単位 偏：差% ）□
02 医療療養病床	303	1 0.3%	-	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	3 1.0%	12 4.0%	12 4.0%	26 8.6%	62 20.5%	110 36.3%	48 15.8%	26 8.6%	87.16	14.98

図表 180 要介護度別利用者数割合（施設の利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均値 (単位：%) □	標準偏差 (単位：%) □
要介護1	747	597 79.9%	102 13.7%	27 3.6%	7 0.9%	1 0.1%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	12 1.6%	1.3	4.12
要介護2	747	456 61.0%	205 27.4%	52 7.0%	14 1.9%	6 0.8%	-	2 0.3%	-	-	-	-	-	12 1.6%	3.03	6.16
要介護3	747	231 30.9%	256 34.3%	160 21.4%	62 8.3%	15 2.0%	3 0.4%	7 0.9%	-	-	1 0.1%	-	-	12 1.6%	8.19	9.87
要介護4	747	37 5.0%	25 3.3%	80 10.7%	186 24.9%	210 28.1%	98 13.1%	67 9.0%	17 2.3%	5 0.7%	1 0.1%	-	9 1.2%	12 1.6%	31.99	16.53
要介護5	747	23 3.1%	5 0.7%	15 2.0%	49 6.6%	67 9.0%	116 15.5%	145 19.4%	144 19.3%	83 11.1%	50 6.7%	16 2.1%	22 2.9%	12 1.6%	54.7	21.71
要介護1～3	747	204 27.3%	199 26.6%	162 21.7%	74 9.9%	47 6.3%	21 2.8%	20 2.7%	3 0.4%	2 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	12 1.6%	12.51	14.96
要介護4・5	747	2 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	3 0.4%	15 2.0%	28 3.7%	50 6.7%	67 9.0%	169 22.6%	200 26.8%	197 26.4%	12 1.6%	86.69	15.79

図表 181 2014 年 6 月の入院基本料（複数回答）

	件数	療養病棟入院基本料 1	療養病棟入院基本料 2	有入院診療基本料	回復期リハビリ入院料 1	地域包括ケア病院管理料 1	無回答
合計	303	163 53.8%	139 45.9%	1 0.3%	51 16.8%	4 1.3%	8 2.6%

図表 182 加算の算定状況

	件 数	算 定 あ り	算 定 な し	無 回 答
01 在宅患者緊急入院診療加算	303	6 2.0%	246 81.2%	51 16.8%
02 療養病棟環境改善加算1	303	64 21.1%	207 68.3%	32 10.6%
03 療養病棟環境改善加算2	303	9 3.0%	247 81.5%	47 15.5%
04 診療所療養病棟環境改善加算	303	—	252 83.2%	51 16.8%
05 退院調整加算	303	68 22.4%	197 65.0%	38 12.5%
06 在宅復帰支援機能加算	303	2 0.7%	250 82.5%	51 16.8%
07 在宅復帰機能強化加算	303	22 7.3%	234 77.2%	47 15.5%

図表 183 医療的ケアへの対応可否

	件数	日中の対応可否			夜間の対応可否		
		実施可能	実施不可能	無回答	実施可能	実施不可能	無回答
01 血糖測定・インスリン注射(自己管理・介助を含む)	303	269 88.8%	3 1.0%	31 10.2%	251 82.8%	12 4.0%	40 13.2%
02 静脈内注射(点滴を含む)	303	264 87.1%	—	39 12.9%	248 81.8%	6 2.0%	49 16.2%
03 中心静脈栄養の管理	303	219 72.3%	33 10.9%	51 16.8%	202 66.7%	44 14.5%	57 18.8%
04 透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	303	57 18.8%	170 56.1%	76 25.1%	31 10.2%	194 64.0%	78 25.7%
05 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	303	215 71.0%	27 8.9%	61 20.1%	203 67.0%	31 10.2%	69 22.8%
06 酸素療法	303	261 86.1%	5 1.7%	37 12.2%	255 84.2%	5 1.7%	43 14.2%
07 レスピレーター(人工呼吸器)の管理	303	104 34.3%	130 42.9%	69 22.8%	101 33.3%	134 44.2%	68 22.4%
08 気管切開のケア	303	233 76.9%	24 7.9%	46 15.2%	219 72.3%	31 10.2%	53 17.5%
09 疼痛の管理	303	221 72.9%	12 4.0%	70 23.1%	218 71.9%	12 4.0%	73 24.1%
10 09のうち麻薬を用いるもの	233	182 78.1%	32 13.7%	19 8.2%	169 73.5%	40 17.4%	21 9.1%
11 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	303	264 87.1%	1 0.3%	38 12.5%	252 83.2%	6 2.0%	45 14.9%
12 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	303	254 83.8%	4 1.3%	45 14.9%	251 82.8%	5 1.7%	47 15.5%
13 褥瘡の処置	303	262 86.5%	1 0.3%	40 13.2%	220 72.6%	23 7.6%	60 19.8%
カテーテル、留置カテーテル等の管理	303	259 85.5%	—	44 14.5%	247 81.5%	7 2.3%	49 16.2%
15 喀痰吸引	303	268 88.4%	—	35 11.6%	266 87.8%	—	37 12.2%
16 ネブライザー	303	225 74.3%	16 5.3%	62 20.5%	218 71.9%	20 6.6%	65 21.5%
17 創傷処置(褥瘡を除く)	303	247 81.5%	4 1.3%	52 17.2%	206 68.0%	30 9.9%	67 22.1%
18 服薬管理(注射を除く)	303	264 87.1%	—	39 12.9%	257 84.8%	5 1.7%	41 13.5%
19 認知症に関する専門的ケア	303	95 31.4%	123 40.6%	85 28.1%	74 24.4%	137 45.2%	92 30.4%
20 排便	303	258 85.1%	4 1.3%	41 13.5%	227 74.9%	21 6.9%	55 18.2%
21 浣腸	303	246 81.2%	7 2.3%	50 16.5%	213 70.3%	28 9.2%	62 20.5%
22 一時的導尿	303	222 73.3%	8 2.6%	73 24.1%	205 67.7%	23 7.6%	75 24.8%
23 その他	303	13 4.3%	3 1.0%	287 94.7%	10 3.3%	7 2.3%	286 94.4%

図表 184 1 か月間に外部医療機関で受療した実人数の割合（利用者に占める割合）

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均（単位：％） 値 □	標準偏差（単位：％） 差 □
合 計	303	103 34.0%	126 41.6%	21 6.9%	2 0.7%	2 0.7%	-	-	-	-	-	-	-	49 16.2%	3.66	5.33

図表 185 死亡退所者の退所者に対する割合

	件数	0 %	1 0 %未満	2 0 %未満	3 0 %未満	4 0 %未満	5 0 %未満	6 0 %未満	7 0 %未満	8 0 %未満	9 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答	平均（単位：％） 値 □	標準偏差（単位：％） 差 □
合 計	303	38 12.5%	24 7.9%	24 7.9%	28 9.2%	35 11.6%	33 10.9%	31 10.2%	22 7.3%	16 5.3%	14 4.6%	3 1.0%	15 5.0%	20 6.6%	38.95	29.16

図表 186 個別に看取り計画を立てた利用者の死亡退所者に占める割合

	件数	死亡退所・ついで退院施設	0 %	2 0 %未満	4 0 %未満	6 0 %未満	8 0 %未満	1 0 0 %未満	1 0 0 %	無回答
合 計	303	41 13.5%	161 53.1%	2 0.7%	6 2.0%	5 1.7%	10 3.3%	15 5.0%	52 17.2%	11 3.6%

Ⅱ 従事者票（医師票・看護職員票）

1. 医師票

（１） 勤務状況について

図表 187 急変等発生時の対応日数

	件数	0日	1日 7日	1日 4日	2日 1日	2日 8日	3日 0日	無回答	（単位：日） 平均値□	（単位：日） 標準偏差□
合 計	2233	654 29.3%	730 32.7%	106 4.7%	42 1.9%	14 0.6%	3 0.1%	684 30.6%	2.72	4.5
特別養護老人ホーム	566	212 37.5%	151 26.7%	15 2.7%	2 0.4%	-	-	186 32.9%	1.37	2.61
老人保健施設	740	209 28.2%	251 33.9%	40 5.4%	15 2.0%	5 0.7%	1 0.1%	219 29.6%	2.94	4.62
介護療養病床	662	169 25.5%	224 33.8%	36 5.4%	17 2.6%	5 0.8%	2 0.3%	209 31.6%	3.23	5.12
医療療養病床	265	64 24.2%	104 39.2%	15 5.7%	8 3.0%	4 1.5%	-	70 26.4%	3.57	4.99

図表 188 うち、夜間帯日数

	件数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	無回答	（単位：日） 平均値□	（単位：日） 標準偏差□
合 計	895	226 25.3%	579 64.7%	26 2.9%	3 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	59 6.6%	1.96	2.68
特別養護老人ホーム	168	50 29.8%	96 57.1%	-	-	-	-	22 13.1%	1.02	1.09
老人保健施設	312	102 32.7%	178 57.1%	11 3.5%	1 0.3%	-	-	20 6.4%	1.82	2.39
介護療養病床	284	55 19.4%	202 71.1%	13 4.6%	1 0.4%	-	1 0.4%	12 4.2%	2.4	3.13
医療療養病床	131	19 14.5%	103 78.6%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%	-	5 3.8%	2.44	3.18

(2) 専門分野・経験年数について

図表 189 専門分野（複数回答）

	件数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科（胃）	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科（代）	血液内科	皮膚科	アレルギー科	リウマチ科	感染症内科	小児科
合 計	2355	1532 65.1%	181 7.7%	278 11.8%	443 18.8%	56 2.4%	111 4.7%	116 4.9%	51 2.2%	58 2.5%	22 0.9%	44 1.9%	14 0.6%	135 5.7%
特別養護老人ホーム	612	440 71.9%	56 9.2%	76 12.4%	122 19.9%	16 2.6%	31 5.1%	21 3.4%	15 2.5%	19 3.1%	8 1.3%	7 1.1%	1 0.2%	51 8.3%
老人保健施設	767	399 52.0%	35 4.6%	66 8.6%	88 11.5%	12 1.6%	28 3.7%	30 3.9%	21 2.7%	15 2.0%	6 0.8%	16 2.1%	7 0.9%	41 5.3%
介護療養病床	703	516 73.4%	76 10.8%	107 15.2%	177 25.2%	22 3.1%	38 5.4%	50 7.1%	11 1.6%	21 3.0%	8 1.1%	17 2.4%	4 0.6%	38 5.4%
医療療養病床	273	177 64.8%	14 5.1%	29 10.6%	56 20.5%	6 2.2%	14 5.1%	15 5.5%	4 1.5%	3 1.1%	—	4 1.5%	2 0.7%	5 1.8%

	精神科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科	消化器外科（胃）	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科
合 計	71 3.0%	37 1.6%	481 20.4%	31 1.3%	41 1.7%	41 1.7%	18 0.8%	191 8.1%	62 2.6%	67 2.8%	76 3.2%	155 6.6%	14 0.6%	1 0.0%
特別養護老人ホーム	24 3.9%	7 1.1%	94 15.4%	5 0.8%	6 1.0%	5 0.8%	3 0.5%	29 4.7%	19 3.1%	17 2.8%	11 1.8%	28 4.6%	6 1.0%	—
老人保健施設	25 3.3%	15 2.0%	169 22.0%	12 1.6%	23 3.0%	22 2.9%	6 0.8%	68 8.9%	21 2.7%	17 2.2%	32 4.2%	60 7.8%	5 0.7%	1 0.1%
介護療養病床	19 2.7%	12 1.7%	149 21.2%	8 1.1%	5 0.7%	9 1.3%	6 0.9%	65 9.2%	17 2.4%	22 3.1%	24 3.4%	51 7.3%	2 0.3%	—
医療療養病床	3 1.1%	3 1.1%	69 25.3%	6 2.2%	7 2.6%	5 1.8%	3 1.1%	29 10.6%	5 1.8%	11 4.0%	9 3.3%	16 5.9%	1 0.4%	—

	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	リハビリテーション	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	その他	無回答
合 計	5 0.2%	22 0.9%	13 0.6%	48 2.0%	7 0.3%	25 1.1%	176 7.5%	62 2.6%	67 2.8%	6 0.3%	7 0.3%	20 0.8%	62 2.6%	132 5.6%
特別養護老人ホーム	—	4 0.7%	2 0.3%	9 1.5%	1 0.2%	7 1.1%	28 4.6%	9 1.5%	13 2.1%	—	—	3 0.5%	14 2.3%	67 10.9%
老人保健施設	2 0.3%	12 1.6%	7 0.9%	32 4.2%	6 0.8%	9 1.2%	33 4.3%	16 2.1%	32 4.2%	5 0.7%	4 0.5%	6 0.8%	34 4.4%	29 3.8%
介護療養病床	1 0.1%	4 0.6%	3 0.4%	3 0.4%	—	6 0.9%	84 11.9%	30 4.3%	16 2.3%	1 0.1%	1 0.1%	6 0.9%	10 1.4%	22 3.1%
医療療養病床	2 0.7%	2 0.7%	1 0.4%	4 1.5%	—	3 1.1%	31 11.4%	7 2.6%	6 2.2%	—	2 0.7%	5 1.8%	4 1.5%	14 5.1%

図表 190 主たる分野

	件数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科（胃）	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科（代）	血液内科	皮膚科	アレルギー科	リウマチ科	感染症内科	小児科
合 計	2223	759 34.1%	37 1.7%	103 4.6%	121 5.4%	13 0.6%	41 1.8%	32 1.4%	13 0.6%	9 0.4%	3 0.1%	8 0.4%	5 0.2%	28 1.3%
特別養護老人ホーム	545	223 40.9%	11 2.0%	26 4.8%	28 5.1%	5 0.9%	12 2.2%	6 1.1%	5 0.9%	2 0.4%	1 0.2%	3 0.6%	1 0.2%	4 0.7%
老人保健施設	738	185 25.1%	9 1.2%	27 3.7%	25 3.4%	2 0.3%	7 0.9%	11 1.5%	5 0.7%	4 0.5%	1 0.1%	4 0.5%	3 0.4%	18 2.4%
介護療養病床	681	279 41.0%	14 2.1%	39 5.7%	50 7.3%	4 0.6%	13 1.9%	10 1.5%	1 0.1%	2 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	4 0.6%
医療療養病床	259	72 27.8%	3 1.2%	11 4.2%	18 6.9%	2 0.8%	9 3.5%	5 1.9%	2 0.8%	1 0.4%	—	—	—	2 0.8%

	精神科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科	消化器外科（胃）	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科
合 計	34 1.5%	5 0.2%	231 10.4%	5 0.2%	18 0.8%	6 0.3%	5 0.2%	74 3.3%	33 1.5%	3 0.1%	45 2.0%	72 3.2%	10 0.4%	—
特別養護老人ホーム	13 2.4%	1 0.2%	38 7.0%	2 0.4%	3 0.6%	—	2 0.4%	8 1.5%	9 1.7%	—	6 1.1%	5 0.9%	2 0.4%	—
老人保健施設	13 1.8%	1 0.1%	90 12.2%	1 0.1%	9 1.2%	4 0.5%	1 0.1%	32 4.3%	14 1.9%	1 0.1%	21 2.8%	39 5.3%	5 0.7%	—
介護療養病床	7 1.0%	3 0.4%	66 9.7%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	2 0.3%	21 3.1%	6 0.9%	2 0.3%	11 1.6%	21 3.1%	2 0.3%	—
医療療養病床	1 0.4%	—	37 14.3%	1 0.4%	5 1.9%	—	—	13 5.0%	4 1.5%	—	7 2.7%	7 2.7%	1 0.4%	—

	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	リハビリテーション	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	その他	無回答
合 計	5 0.2%	8 0.4%	2 0.1%	29 1.3%	2 0.1%	6 0.3%	12 0.5%	8 0.4%	16 0.7%	3 0.1%	—	2 0.1%	24 1.1%	393 17.7%
特別養護老人ホーム	—	1 0.2%	—	4 0.7%	—	1 0.2%	2 0.4%	—	2 0.4%	—	—	1 0.2%	2 0.4%	116 21.3%
老人保健施設	2 0.3%	5 0.7%	2 0.3%	23 3.1%	2 0.3%	2 0.3%	2 0.3%	3 0.4%	8 1.1%	3 0.4%	—	1 0.1%	13 1.8%	140 19.0%
介護療養病床	1 0.1%	2 0.3%	—	1 0.1%	—	2 0.3%	3 0.4%	3 0.4%	3 0.4%	—	—	—	7 1.0%	95 14.0%
医療療養病床	2 0.8%	—	—	1 0.4%	—	1 0.4%	5 1.9%	2 0.8%	3 1.2%	—	—	—	2 0.8%	42 16.2%

図表 191 取得した専門医（複数回答）

	件数	整形外科専門医	皮膚科専門医	麻酔科専門医	放射線科専門医	眼科専門医	産婦人科専門医	耳鼻咽喉科専門医	泌尿器科専門医	形成外科専門医	病理専門医	総合内科専門医	外科専門医	糖尿病専門医
合計	2355	125 5.3%	18 0.8%	46 2.0%	26 1.1%	3 0.1%	50 2.1%	17 0.7%	33 1.4%	11 0.5%	11 0.5%	168 7.1%	211 9.0%	45 1.9%
特別養護老人ホーム	612	27 4.4%	6 1.0%	17 2.8%	9 1.5%	-	9 1.5%	2 0.3%	9 1.5%	6 1.0%	2 0.3%	49 8.0%	40 6.5%	12 2.0%
老人保健施設	767	51 6.6%	8 1.0%	18 2.3%	4 0.5%	2 0.3%	27 3.5%	10 1.3%	14 1.8%	4 0.5%	8 1.0%	45 5.9%	73 9.5%	13 1.7%
介護療養病床	703	35 5.0%	4 0.6%	6 0.9%	8 1.1%	-	9 1.3%	3 0.4%	8 1.1%	1 0.1%	1 0.1%	52 7.4%	65 9.2%	14 2.0%
医療療養病床	273	12 4.4%	-	5 1.8%	5 1.8%	1 0.4%	5 1.8%	2 0.7%	2 0.7%	-	-	22 8.1%	33 12.1%	6 2.2%

	肝臓専門医	感染症専門医	救急科専門医	血液専門医	循環器専門医	呼吸器専門医	消化器病専門医	腎臓専門医	小児科専門医	内分代謝科専門医	消化器外科専門医	超音波専門医	細胞診専門医	透析専門医
合計	46 2.0%	11 0.5%	34 1.4%	22 0.9%	140 5.9%	60 2.5%	176 7.5%	25 1.1%	51 2.2%	16 0.7%	78 3.3%	19 0.8%	7 0.3%	23 1.0%
特別養護老人ホーム	7 1.1%	2 0.3%	6 1.0%	7 1.1%	41 6.7%	24 3.9%	39 6.4%	10 1.6%	9 1.5%	4 0.7%	15 2.5%	2 0.3%	-	5 0.8%
老人保健施設	8 1.0%	7 0.9%	12 1.6%	10 1.3%	29 3.8%	11 1.4%	48 6.3%	5 0.7%	30 3.9%	6 0.8%	36 4.7%	10 1.3%	4 0.5%	7 0.9%
介護療養病床	23 3.3%	1 0.1%	12 1.7%	4 0.6%	51 7.3%	23 3.3%	59 8.4%	8 1.1%	11 1.6%	4 0.6%	18 2.6%	5 0.7%	3 0.4%	8 1.1%
医療療養病床	8 2.9%	1 0.4%	4 1.5%	1 0.4%	19 7.0%	2 0.7%	30 11.0%	2 0.7%	1 0.4%	2 0.7%	9 3.3%	2 0.7%	-	3 1.1%

	脳神経外科専門医	リハビリテーション科専門医	老年病専門医	心臓血管外科専門医	呼吸器外科専門医	消化器内視鏡専門医	小児外科専門医	神経内科専門医	リウマチ専門医	乳腺専門医	臨床遺伝専門医	漢方専門医	レーザー専門医	気管支鏡専門医
合計	56 2.4%	26 1.1%	43 1.8%	19 0.8%	5 0.2%	123 5.2%	11 0.5%	41 1.7%	30 1.3%	9 0.4%	-	23 1.0%	5 0.2%	8 0.3%
特別養護老人ホーム	5 0.8%	2 0.3%	6 1.0%	5 0.8%	2 0.3%	25 4.1%	3 0.5%	14 2.3%	7 1.1%	2 0.3%	-	6 1.0%	1 0.2%	1 0.2%
老人保健施設	23 3.0%	8 1.0%	14 1.8%	9 1.2%	1 0.1%	23 3.0%	3 0.4%	13 1.7%	10 1.3%	4 0.5%	-	6 0.8%	4 0.5%	2 0.3%
介護療養病床	19 2.7%	7 1.0%	17 2.4%	3 0.4%	2 0.3%	48 6.8%	4 0.6%	10 1.4%	10 1.4%	3 0.4%	-	9 1.3%	-	5 0.7%
医療療養病床	9 3.3%	9 3.3%	6 2.2%	2 0.7%	-	27 9.9%	1 0.4%	4 1.5%	3 1.1%	-	-	2 0.7%	-	-

	アレルギー専門医	核医学専門医	気管食道科専門医	大腸肛門病専門医	婦人科腫瘍専門医	ペクインククリニック	熱傷専門医	脳血管内治療専門医	がん薬物療法専門医	周産期（新生児）専門医	生殖医療専門医	小児神経専門医	心療内科専門医	一般医学専門医連携
合計	6 0.3%	2 0.1%	3 0.1%	15 0.6%	-	11 0.5%	1 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	-	5 0.2%	5 0.2%	-
特別養護老人ホーム	1 0.2%	-	1 0.2%	3 0.5%	-	2 0.3%	-	-	-	-	-	-	2 0.3%	-
老人保健施設	1 0.1%	-	2 0.3%	7 0.9%	-	7 0.9%	1 0.1%	1 0.1%	-	1 0.1%	-	4 0.5%	2 0.3%	-
介護療養病床	4 0.6%	2 0.3%	-	1 0.1%	-	1 0.1%	-	-	1 0.1%	-	-	1 0.1%	1 0.1%	-
医療療養病床	-	-	-	4 1.5%	-	1 0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-

	精神科専門医	その他	無回答
合計	40 1.7%	78 3.3%	1032 43.8%
特別養護老人ホーム	14 2.3%	13 2.1%	314 51.3%
老人保健施設	15 2.0%	33 4.3%	311 40.5%
介護療養病床	9 1.3%	19 2.7%	301 42.8%
医療療養病床	2 0.7%	13 4.8%	106 38.8%

図表 192 経験年数

	件数	1年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	35年未満	40年未満	45年未満	50年未満	50年以上	無回答	平均値 (単位：年) □	標準偏差 (単位：年) □
合 計	2355	3 0.1%	14 0.6%	57 2.4%	107 4.5%	142 6.0%	219 9.3%	270 11.5%	335 14.2%	238 10.1%	260 11.0%	165 7.0%	233 9.9%	312 13.2%	32.46	12.98
特別養護老人ホーム	612	-	2 0.3%	12 2.0%	18 2.9%	29 4.7%	68 11.1%	63 10.3%	93 15.2%	51 8.3%	49 8.0%	28 4.6%	41 6.7%	158 25.8%	31.45	12.06
老人保健施設	767	3 0.4%	4 0.5%	16 2.1%	25 3.3%	36 4.7%	31 4.0%	56 7.3%	66 8.6%	89 11.6%	116 15.1%	83 10.8%	159 20.7%	83 10.8%	37.75	13.95
介護療養病床	703	-	4 0.6%	16 2.3%	44 6.3%	50 7.1%	91 12.9%	106 15.1%	121 17.2%	73 10.4%	75 10.7%	44 6.3%	27 3.8%	52 7.4%	29.68	11.17
医療療養病床	273	-	4 1.5%	13 4.8%	20 7.3%	27 9.9%	29 10.6%	45 16.5%	55 20.1%	25 9.2%	20 7.3%	10 3.7%	6 2.2%	19 7.0%	27.16	11.21

図表 193 うち慢性期分野での経験年数

	件数	1年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	35年未満	40年未満	45年未満	50年未満	50年以上	無回答	平均値 (単位：年) □	標準偏差 (単位：年) □
合 計	2043	6 0.3%	189 9.3%	299 14.6%	358 17.5%	203 9.9%	209 10.2%	119 5.8%	136 6.7%	34 1.7%	47 2.3%	22 1.1%	30 1.5%	391 19.1%	16.51	11.59
特別養護老人ホーム	454	-	22 4.8%	28 6.2%	54 11.9%	37 8.1%	67 14.8%	26 5.7%	44 9.7%	12 2.6%	12 2.6%	4 0.9%	10 2.2%	138 30.4%	20.63	11.77
老人保健施設	684	3 0.4%	69 10.1%	127 18.6%	107 15.6%	62 9.1%	41 6.0%	23 3.4%	32 4.7%	11 1.6%	25 3.7%	9 1.3%	17 2.5%	158 23.1%	15.98	13.14
介護療養病床	651	2 0.3%	62 9.5%	91 14.0%	142 21.8%	77 11.8%	79 12.1%	51 7.8%	49 7.5%	10 1.5%	7 1.1%	7 1.1%	3 0.5%	71 10.9%	16.04	10.08
医療療養病床	254	1 0.4%	36 14.2%	53 20.9%	55 21.7%	27 10.6%	22 8.7%	19 7.5%	11 4.3%	1 0.4%	3 1.2%	2 0.8%	-	24 9.4%	13.26	9.39

図表 194 うち慢性期分野での経験年数（割合）

	件数	0%	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	100%未満	100%	無回答	平均値 (単位：%) □	標準偏差 (単位：%) □
合 計	2043	-	97 4.7%	170 8.3%	191 9.3%	167 8.2%	132 6.5%	206 10.1%	146 7.1%	156 7.6%	129 6.3%	41 2.0%	217 10.6%	391 19.1%	53.19	29.75
特別養護老人ホーム	454	-	8 1.8%	15 3.3%	23 5.1%	15 3.3%	17 3.7%	48 10.6%	30 6.6%	36 7.9%	34 7.5%	17 3.7%	73 16.1%	138 30.4%	66.71	28.2
老人保健施設	684	-	56 8.2%	95 13.9%	74 10.8%	53 7.7%	29 4.2%	49 7.2%	33 4.8%	34 5.0%	40 5.8%	7 1.0%	56 8.2%	158 23.1%	44.67	30.97
介護療養病床	651	-	21 3.2%	34 5.2%	64 9.8%	70 10.8%	65 10.0%	80 12.3%	65 10.0%	65 10.0%	40 6.1%	10 1.5%	66 10.1%	71 10.9%	54.76	26.96
医療療養病床	254	-	12 4.7%	26 10.2%	30 11.8%	29 11.4%	21 8.3%	29 11.4%	18 7.1%	21 8.3%	15 5.9%	7 2.8%	22 8.7%	24 9.4%	50.11	28.37

(3) オンコール対応日の状況について

図表 195 呼び出された時間（時）

	件数	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時
合 計	3567	180 5.0%	265 7.4%	244 6.8%	264 7.4%	204 5.7%	214 6.0%	166 4.7%	106 3.0%	126 3.5%
特別養護老人ホーム	1064	54 5.1%	107 10.1%	76 7.1%	51 4.8%	47 4.4%	43 4.0%	43 4.0%	39 3.7%	49 4.6%
老人保健施設	1527	95 6.2%	112 7.3%	115 7.5%	133 8.7%	102 6.7%	110 7.2%	75 4.9%	51 3.3%	47 3.1%
介護療養病床	703	21 3.0%	31 4.4%	35 5.0%	50 7.1%	33 4.7%	47 6.7%	32 4.6%	12 1.7%	22 3.1%
医療療養病床	273	10 3.7%	15 5.5%	18 6.6%	30 11.0%	22 8.1%	14 5.1%	16 5.9%	4 1.5%	8 2.9%

	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時以降	無回答
合 計	133 3.7%	100 2.8%	124 3.5%	138 3.9%	158 4.4%	165 4.6%	145 4.1%	208 5.8%	627 17.6%
特別養護老人ホーム	45 4.2%	33 3.1%	47 4.4%	46 4.3%	61 5.7%	71 6.7%	67 6.3%	95 8.9%	90 8.5%
老人保健施設	51 3.3%	38 2.5%	44 2.9%	62 4.1%	75 4.9%	78 5.1%	73 4.8%	97 6.4%	169 11.1%
介護療養病床	30 4.3%	25 3.6%	22 3.1%	20 2.8%	13 1.8%	12 1.7%	4 0.6%	13 1.8%	281 40.0%
医療療養病床	7 2.6%	4 1.5%	11 4.0%	10 3.7%	9 3.3%	4 1.5%	1 0.4%	3 1.1%	87 31.9%

図表 196 オンコール／呼び出し回数（医師一人あたり）

	件数	（単位均：回値） □	（単位偏：差回） □
合 計	2355	1.55	2.14
特別養護老人ホーム	612	2.47	1.8
老人保健施設	767	2.85	2.76
介護療養病床	703	0.36	0.56
医療療養病床	273	0.22	0.34

図表 197 オンコール／呼び出し回数（医師一人あたり）

<特別養護老人ホーム>（定員数別）

	件 数	平（単 位 均：回 値） □	標（単 準位 偏：差回 ） □
合 計	612	2.47	1.8
0人	-	-	-
～30人	15	2	1.58
31～49人	14	3	1.87
50～130人	558	2.51	1.81
131人以上	22	1.54	1.36

<老人保健施設>（定員数別）

	件 数	平（単 位 均：回 値） □	標（単 準位 偏：差回 ） □
合 計	767	2.85	2.76
0人	-	-	-
～30人	44	3.4	2.58
31～49人	16	2.69	2.06
50～99人	298	2.89	2.39
100～199人	390	2.79	3.09
200人以上	5	1.57	1.23

<介護療養病床>（許可病床数別）

	件 数	平（単 位 均：回 値） □	標（単 準位 偏：差回 ） □
合 計	703	0.36	0.56
0人	-	-	-
～30人	340	0.53	0.7
31～49人	123	0.33	0.55
50～99人	153	0.2	0.24
100～199人	68	0.16	0.19
200人以上	13	0.07	0.07

<医療療養病床>（許可病床数別）

	件 数	（平 単 位 均 ： 回 値） □	（標 準 位 偏 ： 差 回） □
合 計	273	0.22	0.34
0人	-	-	-
～30人	57	0.31	0.46
31～49人	77	0.2	0.26
50～99人	77	0.2	0.25
100～199人	48	0.19	0.41
200人以上	13	0.15	0.17

図表 198 オンコール／呼び出し回数（医師一人あたりを定員で除す）

	件 数	（平 単 位 均 ： 回 値） □	（標 準 位 偏 ： 差 回） □
合 計	2355	0.03	0.07
①介護老人福祉施設	612	0.03	0.05
②介護老人保健施設	767	0.04	0.07
③介護療養型医療施設	703	0.03	0.08
④医療療養病床	273	0	0.03

(4) 施設内の看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与について

図表 199 死亡日加算件数（看取りに対する取り組み姿勢別）

<全体>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（単位均：件） 値 □	（標準位偏：差件） □
合 計	1379	2 0.1%	137 9.9%	102 7.4%	64 4.6%	64 4.6%	44 3.2%	35 2.5%	24 1.7%	14 1.0%	8 0.6%	40 2.9%	845 61.3%	4.06	4.63
積極的	357	2 0.6%	48 13.4%	33 9.2%	31 8.7%	31 8.7%	24 6.7%	22 6.2%	8 2.2%	8 2.2%	7 2.0%	22 6.2%	121 33.9%	4.53	3.91
やや積極的	307	-	52 16.9%	39 12.7%	18 5.9%	18 5.9%	15 4.9%	9 2.9%	9 2.9%	2 0.7%	-	10 3.3%	135 44.0%	3.51	3.34
どちらでもない	313	-	24 7.7%	14 4.5%	11 3.5%	11 3.5%	2 0.6%	2 0.6%	4 1.3%	3 1.0%	1 0.3%	5 1.6%	236 75.4%	4.31	8.38
やや消極的	99	-	5 5.1%	4 4.0%	-	1 1.0%	-	-	-	-	-	1 1.0%	88 88.9%	2.45	2.54
消極的	106	-	2 1.9%	1 0.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	103 97.2%	1.33	0.47

<特別養護老人ホーム>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（単位均：件） 値 □	（標準位偏：差件） □
合 計	612	-	55 9.0%	44 7.2%	32 5.2%	34 5.6%	19 3.1%	15 2.5%	10 1.6%	7 1.1%	4 0.7%	17 2.8%	375 61.3%	3.92	3.12
積極的	187	-	21 11.2%	18 9.6%	18 9.6%	16 8.6%	8 4.3%	9 4.8%	3 1.6%	5 2.7%	3 1.6%	10 5.3%	76 40.6%	4.35	3.45
やや積極的	124	-	19 15.3%	10 8.1%	6 4.8%	9 7.3%	8 6.5%	2 1.6%	5 4.0%	-	-	4 3.2%	61 49.2%	3.6	2.88
どちらでもない	136	-	8 5.9%	7 5.1%	4 2.9%	6 4.4%	-	2 1.5%	1 0.7%	2 1.5%	1 0.7%	2 1.5%	103 75.7%	3.76	2.89
やや消極的	26	-	2 7.7%	1 3.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	23 88.5%	1.33	0.47
消極的	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18 100.0%	-	-

<老人保健施設>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（単位均：件） 値 □	（標準位偏：差件） □
合 計	767	2 0.3%	82 10.7%	58 7.6%	32 4.2%	30 3.9%	25 3.3%	20 2.6%	14 1.8%	7 0.9%	4 0.5%	23 3.0%	470 61.3%	4.17	5.54
積極的	170	2 1.2%	27 15.9%	15 8.8%	13 7.6%	15 8.8%	16 9.4%	13 7.6%	5 2.9%	3 1.8%	4 2.4%	12 7.1%	45 26.5%	4.69	4.27
やや積極的	183	-	33 18.0%	29 15.8%	12 6.6%	9 4.9%	7 3.8%	7 3.8%	4 2.2%	2 1.1%	-	6 3.3%	74 40.4%	3.45	3.57
どちらでもない	177	-	16 9.0%	7 4.0%	7 4.0%	5 2.8%	2 1.1%	-	3 1.7%	1 0.6%	-	3 1.7%	133 75.1%	4.73	10.79
やや消極的	73	-	3 4.1%	3 4.1%	-	1 1.4%	-	-	-	-	-	1 1.4%	65 89.0%	2.88	2.85
消極的	88	-	2 2.3%	1 1.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	85 96.6%	1.33	0.47

図表 200 死亡日加算件数（看取りに関する（施設／貴院）の方針に対する満足度別）

<全体>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件数） □	（標準偏差：差件） □
合 計	1379	2 0.1%	137 9.9%	102 7.4%	64 4.6%	64 4.6%	44 3.2%	35 2.5%	24 1.7%	14 1.0%	8 0.6%	40 2.9%	845 61.3%	4.06	4.63
満足	311	2 0.6%	45 14.5%	31 10.0%	20 6.4%	26 8.4%	16 5.1%	13 4.2%	13 4.2%	4 1.3%	6 1.9%	15 4.8%	120 38.6%	4.12	3.3
やや満足	320	—	50 15.6%	33 10.3%	27 8.4%	17 5.3%	17 5.3%	15 4.7%	5 1.6%	5 1.6%	2 0.6%	19 5.9%	130 40.6%	4.29	4.32
どちらでもない	491	—	30 6.1%	24 4.9%	10 2.0%	17 3.5%	8 1.6%	5 1.0%	3 0.6%	4 0.8%	—	4 0.8%	386 78.6%	3.88	7.2
やや不満	42	—	6 14.3%	3 7.1%	2 4.8%	1 2.4%	—	—	—	—	—	—	30 71.4%	1.83	0.99
不満	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11 100.0%	—	—

<特別養護老人ホーム>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件数） □	（標準偏差：差件） □
合 計	612	—	55 9.0%	44 7.2%	32 5.2%	34 5.6%	19 3.1%	15 2.5%	10 1.6%	7 1.1%	4 0.7%	17 2.8%	375 61.3%	3.92	3.12
満足	154	—	22 14.3%	14 9.1%	10 6.5%	14 9.1%	5 3.2%	5 3.2%	4 2.6%	4 2.6%	3 1.9%	9 5.8%	64 41.6%	4.28	3.5
やや満足	135	—	15 11.1%	9 6.7%	12 8.9%	7 5.2%	7 5.2%	4 3.0%	4 3.0%	2 1.5%	1 0.7%	6 4.4%	68 50.4%	4.28	3.45
どちらでもない	184	—	12 6.5%	11 6.0%	4 2.2%	9 4.9%	4 2.2%	4 2.2%	1 0.5%	1 0.5%	—	1 0.5%	137 74.5%	3.21	2.1
やや不満	13	—	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	—	—	—	—	—	—	8 61.5%	2.4	1.02
不満	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 100.0%	—	—

<老人保健施設>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件数） □	（標準偏差：差件） □
合 計	767	2 0.3%	82 10.7%	58 7.6%	32 4.2%	30 3.9%	25 3.3%	20 2.6%	14 1.8%	7 0.9%	4 0.5%	23 3.0%	470 61.3%	4.17	5.54
満足	157	2 1.3%	23 14.6%	17 10.8%	10 6.4%	12 7.6%	11 7.0%	8 5.1%	9 5.7%	—	3 1.9%	6 3.8%	56 35.7%	3.98	3.1
やや満足	185	—	35 18.9%	24 13.0%	15 8.1%	10 5.4%	10 5.4%	11 5.9%	1 0.5%	3 1.6%	1 0.5%	13 7.0%	62 33.5%	4.3	4.73
どちらでもない	307	—	18 5.9%	13 4.2%	6 2.0%	8 2.6%	4 1.3%	1 0.3%	2 0.7%	3 1.0%	—	3 1.0%	249 81.1%	4.41	9.47
やや不満	29	—	5 17.2%	1 3.4%	1 3.4%	—	—	—	—	—	—	—	22 75.9%	1.43	0.73
不満	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8 100.0%	—	—

図表 201 死亡日加算件数（看取りへの取り組みに対する今後の意向別）

<全体>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件） 値 □	（標準偏差：件） □
合 計	1379	2 0.1%	137 9.9%	102 7.4%	64 4.6%	64 4.6%	44 3.2%	35 2.5%	24 1.7%	14 1.0%	8 0.6%	40 2.9%	845 61.3%	4.06	4.63
積極的	387	2 0.5%	57 14.7%	42 10.9%	31 8.0%	31 8.0%	22 5.7%	23 5.9%	9 2.3%	6 1.6%	7 1.8%	26 6.7%	131 33.9%	4.47	4.11
やや積極的	292	—	39 13.4%	30 10.3%	18 6.2%	17 5.8%	15 5.1%	8 2.7%	9 3.1%	3 1.0%	—	8 2.7%	145 49.7%	3.61	2.94
どちらでもない	345	—	30 8.7%	13 3.8%	9 2.6%	11 3.2%	4 1.2%	2 0.6%	3 0.9%	4 1.2%	1 0.3%	3 0.9%	265 76.8%	3.99	8.2
やや消極的	77	—	4 5.2%	5 6.5%	2 2.6%	2 2.6%	—	—	—	—	—	1 1.3%	63 81.8%	2.71	2.25
消極的	79	—	1 1.3%	1 1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—	77 97.5%	1.5	0.5

<特別養護老人ホーム>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件） 値 □	（標準偏差：件） □
合 計	612	—	55 9.0%	44 7.2%	32 5.2%	34 5.6%	19 3.1%	15 2.5%	10 1.6%	7 1.1%	4 0.7%	17 2.8%	375 61.3%	3.92	3.12
積極的	199	—	24 12.1%	19 9.5%	18 9.0%	15 7.5%	7 3.5%	9 4.5%	5 2.5%	5 2.5%	3 1.5%	12 6.0%	82 41.2%	4.39	3.52
やや積極的	117	—	14 12.0%	8 6.8%	6 5.1%	7 6.0%	8 6.8%	2 1.7%	3 2.6%	—	—	4 3.4%	65 55.6%	3.79	3.02
どちらでもない	144	—	12 8.3%	8 5.6%	3 2.1%	8 5.6%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	—	106 73.6%	3.11	2.22
やや消極的	17	—	—	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	—	—	—	—	—	—	14 82.4%	3	0.82
消極的	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13 100.0%	—	—

<老人保健施設>

	件数	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答	（平均：件） 値 □	（標準偏差：件） □
合 計	767	2 0.3%	82 10.7%	58 7.6%	32 4.2%	30 3.9%	25 3.3%	20 2.6%	14 1.8%	7 0.9%	4 0.5%	23 3.0%	470 61.3%	4.17	5.54
積極的	188	2 1.1%	33 17.6%	23 12.2%	13 6.9%	16 8.5%	15 8.0%	14 7.4%	4 2.1%	1 0.5%	4 2.1%	14 7.4%	49 26.1%	4.53	4.55
やや積極的	175	—	25 14.3%	22 12.6%	12 6.9%	10 5.7%	7 4.0%	6 3.4%	6 3.4%	3 1.7%	—	4 2.3%	80 45.7%	3.52	2.89
どちらでもない	201	—	18 9.0%	5 2.5%	6 3.0%	3 1.5%	3 1.5%	—	2 1.0%	2 1.0%	—	3 1.5%	159 79.1%	4.79	11.06
やや消極的	60	—	4 6.7%	4 6.7%	1 1.7%	1 1.7%	—	—	—	—	—	1 1.7%	49 81.7%	2.64	2.5
消極的	66	—	1 1.5%	1 1.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	64 97.0%	1.5	0.5

図表 202 個別に看取り計画を立てた利用者数（看取りに対する取り組み姿勢別）

<全体>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人超	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
合計	2355	981 41.7%	186 7.9%	155 6.6%	202 8.6%	87 3.7%	55 2.3%	689 29.3%	1.69	3.64
積極的	651	252 38.7%	62 9.5%	67 10.3%	95 14.6%	47 7.2%	24 3.7%	104 16.0%	2.42	4.2
やや積極的	539	223 41.4%	67 12.4%	51 9.5%	45 8.3%	16 3.0%	14 2.6%	123 22.8%	1.63	3.7
どちらでもない	600	297 49.5%	40 6.7%	22 3.7%	40 6.7%	16 2.7%	10 1.7%	175 29.2%	1.25	3.18
やや消極的	131	46 35.1%	3 2.3%	5 3.8%	5 3.8%	1 0.8%	-	71 54.2%	0.62	1.32
消極的	130	34 26.2%	1 0.8%	1 0.8%	-	-	1 0.8%	93 71.5%	0.38	1.81

<特別養護老人ホーム>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人超	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
合計	612	183 29.9%	45 7.4%	62 10.1%	60 9.8%	14 2.3%	-	248 40.5%	1.32	1.76
積極的	187	42 22.5%	18 9.6%	32 17.1%	31 16.6%	8 4.3%	-	56 29.9%	1.92	1.92
やや積極的	124	31 25.0%	12 9.7%	20 16.1%	12 9.7%	4 3.2%	-	45 36.3%	1.48	1.73
どちらでもない	136	48 35.3%	8 5.9%	6 4.4%	10 7.4%	2 1.5%	-	62 45.6%	0.95	1.62
やや消極的	26	8 30.8%	-	-	-	-	-	18 69.2%	0	0
消極的	18	7 38.9%	-	-	-	-	-	11 61.1%	0	0

<老人保健施設>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単位 均：人 値) □	(単位 偏：人 差) □
合 計	767	120 15.6%	87 11.3%	68 8.9%	75 9.8%	20 2.6%	4 0.5%	393 51.2%	1.81	2.15
積極的	170	25 14.7%	30 17.6%	27 15.9%	38 22.4%	13 7.6%	2 1.2%	35 20.6%	2.49	2.4
やや積極的	183	33 18.0%	37 20.2%	24 13.1%	20 10.9%	2 1.1%	2 1.1%	65 35.5%	1.58	1.94
どちらでもない	177	34 19.2%	15 8.5%	11 6.2%	11 6.2%	4 2.3%	-	102 57.6%	1.45	1.91
やや消極的	73	14 19.2%	2 2.7%	4 5.5%	1 1.4%	-	-	52 71.2%	0.62	0.95
消極的	88	6 6.8%	1 1.1%	1 1.1%	-	-	-	80 90.9%	0.38	0.7

<介護療養病床>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単位 均：人 値) □	(単位 偏：人 差) □
合 計	703	497 70.7%	47 6.7%	21 3.0%	49 7.0%	30 4.3%	18 2.6%	41 5.8%	1.17	3.04
積極的	210	140 66.7%	11 5.2%	6 2.9%	20 9.5%	14 6.7%	7 3.3%	12 5.7%	1.58	3.42
やや積極的	172	115 66.9%	16 9.3%	6 3.5%	10 5.8%	8 4.7%	5 2.9%	12 7.0%	1.28	3.28
どちらでもない	209	160 76.6%	16 7.7%	5 2.4%	12 5.7%	4 1.9%	3 1.4%	9 4.3%	0.75	2.47
やや消極的	17	12 70.6%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	-	-	1 5.9%	0.69	1.4
消極的	15	12 80.0%	-	-	-	-	1 6.7%	2 13.3%	0.85	2.93

<医療療養病床>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単位 均：人 値) □	(単位 偏：人 差) □
合 計	273	181 66.3%	7 2.6%	4 1.5%	18 6.6%	23 8.4%	33 12.1%	7 2.6%	3.33	6.76
積極的	84	45 53.6%	3 3.6%	2 2.4%	6 7.1%	12 14.3%	15 17.9%	1 1.2%	5.11	8
やや積極的	60	44 73.3%	2 3.3%	1 1.7%	3 5.0%	2 3.3%	7 11.7%	1 1.7%	2.88	7.34
どちらでもない	78	55 70.5%	1 1.3%	-	7 9.0%	6 7.7%	7 9.0%	2 2.6%	2.64	5.62
やや消極的	15	12 80.0%	-	-	2 13.3%	1 6.7%	-	-	0.87	1.82
消極的	9	9 100.0%	-	-	-	-	-	-	0	0

<全体>

＜特別養護老人ホーム＞

149

<老人保健施設>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単 位 均 値 □	(単 位 偏 差 □
合 計	767	120 15.6%	87 11.3%	68 8.9%	75 9.8%	20 2.6%	4 0.5%	393 51.2%	1.81	2.15
満足	157	23 14.6%	28 17.8%	23 14.6%	23 14.6%	8 5.1%	1 0.6%	51 32.5%	2.06	2.06
やや満足	185	27 14.6%	34 18.4%	28 15.1%	32 17.3%	8 4.3%	3 1.6%	53 28.6%	2.25	2.46
どちらでもない	307	54 17.6%	21 6.8%	15 4.9%	14 4.6%	3 1.0%	-	200 65.1%	1.18	1.66
やや不満	29	7 24.1%	2 6.9%	1 3.4%	1 3.4%	-	-	18 62.1%	0.64	0.98
不満	8	-	-	-	-	-	-	8 100.0%	-	-

<介護療養病床>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単 位 均 値 □	(単 位 偏 差 □
合 計	703	497 70.7%	47 6.7%	21 3.0%	49 7.0%	30 4.3%	18 2.6%	41 5.8%	1.17	3.04
満足	161	107 66.5%	10 6.2%	5 3.1%	13 8.1%	13 8.1%	6 3.7%	7 4.3%	1.6	3.26
やや満足	203	134 66.0%	18 8.9%	7 3.4%	15 7.4%	8 3.9%	6 3.0%	15 7.4%	1.37	3.52
どちらでもない	233	180 77.3%	14 6.0%	5 2.1%	15 6.4%	4 1.7%	4 1.7%	11 4.7%	0.77	2.46
やや不満	20	14 70.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	-	2 10.0%	0.83	2.14
不満	5	4 80.0%	-	-	-	-	-	1 20.0%	0	0

<医療療養病床>

	件 数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人超	無 回 答	(単 位 均 値 □	(単 位 偏 差 □
合 計	273	181 66.3%	7 2.6%	4 1.5%	18 6.6%	23 8.4%	33 12.1%	7 2.6%	3.33	6.76
満足	64	39 60.9%	2 3.1%	2 3.1%	4 6.3%	6 9.4%	10 15.6%	1 1.6%	4.25	7.86
やや満足	84	53 63.1%	2 2.4%	1 1.2%	9 10.7%	7 8.3%	11 13.1%	1 1.2%	3.52	6.35
どちらでもない	89	65 73.0%	2 2.2%	-	4 4.5%	8 9.0%	8 9.0%	2 2.2%	2.8	6.82
やや不満	7	6 85.7%	-	-	1 14.3%	-	-	-	0.57	1.4
不満	1	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	0	0

図表 204 個別に看取り計画を立てた利用者数（看取りへの取り組みに対する今後の意向別）

<全体>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
合計	2355	981 41.7%	186 7.9%	155 6.6%	202 8.6%	87 3.7%	55 2.3%	689 29.3%						1.69	3.64
積極的	681	266 39.1%	73 10.7%	68 10.0%	87 12.8%	52 7.6%	26 3.8%	109 16.0%						2.4	4.26
やや積極的	542	232 42.8%	56 10.3%	49 9.0%	53 9.8%	14 2.6%	12 2.2%	126 23.2%						1.59	3.63
どちらでもない	628	294 46.8%	40 6.4%	21 3.3%	43 6.8%	14 2.2%	11 1.8%	205 32.6%						1.24	3.07
やや消極的	101	32 31.7%	4 4.0%	7 6.9%	2 2.0%	-	-	56 55.4%						0.56	0.98
消極的	97	29 29.9%	-	1 1.0%	-	-	-	67 69.1%						0.07	0.36

<特別養護老人ホーム>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	（単位：人） 平均値 □	（単位：人） 標準偏差 □
合計	612	183 29.9%	45 7.4%	62 10.1%	60 9.8%	14 2.3%	-	248 40.5%						1.32	1.76
積極的	199	48 24.1%	21 10.6%	31 15.6%	31 15.6%	10 5.0%	-	58 29.1%						1.87	1.95
やや積極的	117	25 21.4%	9 7.7%	19 16.2%	12 10.3%	4 3.4%	-	48 41.0%						1.65	1.84
どちらでもない	144	52 36.1%	7 4.9%	7 4.9%	10 6.9%	-	-	68 47.2%						0.76	1.33
やや消極的	17	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	-	-	-	12 70.6%						0.6	0.8
消極的	13	7 53.8%	-	-	-	-	-	6 46.2%						0	0

<老人保健施設>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人超	無回答	(単位：人) 平均値 □	(単位：人) 標準偏差 □
合 計	767	120 15.6%	87 11.3%	68 8.9%	75 9.8%	20 2.6%	4 0.5%	393 51.2%	1.81	2.15
積極的	188	30 16.0%	38 20.2%	30 16.0%	34 18.1%	14 7.4%	3 1.6%	39 20.7%	2.38	2.52
やや積極的	175	33 18.9%	27 15.4%	23 13.1%	24 13.7%	2 1.1%	1 0.6%	65 37.1%	1.64	1.76
どちらでもない	201	37 18.4%	18 9.0%	7 3.5%	11 5.5%	3 1.5%	-	125 62.2%	1.25	1.76
やや消極的	60	8 13.3%	2 3.3%	6 10.0%	1 1.7%	-	-	43 71.7%	1	1.03
消極的	66	5 7.6%	-	1 1.5%	-	-	-	60 90.9%	0.33	0.75

<介護療養病床>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人超	無回答	(単位：人) 平均値 □	(単位：人) 標準偏差 □
合 計	703	497 70.7%	47 6.7%	21 3.0%	49 7.0%	30 4.3%	18 2.6%	41 5.8%	1.17	3.04
積極的	210	143 68.1%	12 5.7%	5 2.4%	17 8.1%	15 7.1%	7 3.3%	11 5.2%	1.58	3.63
やや積極的	184	127 69.0%	17 9.2%	6 3.3%	11 6.0%	7 3.8%	5 2.7%	11 6.0%	1.2	3.27
どちらでもない	204	148 72.5%	14 6.9%	7 3.4%	16 7.8%	4 2.0%	4 2.0%	11 5.4%	0.85	2.18
やや消極的	15	13 86.7%	1 6.7%	-	-	-	-	1 6.7%	0.07	0.26
消極的	10	9 90.0%	-	-	-	-	-	1 10.0%	0	0

<医療療養病床>

	件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人超	無回答	(単位：人) 平均値 □	(単位：人) 標準偏差 □
合 計	273	181 66.3%	7 2.6%	4 1.5%	18 6.6%	23 8.4%	33 12.1%	7 2.6%	3.33	6.76
積極的	84	45 53.6%	2 2.4%	2 2.4%	5 6.0%	13 15.5%	16 19.0%	1 1.2%	5.29	8.07
やや積極的	66	47 71.2%	3 4.5%	1 1.5%	6 9.1%	1 1.5%	6 9.1%	2 3.0%	2.47	6.82
どちらでもない	79	57 72.2%	1 1.3%	-	6 7.6%	7 8.9%	7 8.9%	1 1.3%	2.65	5.64
やや消極的	9	8 88.9%	-	-	1 11.1%	-	-	-	0.44	1.26
消極的	8	8 100.0%	-	-	-	-	-	-	0	0

図表 205 看取りに関する（施設／貴院）の方針に対する満足度（個別に看取り計画を立てた利用者数別）

<全体>

	件 数	満 足	やや 満足	ど ちら でも ない	やや 不満	不 満	無 回 答	（単位 均：点 値） □	（単位 偏：差 点） □
合 計	2355	536 22.8%	607 25.8%	813 34.5%	69 2.9%	17 0.7%	313 13.3%	3.77	0.9
0人	981	207 21.1%	244 24.9%	361 36.8%	31 3.2%	7 0.7%	131 13.4%	3.72	0.9
～1人	186	59 31.7%	65 34.9%	44 23.7%	4 2.2%	—	14 7.5%	4.04	0.83
～2人	155	53 34.2%	61 39.4%	28 18.1%	4 2.6%	—	9 5.8%	4.12	0.81
～5人	202	67 33.2%	72 35.6%	43 21.3%	3 1.5%	—	17 8.4%	4.1	0.81
～10人	87	33 37.9%	30 34.5%	16 18.4%	1 1.1%	—	7 8.0%	4.19	0.79
10人超	55	17 30.9%	20 36.4%	12 21.8%	—	—	6 10.9%	4.1	0.76

<特別養護老人ホーム>

	件 数	満 足	やや 満足	ど ちら でも ない	やや 不満	不 満	無 回 答	（単位 均：点 値） □	（単位 偏：差 点） □
合 計	612	154 25.2%	135 22.1%	184 30.1%	13 2.1%	3 0.5%	123 20.1%	3.87	0.91
0人	183	38 20.8%	30 16.4%	62 33.9%	4 2.2%	2 1.1%	47 25.7%	3.72	0.95
～1人	45	19 42.2%	11 24.4%	7 15.6%	1 2.2%	—	7 15.6%	4.26	0.85
～2人	62	23 37.1%	25 40.3%	8 12.9%	2 3.2%	—	4 6.5%	4.19	0.8
～5人	60	27 45.0%	16 26.7%	10 16.7%	—	—	7 11.7%	4.32	0.77
～10人	14	6 42.9%	7 50.0%	1 7.1%	—	—	—	4.36	0.61
10人超	—	—	—	—	—	—	—	—	—

<老人保健施設>

	件 数	満 足	やや 満足	ど ちら でも ない	やや 不満	不 満	無 回 答	(平 均： 点) □	(標 準 偏： 差) □
合 計	767	157 20.5%	185 24.1%	307 40.0%	29 3.8%	8 1.0%	81 10.6%	3.66	0.91
0人	120	23 19.2%	27 22.5%	54 45.0%	7 5.8%	-	9 7.5%	3.59	0.88
～1人	87	28 32.2%	34 39.1%	21 24.1%	2 2.3%	-	2 2.3%	4.04	0.82
～2人	68	23 33.8%	28 41.2%	15 22.1%	1 1.5%	-	1 1.5%	4.09	0.79
～5人	75	23 30.7%	32 42.7%	14 18.7%	1 1.3%	-	5 6.7%	4.1	0.76
～10人	20	8 40.0%	8 40.0%	3 15.0%	-	-	1 5.0%	4.26	0.71
10人超	4	1 25.0%	3 75.0%	-	-	-	-	4.25	0.43

<介護療養病床>

	件 数	満 足	やや 満足	ど ちら でも ない	やや 不満	不 満	無 回 答	(平 均： 点) □	(標 準 偏： 差) □
合 計	703	161 22.9%	203 28.9%	233 33.1%	20 2.8%	5 0.7%	81 11.5%	3.8	0.89
0人	497	107 21.5%	134 27.0%	180 36.2%	14 2.8%	4 0.8%	58 11.7%	3.74	0.89
～1人	47	10 21.3%	18 38.3%	14 29.8%	1 2.1%	-	4 8.5%	3.86	0.79
～2人	21	5 23.8%	7 33.3%	5 23.8%	1 4.8%	-	3 14.3%	3.89	0.87
～5人	49	13 26.5%	15 30.6%	15 30.6%	1 2.0%	-	5 10.2%	3.91	0.85
～10人	30	13 43.3%	8 26.7%	4 13.3%	1 3.3%	-	4 13.3%	4.27	0.86
10人超	18	6 33.3%	6 33.3%	4 22.2%	-	-	2 11.1%	4.13	0.78

<医療療養病床>

	件 数	満 足	やや 満足	ど ちら でも ない	やや 不満	不 満	無 回 答	(単位 均：点 値) □	(単位 偏：点 差) □
合 計	273	64 23.4%	84 30.8%	89 32.6%	7 2.6%	1 0.4%	28 10.3%	3.83	0.86
0人	181	39 21.5%	53 29.3%	65 35.9%	6 3.3%	1 0.6%	17 9.4%	3.75	0.88
～1人	7	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	-	-	1 14.3%	4	0.82
～2人	4	2 50.0%	1 25.0%	-	-	-	1 25.0%	4.67	0.47
～5人	18	4 22.2%	9 50.0%	4 22.2%	1 5.6%	-	-	3.89	0.81
～10人	23	6 26.1%	7 30.4%	8 34.8%	-	-	2 8.7%	3.9	0.81
10人超	33	10 30.3%	11 33.3%	8 24.2%	-	-	4 12.1%	4.07	0.78

1. 看護職員票

(1) 勤務状況について

図表 206 急変等発生時の対応日数

	件数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	無回答	平均値	標準偏差
合計	2358	644 27.3%	687 29.1%	66 2.8%	26 1.1%	10 0.4%	5 0.2%	920 39.0%	2.2	4.12
特別養護老人ホーム	627	132 21.1%	217 34.6%	26 4.1%	7 1.1%	2 0.3%	-	243 38.8%	2.54	3.83
老人保健施設	755	202 26.8%	213 28.2%	31 4.1%	7 0.9%	1 0.1%	2 0.3%	299 39.6%	2.27	4
介護療養病床	700	228 32.6%	178 25.4%	8 1.1%	9 1.3%	7 1.0%	2 0.3%	268 38.3%	1.97	4.6
医療療養病床	276	82 29.7%	79 28.6%	1 0.4%	3 1.1%	-	1 0.4%	110 39.9%	1.82	3.65

図表 207 うち、夜間帯日数

	件数	0日	1日	2日	3日	4日	5日	無回答	平均値	標準偏差
合計	794	266 33.5%	427 53.8%	10 1.3%	3 0.4%	-	1 0.1%	87 11.0%	1.36	2.33
特別養護老人ホーム	252	140 55.6%	47 18.7%	-	2 0.8%	-	-	63 25.0%	0.63	2.13
老人保健施設	254	82 32.3%	150 59.1%	5 2.0%	-	-	1 0.4%	16 6.3%	1.61	2.64
介護療養病床	204	34 16.7%	158 77.5%	5 2.5%	1 0.5%	-	-	6 2.9%	1.71	2.35
医療療養病床	84	10 11.9%	72 85.7%	-	-	-	-	2 2.4%	1.45	1.06

図表 208 うち、夜勤とオンコールの両方を行った日数【特別養護老人ホーム】

	件数	平均値	標準偏差
合計	252	0.43	1.87

(2) 保有資格・経験年数について

図表 209 保有資格【特別養護老人ホーム】(複数回答)

	件数	専門看護師	認定看護師	認知症ケア専門士	介護支援専門員	その他	無回答
合計	675	87 12.9%	5 0.7%	23 3.4%	152 22.5%	69 10.2%	393 58.2%

図表 210 専門看護師の種類【特別養護老人ホーム】(複数回答)

	件数	老人看護	地域看護	在宅看護	家族支援	その他	無回答
合計	87	78 89.7%	4 4.6%	3 3.4%	1 1.1%	7 8.0%	4 4.6%

図表 211 認定看護師の種類【特別養護老人ホーム】(複数回答)

	件数	認知症看護	訪問看護	摂食・嚥下障害看護	皮膚・排泄ケア	その他
合計	5	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%

図表 212 経験年数

	件 数	〃 1 年 未 満	〃 5 年 未 満	〃 1 0 年 未 満	〃 1 5 年 未 満	〃 2 0 年 未 満	〃 2 5 年 未 満	〃 3 0 年 未 満
合 計	2466	1 0.0%	37 1.5%	142 5.8%	256 10.4%	361 14.6%	468 19.0%	384 15.6%
特別養護老人ホーム	675	1 0.1%	5 0.7%	35 5.2%	48 7.1%	83 12.3%	106 15.7%	91 13.5%
老人保健施設	782	—	12 1.5%	44 5.6%	91 11.6%	125 16.0%	161 20.6%	125 16.0%
介護療養病床	728	—	15 2.1%	37 5.1%	75 10.3%	106 14.6%	157 21.6%	130 17.9%
医療療養病床	281	—	5 1.8%	26 9.3%	42 14.9%	47 16.7%	44 15.7%	38 13.5%

	〃 3 5 年 未 満	〃 4 0 年 未 満	〃 4 5 年 未 満	〃 5 0 年 未 満	5 0 年 以 上	無 回 答	（単 位 均 ： 年 値 ） □	（単 位 偏 ： 差 年 ） □
合 計	355 14.4%	167 6.8%	78 3.2%	14 0.6%	4 0.2%	199 8.1%	22.85	9.35
特別養護老人ホーム	89 13.2%	44 6.5%	23 3.4%	4 0.6%	3 0.4%	143 21.2%	23.76	9.58
老人保健施設	111 14.2%	57 7.3%	27 3.5%	5 0.6%	—	24 3.1%	22.68	9.22
介護療養病床	117 16.1%	40 5.5%	22 3.0%	5 0.7%	1 0.1%	23 3.2%	22.85	9.12
医療療養病床	38 13.5%	26 9.3%	6 2.1%	—	—	9 3.2%	21.56	9.68

図表 213 うち介護分野での経験年数

	件 数	〓 1 年 未 満	〓 5 年 未 満	〓 1 0 年 未 満	〓 1 5 年 未 満	〓 2 0 年 未 満	〓 2 5 年 未 満	〓 3 0 年 未 満
合 計	2267	13 0.6%	395 17.4%	526 23.2%	571 25.2%	245 10.8%	99 4.4%	21 0.9%
特別養護老人ホーム	532	2 0.4%	88 16.5%	120 22.6%	140 26.3%	75 14.1%	32 6.0%	9 1.7%
老人保健施設	758	5 0.7%	121 16.0%	208 27.4%	197 26.0%	106 14.0%	29 3.8%	2 0.3%
介護療養病床	705	6 0.9%	140 19.9%	161 22.8%	210 29.8%	51 7.2%	32 4.5%	7 1.0%
医療療養病床	272	-	46 16.9%	37 13.6%	24 8.8%	13 4.8%	6 2.2%	3 1.1%

	〓 3 5 年 未 満	〓 4 0 年 未 満	〓 4 5 年 未 満	〓 5 0 年 未 満	5 0 年 以 上	無 回 答	（単位 均：年 値） □	（単位 偏：差 年） □
合 計	15 0.7%	7 0.3%	1 0.0%	-	-	374 16.5%	9.88	6.22
特別養護老人ホーム	8 1.5%	4 0.8%	-	-	-	54 10.2%	10.97	6.98
老人保健施設	-	-	-	-	-	90 11.9%	9.62	5.3
介護療養病床	5 0.7%	1 0.1%	1 0.1%	-	-	91 12.9%	9.54	6.11
医療療養病床	2 0.7%	2 0.7%	-	-	-	139 51.1%	8.9	7.5

図表 214 うち介護分野での経験年数（割合）

	件 数	0 %	〓 1 0 % 未 満	〓 2 0 % 未 満	〓 3 0 % 未 満	〓 4 0 % 未 満	〓 5 0 % 未 満	〓 6 0 % 未 満
合 計	2267	-	130 5.7%	221 9.7%	247 10.9%	252 11.1%	225 9.9%	264 11.6%
特別養護老人ホーム	532	-	30 5.6%	46 8.6%	65 12.2%	49 9.2%	57 10.7%	71 13.3%
老人保健施設	758	-	36 4.7%	72 9.5%	94 12.4%	93 12.3%	86 11.3%	97 12.8%
介護療養病床	705	-	48 6.8%	81 11.5%	70 9.9%	92 13.0%	77 10.9%	77 10.9%
医療療養病床	272	-	16 5.9%	22 8.1%	18 6.6%	18 6.6%	5 1.8%	19 7.0%

	〓 7 0 % 未 満	〓 8 0 % 未 満	〓 9 0 % 未 満	〓 1 0 0 % 未 満	1 0 0 %	無 回 答	（単 位 均 ： % ） □	（単 位 偏 ： 差 % ） □
合 計	201 8.9%	129 5.7%	89 3.9%	17 0.7%	118 5.2%	374 16.5%	45.46	25.95
特別養護老人ホーム	64 12.0%	37 7.0%	29 5.5%	7 1.3%	23 4.3%	54 10.2%	47.56	25.52
老人保健施設	77 10.2%	52 6.9%	25 3.3%	3 0.4%	33 4.4%	90 11.9%	45.16	24.41
介護療養病床	51 7.2%	30 4.3%	30 4.3%	7 1.0%	51 7.2%	91 12.9%	44.94	27.14
医療療養病床	9 3.3%	10 3.7%	5 1.8%	-	11 4.0%	139 51.1%	41.78	28.68

(3) 夜間の勤務日の業務内容について

図表 215 夜勤時の業務内容（件数）

	特別養護 老人ホーム n=675	老人保健 施設 n=782	介護療養 病床 n=728	医療療養 病床 n=281
	平均 値 □（単位： 人）	平均 値 □（単位： 人）	平均 値 □（単位： 人）	平均 値 □（単位： 人）
健康管理（バイタルサイン確認（入浴・リハビリテーション時等の確認を除く）、健康状態確認（日常会話、声かけによる確認を含む））	21.1	25.4	22.9	24.6
診療の補助	7.2	1.7	1.6	2.1
移動の介助	2.8	9.8	4.5	4.4
食事介助（配膳、下膳含む）	5.2	16.0	11.9	11.7
排泄ケア	2.1	13.5	16.3	15.2
服薬介助（服薬の見守り、服薬状況の確認を含む）	13.9	30.7	17.0	15.5
口腔ケア	3.8	8.3	10.1	9.9
記録（リハビリ記録を除く）	16.3	22.5	22.6	25.6
利用者／患者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	1.2	1.9	1.5	2.0
ナースコール対応	2.5	9.1	5.4	7.5
看取りへの関与	0.8	0.2	0.2	0.1
服薬管理（薬の区分け・与薬の準備、配布を含む）	28.9	40.4	23.0	25.3
巡視	9.4	32.3	26.6	29.3
更衣介助	1.4	4.3	1.8	1.6

図表 216 夜勤時の業務内容（1人あたり分）

	特別養護 老人ホーム n=675	老人保健 施設 n=782	介護療養 病床 n=728	医療療養 病床 n=281
	平均 値 □（単位： 分）	平均 値 □（単位： 分）	平均 値 □（単位： 分）	平均 値 □（単位： 分）
健康管理（バイタルサイン確認（入浴・リハビリテーション時等の確認を除く）、健康状態確認（日常会話、声かけによる確認を含む））	16.3	6.5	7.9	9.2
診療の補助	23.2	10.7	14.3	10.2
移動の介助	7.0	5.0	7.2	6.4
食事介助（配膳、下膳含む）	18.1	10.3	11.3	10.3
排泄ケア	8.0	7.4	9.3	9.2
服薬介助（服薬の見守り、服薬状況の確認を含む）	5.2	2.3	3.6	3.5
口腔ケア	6.9	4.4	5.2	4.6
記録（リハビリ記録を除く）	8.4	4.3	5.3	5.4
利用者／患者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	24.0	13.1	11.6	9.7
ナースコール対応	5.4	6.8	7.9	8.3
看取りへの関与	57.6	40.1	62.0	70.5
服薬管理（薬の区分け・与薬の準備、配布を含む）	3.1	1.7	2.5	2.6
巡視	4.8	4.2	5.1	5.3
更衣介助	11.8	8.4	11.6	11.4

(4) オンコール対応日の状況について

図表 217 呼び出された時間

	件数	1 7 時	1 8 時	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	2 4 時	1 時	2 時
合 計	5242	199 3.8%	306 5.8%	352 6.7%	386 7.4%	309 5.9%	301 5.7%	250 4.8%	185 3.5%	155 3.0%	150 2.9%
特別養護老人ホーム	2015	57 2.8%	102 5.1%	165 8.2%	175 8.7%	131 6.5%	124 6.2%	120 6.0%	93 4.6%	68 3.4%	81 4.0%
老人保健施設	2218	84 3.8%	132 6.0%	130 5.9%	152 6.9%	143 6.4%	146 6.6%	103 4.6%	76 3.4%	59 2.7%	47 2.1%
介護療養病床	728	43 5.9%	51 7.0%	47 6.5%	44 6.0%	26 3.6%	19 2.6%	16 2.2%	13 1.8%	17 2.3%	16 2.2%
医療療養病床	281	15 5.3%	21 7.5%	10 3.6%	15 5.3%	9 3.2%	12 4.3%	11 3.9%	3 1.1%	11 3.9%	6 2.1%

	3 時	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時 以降	無 回 答	(単位: 平均時 値) □	(単位: 標準偏差 時) □
合 計	153 2.9%	141 2.7%	144 2.7%	199 3.8%	142 2.7%	62 1.2%	74 1.4%	1734 33.1%	14.95	7.81
特別養護老人ホーム	72 3.6%	62 3.1%	63 3.1%	94 4.7%	57 2.8%	18 0.9%	19 0.9%	514 25.5%	14.84	8.07
老人保健施設	54 2.4%	53 2.4%	59 2.7%	82 3.7%	64 2.9%	41 1.8%	37 1.7%	756 34.1%	15.23	7.63
介護療養病床	16 2.2%	20 2.7%	17 2.3%	20 2.7%	14 1.9%	2 0.3%	13 1.8%	334 45.9%	14.59	7.39
医療療養病床	11 3.9%	6 2.1%	5 1.8%	3 1.1%	7 2.5%	1 0.4%	5 1.8%	130 46.3%	14.24	7.85

(5) 施設内の看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与について

図表 218 医師の看取りへの関与に対する満足度

	件数	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
合 計	2466	397 16.1%	501 20.3%	840 34.1%	393 15.9%	128 5.2%	207 8.4%
特別養護老人ホーム	675	168 24.9%	137 20.3%	181 26.8%	80 11.9%	42 6.2%	67 9.9%
老人保健施設	782	123 15.7%	149 19.1%	276 35.3%	118 15.1%	38 4.9%	78 10.0%
介護療養病床	728	89 12.2%	164 22.5%	269 37.0%	131 18.0%	31 4.3%	44 6.0%
医療療養病床	281	17 6.0%	51 18.1%	114 40.6%	64 22.8%	17 6.0%	18 6.4%

図表 219 介護職員の看取りへの関与に対する満足度

	件数	積極的	やや積極的	どちらでもない	やや消極的	消極的	無回答
合 計	2466	265 10.7%	511 20.7%	937 38.0%	392 15.9%	155 6.3%	206 8.4%
特別養護老人ホーム	675	94 13.9%	164 24.3%	200 29.6%	97 14.4%	50 7.4%	70 10.4%
老人保健施設	782	66 8.4%	135 17.3%	280 35.8%	159 20.3%	68 8.7%	74 9.5%
介護療養病床	728	81 11.1%	167 22.9%	318 43.7%	94 12.9%	22 3.0%	46 6.3%
医療療養病床	281	24 8.5%	45 16.0%	139 49.5%	42 14.9%	15 5.3%	16 5.7%

Ⅲ 利用者票

(1) 利用者の基本情報について

図表 220 年齢（2014年6月30日時点）（性別別）

<特別養護老人ホーム>

	件数	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答	（単位：歳） 平均：値 □	（単位：歳） 標準偏差：差 □
合 計	5236	54 1.0%	343 6.6%	1469 28.1%	2594 49.5%	689 13.2%	87 1.7%	86.38	7.84
男	1123	36 3.2%	162 14.4%	415 37.0%	430 38.3%	63 5.6%	17 1.5%	82.3	8.62
女	4096	18 0.4%	180 4.4%	1048 25.6%	2157 52.7%	624 15.2%	69 1.7%	87.49	7.23

<老人保健施設>

	件数	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答	（単位：歳） 平均：値 □	（単位：歳） 標準偏差：差 □
合 計	6672	132 2.0%	553 8.3%	1988 29.8%	3153 47.3%	725 10.9%	121 1.8%	85.26	8.42
男	1766	69 3.9%	275 15.6%	672 38.1%	614 34.8%	106 6.0%	30 1.7%	81.82	8.88
女	4883	63 1.3%	276 5.7%	1313 26.9%	2531 51.8%	618 12.7%	82 1.7%	86.5	7.9

<介護療養病床>

	件 数	4 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 7 4 歳	7 5 ～ 8 4 歳	8 5 ～ 9 4 歳	9 5 歳 以上	無 回 答	(単位 均：歳 値) □	(単位 標準偏：歳 差) □
合 計	3992	94 2.4%	346 8.7%	1151 28.8%	1823 45.7%	522 13.1%	56 1.4%	85.36	8.8
男	1082	60 5.5%	179 16.5%	422 39.0%	354 32.7%	52 4.8%	15 1.4%	80.96	9.26
女	2897	33 1.1%	167 5.8%	728 25.1%	1461 50.4%	468 16.2%	40 1.4%	87	8.03

<医療療養病床>

	件 数	4 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 7 4 歳	7 5 ～ 8 4 歳	8 5 ～ 9 4 歳	9 5 歳 以上	無 回 答	(単位 均：歳 値) □	(単位 標準偏：歳 差) □
合 計	1966	170 8.6%	264 13.4%	629 32.0%	707 36.0%	154 7.8%	42 2.1%	81.22	11.18
男	759	104 13.7%	145 19.1%	263 34.7%	214 28.2%	16 2.1%	17 2.2%	77.45	11.19
女	1201	65 5.4%	119 9.9%	364 30.3%	493 41.0%	138 11.5%	22 1.8%	83.6	10.5

図表 221 入所／入院日（年）

	件 数	(単位 均：年 値) □	(単位 標準偏：年 差) □
合 計	17866	2011.65	3.05
特別養護老人ホーム	5236	2010.41	3.83
老人保健施設	6672	2012.44	2.06
介護療養病床	3992	2011.62	2.83
医療療養病床	1966	2012.34	2.76

図表 222 入所／入院前の世帯構成

	件 数	単 独 世 帯	夫 婦 の み 世 帯	そ の 他 同 居	無 回 答
合 計	17866	5318 29.8%	2947 16.5%	8840 49.5%	761 4.3%
特別養護老人ホーム	5236	1720 32.8%	730 13.9%	2470 47.2%	316 6.0%
老人保健施設	6672	1956 29.3%	1066 16.0%	3445 51.6%	205 3.1%
介護療養病床	3992	1096 27.5%	740 18.5%	2007 50.3%	149 3.7%
医療療養病床	1966	546 27.8%	411 20.9%	918 46.7%	91 4.6%

図表 223 世帯員の年齢構成

	件 数	6 5 歳 以 上 の み	そ れ 以 外	無 回 答
合 計	8840	1556 17.6%	6845 77.4%	439 5.0%
特別養護老人ホーム	2470	401 16.2%	1902 77.0%	167 6.8%
老人保健施設	3445	627 18.2%	2662 77.3%	156 4.5%
介護療養病床	2007	392 19.5%	1538 76.6%	77 3.8%
医療療養病床	918	136 14.8%	743 80.9%	39 4.2%

図表 224 入所／入院前の場所

	件数	自宅	一般病棟（病床）	医療療養病床（病床）	介護施設 介護療養型医療	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	その他（病床） その他の病床（	その他・事業所 介護施設	上記以外	無回答
合計	17866	5467 30.6%	6532 36.6%	1071 6.0%	377 2.1%	457 2.6%	1818 10.2%	714 4.0%	917 5.1%	308 1.7%	205 1.1%
特別養護老人ホーム	5236	2224 42.5%	520 9.9%	181 3.5%	134 2.6%	192 3.7%	1197 22.9%	140 2.7%	435 8.3%	118 2.3%	95 1.8%
老人保健施設	6672	2033 30.5%	2802 42.0%	490 7.3%	134 2.0%	75 1.1%	339 5.1%	361 5.4%	270 4.0%	102 1.5%	66 1.0%
介護療養病床	3992	679 17.0%	2183 54.7%	354 8.9%	82 2.1%	108 2.7%	183 4.6%	168 4.2%	141 3.5%	60 1.5%	34 0.9%
医療療養病床	1966	531 27.0%	1027 52.2%	46 2.3%	27 1.4%	82 4.2%	99 5.0%	45 2.3%	71 3.6%	28 1.4%	10 0.5%

図表 225 自宅の介護力

	件数	人が介護を 受ける 日中、夜間とも	人が介護を 受ける 日中のみ、夜間とも	人が介護を 受ける 夜間のみ、夜間とも	人が介護を 受ける 日中のみ、夜間とも	不明	その他	無回答
合 計	17866	11822 66.2%	299 1.7%	2300 12.9%	1704 9.5%	823 4.6%	422 2.4%	496 2.8%
特別養護老人ホーム	5236	3524 67.3%	87 1.7%	670 12.8%	383 7.3%	235 4.5%	150 2.9%	187 3.6%
老人保健施設	6672	4232 63.4%	130 1.9%	988 14.8%	806 12.1%	214 3.2%	145 2.2%	157 2.4%
介護療養病床	3992	2840 71.1%	54 1.4%	424 10.6%	278 7.0%	214 5.4%	77 1.9%	105 2.6%
医療療養病床	1966	1226 62.4%	28 1.4%	218 11.1%	237 12.1%	160 8.1%	50 2.5%	47 2.4%

図表 226 入所／入院の理由（複数回答）

	件数	悪化したため 疾病が急性発症、又は急性増	継続的な高度な医療管理が必要	ため 疾病の急性期状態が安定した	ンが必要のため 機能訓練／リハビリテーション	施設に空きがないため 医療施設も対応できるが、適切な介護実施	ービスが確保できないため 在宅療養でも対応できるが、サ	現在の住まいでは生活が困難 在宅療養でも対応できるが、難	家族が介護困難または不在の 在宅療養でも対応できるが、不	上は家族が強く希望するため 上記以外の理由で、本人また	その他	無回答
合計	17866	1474 8.3%	989 5.5%	5351 30.0%	4811 26.9%	2462 13.8%	797 4.5%	1838 10.3%	7190 40.2%	2579 14.4%	738 4.1%	169 0.9%
特別養護老人ホーム	5236	313 6.0%	124 2.4%	873 16.7%	146 2.8%	441 8.4%	379 7.2%	873 16.7%	2702 51.6%	1125 21.5%	357 6.8%	87 1.7%
老人保健施設	6672	305 4.6%	195 2.9%	1780 26.7%	3064 45.9%	1062 15.9%	234 3.5%	672 10.1%	2980 44.7%	814 12.2%	225 3.4%	53 0.8%
介護療養病床	3992	444 11.1%	338 8.5%	1883 47.2%	1025 25.7%	711 17.8%	131 3.3%	202 5.1%	1153 28.9%	483 12.1%	111 2.8%	25 0.6%
医療療養病床	1966	412 21.0%	332 16.9%	815 41.5%	576 29.3%	248 12.6%	53 2.7%	91 4.6%	355 18.1%	157 8.0%	45 2.3%	4 0.2%

(2) 利用者の状態等について

図表 227 有している傷病（副傷病）（複数回答）

	件数	高血圧	脳・脳梗塞等（脳出血）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	肺炎・呼吸器の炎症	胃腸・肝臓・胆	腎臓・前立腺	筋骨格の病（骨折等）	外傷（転倒・骨
合計	17469	2633 15.1%	1378 7.9%	1522 8.7%	1161 6.6%	187 1.1%	838 4.8%	558 3.2%	504 2.9%	1090 6.2%	649 3.7%
特別養護老人ホーム	5080	770 15.2%	394 7.8%	337 6.6%	256 5.0%	68 1.3%	178 3.5%	159 3.1%	132 2.6%	336 6.6%	181 3.6%
老人保健施設	6505	1100 16.9%	493 7.6%	537 8.3%	444 6.8%	77 1.2%	254 3.9%	215 3.3%	176 2.7%	488 7.5%	322 5.0%
介護療養病床	3944	558 14.1%	326 8.3%	448 11.4%	277 7.0%	29 0.7%	223 5.7%	136 3.4%	128 3.2%	206 5.2%	101 2.6%
医療療養病床	1940	205 10.6%	165 8.5%	200 10.3%	184 9.5%	13 0.7%	183 9.4%	48 2.5%	68 3.5%	60 3.1%	45 2.3%

	がん（新生物）	血液・免疫の病	うつ病	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
合計	251 1.4%	121 0.7%	301 1.7%	245 1.4%	218 1.2%	47 0.3%	1335 7.6%	45 0.3%	4386 25.1%
特別養護老人ホーム	55 1.1%	37 0.7%	99 1.9%	72 1.4%	90 1.8%	21 0.4%	359 7.1%	8 0.2%	1528 30.1%
老人保健施設	100 1.5%	46 0.7%	97 1.5%	76 1.2%	93 1.4%	20 0.3%	486 7.5%	14 0.2%	1467 22.6%
介護療養病床	55 1.4%	20 0.5%	66 1.7%	63 1.6%	23 0.6%	5 0.1%	358 9.1%	14 0.4%	908 23.0%
医療療養病床	41 2.1%	18 0.9%	39 2.0%	34 1.8%	12 0.6%	1 0.1%	132 6.8%	9 0.5%	483 24.9%

図表 228 有している傷病（回答数）

	件数	0 個	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個	8 個	9 個	10 個以上	無回答	（単位：個） 平均値 □	（単位：個） 標準偏差 □
合計	17866	129 0.7%	3377 18.9%	5336 29.9%	4579 25.6%	2615 14.6%	1191 6.7%	422 2.4%	152 0.9%	46 0.3%	12 0.1%	7 0.0%	-	2.71	1.38
特別養護老人ホーム	5236	36 0.7%	1072 20.5%	1530 29.2%	1286 24.6%	774 14.8%	338 6.5%	133 2.5%	48 0.9%	12 0.2%	4 0.1%	3 0.1%	-	2.69	1.4
老人保健施設	6672	59 0.9%	1206 18.1%	1949 29.2%	1778 26.6%	1028 15.4%	459 6.9%	136 2.0%	42 0.6%	11 0.2%	4 0.1%	-	-	2.71	1.34
介護療養病床	3992	24 0.6%	729 18.3%	1248 31.3%	1014 25.4%	563 14.1%	260 6.5%	100 2.5%	38 1.0%	13 0.3%	-	3 0.1%	-	2.71	1.39
医療療養病床	1966	10 0.5%	370 18.8%	609 31.0%	501 25.5%	250 12.7%	134 6.8%	53 2.7%	24 1.2%	10 0.5%	4 0.2%	1 0.1%	-	2.73	1.45

図表 229 周辺症状の状況について（回答数）

	件数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個以上	無回答	（単位：個） 平均値 □	（単位：個） 標準偏差 □
合 計	17866	5888 33.0%	6739 37.7%	2790 15.6%	1358 7.6%	610 3.4%	276 1.5%	104 0.6%	54 0.3%	25 0.1%	14 0.1%	8 0.0%	-	1.21	1.31
特別養護老人ホーム	5236	1481 28.3%	1980 37.8%	890 17.0%	459 8.8%	233 4.4%	106 2.0%	40 0.8%	27 0.5%	13 0.2%	3 0.1%	4 0.1%	-	1.37	1.41
老人保健施設	6672	2283 34.2%	2423 36.3%	1045 15.7%	538 8.1%	216 3.2%	97 1.5%	37 0.6%	16 0.2%	9 0.1%	5 0.1%	3 0.0%	-	1.19	1.3
介護療養病床	3992	1154 28.9%	1672 41.9%	656 16.4%	286 7.2%	128 3.2%	53 1.3%	24 0.6%	9 0.2%	3 0.1%	6 0.2%	1 0.0%	-	1.23	1.26
医療療養病床	1966	970 49.3%	664 33.8%	199 10.1%	75 3.8%	33 1.7%	20 1.0%	3 0.2%	2 0.1%	-	-	-	-	0.79	1.04

図表 230 障害高齢者の日常生活自立度

	件数	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	不明	無回答
合 計	17866	125 0.7%	65 0.4%	174 1.0%	1087 6.1%	1812 10.1%	2774 15.5%	4516 25.3%	1378 7.7%	5391 30.2%	90 0.5%	454 2.5%
特別養護老人ホーム	5236	32 0.6%	19 0.4%	57 1.1%	422 8.1%	618 11.8%	867 16.6%	1505 28.7%	382 7.3%	1075 20.5%	30 0.6%	229 4.4%
老人保健施設	6672	49 0.7%	40 0.6%	77 1.2%	583 8.7%	1045 15.7%	1452 21.8%	1998 29.9%	327 4.9%	961 14.4%	22 0.3%	118 1.8%
介護療養病床	3992	3 0.1%	3 0.1%	12 0.3%	29 0.7%	77 1.9%	262 6.6%	761 19.1%	469 11.7%	2302 57.7%	4 0.1%	70 1.8%
医療療養病床	1966	41 2.1%	3 0.2%	28 1.4%	53 2.7%	72 3.7%	193 9.8%	252 12.8%	200 10.2%	1053 53.6%	34 1.7%	37 1.9%

図表 231 認知症高齢者の日常生活自立度（施設類型別）

	件数	Ⅱ未満	Ⅱ以上	不明	無回答
合 計	17866	1954 10.9%	14951 83.7%	521 2.9%	440 2.5%
特別養護老人ホーム	5236	404 7.7%	4593 87.7%	70 1.3%	169 3.2%
老人保健施設	6672	954 14.3%	5539 83.0%	61 0.9%	118 1.8%
介護療養病床	3992	219 5.5%	3525 88.3%	164 4.1%	84 2.1%
医療療養病床	1966	377 19.2%	1294 65.8%	226 11.5%	69 3.5%

図表 232 認知症高齢者の日常生活自立度（要介護度別）

<特別養護老人ホーム>

	件 数	Ⅱ 未 満	Ⅱ 以 上	不 明	無 回 答
合 計	5236	404 7.7%	4593 87.7%	70 1.3%	169 3.2%
要介護1	139	46 33.1%	86 61.9%	1 0.7%	6 4.3%
要介護2	383	71 18.5%	294 76.8%	2 0.5%	16 4.2%
要介護3	1167	125 10.7%	997 85.4%	3 0.3%	42 3.6%
要介護4	1648	96 5.8%	1494 90.7%	17 1.0%	41 2.5%
要介護5	1741	58 3.3%	1616 92.8%	44 2.5%	23 1.3%
未申請及び申請中	6	1 16.7%	5 83.3%	-	-

<老人保健施設>

	件 数	Ⅱ 未 満	Ⅱ 以 上	不 明	無 回 答
合 計	6672	954 14.3%	5539 83.0%	61 0.9%	118 1.8%
要介護1	629	212 33.7%	406 64.5%	2 0.3%	9 1.4%
要介護2	1146	254 22.2%	866 75.6%	5 0.4%	21 1.8%
要介護3	1547	219 14.2%	1305 84.4%	6 0.4%	17 1.1%
要介護4	1780	168 9.4%	1573 88.4%	11 0.6%	28 1.6%
要介護5	1361	69 5.1%	1248 91.7%	29 2.1%	15 1.1%
未申請及び申請中	16	2 12.5%	14 87.5%	-	-

<介護療養病床>

	件 数	Ⅱ 未 満	Ⅱ 以 上	不 明	無 回 答
合 計	3992	219 5.5%	3525 88.3%	164 4.1%	84 2.1%
要介護1	44	17 38.6%	26 59.1%	1 2.3%	-
要介護2	127	37 29.1%	88 69.3%	1 0.8%	1 0.8%
要介護3	308	35 11.4%	269 87.3%	2 0.6%	2 0.6%
要介護4	1185	57 4.8%	1067 90.0%	43 3.6%	18 1.5%
要介護5	2202	63 2.9%	1987 90.2%	111 5.0%	41 1.9%
未申請及び申請中	32	9 28.1%	17 53.1%	4 12.5%	2 6.3%

<医療療養病床>

	件 数	Ⅱ 未 満	Ⅱ 以 上	不 明	無 回 答
合 計	1966	377 19.2%	1294 65.8%	226 11.5%	69 3.5%
要介護1	77	32 41.6%	38 49.4%	4 5.2%	3 3.9%
要介護2	122	38 31.1%	73 59.8%	8 6.6%	3 2.5%
要介護3	139	35 25.2%	92 66.2%	11 7.9%	1 0.7%
要介護4	271	23 8.5%	219 80.8%	24 8.9%	5 1.8%
要介護5	560	35 6.3%	430 76.8%	70 12.5%	25 4.5%
未申請及び申請中	665	187 28.1%	368 55.3%	90 13.5%	20 3.0%

図表 233 痛みの有無

	件 数	痛 み が あ る	痛 み は な い	不 明	無 回 答
合 計	17866	3972 22.2%	10747 60.2%	2513 14.1%	634 3.5%
特別養護老人ホーム	5236	1114 21.3%	3222 61.5%	639 12.2%	261 5.0%
老人保健施設	6672	1636 24.5%	4327 64.9%	505 7.6%	204 3.1%
介護療養病床	3992	783 19.6%	2219 55.6%	876 21.9%	114 2.9%
医療療養病床	1966	439 22.3%	979 49.8%	493 25.1%	55 2.8%

図表 234 日常生活の支障の有無

	件 数	支 障 が あ る	支 障 は な い	無 回 答
合 計	3972	1567 39.5%	2350 59.2%	55 1.4%
特別養護老人ホーム	1114	431 38.7%	661 59.3%	22 2.0%
老人保健施設	1636	606 37.0%	1010 61.7%	20 1.2%
介護療養病床	783	329 42.0%	447 57.1%	7 0.9%
医療療養病床	439	201 45.8%	232 52.8%	6 1.4%

(3) 受療状況について

図表 235 平成 26 年 1 ～ 6 月における入院の有無【特別養護老人ホーム】

	件 数	あ り	な し	無 回 答
合 計	5236	618 11.8%	4571 87.3%	47 0.9%

図表 236 平成 26 年 1 ～ 6 月における入院回数【特別養護老人ホーム】

	件 数	平(単 位均：回 値) □	標(単 準位偏：差 回) □
合 計	618	1.19	0.5

図表 237 平成 26 年 1 ～ 6 月における延べ入院日数【特別養護老人ホーム】

	件 数	平(単 位均：日 値) □	標(単 準位偏：差 日) □
合 計	618	28.25	28.22

図表 238 平成 26 年 6 月における通院の有無

	件 数	あ り	な し	無 回 答
合 計	11908	2134 17.9%	9324 78.3%	450 3.8%
特別養護老人ホーム	5236	1275 24.4%	3638 69.5%	323 6.2%
老人保健施設	6672	859 12.9%	5686 85.2%	127 1.9%
介護療養病床	—	—	—	—
医療療養病床	—	—	—	—

図表 239 平成 26 年 6 月における延べ通院回数

	件 数	(単位 均：回 値) □	(単位 偏：回 差) □
合 計	2134	2.02	3.15
特別養護老人ホーム	1275	2.18	3.53
老人保健施設	859	1.75	2.4
介護療養病床	-	-	-
医療療養病床	-	-	-

図表 240 平成 26 年 6 月における診療科（複数回答）

	件 数	内 科	外 科	泌 尿 器 科	整 形 外 科	精 神 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	そ の 他	無 回 答
合 計	2134	894 41.9%	166 7.8%	149 7.0%	319 14.9%	168 7.9%	197 9.2%	86 4.0%	48 2.2%	188 8.8%	228 10.7%	29 1.4%
特別養護老人ホーム	1275	572 44.9%	106 8.3%	95 7.5%	173 13.6%	127 10.0%	104 8.2%	29 2.3%	28 2.2%	136 10.7%	131 10.3%	14 1.1%
老人保健施設	859	322 37.5%	60 7.0%	54 6.3%	146 17.0%	41 4.8%	93 10.8%	57 6.6%	20 2.3%	52 6.1%	97 11.3%	15 1.7%
介護療養病床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療療養病床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 241 平成 26 年 6 月における訪問診療の有無【特別養護老人ホーム】

	件 数	あ り	な し	無 回 答
合 計	5236	3317 63.3%	1702 32.5%	217 4.1%

図表 242 平成 26 年 6 月における延べ受療回数【特別養護老人ホーム】

	件 数	(単位 均：回 値) □	(単位 偏：回 差) □
合 計	3317	3.04	2.65

図表 243 平成 26 年 6 月における診療科【特別養護老人ホーム】（複数回答）

	件 数	内 科	外 科	泌 尿 器 科	整 形 外 科	精 神 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	そ の 他	無 回 答
合 計	3317	2932 88.4%	95 2.9%	33 1.0%	46 1.4%	185 5.6%	21 0.6%	172 5.2%	1 0.0%	79 2.4%	48 1.4%	161 4.9%

図表 244 平成 26 年 6 月における往診の有無

	件 数	あ り	な し	無 回 答
合 計	11908	1494 12.5%	9772 82.1%	642 5.4%
特別養護老人ホーム	5236	1010 19.3%	4021 76.8%	205 3.9%
老人保健施設	6672	484 7.3%	5751 86.2%	437 6.5%
介護療養病床	-	-	-	-
医療療養病床	-	-	-	-

図表 245 平成 26 年 6 月における延べ受療回数

	件 数	平（単 位 均：回 値） □	標（単 準位 偏：差 回） □
合 計	1494	2.69	2.29
特別養護老人ホーム	1010	2.81	2.52
老人保健施設	484	2.44	1.65
介護療養病床	-	-	-
医療療養病床	-	-	-

図表 246 平成 26 年 6 月における受診した診療科（複数回答）

	件数	内科	外科	泌尿器科	整形外科	精神科	眼科	歯科	耳鼻科	皮膚科	その他	無回答
合 計	1494	750 50.2%	44 2.9%	17 1.1%	35 2.3%	102 6.8%	42 2.8%	491 32.9%	11 0.7%	132 8.8%	36 2.4%	40 2.7%
特別養護老人ホーム	1010	613 60.7%	40 4.0%	9 0.9%	19 1.9%	72 7.1%	37 3.7%	227 22.5%	4 0.4%	101 10.0%	23 2.3%	23 2.3%
老人保健施設	484	137 28.3%	4 0.8%	8 1.7%	16 3.3%	30 6.2%	5 1.0%	264 54.5%	7 1.4%	31 6.4%	13 2.7%	17 3.5%
介護療養病床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療療養病床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 247 現在受けている治療（複数回答）

	件数	血糖測定・インスリン	静脈内注射	中心静脈栄養の管理	透析（在宅自己腹膜灌漑を含む）の管理	ストーマ（人工肛門）の管理	酸素療法	呼吸器（人工レスピレーター）の管理	気管切開のケア	疼痛の管理	薬を用いるもの、麻	経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）	心拍、酸素飽和度等）モニタリング（血圧、
合 計	17866	1217 6.8%	489 2.7%	300 1.7%	116 0.6%	174 1.0%	573 3.2%	26 0.1%	313 1.8%	893 5.0%	31 0.2%	3406 19.1%	853 4.8%
特別養護老人ホーム	5236	194 3.7%	44 0.8%	4 0.1%	4 0.1%	45 0.9%	59 1.1%	－	2 0.0%	180 3.4%	2 0.0%	492 9.4%	178 3.4%
老人保健施設	6672	456 6.8%	78 1.2%	4 0.1%	29 0.4%	66 1.0%	55 0.8%	1 0.0%	14 0.2%	396 5.9%	6 0.1%	594 8.9%	286 4.3%
介護療養病床	3992	305 7.6%	242 6.1%	62 1.6%	8 0.2%	38 1.0%	136 3.4%	－	63 1.6%	181 4.5%	4 0.1%	1622 40.6%	188 4.7%
医療療養病床	1966	262 13.3%	125 6.4%	230 11.7%	75 3.8%	25 1.3%	323 16.4%	25 1.3%	234 11.9%	136 6.9%	19 1.0%	698 35.5%	201 10.2%

	褥瘡の処置	カテーテル等（コンドーム）の管理	喀痰吸引	ネブライザー	創傷処置（褥瘡を除く）	服薬管理	認知症に関する専門的ケア	排便	浣腸	一時的導尿	その他	なし	無回答
合 計	974 5.5%	1386 7.8%	2596 14.5%	276 1.5%	796 4.5%	14993 83.9%	1143 6.4%	3097 17.3%	2959 16.6%	64 0.4%	320 1.8%	796 4.5%	490 2.7%
特別養護老人ホーム	209 4.0%	206 3.9%	331 6.3%	11 0.2%	247 4.7%	4445 84.9%	354 6.8%	488 9.3%	577 11.0%	13 0.2%	102 1.9%	313 6.0%	194 3.7%
老人保健施設	257 3.9%	289 4.3%	390 5.8%	36 0.5%	234 3.5%	5755 86.3%	598 9.0%	798 12.0%	779 11.7%	21 0.3%	102 1.5%	363 5.4%	214 3.2%
介護療養病床	307 7.7%	546 13.7%	1097 27.5%	96 2.4%	214 5.4%	3316 83.1%	163 4.1%	1327 33.2%	1143 28.6%	23 0.6%	83 2.1%	88 2.2%	50 1.3%
医療療養病床	201 10.2%	345 17.5%	778 39.6%	133 6.8%	101 5.1%	1477 75.1%	28 1.4%	484 24.6%	460 23.4%	7 0.4%	33 1.7%	32 1.6%	32 1.6%

図表 248 現在受けている治療（回答数）

	件数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個以上	無回答	（単位：個） 平均：□ 値	（単位：個） 標準偏差：□ 値
合 計	17866	490 2.7%	7747 43.4%	4214 23.6%	2536 14.2%	1466 8.2%	764 4.3%	376 2.1%	165 0.9%	67 0.4%	35 0.2%	6 0.0%	-	2.12	1.49
特別養護老人ホーム	5236	194 3.7%	2914 55.7%	1265 24.2%	539 10.3%	220 4.2%	77 1.5%	18 0.3%	7 0.1%	1 0.0%	1 0.0%	-	-	1.62	1.03
老人保健施設	6672	214 3.2%	3460 51.9%	1688 25.3%	765 11.5%	349 5.2%	129 1.9%	45 0.7%	13 0.2%	7 0.1%	2 0.0%	-	-	1.74	1.13
介護療養病床	3992	50 1.3%	962 24.1%	885 22.2%	892 22.3%	590 14.8%	347 8.7%	167 4.2%	61 1.5%	25 0.6%	10 0.3%	3 0.1%	-	2.82	1.63
医療療養病床	1966	32 1.6%	411 20.9%	376 19.1%	340 17.3%	307 15.6%	211 10.7%	146 7.4%	84 4.3%	34 1.7%	22 1.1%	3 0.2%	-	3.27	1.99

図表 249 機能訓練指導員による個別機能訓練／リハビリ専門職等による個別リハビリテーション

	件数	個別機能訓練を受けている （割合）	個別機能訓練を受けていない （割合）	無回答
合 計	17866	11382 63.7%	5957 33.3%	527 2.9%
特別養護老人ホーム	5236	2345 44.8%	2706 51.7%	185 3.5%
老人保健施設	6672	5565 83.4%	907 13.6%	200 3.0%
介護療養病床	3992	2322 58.2%	1573 39.4%	97 2.4%
医療療養病床	1966	1150 58.5%	771 39.2%	45 2.3%

図表 250 平均頻度（回／週）

	件数	（単位：回／週） 平均：□ 値	（単位：回／週） 標準偏差：□ 値
合 計	11382	2.86	2.94
特別養護老人ホーム	2345	2.96	2.68
老人保健施設	5565	2.22	1.12
介護療養病床	2322	3.44	4.64
医療療養病床	1150	4.59	4.01

図表 251 1 回当たりの平均時間（分／回）

	件 数	平（単 均：位 分：分 値／回 ）□	標（単 準：位 偏：分 差：分 ）□
合 計	11382	22.29	12.89
特別養護老人ホーム	2345	17.15	11.04
老人保健施設	5565	21.18	5.88
介護療養病床	2322	24.08	10.19
医療療養病床	1150	34.28	28.47

図表 252 罹患している疾患（複数回答）

	件 数	肺 炎	リ必要 ハビな リ疾 テ患 ーシ ョン が	尿 路 感 染 症	悪ロ 性腫 瘍が 必要 な コ ン ト	悪以 性内 腫瘍 （余 命 3 か 月	帯剤 状の 点も 滴の 疹注 （に 抗限 ウ射 を 必 要 と ス	肝H 不4 全C （1 腹1 水以 高上 度2 、0 N m g
合 計	17866	1510 8.5%	2597 14.5%	1298 7.3%	125 0.7%	84 0.5%	78 0.4%	36 0.2%
特別養護老人ホーム	5236	350 6.7%	170 3.2%	322 6.1%	25 0.5%	11 0.2%	28 0.5%	9 0.2%
老人保健施設	6672	311 4.7%	1080 16.2%	329 4.9%	33 0.5%	14 0.2%	22 0.3%	14 0.2%
介護療養病床	3992	500 12.5%	809 20.3%	429 10.7%	30 0.8%	22 0.6%	21 0.5%	11 0.3%
医療療養病床	1966	349 17.8%	538 27.4%	218 11.1%	37 1.9%	37 1.9%	7 0.4%	2 0.1%

	心（ 不全 （高 度非 代償 性	慢O 性P 閉D 塞） 性肺 疾患 （C	脊 髄 損 傷 （頸 髄損 傷）	難 病 （ス モン を除 く）	ス モン	そ の 他	な し	無 回 答
合 計	1177 6.6%	235 1.3%	117 0.7%	160 0.9%	7 0.0%	2208 12.4%	8780 49.1%	1792 10.0%
特別養護老人ホーム	306 5.8%	43 0.8%	24 0.5%	35 0.7%	2 0.0%	663 12.7%	3058 58.4%	649 12.4%
老人保健施設	348 5.2%	57 0.9%	35 0.5%	29 0.4%	3 0.0%	743 11.1%	3594 53.9%	643 9.6%
介護療養病床	336 8.4%	52 1.3%	34 0.9%	23 0.6%	-	519 13.0%	1605 40.2%	379 9.5%
医療療養病床	187 9.5%	83 4.2%	24 1.2%	73 3.7%	2 0.1%	283 14.4%	523 26.6%	121 6.2%

図表 253 罹患している疾患（回答数）

	件数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個以上	無回答	（単位：個） 平均値 □	（単位：個） 標準偏差 □
合計	17866	1792 10.0%	14212 79.5%	1456 8.1%	344 1.9%	54 0.3%	8 0.0%	-	-	-	-	-	-	1.03	0.54
特別養護老人ホーム	5236	649 12.4%	4216 80.5%	299 5.7%	59 1.1%	10 0.2%	3 0.1%	-	-	-	-	-	-	0.96	0.5
老人保健施設	6672	643 9.6%	5548 83.2%	395 5.9%	72 1.1%	12 0.2%	2 0.0%	-	-	-	-	-	-	0.99	0.47
介護療養病床	3992	379 9.5%	3023 75.7%	429 10.7%	136 3.4%	23 0.6%	2 0.1%	-	-	-	-	-	-	1.1	0.62
医療療養病床	1966	121 6.2%	1425 72.5%	333 16.9%	77 3.9%	9 0.5%	1 0.1%	-	-	-	-	-	-	1.2	0.63

図表 254 現在見られる状態（複数回答）

	件数	脱水 状態 発熱を	体内 出血	頻回 嘔吐 状態	褥瘡	末梢 循環 障害 未開	せん 妄	うつ 状態	暴れる 状態 毎 日 み ら	喘息 重症 発作	重度 意識 障害 0 以上	なし	無回答
合計	17866	718 4.0%	64 0.4%	88 0.5%	937 5.2%	62 0.3%	899 5.0%	969 5.4%	164 0.9%	18 0.1%	230 1.3%	12094 67.7%	2214 12.4%
特別養護老人ホーム	5236	169 3.2%	9 0.2%	18 0.3%	200 3.8%	9 0.2%	233 4.4%	287 5.5%	54 1.0%	7 0.1%	14 0.3%	3703 70.7%	678 12.9%
老人保健施設	6672	160 2.4%	23 0.3%	17 0.3%	248 3.7%	14 0.2%	285 4.3%	338 5.1%	48 0.7%	4 0.1%	22 0.3%	4919 73.7%	743 11.1%
介護療養病床	3992	254 6.4%	24 0.6%	35 0.9%	294 7.4%	23 0.6%	272 6.8%	229 5.7%	54 1.4%	3 0.1%	97 2.4%	2368 59.3%	530 13.3%
医療療養病床	1966	135 6.9%	8 0.4%	18 0.9%	195 9.9%	16 0.8%	109 5.5%	115 5.8%	8 0.4%	4 0.2%	97 4.9%	1104 56.2%	263 13.4%

図表 255 現在見られる状態（回答数）

	件数	0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個以上	無回答	（単位：個） 平均値 □	（単位：個） 標準偏差 □
合計	17866	2214 12.4%	15128 84.7%	463 2.6%	55 0.3%	6 0.0%	-	-	-	-	-	-	-	0.91	0.4
特別養護老人ホーム	5236	678 12.9%	4427 84.5%	118 2.3%	12 0.2%	1 0.0%	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.39
老人保健施設	6672	743 11.1%	5800 86.9%	113 1.7%	12 0.2%	4 0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.91	0.36
介護療養病床	3992	530 13.3%	3293 82.5%	148 3.7%	20 0.5%	1 0.0%	-	-	-	-	-	-	-	0.92	0.43
医療療養病床	1966	263 13.4%	1608 81.8%	84 4.3%	11 0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.92	0.44

図表 256 内服薬の種類

	件数	（単位：種類） 平均値 □	（単位：種類） 標準偏差 □
合計	17866	4.94	2.99
特別養護老人ホーム	5236	5.11	2.99
老人保健施設	6672	4.95	2.87
介護療養病床	3992	4.59	3
医療療養病床	1966	5.13	3.31

(4) 今後の生活・療養の場の見通し等について

図表 257 今後の生活・療養の場の見通しを選んだ理由（複数回答）

	件数	最も適切な施設に、空床がないため	最応が適切な場所では、認知症への対応	最も適切な場所では、経管栄養等が提供できないため	医療・看護等が提供できないため、訪問診療、訪問看護等が必要	最も適切な場所ではないため、必要な介護サービスが確保できない	医療・介護サービスが確保できないため、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できない	住環境の整備ができないため、住宅改修等の費用がかかる	最も適切な場所ではないため、家族の介護負担が大きい	本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため	経済的事情があるため	その他	無回答
合 計	7478	3274 43.8%	327 4.4%	477 6.4%	88 1.2%	238 3.2%	222 3.0%	252 3.4%	2055 27.5%	1395 18.7%	408 5.5%	449 6.0%	112 1.5%
特別養護老人ホーム	593	66 11.1%	74 12.5%	11 1.9%	13 2.2%	59 9.9%	48 8.1%	54 9.1%	295 49.7%	107 18.0%	73 12.3%	55 9.3%	11 1.9%
老人保健施設	4330	2234 51.6%	184 4.2%	83 1.9%	21 0.5%	101 2.3%	69 1.6%	137 3.2%	1106 25.5%	724 16.7%	198 4.6%	229 5.3%	73 1.7%
介護療養病床	1719	730 42.5%	50 2.9%	221 12.9%	32 1.9%	62 3.6%	75 4.4%	44 2.6%	456 26.5%	334 19.4%	81 4.7%	107 6.2%	21 1.2%
医療療養病床	836	244 29.2%	19 2.3%	162 19.4%	22 2.6%	16 1.9%	30 3.6%	17 2.0%	198 23.7%	230 27.5%	56 6.7%	58 6.9%	7 0.8%

(5) 利用者本人および家族の希望について

図表 258 看取りの場に関する本人の希望

	件数	意思の表示が不可	希望を把握していない	貴施設・貴療養院での希望	自宅での希望	医・療・療養機関での希望	貴施設・貴療養院での希望以外	その他	無回答
合 計	17866	7557 42.3%	6413 35.9%	2044 11.4%	524 2.9%	500 2.8%	79 0.4%	291 1.6%	458 2.6%
特別養護老人ホーム	5236	2186 41.7%	1703 32.5%	796 15.2%	82 1.6%	203 3.9%	3 0.1%	119 2.3%	144 2.8%
老人保健施設	6672	2068 31.0%	3465 51.9%	318 4.8%	254 3.8%	283 4.2%	45 0.7%	84 1.3%	155 2.3%
介護療養病床	3992	2376 59.5%	704 17.6%	652 16.3%	110 2.8%	9 0.2%	9 0.2%	47 1.2%	85 2.1%
医療療養病床	1966	927 47.2%	541 27.5%	278 14.1%	78 4.0%	5 0.3%	22 1.1%	41 2.1%	74 3.8%

図表 259 看取りの場に関する家族の希望

	件数	意思の表示が不可	希望を把握していない	貴施設・貴療養院での希望	自宅での希望	医・療・療養機関での希望	貴施設・貴療養院での希望以外	その他	無回答
合 計	17866	254 1.4%	6773 37.9%	7849 43.9%	143 0.8%	1456 8.1%	367 2.1%	520 2.9%	504 2.8%
特別養護老人ホーム	5236	70 1.3%	1766 33.7%	2442 46.6%	21 0.4%	540 10.3%	15 0.3%	221 4.2%	161 3.1%
老人保健施設	6672	69 1.0%	3878 58.1%	1229 18.4%	58 0.9%	850 12.7%	211 3.2%	190 2.8%	187 2.8%
介護療養病床	3992	76 1.9%	606 15.2%	3010 75.4%	29 0.7%	44 1.1%	88 2.2%	59 1.5%	80 2.0%
医療療養病床	1966	39 2.0%	523 26.6%	1168 59.4%	35 1.8%	22 1.1%	53 2.7%	50 2.5%	76 3.9%

Ⅳ 看取り事例調査（タイムスタディ）

事例 1：特別養護老人ホーム

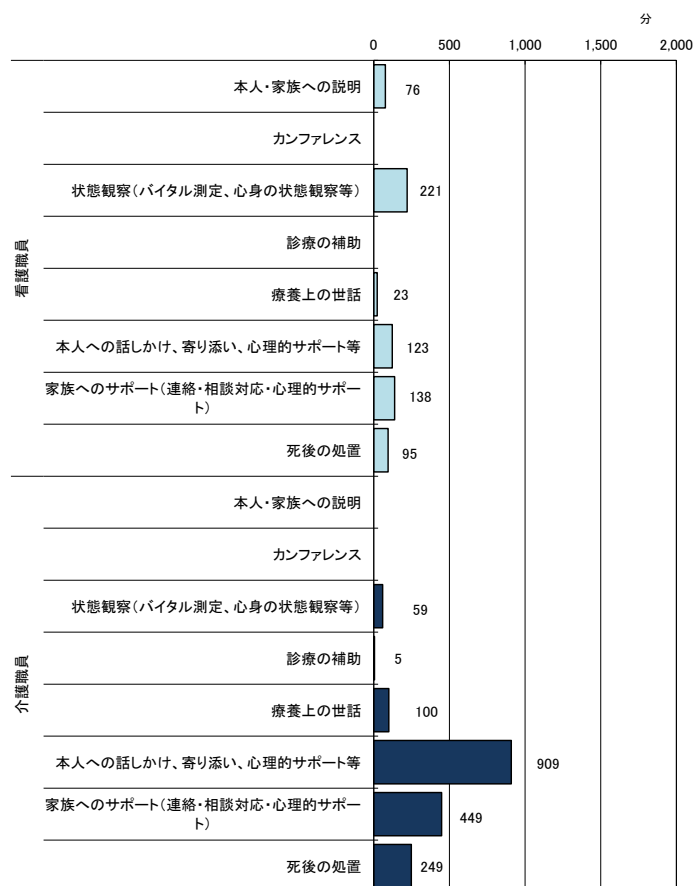
◆調査事例の概要

・死亡日時： 1 / 3（火） 6 時台

図表 260 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	3,975 分		
医師がいた時間	60 分		
関与した職員数	7 名	2 名	5 名
看取りに要した時間数	2,445 分	675 分	1,770 分
死亡 2 日前	585 分	105 分	480 分
死亡 1 日前	1,095 分	360 分	735 分
死亡当日	765 分	210 分	555 分
死亡 1 日後	0 分	0 分	0 分

図表 261 職種別、項目別所要時間



事例 2：特別養護老人ホーム

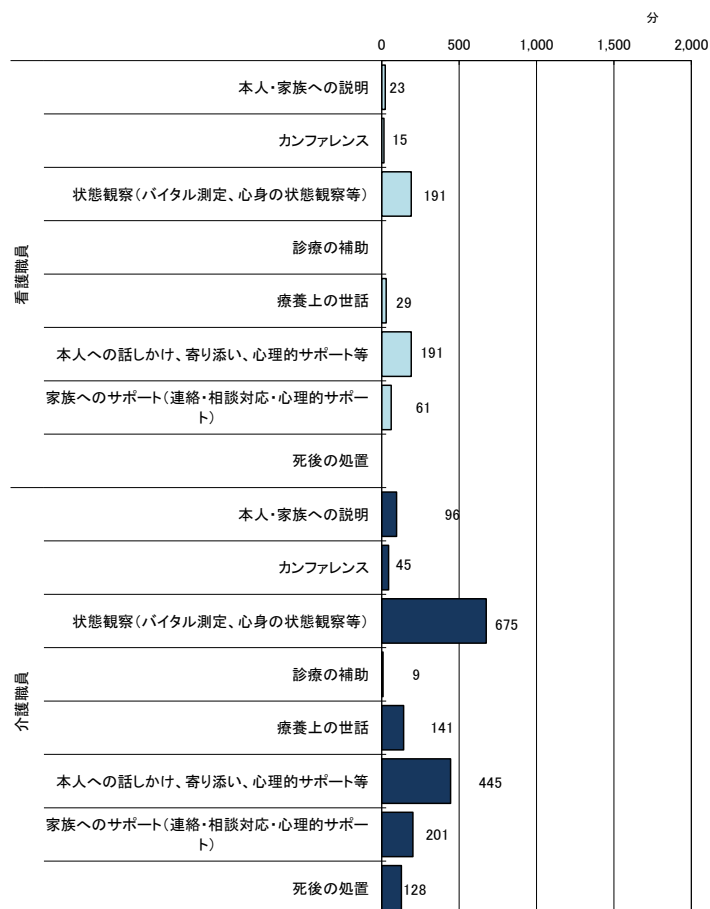
◆調査事例の概要

- ・死亡日時：7 / 31（木） 0 時台

図表 262 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	1545 分		
医師がいた時間	15 分		
関与した職員数	20 名	10 名	10 名
看取りに要した時間数	2250 分	510 分	1740 分
死亡 2 日前	840 分	195 分	645 分
死亡 1 日前	1170 分	315 分	855 分
死亡当日	240 分	0 分	240 分
死亡 1 日後	0 分	0 分	0 分

図表 263 職種別、項目別所要時間



事例 3：老人保健施設

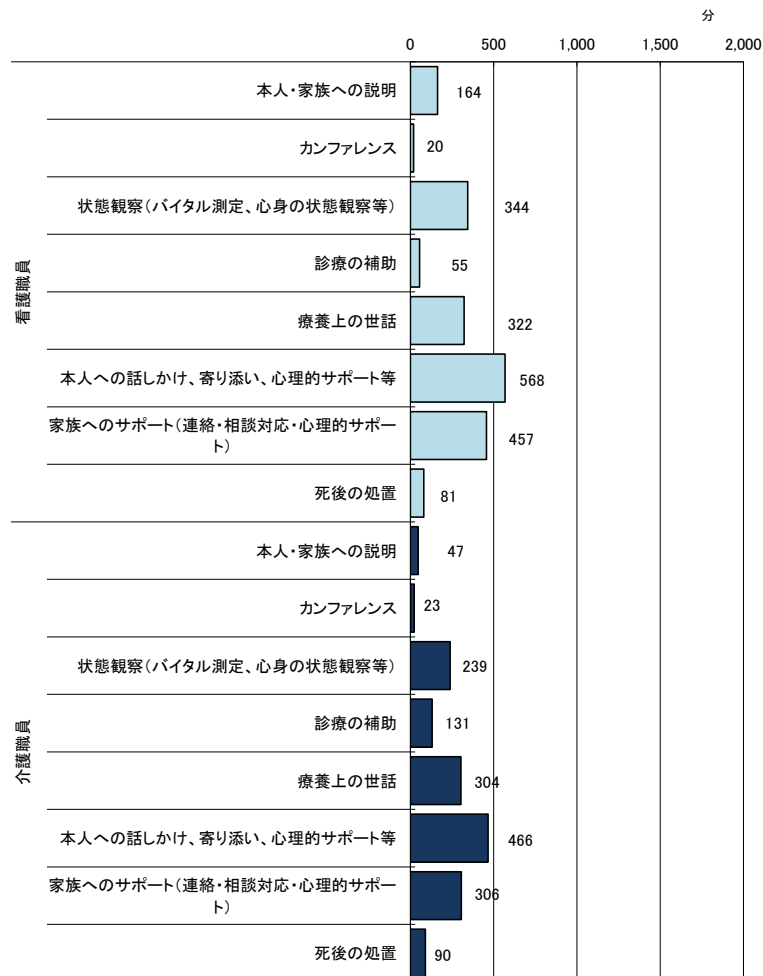
◆調査事例の概要

・死亡日時：8／19（火） 14時台

図表 264 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	4,815 分		
医師がいた時間	315 分		
関与した職員数	16 名	7 名	9 名
看取りに要した時間数	3,615 分	2,010 分	1,605 分
死亡 2 日前	795 分	420 分	375 分
死亡 1 日前	1,050 分	540 分	510 分
死亡当日	1,680 分	990 分	690 分
死亡 1 日後	90 分	60 分	30 分

図表 265 職種別、項目別所要時間



事例 4：老人保健施設

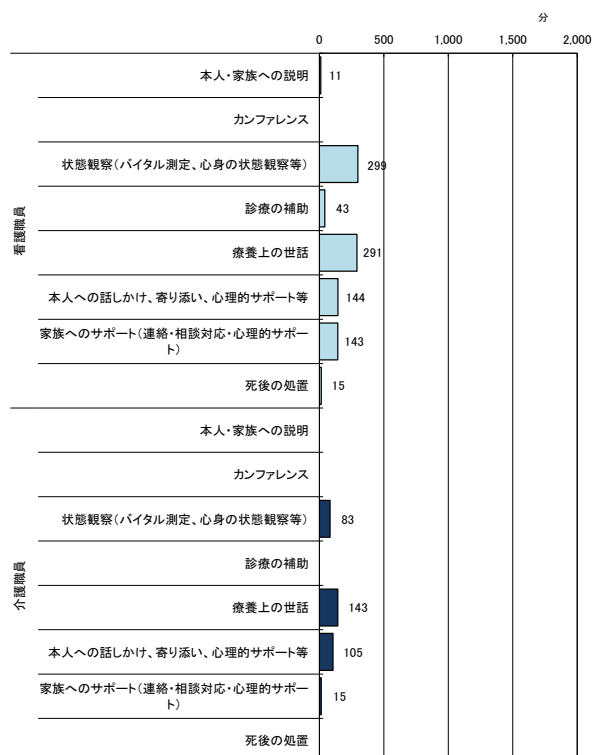
◆今回の事例の概要

- ・死亡日時：6／6（金） 23時台

図表 266 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	2385 分		
医師がいた時間	105 分		
関与した職員数	20 名	10 名	10 名
看取りに要した時間数	1,290 分	945 分	345 分
死亡 2 日前	420 分	360 分	60 分
死亡 1 日前	375 分	240 分	135 分
死亡当日	405 分	270 分	135 分
死亡 1 日後	90 分	75 分	15 分

図表 267 職種別、項目別所要時間



事例 5：介護療養病床

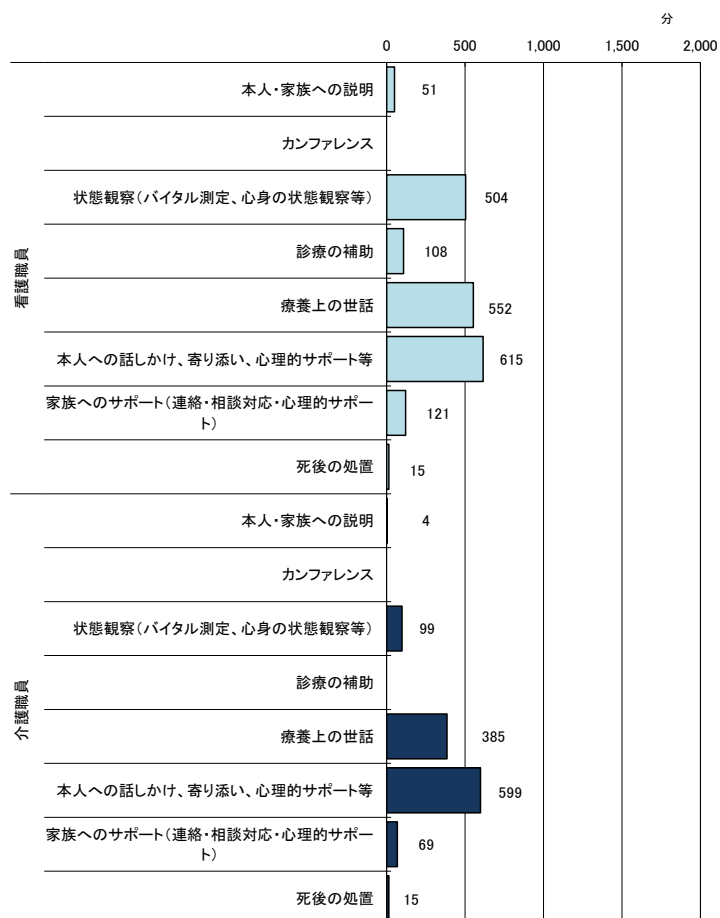
◆調査事例の概要

・死亡日時：9／1（月） 20時台

図表 268 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	825 分		
医師がいた時間	285 分		
関与した職員数	12 名	6 名	6 名
看取りに要した時間数	3,135 分	1,965 分	1,170 分
死亡 2 日前	675 分	405 分	270 分
死亡 1 日前	975 分	615 分	360 分
死亡当日	1,485 分	945 分	540 分
死亡 1 日後	0 分	0 分	0 分

図表 269 職種別、項目別所要時間



事例 6：医療療養病床

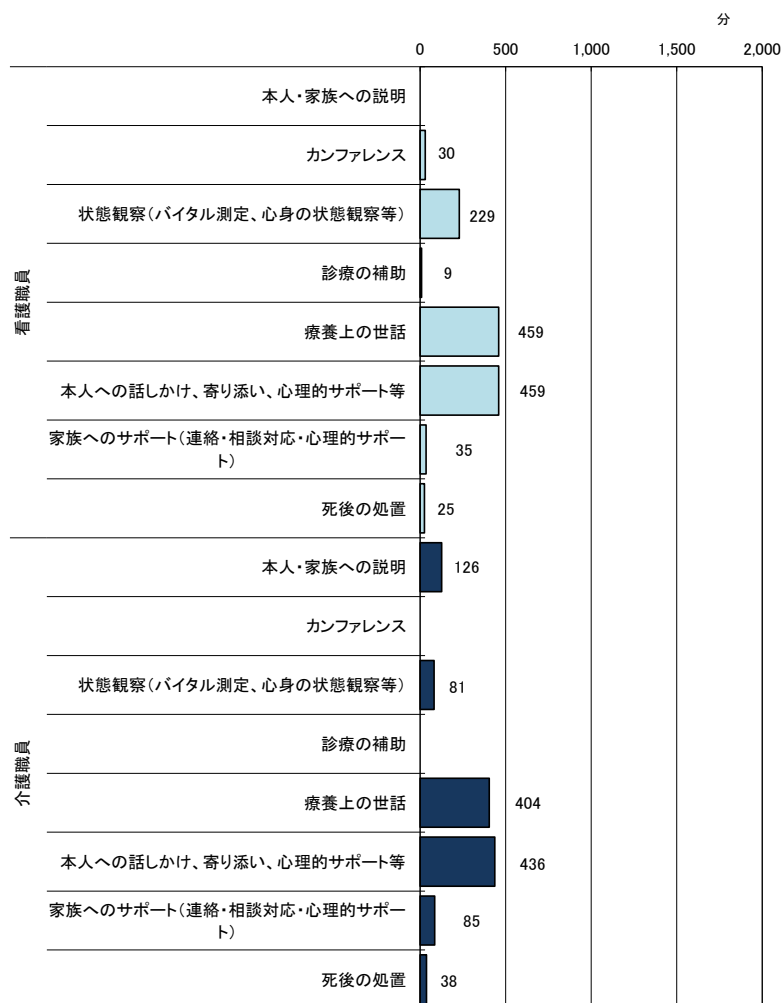
◆調査事例の概要

- ・死亡日時：8 / 15（金） 23時台

図表 270 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	435 分		
医師がいた時間	90 分		
関与した職員数	20 名	10 名	10 名
看取りに要した時間数	2,415 分	1,245 分	1,170 分
死亡 2 日前	720 分	375 分	345 分
死亡 1 日前	885 分	330 分	555 分
死亡当日	765 分	525 分	240 分

図表 271 職種別、項目別所要時間



事例 7：医療療養病床

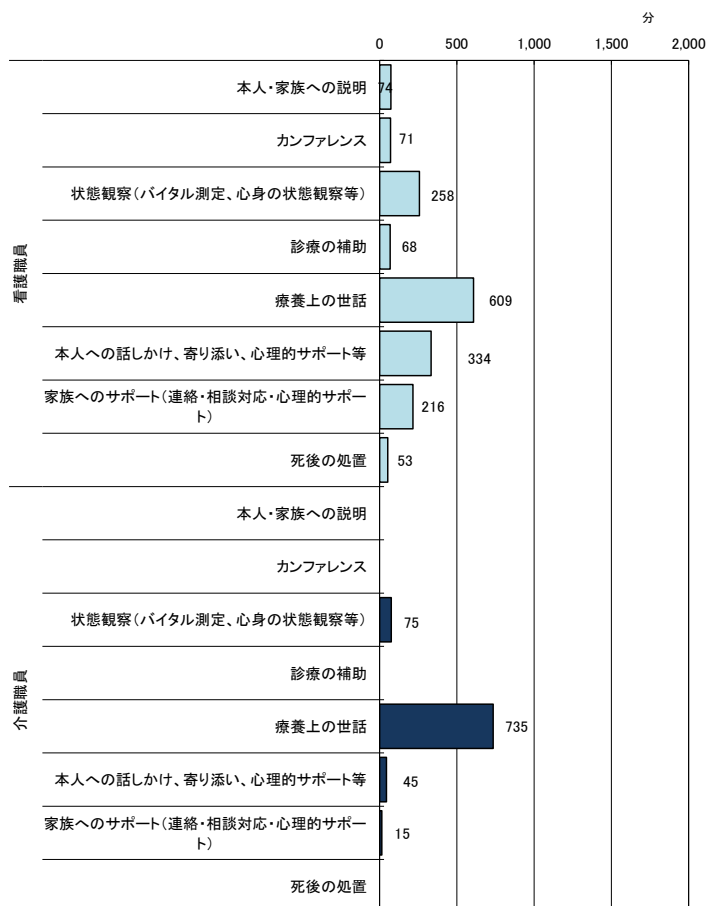
◆今回の事例の概要

・死亡日時：8／7（木） 10時台

図表 272 看取りに要した時間数と関与した職員数

	合計	看護職員	介護職員
家族がいた時間	2,385 分		
医師がいた時間	105 分		
関与した職員数	17 名	9 名	8 名
看取りに要した時間数	2,550 分	1,680 分	870 分
死亡 2 日前	975 分	570 分	405 分
死亡 1 日前	825 分	570 分	255 分
死亡当日	750 分	540 分	210 分
死亡 1 日後	0 分	0 分	0 分

図表 273 職種別、項目別所要時間



参考資料 2

調査票

介護サービス事業所における医療職の勤務実態および

医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業

【施設票】

① 介護老人福祉施設

■記入にあたってのご注意

特に指定の無い箇所については、貴施設の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて施設長、看護職員、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。

■本調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」事務局

三菱総合研究所 電話：0120-966-025（平日9時30分～17時30分）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

1. 貴施設の基本情報

問 1 2014 年 6 月 30 日における貴施設の開設主体【○は1つ】	
01 公立	02 社会福祉法人
03 その他（ ）	

問 2 貴施設の開設年月	
西暦（ ）年（ ）月	

問 3 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する施設（居住系含む）【該当する全てに○】	
01 病院	05 認知症対応型共同生活介護事業所
02 有床診療所	06 その他の高齢者住まい等（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、等）
03 無床診療所	07 その他（ ）
04 介護老人保健施設	うち併設・隣接している施設番号（01～07）（ ）

問 4 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する事業所・サービス【該当する全てに○】	
01 訪問介護	08 短期入所生活介護
02 訪問入浴介護	09 短期入所療養介護
03 訪問看護	10 特定施設入所者生活介護
04 訪問リハビリテーション	11 福祉用具貸与
05 居宅療養管理指導	12 居宅介護支援
06 通所介護	13 その他（ ）
07 通所リハビリテーション	うち併設・隣接している事業所の番号（01～13）
→（ ）	

問 5 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴施設の定員数		
定員数	介護老人福祉施設	うち短期入所生活介護
	床	床※

※：空床利用ではなく、短期入所生活介護専用のベッドとして確保している数を記入してください。

問 6 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴施設の利用者数等（※短期入所生活介護利用者は除く）						
(1) 要介護度別実利用者数	①要介護 1	②要介護 2	③要介護 3	④要介護 4	⑤要介護 5	⑥不明・申請中
	人	人	人	人	人	人
(2) 男女別実利用者数	①男性	②女性				
	人	人				
(3) 年齢別実利用者数	①40～64 歳	②65～74 歳	③75～84 歳	④85～94 歳	⑤95 歳以上	⑥平均年齢 歳
	人	人	人	人	人	人
(4) 入所期間別実利用者数	①3 ヶ月未満	②3 ヶ月以上～6 ヶ月未満	③6 ヶ月以上～1 年未満	④1 年以上～2 年未満	⑤2 年以上～3 年未満	⑥3 年以上
	人	人	人	人	人	人
(5) 認知症高齢者日常生活自立度別実利用者数	①自立	②Ⅰ	③Ⅱ	④Ⅲ	⑤Ⅳ	⑥Ⅴ
	人	人	人	人	人	人
(6) 所得段階別実利用者数	①減免あり	②減免なし	③不明			
	人	人	人			

2. 職員の配置状況

問7 2014年6月30日24時時点における貴施設における職員の配置状況									
※雇用形態にかかわらず、施設が定める1週間の勤務時間（所定労働時間）の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてください。									
※常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。									
〔常勤換算人員〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔事業所が定めている1週間の勤務時間〕									
※別の事業所や併設サービスに従事している時間は含まず、介護老人福祉施設に従事している時間のみを計算し、下記の式に従って「換算人員」に記入してください。									
〔換算人員〕＝〔介護老人福祉施設に従事する時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕									
職種	(1)常勤			(2)非常勤					
	①実人員	②換算人員	①実人員	②常勤換算人員	③換算人員	④換算人員	⑤換算人員	⑥換算人員	⑦換算人員
01 医師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
02 歯科医師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
03 看護職員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
04 03のうち看護師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
05 介護職員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
06 05のうち介護福祉士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
07 05のうち認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	人	人	人	人	人	人	人	人	人
08 生活相談員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
09 理学療法士 (PT)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
10 作業療法士 (OT)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
11 言語聴覚士 (ST)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
12 歯科衛生士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
13 栄養士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
14 13のうち管理栄養士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
16()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
17()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
18()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
19()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
20()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
その他 ※									

※ () 内に職種名を記入してください。ただし調理員及び事務員については記入不要です。

3. 2014年6月中に貴施設で診療を行った医師及び歯科医師について

問8 2014年6月(1ヶ月間)の医師の雇用・配置契約【該当全てに○】									
01 施設で雇用	○								
02 医師が特定された関係での外部医療機関との契約 (個人で開設した診療所や、所属医師が一名の医療法人等)	○								
03 医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約 →契約医療機関数 () か所 →実際に来訪した医師 () 人	○								

問9 2014年6月(1ヶ月間)の各医師の対応状況									
(1)契約形態 (○は1つ) 1. 施設で雇用 2. 医師が特定された関係での契約 3. 医師が特定されておらず、複数の医師がくることを前提とした契約	(2)勤務形態 (○は1つ) 1 常勤 2 非常勤	(3)専門科 ※2	(4)貴施設における1ヶ月の勤務実日数	(5)貴施設における1ヶ月の合計勤務時間数 ※1	(6)該当する対応に回数を記載ください。 1 訪問した回数 2 電話、メールで指示した回数 ①夜間の対応 ②日曜・祝日等の対応 ③平日中の勤務時間外				回数
					番号	回数	番号	回数	
例	①・2・3	0 1	4 日	1 0 時間	1	1 回	1	1 回	0 回
					2	4 回	2	5 回	0 回
1	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	回
					2	回	2	回	回
2	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	回
					2	回	2	回	回
3	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	回
					2	回	2	回	回
4	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	回
					2	回	2	回	回
5	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	回
					2	回	2	回	回

※1：別の事業所や併設サービスに従事している医師およびその時間は含まず、介護老人福祉施設に従事している時間のみを計算してください。

※2：専門科については、下記から該当する番号を選び記入してください。

01 内科	09 皮膚科	17 呼吸器外科	25 整形外科	33 婦人科
02 呼吸器内科	10 アレルギー科	18 心臓血管外科	26 形成外科	34 リハビリテーション科
03 循環器内科	11 リウマチ科	19 乳癌外科	27 美容外科	35 放射線科
04 消化器内科	12 感染症内科	20 気管食道外科	28 眼科	36 麻酔科
05 腎臓内科	13 小児科	21 消化器外科	29 耳鼻いんこう科	37 病理診断科
06 神経内科	14 精神科	22 泌尿器科	30 小児外科	38 臨床検査科
07 糖尿病内科	15 心療内科	23 肛門外科	31 産婦人科	39 救急科
08 血液内科	16 外科	24 脳神経外科	32 産科	

問10 2014年6月(1ヶ月間)の歯科医師の雇用・配置契約【該当全に○】	
01 施設で雇用	
02 歯科医師が特定された関係での外部医療機関との契約 (個人で開設した歯科診療所や、所属歯科医師が一名の医療法人等)	
03 歯科医師が特定されておらず、複数の歯科医師がくることを前提とした、外部医療機関との契約 →契約医療機関数() か所 →実際に来訪した歯科医師()人	

問11 2014年6月(1ヶ月間)の各歯科医師の対応状況									
(1)契約形態 (○は1つ) 1.施設で雇用 2.歯科医師が特定された関係での契約 3.歯科医師が特定された関係の医師がくることを前提とした契約	(2)勤務形態 (○は1つ) 1.常勤 2.非常勤	(3)貴施設における1ヶ月の勤務実日数	(4)貴施設における1ヶ月の勤務時間数 ※1	(5)該当する対応に回数を記載ください。 1 訪問した回数 2 電話、メールで指示した回数 ①夜間の対応 ②日曜・祝日等の対応 ③平日中の勤務時間外			番号	回数	回数
例 ①・2・3	1・②	4日	10時間	1 1回 2 4回	1 1回 2 5回	1 1回 2 2回	0	0	0
1 1・2・3	1・2	日	時間	1 1回 2 2回	1 1回 2 2回	1 1回 2 2回	回	回	回
2 1・2・3	1・2	日	時間	1 1回 2 2回	1 1回 2 2回	1 1回 2 2回	回	回	回

※1：別の事業所や併設サービスに従事している歯科医師およびその時間は含まず、介護老人福祉施設に従事している時間のみを計算してください。

4. 介護報酬の算定状況	
問12 2014年6月(1ヶ月間)の施設サービス費【該当する費用全に○】	
01 介護福祉施設サービス費 (I)	
02 介護福祉施設サービス費 (II)	
03 介護福祉施設サービス費 (III)	
04 小規模介護福祉施設サービス費 (I)	
05 小規模介護福祉施設サービス費 (II)	
06 小規模介護福祉施設サービス費 (III)	
07 ユニット型介護福祉施設サービス費 (I)	
08 ユニット型介護福祉施設サービス費 (II)	
09 小規模ユニット型介護福祉施設サービス費 (I)	
10 小規模ユニット型介護福祉施設サービス費 (II)	
11 旧措置入所者介護福祉施設サービス費 (I)・(II)・(III)	
12 小規模旧措置入所者介護福祉施設サービス費 (I)・(II)・(III)	
13 ユニット型旧措置入所者介護福祉施設サービス費 (I)・(II)	
14 ユニット型小規模旧措置入所者介護福祉施設サービス費 (I)・(II)	

問13 2014年6月(1ヶ月間)の加算の算定状況【○は1つ】	
01 夜勤職員配置加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
02 日常生活継続支援加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
03 看護体制加算 (I)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
04 看護体制加算 (II)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
05 看護体制加算 (III)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
06 夜間職員配置加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
07 個別機能訓練加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
08 退所前訪問相談援助加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
09 退所後訪問相談援助加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
10 退所時相談援助加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
11 退所前連携加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
12 経口移行加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
13 経口維持加算 (I)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
14 経口維持加算 (II)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
15 在宅復帰支援機能加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
16 在宅・入所相互利用加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
17 認知症専門ケア加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
18 サービス提供体制強化加算 (I)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
19 サービス提供体制強化加算 (II)・(III)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし

問14 2014年1～6月(6ヶ月間)の加算の算定状況	
※貴施設が開設後6ヶ月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。	
20 看取り介護加算 (1) 死亡日以前4日以上30日以下	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
21 看取り介護加算 (2) 死亡日以前2日又は3日	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
22 看取り介護加算 (3) 死亡日	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし

5. 医療的ケア等の状況

問15 医療的ケア等に関する実施実績								
※介護老人福祉施設の利用者の受けた医療的ケアについて記入し、併設サービス（短期入所生活介護含む）等の利用者に係る実施については含まないでください。								
※対応可否については、日中と夜間に分けてそれぞれ、実施可能であれば「○」、不可能であれば「×」を記入してください。								
(1) 医療的ケアの内容	対応可否	6月24日から6月30日まで（1週間）の実績実績						
		日中	夜間	受療した利用者数 ※1	実施者（該当するすべてに○）			
					医師	看護職員	介護職員	通院等施設外
(記入例) 02 静脈内注射	○	×		(20) 人	○			○
01 血糖測定・インスリン注射（自己管理・介助を含む）				() 人				
02 静脈内注射（点滴を含む）				() 人				
03 中心静脈栄養の管理				() 人				
04 透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理				() 人				
05 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理				() 人				
06 酸素療法				() 人				
07 レスビレーター（人工呼吸器）の管理				() 人				
08 気管切開のケア				() 人				
09 疼痛の管理				() 人				
10 09のうち麻薬を用いるもの				() 人				
11 経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）				() 人				
12 モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）				() 人				
13 褥瘡の処置				() 人				
14 カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等）の管理				() 人				
15 喀痰吸引				() 人				
16 ネブライザー				() 人				
17 創傷処置（褥瘡を除く）				() 人				
18 服薬管理（注射を除く） ※2				() 人				
19 認知症に関する専門的ケア				() 人				
20 摘便				() 人				
21 浣腸				() 人				
22 一時的導尿				() 人				
23 その他				() 人				
				() 人				

※1：6月24日から6月30日まで（1週間）に、1回以上当該医療的ケアを行った場合を「1」とカウントします。（期間中何回当該医療的ケアを行っても「1」と数えてください。）

※2：本調査における「服薬管理」は、経口薬、塗布薬・貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等を指します。

(2) その他のケアの内容	6月24日から6月30日まで (1週間) の実施実績			
	実施した利用者の 実人数※1	看護職員	介護職員	その他
(記入例) 01 緩和ケア	(5) 人	○	○	○
01 緩和ケア ※3	() 人			
02 体位変換（褥瘡予防）	() 人			
03 常時の見守り、または体動センサーの使用	() 人			
04 経口摂取の介助・嚥下リハ	() 人			
05 機能訓練	() 人			
06 オムツの使用	() 人			

※3：非侵襲的なものに限りに限り、PCAや麻薬による疼痛コントロール等は含みません。

問16 2014年6月 (1ヶ月間) における貴施設以外の医療機関等での受療					
01 外部医療機関への延べ通院者数	①実人数			②延べ人数	
	人	人	人	人	人
02 外部医療機関への延べ入院者数	①実人数			②延べ人数	
	人	人	人	人	人
03 外部医療機関からの訪問診療訪問回数	①実人数			②延べ回数	
	人	人	人	回	回
04 外部医療機関からの往診に係る延べ訪問回数	①実人数			②延べ回数	
	人	人	人	回	回

6. 入退所の状況

問 17 貴施設の 2014 年 4 月～6 月 (3 ヶ月間) の入退所者の状況									
※貴施設が開設後 3 ヶ月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。									
※入院の期間は限りません。短期の入院であっても入退院については、「1 回」とカウントしてください。									
3 ヶ月間 (4 月～6 月) の入退所者		(1) 総計		(2) 内訳					
				75 歳未満		75 歳以上			
		①男性	②女性	③男性	④女性	⑤男性	⑥女性	⑦男性	⑧女性
①入所者延日数※1		人	人	人	人	人	人	人	人
②新規入所者数※2		人	人	人	人	人	人	人	人
③退所者数※3		人	人	人	人	人	人	人	人
01 自宅 (親族の家等も含む)		人	人	人	人	人	人	人	人
02 01 のうち、終末期に、看取りのために退所した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
03 高齢者住まい		人	人	人	人	人	人	人	人
04 医療機関 (急性期治療のため)		人	人	人	人	人	人	人	人
05 医療機関 (長期療養のため)		人	人	人	人	人	人	人	人
06 医療機関 (その他、不明)		人	人	人	人	人	人	人	人
07 03～05 のうち、終末期に、看取りのために退所した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
08 介護老人保健施設 (老健)		人	人	人	人	人	人	人	人
09 他の介護老人福祉施設 (特養)		人	人	人	人	人	人	人	人
10 死亡退所 (11～12 の計、13～16 の計と一致)		人	人	人	人	人	人	人	人
11 10 のうち、個別に看取り計画を立てた利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
12 10 のうち、予期しない死亡 (突然死等) をした利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
13 10 のうち、施設内で死亡した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
14 10 のうち、医療機関で死亡した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
15 10 のうち、自宅 (親族の家を含む) で死亡した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
16 10 のうち、13～15 以外の場所で死亡した利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
17 その他・不明		人	人	人	人	人	人	人	人

※1：入所者延日数：月毎の日々の入所者数 (毎日 24 時時点で入所中の入所者) を合算してください。
※2：新規入所者数：新たに貴施設に入所した人の数をさします。ただし再入所の利用者も含みます。
※3：退所者数：貴施設から退所した人の数をさします。ただし死亡退所を含みます。「退所先の内訳」01～16 の合計 (うち数を除く) が、③退所者数に一致するようにしてください。

7. 看取り (終末期ケアや死亡確認) について

問 18 貴施設の看取りの方針 【○は 1 つ】
01 看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている
02 看取り期に入った利用者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない
03 看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい
04 看取りは行っておらず、今後も対応する予定はない (考えていない)

問 19 貴施設の看取りに関する指針 【○は 1 つ】
01 ある
02 現在はないが、作成中である
03 現在なく、作成の予定もない

問 20 利用者本人への看取り指針内容の説明、同意書の取得について 【○は 1 つ】
01 看取り指針について、説明および同意の取得をしている
02 していない
↓ 問 20-1 上記で 1 に○をつけた場合、その時期について 【該当全てに○】
01 入所時
02 急性増悪時
03 特に定めていない

問 21 利用者本人の看取りに関する希望 【○は 1 つ】
01 入所時に希望を聞いている
03 希望を聞いていない
04 その他 ()
↓ 問 21-1 上記で 1 または 2 に○をつけた場合、希望の把握の仕方について 【該当全てに○】
01 面談
02 アンケート等への記入
03 その他 ()

問 22 利用者の家族への看取り指針内容の説明、同意書の取得について 【○は 1 つ】
01 看取り指針について、説明および同意の取得をしている
02 していない
↓ 問 22-1 上記で 1 に○をつけた場合、その時期について 【該当全てに○】
01 入所時
02 急性増悪時
03 特に定めていない

問 23 利用者の家族の看取りに関する希望 【○は 1 つ】
01 入所時に希望を聞いている
03 希望を聞いていない
04 その他 ()
↓ 問 23-1 上記で 1 または 2 に○をつけた場合、希望の把握の仕方について 【該当全てに○】
01 面談
02 アンケート等への記入
03 その他 ()

問24 看取りの各対応に関する職種【該当全てに○、最も中心的に関与している職種に◎】							
対応内容	① 施設長	② 医師	③ 看護 職員	④ 介護 職員	⑤ 生活 相談員	⑥ 介護支援 専門員	⑦ その他
01 看取り指針の作成							
02 本人及び家族への説明							
03 看取り期の判断に関する情報共有 ※							
04 看取り期の家族への説明、同意取得							
05 看取りカンファレンスの開催							
06 看取り計画作成（連絡・調整含む）							
07 看取り計画の見直し							
08 亡くなる際の付き添い							
09 死亡直前の家族への連絡							
10 死亡直前・直後の家族へのサポート							
11 死後の処置							
12 施設内お見送り							
13 家族へのグリーフケア							
14 看取りの評価・振り返り							

※「看取り期の判断に関する情報共有」とは、職員間で看取りの判断に資する、利用者の状況についての情報を共有することをさします。

問25 貴施設内で看取り介護を行ううえでの課題【該当全てに○】	
※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをさします。	
01 施設の方針として積極的でない	10 看取り介護を行うための夜間の体制が十分でない
02 施設の医師（配置医師）による対応が難しい	11 施設全体として看取り介護の経験が不足している
03 医療機関との連携が難しい	12 看取り介護を行うことで職員の精神的負担が増す
04 施設内の職員の連携が難しい	13 看取り介護に係る事務負担が増す
05 看取り介護のために利用できる個室がない	14 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している
06 利用者を医務的に観察するための設備がない	15 利用者及びその家族が施設内の看取り介護を望まない
07 施設内で行える医療処置が少ない	16 利用者の家族との連携が十分にとれない
08 看取り介護を行うための看護職員が不足している	17 その他
09 看取り介護を行うための介護職員が不足している	()

問26 2014年4月～6月(3ヶ月間)に看取り介護を実施した利用者の人数			
(1) 施設で最期まで看取った人数		()	人
(2) 最期に医療機関に搬送した人数		()	人
うち搬送後1週間以内に死亡した人数		()	人
以下の①～③は、直近で最期に医療機関に搬送した利用者1名を想定してご回答ください			
① 医療機関への搬送を決定した理由 【該当全てに○】	01 家族・親族の希望		
	02 施設では十分なケアが行えないため		
	03 施設では行えない検査が必要となったため		
	04 施設では行えない処置が必要となったため		
	05 施設では行えない投薬（麻薬を除く）が必要となったため		
	06 麻薬による疼痛管理が必要となったため		
	07 緊急手術が必要となったため		
	08 施設で対応できる状態かどうか判断できなかったため		
	09 その他 ()		
	01 それまでと特に変化はなかった		
② 医療機関への搬送を決定した際における、利用者の状態の変化の有無 【○は1つ】	02 主たる疾患・症状が悪化した		
	03 合併症の発生や想定外の事態が生じた		
	04 その他 ()		
	01 バイタルサインの低下	11 腹痛	
③ 医療機関への搬送の際にみられた症状・状態 【該当全てに○】	02 発熱	12 便秘	
	03 意識障害	13 尿量減少	
	04 頭痛	14 点滴・カテーテル等の抜去	
	05 けいれん・麻痺	15 転倒・転落	
	06 呼吸障害	16 不眠	
	07 誤嚥	17 せん妄	
	08 胸痛	18 吐血・下血	
	09 不整脈	19 その他	
	10 嘔気・嘔吐	→ (具体的に:)	

問27 看取りを行ううえでの貴施設での取り組み、工夫または課題等について、記入してください。【自由回答】	
--	--

8. その他

問28 貴施設内での研修の実施 【○は1つ】	01 行っていない	02 行っている		
	「02 行っている」場合 ↓ 下記に詳細を記入			
	①対象職種【該当全てに○】	01 介護職員	02 看護職員	03 その他
	②研修の種類、テーマ 【該当全てに○】	01 看取り	02 急変時対応	
		03 感染症対策、予防	04 介護職員の喀痰吸引	
		05 介護事故防止	06 その他 ()	
問29 急変時に、スタッフが利用で きる相談体制 【○は1つ】	③研修会の開催頻度	概ね (年・月・週) に () 回		
	01 体制はない	02 体制がある		
	「02 体制がある」場合 ↓ 下記に詳細を記入			
問30 利用者の医療に関する情報 (カルテ、看護記録等) 【○は1つ】	①相談対応職種	01 医師	03 介護職員	
		02 看護職員	04 その他	
	01 電子化されている			
	02 現在電子化していないが、今後は導入を考えている			
	03 現在電子化しておらず、今後も考えていない			
	↑ 上で「01」を選択した場合は、その情報が施設外で閲覧可能かどうかを回答してください。			
問31 実習生の受け入れ 【○は1つ】	① 施設外での閲覧可否 【○は1つ】	01 施設外で閲覧が可能		
		02 施設外で閲覧は不可		
	01 行っていない	02 行っている		
	「02 行っている」場合 ↓ 下記に詳細を記入			
	①対象職種 【該当全てに○】	01 介護職員 (介護学生) → 昨年度 () 人		
	※該当項目では昨年度 (1年間) の実績数を () に記入。	02 看護職員 (看護学生) → 昨年度 () 人		
問32 地域との交流 【該当全てに○】	03 その他 → 昨年度 () 人			
	01 地域住民との交流会の開催	04 地域住民への健康相談・講習等		
	02 ボランティアの受け入れ	05 その他 ()		
	03 祭り等のイベントの開催			

施設票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
他の調査票とともに8/29(金)までにご投函ください。

介護サービス事業所における医療職の勤務実態および

医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業

【施設票】

②介護老人保健施設

■記入にあたってのご注意

特に指定の無い箇所については、貴施設の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて施設長、看護職員、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。

■本調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」事務局

三菱総合研究所 電話：0120-966-025（平日9時30分～17時30分）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

I 共通設問

■ I 共通設問記入にあたってのご注意

- ・ I 共通設問は、同時期にご協力をお願いしております、「介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業」の施設票「I 共通設問」と内容が同一のため、すでに当該部分を記入されている場合は、「I 共通設問」については記入不要です。（ただし「II 本調査にかかる設問」からは内容が異なりますので、別途それぞれに記入をお願いします。）
- ・特に指定の無い箇所については、貴施設の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて施設長、看護職員、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。

1. 貴施設の基本情報

問 1	2014 年 6 月 30 日における貴施設の開設主体【○は1つ】
01	公立
02	社会福祉法人
03	医療法人
04	社団・財団法人
05	その他（ ）

問 2	貴施設の開設年月
西暦	（ ）年（ ）月

問 3	2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する施設（居住系含む）【該当する全てに○】
01	病院
02	有床診療所
03	無床診療所
04	介護老人福祉施設（特養）
05	認知症対応型共同生活介護事業所
06	その他の高齢者住まい等（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、等）
07	その他（ ）
08	うち併設・隣接している施設番号（01～07）（ ）

問 4	2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する事業所・サービス【該当する全てに○】
01	訪問介護
02	訪問入浴介護
03	訪問看護
04	訪問リハビリテーション
05	居宅療養管理指導
06	通所介護
07	通所リハビリテーション
08	短期入所生活介護
09	短期入所療養介護
10	特定施設入所者生活介護
11	福祉用具貸与
12	居宅介護支援
13	その他（ ）
01～13	うち併設・隣接している事業所の番号（01～13）→（ ）

問 5	2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴施設の定員数
介護老人保健施設	人
うち短期入所療養介護（空床利用ではなく、短期入所療養介護専用のベッドとして確保している数）	人
※短期入所療養介護専用のベッドを確保していない施設は、右の□にチェック（☑）を記入してください	□

問 6 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴施設の利用者数等（※短期入所療養介護利用者は除く）						
(1) 要介護度別実利用者数	①要介護 1	②要介護 2	③要介護 3	④要介護 4	⑤要介護 5	⑥不明・申請中
(2) 男女別実利用者数	人	人	人	人	人	人
	①男性	②女性				
(3) 年齢別実利用者数	人	人				
	①40～64 歳	②65～74 歳	③75～84 歳	④85～94 歳	⑤95 歳以上	⑥平均年齢
(4) 入所期間別実利用者数	人	人	人	人	人	歳
	①3 ヶ月未満	②3 ヶ月以上～6 ヶ月未満	③6 ヶ月以上～1 年未満	④1 年以上～2 年未満	⑤2 年以上～3 年未満	⑥3 年以上
(5) 認知症高齢者日常生活自立度別実利用者数	人	人	人	人	人	人
	①自立	②Ⅰ	③Ⅱ	④Ⅲ	⑤Ⅳ	⑥Ⅴ
(6) 所得段階別実利用者数	人	人	人	人	人	人
	①減免あり	②減免なし	③不明			
(7) 特定疾患罹患患者数 ※1	人	人	人			
	①罹患あり	②罹患なし	③不明			

※1 該当する疾患名は、同封の記入要領をご覧ください。

問7 2014年4～6月の在宅復帰率・ベッド回転率※2					
平均在所日数	日	ベッド回転率	%	在宅復帰率	%
※2 平均在所日数、ベッド回転率、在宅復帰率の定義及び計算方法は同封の記入要領を参照ください。					

2. 職員の配置状況

問8 2014年6月30日24時時点における貴施設における職員の配置状況									
※雇用形態にかかわらず、施設が定める1週間の勤務時間（所定労働時間）の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてください。									
※常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。									
〔常勤換算人員〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔事業所が定めている1週間の勤務時間〕									
※別の事業所や併設サービスに従事している時間は含まず、介護老人保健施設に従事している時間のみを計算し、下記の式に従って「換算人員」に記入してください。									
〔換算人員〕＝〔介護老人保健施設に従事する時間〕÷〔施設が定めている1週間の勤務時間〕									
職種	(1)常勤			(2)非常勤					
	①実人員	②換算人員	①実人員	②常勤換算人員	③換算人員				
01 医師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
02 歯科医師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
03 看護職員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
04 03のうち看護師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
05 介護職員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
06 05のうち介護福祉士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
07 05のうち認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	人	人	人	人	人	人	人	人	人
08 支援相談員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
09 理学療法士 (PT)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
10 作業療法士 (OT)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
11 言語聴覚士 (ST)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
12 薬剤師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
13 歯科衛生士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
14 栄養士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15 14のうち管理栄養士	人	人	人	人	人	人	人	人	人
16 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人	人	人	人
17()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
18()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
19()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
20()	人	人	人	人	人	人	人	人	人
21()	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※ () 内に職種名を記入してください。ただし調理員及び事務員については記入不要です。

3. 介護報酬の算定状況

問9 2014年6月(1ヶ月間)の施設サービス費【該当する費用全てに○】	
01 介護保健施設サービス費 (I) (i) または (iii) 【従来型】	
02 介護保健施設サービス費 (I) (ii) または (iv) 【在宅強化型】	
03 介護保健施設サービス費 (II) または (iii)	
04 ユニット型介護保健施設サービス費 (I) (i) または (iii) 【従来型】	
05 ユニット型介護保健施設サービス費 (I) (ii) または (iv) 【在宅強化型】	
06 ユニット型介護保健施設サービス費 (II) または (iii)	

問10 2014年6月(1ヶ月間)の加算の算定状況【○は1つ】	
01 夜勤職員配置加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
02 短期集中リハビリテーション実施加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
03 認知症短期集中リハビリテーション実施加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
04 入所前後訪問指導加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
05 退所前訪問指導加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
06 退所後訪問指導加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
07 退所時指導加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
08 退所時情報提供加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
09 退所前連携加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
10 老人訪問看護指示加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
11 在宅復帰・在宅療養支援機能加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
12 経口移行加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
13 経口維持加算 (I)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
14 経口維持加算 (II)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
15 在宅復帰支援機能加算 (介護療養型のみ)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
16 認知症専門ケア加算	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
17 サービス提供体制強化加算 (I)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
18 サービス提供体制強化加算 (II)・(III)	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし

問11 2014年1～6月(6ヶ月間)の加算の算定状況	
※貴施設が開設後6ヶ月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。	
19 ターミナルケア加算 (1) 死亡日以前4日以上30日以下	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
20 ターミナルケア加算 (2) 死亡日以前2日又は3日	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし
21 ターミナルケア加算 (3) 死亡日	01 算定あり⇒ [] 件 02 算定なし

4. 入退所の状況

問12 貴施設の2014年4月～6月(3ヶ月間)の入退所者の状況				
※貴施設が開設後3ヶ月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。				
※入院の期間は限りません。短期の入院であっても入退院については、「1回」とカウントしてください。				
(1)総計		(2)内訳		
3ヶ月間(4月～6月)の入退所者		75歳未満		75歳以上
		①男性	②女性	③男性 ④女性
①入所者延日数※1		人	人	人
②新規入所者数※2		人	人	人
③退所者数※3		人	人	人
01 自宅(親族の家等も含む)		人	人	人
02 01のうち、終末期に、看取りのため退所した利用者数				
03 高齢者住まい		人	人	人
04 医療機関(急性期治療のため)		人	人	人
05 医療機関(長期療養のため)		人	人	人
06 医療機関(その他、不明)		人	人	人
07 04～06のうち、終末期に、看取りのため退所した利用者数		人	人	人
08 他の介護老人保健施設(老健)		人	人	人
09 介護老人福祉施設(特養)		人	人	人
10 死亡退所		人	人	人
11 11～12の計に一致				
10のうち、個別に看取り計画を立てた利用者数		人	人	人
12 10のうち、予期しない死亡(突然死等)をした利用者数		人	人	人
13 その他・不明		人	人	人

※1：入所者延日数：毎日の入所者数(毎日24時時点での入所中の人数)を合算してください。
※2：新規入所者数：新たに貴施設に入所した人数をさします。ただし再入所の利用者も含みます。
※3：退所者数：貴施設から退所した人数をさします。ただし死亡退所を含みます。「退所先の内訳」01～13の合計(うち数を除く)が、「③退所者数」に一致するようにしてください。

I 共通設問 はここからです。

引き続き、次ページ以降の II 本調査にかかる設問に記入をお願いします。

II 本調査にかかる設問

■ II 本調査にかかる設問の記入にあたってのご注意

- ・ II 本調査にかかる設問は、本調査独自の調査項目ですので、お手数ですが必ずご記入をお願いします。
- ・ 特に指定の無い箇所については、貴施設の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて施設長、看護職員、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。

5. 2014年6月中に貴施設で夜間等に診療を行った医師について

問13 2014年6月(1ヶ月間)の夜間の医師の配置状況【該当全てに○】
01 常勤の医師により当番制で対応している → 週に () 日
02 夜間のために非常勤医師を雇用して対応している → 週に () 日
03 当直医は配置せず、必要な際はオンコールで対応している → 週に () 日
04 当直医は配置せず、必要な際は夜勤の看護職員で対応している → 週に () 日
05 当直医は配置せず、必要な際は看護職員へのオンコールで対応している → 週に () 日
06 医師による夜間の対応は行わず、救急搬送等で対応している → 週に () 日

問14 2014年6月(1ヶ月間)の夜間および日曜・祝日における各医師の対応状況

※平日日中帯ではなく、夜間および日曜・祝日に勤務する医師について、記入してください。

(1)契約形態 (○は1つ) 1. 施設で雇 用 2. 外部から 派遣等(特定 の医師) 3. 外部から 派遣等(不特 定の医師)	(2)勤務形 態 (○は1つ) 1 常勤 2 非常勤	(3)専門 科 ※2	(4)貴施設 における 1ヶ月の 勤務実日 数	(5)貴施設 における 1ヶ月の 合計勤務 時間数 ※1	(6)該当する対応に回数を記載ください。				
					①夜間の 対応	②日曜・祝 日等の対応	番 号	回 数	番 号
例 ①・2・3 1・② 0 1 4日 10時間		0 1	4 日	10時間	1	1回 1	1回 1	1回 1	0回
					2	4回 2	5回 2	0回	
1 1・2・3 1・2			日	時間	1	回 1		回 1	回
2					回 2		回 2	回	
2 1・2・3 1・2			日	時間	1	回 1		回 1	回
2					回 2		回 2	回	
3 1・2・3 1・2			日	時間	1	回 1		回 1	回
2					回 2		回 2	回	
4 1・2・3 1・2			日	時間	1	回 1		回 1	回
2					回 2		回 2	回	

5	1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	1	回
					2	回	2	回	2	回

※1：別の事業所や併設サービスに従事している医師およびその時間は含まず、介護老人保健施設に従事している時間のみを計算してください。

※2：専門科については、下記から該当する番号を選び記入してください。

01 内科	09 皮膚科	17 呼吸器外科	25 整形外科	33 婦人科
02 呼吸器内科	10 アレルギー科	18 心臓血管外科	26 形成外科	34 リハビリテーション科
03 循環器内科	11 リウマチ科	19 乳癌外科	27 美容外科	35 放射線科
04 消化器内科	12 感染症内科	20 気管食道外科	28 眼科	36 麻酔科
05 腎臓内科	13 小児科	21 消化器外科	29 耳鼻いんこう科	37 病理診断科
06 神経内科	14 精神科	22 泌尿器科	30 小児外科	38 臨床検査科
07 神経病内科	15 心療内科	23 肛門外科	31 産婦人科	39 救急科
08 血液内科	16 外科	24 脳神経外科	32 産科	

問 15 2014 年 6 月 <u>(1ヶ月間)</u> の各歯科医師の対応状況									
(1)契約形態 (○は1つ) 1．施設で雇用 2．歯科医師 が特定された 関係での契約 3．歯科医師 が特定されて おらず、複数 の医師がくる ことを前提と した契約	(2)勤務形態 (○は1つ) 1 常勤 2 非常勤	(3)貴施設における1ヶ月の勤務実日数	(4)貴施設における1ヶ月の勤務時間数 ※1	(5)該当する対応に回数を記載ください。 1 訪問した回数 2 電話、メールで指示した回数				③ 平日日中の勤務時間外	
				①夜間の対応		②日曜・祝日等の対応		番 号	回 数
				番 号	回 数	番 号	回 数		
例 ①・2・3	1・②	4日	10時間	1	1回	1	1回	1	0回
				2	4回	2	5回	2	0回
1 1・2・3	1・2	日	時間	1	回	1	回	1	回
				2	回	2	回	2	回
				1	回	1	回	1	回
2 1・2・3	1・2	日	時間	2	回	2	回	2	回

※1：別の事業所や併設サービスに従事している歯科医師およびその時間は含まず、介護老人保健施設に従事している時間のみを計算してください。

6. 医療的ケアの状況

問 16 医療的ケアに関する実施実績

※介護老人保健施設の利用者について記入し、併設サービス（短期入所療養介護含む）等の利用者に係る実施については含まないでください。
※対応可否については、日中と夜間に分けてそれぞれ、実施可能であれば「○」、不可能であれば「×」を記入してください。

医療的ケアの内容	対応可否	6月24日から6月30日まで <u>(1週間)</u> の実施実績			
		日中	夜間	受療した利用者の実人数 ※1	実施者（該当するすべてに○） 医師 看護職員 介護職員 通院等施設外
<i>(記入例) 02 静脈内注射</i>	○	×		(20) 人	○
01 血糖測定・インスリン注射（自己管理・介助を含む）				() 人	/
02 静脈内注射（点滴を含む）				() 人	/
03 中心静脈栄養の管理				() 人	/
04 透析（在宅自己腹膜灌流を含む）の管理				() 人	/
05 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理				() 人	/
06 酸素療法				() 人	/
07 レスビレーター（人工呼吸器）の管理				() 人	/
08 気管切開のケア				() 人	/
09 疼痛の管理				() 人	/
10 09のうち麻薬を用いるもの				() 人	/
11 経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む）				() 人	/
12 モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）				() 人	/
13 褥瘡の処置				() 人	/
14 カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等）の管理				() 人	/
15 喀痰吸引				() 人	/
16 ネブライザー				() 人	/
17 創傷処置（褥瘡を除く）				() 人	/
18 服薬管理（注射を除く） ※2				() 人	/
19 認知症に関する専門的ケア				() 人	/
20 摘便				() 人	/
21 浣腸				() 人	/
22 一時的導尿				() 人	/
23 その他 処置名()				() 人	/

※1：6月24日から6月30日まで（1週間）に、1回以上当該医療的ケアを行った場合を「1」とカウントします。（期間中何回当該医療的ケアを行っても「1」と数えてください。）

※2：本調査における「服薬管理」は、経口薬、塗布薬・貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等を指します。

問 17 2014 年 6 月 (1ヶ月間) における 貴施設以外の医療機関等での受療					
01	外部医療機関への延べ通院者数	①実人数	人	②延べ人数	人
02	外部医療機関からの往診に係る延べ訪問回数	①実人数	人	②延べ人数	人

7. 看取り（終末期ケアや死亡確認）について

問 18	貴施設の看取りの方針【○は1つ】	
01	看取り期に入った利用者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている	
02	看取り期に入った利用者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない	
03	看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい	
04	看取りは行っておらず、今後も対応する予定はない（考えていない）	

問 19	貴施設の看取りに関するマニュアル（ガイドライン、手引き等）の有無【○は1つ】	
01	ある	03 現在なく、作成の予定もない
02	現在はないが、作成中である	

問 20	利用者本人への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】		
01	看取りの計画について、説明および同意の取得をしている	02 していない	
↓ 問 20-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】			
01	入所時	02 急性増悪時	03 特に定めていない

問 21 <u>利用者本人</u> の看取りに関する希望【○は1つ】		
01	<u>入所時</u> に希望を聞いている	03 希望を聞いていない
02	<u>病状が悪化した際</u> に希望を聞いている	04 その他（ ）
↓ 問 21-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】		
01	面談	02 アンケート等への記入 03 その他（ ）

問 22 利用者の家族への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】		
01	看取りの計画について、説明および同意の取得をしている	02 していない
↓ 問 22-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】		
01 入所時	02 急性増悪時	03 特に定めていない

問 23 利用者の <u>家族</u> の看取りに関する希望【○は1つ】		
01	入所時に希望を聞いている	03 希望を聞いていない
02	病状が悪化した際に希望を聞いている	04 その他（ ）
↓		
問 23-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】		
01	面談	02 アンケート等への記入 03 その他（ ）

問 24 看取りの各対応に関与している職種【該当全てに○、最も中心的に関与している職種に◎】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
対応内容		施設長	医師	看護職員	介護職員	支援相談員	介護支援専門員	その他
01	看取りに関するガイドライン等の作成							
02	本人及び家族への説明							
03	看取り期の判断に関する情報共有 ※							
04	看取り期の家族への説明、同意取得							
05	看取りカンファレンスの開催							
06	看取り計画作成（連絡・調整含む）							
07	看取り計画の見直し							
08	亡くなる際の付き添い							
09	死亡直前の家族への連絡							
10	死亡直前・直後の家族へのサポート							
11	死後の処置							
12	施設内お見送り							
13	家族へのグリーフケア							
14	看取りの評価・振り返り							

※「看取り期の判断に関する情報共有」とは、職員間で看取りの判断に資する、利用者の状況についての情報を共有することをさします。

問 25	貴施設内でターミナルケアを行ううえでの課題【該当全てに○】 ※本調査における「ターミナルケア」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てその人らしさを尊重した看取りを支援する」ことをさします。		
01	施設の方針として積極的でない	09	ターミナルケアを行うための介護職員が不足している
02	施設の医師による対応が難しい	10	ターミナルケアを行うための夜間の体制が十分でない
03	医療機関との連携が難しい	11	施設全体としてターミナルケアの経験が不足している
04	施設内の職員の連携が難しい	12	ターミナルケアを行うことで職員の精神的負担が増す
05	看取りのために利用できる個室がない	13	ターミナルケアに係る事務負担が増す
06	利用者を医療的に観察するための設備がない	14	研修等を通じた知識・技術の習得が不足している
07	施設内で行える医療処置が少ない	15	利用者およびその家族が施設内の看取りを望まない
08	ターミナルケアを行うための看護職員が不足している	16	利用者の家族との連携が十分にとれない
		17	その他 ()

問 26	2014 年 4 月～6 月 (3 ヶ月間) でターミナルケアを実施した利用者の人数	
(1)	施設で最期まで看取った人数	() 人
(2)	最期に医療機関に搬送した人数	() 人
	うち搬送後 1 週間以内に死亡した人数	() 人

以下の①～③は、直近で最期に医療機関に搬送した利用者 1 名を想定してご回答ください

①	医療機関への搬送を決定した理由 【該当全てに○】	01	家族・親族の希望
		02	施設では十分なケアが行えないため
		03	施設では行えない検査が必要となったため
		04	施設では行えない処置が必要となったため
		05	施設では行えない投薬（麻薬を除く）が必要となったため
		06	麻薬による疼痛管理が必要となったため
		07	緊急手術が必要となったため
		08	施設で対応できる状態かどうか判断できなかったため
		09	その他 ()
②	医療機関への搬送を決定した際における、利用者の状態の変化の有無 【○は 1 つ】	01	それまでと特に変化はなかった
		02	主たる疾患・症状が悪化した
		03	合併症の発生や想定外の事態が生じた
		04	その他 ()

③	医療機関への搬送の際にみられた症状・状態 【該当全てに○】	01	バイタルサインの低下	11	腹痛
		02	発熱	12	便秘
		03	意識障害	13	尿量減少
		04	頭痛	14	点滴・カテーテル等の抜去
		05	けいれん・麻痺	15	転倒・転落
		06	呼吸障害	16	不眠
		07	誤嚥	17	せん妄
		08	胸痛	18	吐血・下血
		09	不整脈	19	その他
		10	嘔気・嘔吐		→ (具体的に:)

問 27	看取りを行ううえでの貴施設での取り組み、工夫または課題等について、記入してください。【自由回答】

8. その他

問 28	地域との交流 【該当全てに○】	01	地域住民との交流会の開催	04	地域住民への健康相談・講習等
		02	ボランティアの受け入れ	05	その他 ()
		03	祭り等のイベントの開催		

施設票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。【他の調査票とともに 8/29(金) までにご投函ください。】

介護サービス事業所における医療職の勤務実態および

医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業

【施設票】

③ 介護療養型医療施設

■記入にあたってのご注意

特に指定の無い箇所については、貴院の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて院長、看護職員、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。

【本調査の ③介護療養病床 と ④医療療養病床 が重複して届いた医療機関の方へ】

問 1～5 については、両票とも同一の内容となるため、大変お手数ですが同一の回答をご記入ください。他の設問につきましては、設問内容が似ておりますが、介護療養病床と医療療養病床についてそれぞれ別々にご回答いただきたいため、恐れ入りますが両票にご回答をお願いします。

■本調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」事務局

三菱総合研究所 電話：0120-966-025（平日9時30分～17時30分）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

1. 貴院の基本情報

問 1 2014 年 6 月 30 日における貴院の開設主体【○は 1 つ】	
01 公立	04 個人
02 医療法人	05 その他（ ）
03 社団・財団法人	
問 2 貴院の形態【○は 1 つ】	
01 病院	02 診療所
問 3 貴院の開設年月	
西暦（ ）年（ ）月	

問 4 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する施設（居住系含む）【該当する全てに○】	
01 介護老人福祉施設	04 その他の高齢者住まい等 （有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等）
02 認知症対応型共同生活介護事業所	05 その他（ ） うち併設・隣接している施設番号（01～05）（ ）
03 介護老人保健施設	

問 5 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する事業所・サービス【該当する全てに○】	
01 訪問介護	08 短期入所生活介護
02 訪問入浴介護	09 短期入所療養介護
03 訪問看護	10 特定施設入所者生活介護
04 訪問リハビリテーション	11 福祉用具貸与
05 居宅療養管理指導	12 居宅介護支援
06 通所介護	13 その他（ ）
07 通所リハビリテーション	うち併設・隣接している事業所の番号（01～13） →（ ）

問 6 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴院の定員数		
病床分類	許可病床数	入院患者数
01 介護療養病床	床	人
02 01 のうち短期入所療養介護※	床	人
03 一般病床	床	人
04 医療療養病床	床	人
05 上記以外の病床	床	人

※：空床利用ではなく、短期入所療養介護専用のベッドとして確保している数を記入してください。

問 7 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴院の介護療養病床の患者数等						
(1) 要介護度別実患者数	①要介護 1	②要介護 2	③要介護 3	④要介護 4	⑤要介護 5	⑥不明・申請中
	人	人	人	人	人	人
(2) 男女別実患者数	①男性	②女性				
	人	人				
(3) 年齢別実患者数	①40～64 歳	②65～74 歳	③75～84 歳	④85～94 歳	⑤95 歳以上	⑥平均年齢
	人	人	人	人	人	歳
(4) 入院期間別実患者数	①3 ヶ月未満	②3 ヶ月以上～6 ヶ月未満	③6 ヶ月以上～1 年未満	④1 年以上～2 年未満	⑤2 年以上～3 年未満	⑥3 年以上
	人	人	人	人	人	人
(5) 認知症高齢者日常生活自立度別実患者数	①自立	②Ⅰ	③Ⅱ	④Ⅲ	⑤Ⅳ	⑥Ⅴ
	人	人	人	人	人	人
(6) 所得段階別実患者数	①減免あり	②減免なし	③不明			
	人	人	人			
(7) 特定疾患罹患患者数 ※1	①罹患あり	②罹患なし	③不明			
	人	人	人			

※1 該当する疾患名は、同封の記入要領をご覧ください。

2. 職員の配置状況

問 8 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴院における職員の配置状況						
※雇用形態にかかわらず、貴院が定める 1 週間の勤務時間 (所定労働時間) の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてください。 ※常勤換算数の計算方法：小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位まで計上してください。得られた結果が 0.1 に満たない場合は、「0.1」と計上してください。 [常勤換算人員] = [職員の 1 週間の勤務時間] ÷ [事業所が定めている 1 週間の勤務時間] ※別の事業所や併設サービスに従事している時間は含まず、介護療養型医療施設に従事している時間のみを計算し、下記の式に従って「換算人員」に記入してください。 [換算人員] = [介護療養型医療施設に従事する時間] ÷ [貴院が定めている 1 週間の勤務時間]						
職種	(1)常勤			(2)非常勤		
	①実人員	②換算人員	①実人員	②常勤換算人員	③換算人員	
01 医師	人	人	人	人	人	人
02 歯科医師	人	人	人	人	人	人
03 看護職員	人	人	人	人	人	人
04 03のうち看護師	人	人	人	人	人	人
05 介護職員	人	人	人	人	人	人
06 05のうち介護福祉士	人	人	人	人	人	人
07 05のうち認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた者	人	人	人	人	人	人
08 支援相談員	人	人	人	人	人	人
09 理学療法士 (PT)	人	人	人	人	人	人
10 作業療法士 (OT)	人	人	人	人	人	人
11 言語聴覚士 (ST)	人	人	人	人	人	人
12 薬剤師	人	人	人	人	人	人
13 歯科衛生士	人	人	人	人	人	人
14 栄養士	人	人	人	人	人	人
15 14のうち管理栄養士	人	人	人	人	人	人
16 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
その他 ※	17()	人	人	人	人	人
	18()	人	人	人	人	人
	19()	人	人	人	人	人
	20()	人	人	人	人	人
	21()	人	人	人	人	人

※ () 内に職種名を記入してください。ただし調理員及び事務員については記入不要です。

3. 介護報酬の算定状況

問9 2014年6月(1ヶ月間)の施設サービスマン【該当する費用全てに○】
01 療養型介護療養施設サービスマン費 (I)
02 療養型介護療養施設サービスマン費 (II)
03 療養型介護療養施設サービスマン費 (III)
04 療養型経過型介護療養施設サービスマン費 (I)
05 療養型経過型介護療養施設サービスマン費 (II)
06 ユニット型療養型介護療養施設サービスマン費 (I) または (II)
07 ユニット型療養型経過型介護療養施設サービスマン費 (I) または (II)

問 10 2014 年 6 月 <u>(1ヶ月間)</u> の加算の算定状況【○は 1 つ】				
01 認知症行動・心理症状緊急対応加算	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
02 サービス提供体制強化加算 (Ⅰ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
03 サービス提供体制強化加算 (Ⅱ)・(Ⅲ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
04 経口移行加算	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
05 経口維持加算 (Ⅰ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
06 経口維持加算 (Ⅱ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
07 認知症専門ケア加算	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
08 夜間勤務等看護 (Ⅰ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
09 夜間勤務等看護 (Ⅱ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
10 夜間勤務等看護 (Ⅲ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし
11 夜間勤務等看護 (Ⅳ)	01 算定あり⇒	[	]	件 02 算定なし

4. 医療的ケアの状況

問11 介護療養病床における医療的ケアに関する実施実績 ※介護療養型医療施設の患者の受けた医療的ケアについて記入し、他の病床や併設サービス等の患者に係る実施については含まないでください。 ※実施可能性については、日中と夜間に分けてそれぞれ、実施可能であれば「○」、不可能であれば「×」を記入してください。					
医療的ケアの内容	対応可否	日中	夜間	受療した患者の人数※1	
				実施者	看護職員
				医師	看護職員
(記入例) 02 静脈内注射	○	×		○	
01 血糖測定・インスリン注射 (自己管理・介助を含む)				() 人	
02 静脈内注射 (点滴を含む)				() 人	
03 中心静脈栄養の管理				() 人	
04 透析 (在宅自己腹膜灌流を含む) の管理				() 人	
05 ストーマ (人工肛門・人工膀胱) の管理				() 人	
06 酸素療法				() 人	
07 レスビレーター (人工呼吸器) の管理				() 人	
08 気管切開のケア				() 人	
09 疼痛の管理				() 人	
10 09のうち麻薬を用いるもの				() 人	
11 経管栄養 (胃ろう・腸ろうを含む)				() 人	
12 モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)				() 人	
13 褥瘡の処置				() 人	
14 カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル等) の管理				() 人	
15 喀痰吸引				() 人	
16 ネブライザー				() 人	
17 創傷処置 (褥瘡を除く)				() 人	
18 服薬管理 (注射を除く) ※2				() 人	
19 認知症に関する専門的ケア				() 人	
20 摘便				() 人	
21 浣腸				() 人	
22 一時的導尿				() 人	
23 その他 処置名()				() 人	

※1：6月24日から6月30日まで(1週間)に、1回以上当該医療的ケアを行った場合を「1」とカウントします。(期間中何回当該医療的ケアを行っても「1」と数えてください)
 ※2：本調査における「服薬管理」は、経口薬、塗布薬、貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等を指します。

問12 2014年6月（1か月間）における貴院以外の医療機関での受療			
01 外部医療機関への延べ通院者数	①実人数	②延べ人数	人

5. 入退院の状況

問13 貴院の介護療養病床における2014年4月～6月（3ヶ月間）の入退院者の状況			
※貴院が開設後3か月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。			
※入院の期間は限りません。短期の入院であっても入退院については、「1回」とカウントしてください。			
3ヶ月間（4月～6月）の入退院者	(1) 総計	(2) 内訳	
		75歳未満 ①男性	75歳以上 ②女性 ③男性 ④女性
①入院者延日数※1	人	人	人
②新規入院者数※2	人	人	人
③退院者数※3	人	人	人
01 自宅（親族の家等も含む）	人	人	人
02 01のうち、終末期に、看取りのために退院した患者数	人	人	人
03 高齢者住まい等	人	人	人
04 医療機関（急性期治療のため）	人	人	人
05 医療機関（長期療養のため）	人	人	人
06 医療機関（その他、不明）	人	人	人
07 04～06のうち、終末期に、看取りのために退院した患者数	人	人	人
08 介護老人保健施設（老健）	人	人	人
09 他の介護老人福祉施設（特養）	人	人	人
10 死亡退院（11～12の計に一致）	人	人	人
11 10のうち、個別に看取り計画を立てた患者数	人	人	人
12 10のうち、予期しない死亡（突然死等）をした患者数	人	人	人
13 その他・不明	人	人	人

※1：入院延日数：月毎の日々の入院数（毎日24時時点で入院中の入）を合算してください。
※2：新規入院数：新たに貴院に入院した人の数をさします。ただし再入院の患者も含まれます。
※3：退院者数：貴院から退院した人の数をさします。ただし死亡退院を含みます。「退院先の内訳」の01～13の合計（うち数を除く）が、この「退院者数」に一致するようにしてください。

6. 看取り（終末期ケアや死亡確認）について	
問14 貴院の介護療養病床での看取りの方針【○は1つ】	
01 看取り期に入った患者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている	
02 看取り期に入った患者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない	
03 看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい	
04 看取りは行っておらず、今後も対応する予定はない（考えていない）	
問15 貴院の介護療養病床での看取りに関するマニュアル（ガイドライン、手引き等）の有無【○は1つ】	
01 ある	
02 現在はないが、作成中である	
03 現在なく、作成の予定もない	
問16 介護療養病床の患者本人への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】	
01 看取りの計画について、説明および同意の取得をしている	02 していない
↓ 問16-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】	
01 入院時	02 急性増悪時
03 特に定めていない	
問17 介護療養病床の患者本人の看取りに関する希望【○は1つ】	
01 入院時に希望を聞いている	03 希望を聞いていない
02 病状が悪化した際に希望を聞いている	04 その他（ ）
↓ 問17-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】	
01 面談	02 アンケート等への記入
03 その他（ ）	
問18 介護療養病床の患者の家族への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】	
01 看取りの計画について、説明および同意の取得をしている	02 していない
↓ 問18-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】	
01 入院時	02 急性増悪時
03 特に定めていない	
問19 介護療養病床の患者の家族の看取りに関する希望【○は1つ】	
01 入院時に希望を聞いている	03 希望を聞いていない
02 病状が悪化した際に希望を聞いている	04 その他（ ）
↓ 問19-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】	
01 面談	02 アンケート等への記入
03 その他（ ）	

7. その他

問 24 2014 年 6 月 30 日現在の介護療養病床の転換意向の状況【該当する全てに○】	
01 全ての病床について転換予定がある	⇒問 2 5 (1), (2) も記入してください。
02 一部の病床について転換予定がある	
03 転換の予定は未定だが一部または全ての病床について検討中	⇒問 2 5 (3), (4) も記入してください。
04 転換の予定は未定であり、全ての病床について検討していない	

問 25 (1) 問 24 で「01 全ての病床について転換予定がある」、「02 一部の病床について検討中」を選択した方にお聞きします。 貴院の介護療養病床の病床転換意向内容、転換予定時期、転換予定病床数【該当全てに○】 ※検討中の病床については、現在の方向性および念頭においている転換先で構いません。病床数まで検討をしていない場合は、病床数については空欄で構いません。				
意向内容または方針	平成 27 年 3 月 までに転換予定	平成 30 年 3 月 までに転換予定	転換時期は 未定	
01 一般病床	床	床	床	床
02 医療療養病床		床	床	床
03 01, 02 以外の医療保険適用病床	床	床	床	床
04 従来型介護老人保健施設	床	床	床	床
05 療養型介護老人保健施設	床	床	床	床
06 介護老人福祉施設（地域密着型含む）	床	床	床	床
07 認知症対応型共同生活介護事業所	床	床	床	床
08 特定施設入居者生活介護事業所（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等）	床	床	床	床
09 小規模多機能型居宅介護事業所	床	床	床	床
10 複合型サービス事業所	床	床	床	床
11 04～10 以外の介護サービス事業所	床	床	床	床
12 病床の廃止、減床	床	床	床	床
13 01～12 以外	床	床	床	床

問 25 (2) 問 24 で「01 全ての病床について転換予定がある」、「02 一部の病床について検討中」を選択した方にお聞きします。 意志決定をするうえで重要な要素【該当全てに○】	
01 現在の介護療養病床の患者の転院先の確保	07 金融機関等からの融資の有無
02 現在の介護療養病床の患者の介護ニーズ	08 近隣地域の医療および介護のニーズ
03 医師、看護職員の確保可能性	09 所属する法人の方針
04 転換後の経営状況、採算性	10 今後の報酬水準および政策動向
05 補助金等の公的な財政支援の有無	11 その他
06 行政からの指導や後押しの有無	()

問 25 (3) 問 24 で「04 転換の予定は未定であり、全ての病床について検討していない」を選択した方にお聞きします。 転換が未定である理由【該当全てに○】	
01 現在の体制で患者の症状が安定しているため	09 法人理念や職員意識等からみて、医療機関でなくなる・転換をすることに対して抵抗感があるため
02 介護療養病床の経営が安定しているため	10 現在入院している患者の転院先、受け入れ先を見つけないことが困難なため
03 今後の報酬水準および政策動向をみて判断したいため	11 職員確保、配置が困難なため
04 地域における、介護療養病床のニーズが高いため	12 介護保険サービスの運営ノウハウがないため
05 一部の病床を転換したばかりのため	13 患者や家族の理解を得ることが困難なため
06 同一法人内で保有している病床や介護サービス事業所との兼ね合いが難しいため	14 院内で転換について検討したことがないため
07 建物改修が費用、面積等の面で困難なため	15 その他
08 転換後の経営や資金繰り等に不安があるため	()

問 25 (4) 問 24 で「04 転換の予定は未定であり、全ての病床について検討していない」を選択した方にお聞きします。 意志決定をするうえで重要な要素【該当全てに○】	
01 現在、入院している患者の転院先、受け入れ先の確保	06 行政からの指導や後押しの有無
02 現在の療養病床の患者の介護ニーズ	07 金融機関等からの融資の有無
03 医師、看護職員の確保可能性	08 地域におけるニーズ
04 転換後の経営状況、採算性	09 所属する法人の方針
05 補助金等の公的な財政支援の有無	10 その他

施設票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。他の調査票とともに 8/29(金)までにご投函ください。

介護サービス事業所における医療職の勤務実態および

医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業

【施設票】

④ 医療療養病床

■記入にあたってのご注意

特に指定の無い箇所については、貴院の管理的な立場にある事務職員の方が、必要に応じて院長、看護職の方々とご相談のうえ、記入してください。

【本調査の ③介護療養病床 と ④医療療養病床 が重複して届いた医療機関の方へ】

問 1～5 については、両票とも同一の内容となるため、大変お手数ですが同一の回答をご記入ください。他の設問につきましては、設問内容が似ておりますが、介護療養病床と医療療養病床についてそれぞれ別々にご回答いただきたいため、恐れ入りますが両票にご回答をお願いいたします。

■本調査に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」事務局

三菱総合研究所 電話：0120-966-025（平日9時30分～17時30分）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

1. 貴院の基本情報

問 1 2014 年 6 月 30 日における貴院の開設主体【○は1つ】	
01 公立	04 個人
02 医療法人	05 その他（ ）
03 社団・財団法人	
問 2 貴院の形態	
01 病院	
02 診療所	
問 3 貴院の開設年月	
西暦（ ）年（ ）月	

問 4 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する施設（居住系含む）【該当する全てに○】									
01 介護老人福祉施設	04 その他の高齢者住まい等（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等）								
02 認知症対応型共同生活介護事業所	05 その他（ ）								
03 介護老人保健施設	うち併設・隣接している施設番号（01～05）（ ）								

問 5 2014 年 6 月 30 日において貴法人・関連法人が運営する事業所・サービス【該当する全てに○】									
01 訪問介護	08 短期入所生活介護								
02 訪問入浴介護	09 短期入所療養介護								
03 訪問看護	10 特定施設入所者生活介護								
04 訪問リハビリテーション	11 福祉用具貸与								
05 居宅療養管理指導	12 居宅介護支援								
06 通所介護	13 その他（ ）								
07 通所リハビリテーション	うち併設・隣接している事業所の番号（01～13） →（ ）								

問 6 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴院の定員数									
病床分類	許可病床数			入院患者数					
01 一般病床	床			人					
02 医療療養病床	床			人					
03 介護療養病床	床			人					
04 上記以外の病床	床			人					

問 7 2014 年 6 月 30 日 24 時時点における貴院の医療療養病床の入院患者数等									
(1) 要介護度別別患者数	①要介護 1	②要介護 2	③要介護 3	④要介護 4	⑤要介護 5	⑥不明・申請中			
(2) 男女別実患者数	①男性	②女性							
(3) 年齢別実患者数	①40～64 歳	②65～74 歳	③75～84 歳	④85～94 歳	⑤95 歳以上	⑥平均年齢 歳			
(4) 入院期間別実患者数	①3 ヶ月未満	②3 ヶ月以上～6 ヶ月未満	③6 ヶ月以上～1 年未満	④1 年以上～2 年未満	⑤2 年以上～3 年未満	⑥3 年以上			
(5) 認知症高齢者日常生活自立度別実患者数	①自立	②Ⅰ	③Ⅱ	④Ⅲ	⑤Ⅳ	⑥Ⅴ			
(6) 特定疾患罹患患者数 ※1	①罹患あり	②罹患なし	③不明						

※1 該当する疾患名は、同封の記入要領をご覧ください。

2. 職員の配置状況

問8 2014年6月30日24時時点における貴院の職員の配置状況						
※雇用形態にかかわらず、貴院が定める1週間の勤務時間（所定労働時間）の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてください。 ※常勤換算数の計算方法：小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。 〔常勤換算人員〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔貴院が定めている1週間の勤務時間〕						
職種	(1)常勤		(2)非常勤			
	①実人員	②換算人員	①実人員	②常勤換算人員	③換算人員	
01 医師	人	人	人	人	人	人
02 01のうち医療療養病床専従		人	人	人	人	人
03 01のうち医療療養病床兼務		人	人	人	人	人
04 歯科医師	人	人	人	人	人	人
05 看護職員	人	人	人	人	人	人
06 05のうち看護師	人	人	人	人	人	人
07 理学療法士 (PT)	人	人	人	人	人	人
08 作業療法士 (OT)	人	人	人	人	人	人
09 言語聴覚士 (ST)	人	人	人	人	人	人
10 薬剤師	人	人	人	人	人	人
11 歯科衛生士	人	人	人	人	人	人
12 栄養士	人	人	人	人	人	人
13 12のうち管理栄養士	人	人	人	人	人	人
14()	人	人	人	人	人	人
15()	人	人	人	人	人	人
16()	人	人	人	人	人	人
17()	人	人	人	人	人	人
18()	人	人	人	人	人	人

※（ ）内に職種名を記入してください。ただし調理員及び事務員については記入不要です。

3. 診療報酬の算定状況

問9 2014年6月(1ヶ月間)の入院基本料【該当全てに○】						
01 療養病棟入院基本料1						
02 療養病棟入院基本料2						
03 有床診療所療養病棟入院基本料						
04 回復期リハビリテーション病棟入院料1～3						
05 地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）1または2						

問10 2014年6月(1ヶ月間)の加算の算定状況【○は1つ】						
01 在宅患者緊急入院診療加算		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
02 療養病棟環境改善加算1		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
03 療養病棟環境改善加算2		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
04 診療所療養病棟環境改善加算		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
05 退院調整加算		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
06 在宅復帰支援機能加算		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし
07 在宅復帰機能強化加算		01 算定あり⇒	〔	〕	件	02 算定なし

4. 治療の状況

問11 医療療養病床における治療に関する実施実績 ※医療療養病床の患者の受けた治療について記入し、他の病床の患者に係る実施については含まないでください。 ※実施可能性については、日中と夜間に分けてそれぞれ、実施可能であれば「○」、不可能であれば「×」を記入してください。					対応可否		6月24日から6月30日まで(1週間)の実施実績	
治療の内容		日中	夜間	受療した患者の人数※1	医師	看護職員		
(記入例) 02 静脈内注射		○	×	(20) 人	○	○		○
01 血糖測定・インスリン注射 (自己管理・介助を含む)				() 人				
02 静脈内注射 (点滴を含む)				() 人				
03 中心静脈栄養の管理				() 人				
04 透析 (在宅自己腹膜灌流を含む) の管理				() 人				
05 ストーマ (人工肛門・人工膀胱) の管理				() 人				
06 酸素療法				() 人				
07 レスビレーター (人工呼吸器) の管理				() 人				
08 気管切開のケア				() 人				
09 疼痛の管理				() 人				
10 09のうち麻薬を用いるもの				() 人				
11 経管栄養 (胃ろう・腸ろうを含む)				() 人				
12 モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)				() 人				
13 褥瘡の処置				() 人				
14 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理				() 人				
15 喀痰吸引				() 人				
16 ネブライザー				() 人				
17 創傷処置 (褥瘡を除く)				() 人				
18 服薬管理 (注射を除く) ※2				() 人				
19 認知症に関する専門的ケア				() 人				
20 摘便				() 人				
21 浣腸				() 人				
22 一時的導尿				() 人				
23 その他 処置名()				() 人				

※1：6月24日から6月30日まで(1週間)に、1回以上当該医療的ケアを行った場合を「1」とカウントします。(期間中何回当該医療的ケアを行っても「1」と数えてください)
※2：本調査における「服薬管理」は、経口薬、塗布薬・貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等を指します。

問12 2014年6月(1ヶ月間)における貴院以外の医療機関等での受療				
外1部医療機関への延べ通院者数		①実人数	人	②延べ人数
				人

5. 入・退院患者の状況

問13 貴院の医療療養病床における2014年4月～6月(3ヶ月間)の入・退院患者の状況 ※貴院が開設後3ヶ月に満たない場合は、開設後からの件数を記入してください。 ※入院の期間は限りません。短期の入院であっても入退院については、「1回」とカウントしてください。				
3ヶ月間(4月～6月)の入退院者		(1) 総計	(2) 内訳	
			75歳未満 ①男性	75歳以上 ②女性
①入院延日数※1		人	人	人
②新規入院患者数※2		人	人	人
③退院患者数※3		人	人	人
01 自宅(親族の家等も含む)		人	人	人
02 01のうち、終末期に看取りのために退院した患者数				
03 高齢者住まい		人	人	人
04 医療機関(急性期治療のため)		人	人	人
05 医療機関(長期療養のため)		人	人	人
06 医療機関(その他、不明)		人	人	人
07 04～06のうち、終末期に、看取りのために転院した患者数		人	人	人
08 介護老人保健施設(老健)		人	人	人
09 介護老人福祉施設(特養)		人	人	人
10 死亡退院		人	人	人
(11～12の計に一致)				
11 10のうち、個別に看取り計画を立てた患者数		人	人	人
12 10のうち、予期しない死亡(突然死等)をした患者数		人	人	人
13 その他、不明		人	人	人

※1：入院延べ日数：月毎の日々の入院患者日数(毎日24時時点で入院中の人)を合算してください。
※2：新規入院患者数：新たに貴院に入院した人の数をさします。ただし再入院の患者も含まれます。
※3：退院患者数：貴院から退院した人の数をさします。ただし死亡退院を含みます。「退院先の内訳」の01～13の合計(うち数を除く)が、この「退院者数」に一致するようにしてください。

6. 看取り（終末期ケアや死亡確認）について

問 14 貴院の医療療養病床での看取りの方針【○は1つ】
01 看取り期に入った患者に対し、個別に看取り計画を立てて看取りを行っている
02 看取り期に入った患者に対し看取りは行っているが、看取りの計画は立てていない
03 看取りは行っていないが、今後条件が整えば対応を考えたい
04 看取りは行っておらず、今後も対応する予定はない（考えていない）

問 15 貴院の医療療養病床での看取りに関するマニュアル（ガイドライン、手引き等）の有無【○は1つ】
01 ある
02 現在はないが、作成中である
03 現在なく、作成の予定もない

問 16 医療療養病床の患者本人への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】
01 看取りの計画について、説明および同意の取得をしている
02 していない

問 16-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】
01 入院時
02 急性増悪時
03 特に定めていない

問 17 医療療養病床の患者本人の看取りに関する希望【○は1つ】
01 入院時に希望を聞いている
03 希望を聞いている
04 その他（ ）
02 病状が悪化した際に希望を聞いている
問 17-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】
01 面談
02 アンケート等への記入
03 その他（ ）

問 18 医療療養病床の患者の家族への看取りの計画の説明、同意書の取得について【○は1つ】
01 看取りの計画について、説明および同意の取得をしている
02 していない
問 18-1 上記で1に○をつけた場合、その時期について【該当全てに○】
01 入院時
02 急性増悪時
03 特に定めていない

問 19 医療療養病床の患者の家族の看取りに関する希望【○は1つ】
01 入院時に希望を聞いている
03 希望を聞いていない
02 病状が悪化した際に希望を聞いている
04 その他（ ）
問 19-1 上記で1または2に○をつけた場合、希望の把握の仕方について【該当全てに○】
01 面談
02 アンケート等への記入
03 その他（ ）

問 20 貴院の医療療養病床でターミナルケアを行ううえでの課題【該当全てに○】
01 貴院の方針として積極的でない
10 ターミナルケアを行うための夜間の体制が十分でない
02 貴院の医師による対応が難しい
11 貴院全体としてターミナルケアの経験が不足している
03 他の医療機関との連携が難しい
12 ターミナルケアを行うことで職員の精神的負担が増す
04 貴院内の職員の連携が難しい
13 ターミナルケアに係る事務負担が増す
05 看取りのために利用できる個室がない
14 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している
06 患者を医療的に観察するための設備がない
15 患者およびその家族が貴院内の看取りを望まない
07 院内で行える医療処置が少ない
16 患者の家族との連携が十分にとれない
08 ターミナルケアを行うための看護職員が不足
17 その他（ ）
09 ターミナルケアを行うための看護補助者が不足している

問 21 2014年4月～6月（3ヶ月間）でターミナルケアを実施した患者の人数 ※本調査における「ターミナルケア」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てその人らしさを尊重した看取りを支援する」ことをさします。
(1) 貴院で最期まで看取った人数
() 人
(2) 最期に他の医療機関に搬送した人数
() 人
うち搬送後1週間以内に死亡した人数
() 人
以下の①～③は、直近で最期に他の医療機関に搬送した患者1名を想定してご回答ください

① 他の医療機関への搬送を決定した理由
01 家族・親族の希望
02 貴院では十分なケアが行えないため
03 貴院では行えない検査が必要となったため
04 貴院では行えない処置が必要となったため
05 貴院では行えない投薬（麻薬を除く）が必要となったため
06 麻薬による疼痛管理が必要となったため
07 緊急手術が必要となったため
08 貴院で対応できる状態かどうか判断できなかったため
09 その他（ ）

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（医師票）

①介護老人福祉施設

投函締切 8/25(金)
他の調査票とご返函ください

問1．貴施設での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③勤務日数	() 日	うち、夜間勤務() 日
④勤務時間	() 時間	うち、夜間勤務() 時間
⑤急変等発生時の対応件数および日数	() 件	うち、夜間帯 () 件
	() 日	うち、夜間帯 () 日

問2．専門分野・経歴年数についてお答えください ※別紙の「専門分野・専門医 一覧」参照

①専門分野

①-1 別紙の「専門分野一覧」に掲げる 1～40 から、あてはまる番号を全てお答えください。

()

➡ ①-2 上記のうち、主たる分野(1つだけ、番号で回答) ()

②取得した専門医(複数回答)

別紙の「専門医 一覧」に掲げる 1～57 から、あてはまる選択肢の番号を全てお答えください。

()

③経歴年数

() 年

うち慢性期分野での経歴年数 () 年

問3．オンコール対応日(※)の状況についてお答えください

※17時から翌朝9時の間にオンコール対応を行い呼び出しのあった日のうち、直近5回の状況についてお答えください

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晩のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晩のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

2回目

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晩のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

3回目

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晩のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

4回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晚のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
		(1)利用者の状態(オンコールの理由)
5回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晚のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
		(1)利用者の状態(オンコールの理由)

4回目

5回目

①対応日

②一晚のオンコール回数

③呼び出された時間

④対応に要した時間(合計)

①対応内容(複数回答)

②対応内容(複数回答)

①対応内容(複数回答)

②対応内容(複数回答)

①対応内容(複数回答)

②対応内容(複数回答)

施設内の看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与についてお答えください【平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況】	
※本問面における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをします。	
①関与した施設内の看取りの件数	あなたが死亡診断をした件数()件
②施設内で看取りを行う上での課題について(複数回答)	看取り計画に関与した件数()件
③施設内の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	1. 施設の方針として積極的でない 2. 医療機関との連携が難しい 3. 施設内の職員の連携が悪い 4. 看取りのために利用できる個室がない 5. 利用者や医療的に観察するための設備がない 6. 施設内で行える医療処置が少ない 7. 看取りを行うための人材が不足している 8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない ()
④施設内の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	a)看取りに対する取り組み姿勢 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的 b)看取りに関する施設の方針に対する満足度 1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 c)看取りへの取り組みに対する今後の意向 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的
問5. 介護老人福祉施設における医師の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）	

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（医師票）

②介護老人保健施設

投函締切 8/29(金)
他の調査票とご投函ください

問1．貴施設での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③勤務日数	() 日	うち、夜間勤務() 日
④勤務時間	() 時間	うち、夜間勤務() 時間
⑤急変等発生時の対応件数および日数	() 件	うち、夜間帯 () 件
	() 日	うち、夜間帯 () 日

問2．専門分野・経歴年数についてお答えください ※別紙の「専門分野・専門医 一覧」参照

①専門分野

①-1 別紙の「専門分野一覧」に掲げる 1～40 から、あてはまる番号を全てお答えください。

()

➡ ①-2 上記のうち、主たる分野(1つだけ、番号で回答) ()

②取得した専門医(複数回答)

別紙の「専門医 一覧」に掲げる 1～57 から、あてはまる選択肢の番号を全てお答えください。

()

③経歴年数

() 年

うち慢性期分野での経歴年数 () 年

問3．オンコール対応日（※）の状況についてお答えください

※17時から翌朝9時の間にオンコール対応を行い呼び出しのあった日のうち、直近5回の状況についてお答えください

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晚のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晚のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

2回目

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晚のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

3回目

4回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晚のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 搬去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 (具体的に:)
5回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晚のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 搬去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 (具体的に:)

問4. 施設内の看取り(終末期ケアや死亡確認)への関与についてお答えください【平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況】 ※本問面における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをさします。	
①関与した施設内の看取りの件数	あなたが死亡診断をした件数()件 看取り計画に関与した件数()件
②施設内で看取りを行った上での課題について(複数回答)	1. 施設の方針として看取りの態勢が不足している 2. 医療機関との連携が悪い 3. 施設内の職員の連携が悪い 4. 看取りのために利用できる設備がない 5. 利用者や医療的に観察するための設備がない 6. 施設内で行える医療処置が少ない 7. 看取りを行うための人材が不足している 8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない () 9. 施設全体として看取りの態勢が不足している 10. 看取りを行うことで職員の精神的負担が増す 11. 看取りに係る事務負担が増す 12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している 13. 利用者およびその家族が施設内の看取りを望まない 14. 利用者の家族との連携が十分にとれない 15. その他
③施設内の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	a)看取りに対する取り組み姿勢 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的 b)看取りに関する施設の方針に対する満足度 1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 c)看取りへの取り組みに対する今後の意向 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的
問5. 介護老人保健施設における医師の関与・役割に対するご意見をお聞かせください(自由回答)	

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（医師票）

投函締切 8/29(金)
他の調査票とご投函ください

③介護療養型医療施設

問1. 貴院での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③勤務日数	()日	うち、夜間勤務()日
④勤務時間	()時間	うち、夜間勤務()時間
⑤急変等発生時の対応件数および日数	()件	うち、夜間帯 ()件
	()日	うち、夜間帯 ()日

問2. 専門分野・経歴年数についてお答えください ※別紙の「専門分野・専門医 一覧」参照

①専門分野

①-1 別紙の「専門分野一覧」に掲げる 1～40 から、あてはまる番号を全てお答えください。

➡ ①-2 上記のうち、主たる分野(1つだけ、番号で回答) ()

②取得した専門医 (複数回答)

別紙の「専門医 一覧」に掲げる 1～57 から、あてはまる運搬医の番号を全てお答えください。

③経歴年数

()年

うち慢性期分野での経歴年数 ()年

問3. 夜間当直日 (※) の状況についてお答えください

※夜間当直日のうち、呼び出しのあった直近の一日についてお答えください

①夜間当直日	2014年()月()日()曜日
②一晩で呼び出された回数	()回
③呼び出された時間 (初回)	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間 (合計)	()分

⑤対応内容 (複数回答)

初回	(1)患者の状態(呼び出された理由)
	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
	(2)処置内容等
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 搬去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)

	(1)患者の状態(呼び出された理由)
	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
2回目	(2)処置内容等
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 搬去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)
	(1)患者の状態(呼び出された理由)
	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
3回目	(2)処置内容等
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 搬去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)

⑤対応内容 (複数回答)

	⑤ 対応内容（複数回答）	4回目	(1)患者の状態(呼び出された理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 拔去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)
		5回目	(1)患者の状態(呼び出された理由) 1. ベイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:) (2)処置内容等 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)

問 4. 貴院の介護療養病床での看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与についてお答えください【平 ※本問題における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家 族の同意を得てターミナルケアを行う」ことをさします。		
①関与した貴院の介護療養病床の看取りの件数	あなたが死亡診断をした件数 ()件	
②貴院の介護療養病床で看取りを行う上での課題について(複数回答)	看取り計画に関与した件数 ()件 1. 貴院の方針として積極的でない 2. 他の医療機関との連携が難しい 3. 貴院内の職員の連携が悪い 4. 看取りのために利用できる個室がない 5. 患者を医療的に観察するための設備がない 6. 院内で行える医療処置が少ない 7. 看取りを行うための人材が不足している 8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない () 9. 貴院全体として看取りの態勢が不足している 10. 看取りを行うことで職員の精神的負担が増す 11. 看取りに係る事務負担が増す 12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している 13. 患者およびその家族が院内の看取りを望まない 14. 患者の家族との連携が十分にない 15. その他	
③貴院の介護療養病床の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	a)看取りに対する取り組み姿勢 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的 b)看取りに関する貴院の方針に対する満足度 1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 c)看取りへの取り組みに対する今後の意向 1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的	
問5. 介護療養型医療施設における医師の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）		

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査 従事者票（医師票）	
④医療療養病床	
投函締切 8/28(金) 他の調査票とご返函ください	
問1.貴院での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）	
①勤務形態	1. 常勤 2. 非常勤
②就業形態	1. 専従 2. 兼務
③勤務日数	() 日 うち、夜間勤務() 日
④勤務時間	() 時間 うち、夜間勤務() 時間
⑤急変発生時の対応件数および日数	() 件 うち、夜間帯 () 件 () 日 うち、夜間帯 () 日
問2.専門分野・経験年数についてお答えください ※別紙の「専門分野・専門医 一覧」参照	
①専門分野	①-1 別紙の「専門分野一覧」に掲げる 1～40 から、あてはまる番号を全てお答えください。 別紙の「専門医 一覧」に掲げる 1～57 から、あてはまる選択肢の番号を全てお答えください。 ➡ ①➡上記のうち、主たる分野(1つだけ、番号で回答) () 別紙の「専門医 一覧」に掲げる 1～57 から、あてはまる選択肢の番号を全てお答えください。 () ②取得した専門医(複数回答) () 年 うち慢性期分野での経験年数 () 年 ③経験年数 () 年 うち慢性期分野での経験年数 () 年
問3.夜間当直日(※)の状況についてお答えください ※夜間当直日のうち、呼び出しのあった直近の一日についてお答えください	
①夜間当直日	平成26年()月()日()曜日
②一晩で呼び出された回数	() 回
③呼び出された時間(初回)	(1. 午後・2. 午前) () 時 () 分
④対応に要した時間(合計)	() 分
⑤対応内容(複数回答)	(1)患者の状態(呼び出された理由)
	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・痙攣 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:)
(2)処置内容等	
1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)	

⑤対応内容(複数回答)	2回目	(1)患者の状態(呼び出された理由)
		1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・痙攣 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:)
⑤対応内容(複数回答)	3回目	(2)処置内容等
		1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他(具体的に:)

⑤ 対応内容（複数回答）	4回目	(1)患者の状態(呼び出された理由)	11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他→(具体的に:)
		(2)処置内容等	9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)
		(1)患者の状態(呼び出された理由)	11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他→(具体的に:)
5回目		(2)処置内容等	9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)
		(1)患者の状態(呼び出された理由)	11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他→(具体的に:)
		(2)処置内容等	9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 他医療機関へ搬送 15. その他 (具体的に:)

問 4. 貴院の医療療養病床での看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与についてお答えください【平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況】 ※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てターミナルケアを行う」ことをさします。			
③貴院の医療療養病床の看取り件数	あなたが死亡診断をした件数 ()件		
	看取り計画に関与した件数 ()件		
	1. 貴院の方針として積極的でない 2. 他の医療機関との連携が難しい 3. 貴院内の職員の連携が難しい 4. 看取りのために利用できる設備がない 5. 患者を医療的に観察するための設備がない 6. 院内で行える医療処置が少なくない 7. 看取りを行うための人材が不足している 8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない ()	9. 貴院全体として看取りの経験が不足している 10. 看取りを行うことで職員の精神的負担が増す 11. 看取りに係る事務負担が増す 12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している 13. 患者およびその家族が院内の看取りを望まない 14. 患者の家族との連携が十分によれない 15. その他	
③貴院の医療療養病床の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	a)看取りに対する取り組み姿勢	1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的	
	b)看取りに関する貴院の方針に対する満足度	1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満	
	c)看取りへの取り組みに対する今後の意向	1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的	
問 5. 医療療養病床における医師の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）			

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（看護職員票）

①介護老人福祉施設

投函締切 8/29(金)
他の部署票とご投函ください

問1. 貴施設での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③職種	1. 看護師	
④勤務日数	()日	うち、夜間勤務()日
⑤勤務時間	()時間	うち、夜間勤務()時間
⑥急変等発生時の対応件数および日数	()件 ()日	うち、夜間勤務()件 ()日
	うち、夜間とオンコールの両方を行った日 ()日	

問2. 保有資格・経験年数についてお答えください

①保有資格	⇒ 1. を回答した場合、以下であてはまるものを選択(該当全てに○) 1. 老人看護 2. 地域看護 3. 在宅看護 4. 在宅支援 5. その他
⇒ 2. を回答した場合、以下であてはまるものを選択(該当全てに○)	1. 認知症看護 2. 訪問看護 3. 摂食・嚥下障害看護 4. 皮膚・排泄ケア 5. その他
②経験年数 ※	()年 うち介護分野での経験年数 ()年

問3. 夜間の勤務日（※）の業務内容についてお答えください（10分単位で記入してください）
※直近の勤務日についてお答えください。夜間帯の途中からオンコール勤務に切り替えた場合は、夜勤をしていた時刻までについて記入してください。
※同時に複数の業務を行った場合は主に行ったものでカウントしてください。

夜間の勤務日	2014年()月()日()曜日	
①開始時間	②終了時間	勤務時間(②-①)
(記入例) 17:00	9:00	960分
()	()	分(※)

※下まの合計欄はと一致させる

業務内容	時間(10分単位)	件数(人数)
(1) 介護老人福祉施設以外(業務しているサービスなど)に従事	分	分
(2) 業務準備(自身の身支度等の業務に向けての準備)	分	分
(3) 健康管理(バイタルサイン確認(入浴・リハビリ・デジコン時等の確認を除く)、健康状態確認(日当食話、声かけによる確認を含む))	分	分
(4) 診療の補助	分	分
(5) 移動の介助	分	分
(6) 居室、リビング等での見守り	分	分
(7) 食事介助(配膳、下膳含む)	分	分
(8) 排泄ケア	分	分
(9) 服薬介助(服薬の見守り、服薬状況の確認を含む)	分	分
(10) 口腔ケア	分	分
(11) 記録(リハビリ記録を除く)	分	分
(12) 会議 ※看取りに關するもの以外	分	分
(13) 連絡、調整	分	分
(14) 利用者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	分	分
(15) ナースコール対応	分	分
(16) 看取りへの関与	分	分
(17) 服薬管理(薬の区分け・与薬の準備、配布を含む)	分	分
(18) 巡視	分	分
(19) 更衣介助	分	分
(20) 休憩	分	分
(21) その他()	分	分
合計	分(※)	分(※)

※勤務時間と一致させる

問4. オンコール対応日（※）の状況についてお答えください
※17時から翌朝9時の間にオンコール対応を行い、呼び出しのあった日のうち、直近5日の状況についてお答えください。

①対応日	2014年()月()日()曜日
②一晚のオンコール回数	()回
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等(補助を含む) 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死に診断 6. 投与されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:) (3)対応に要した時間(合計) ()分
⑤対応内容(複数回答)	(1)利用者の状態(オンコールの理由) 1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他(具体的に:) (2)処置内容等(補助を含む) 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死に診断 6. 投与されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:) (3)対応に要した時間(合計) ()分

	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(オンコールの理由)	
3回目	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)	
	⑤対応内容(複数回答)	
	(2)処置内容等(補助を含む)	
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死に診察 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)	
	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(オンコールの理由)	
4回目	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)	
	⑤対応内容(複数回答)	
	(2)処置内容等(補助を含む)	
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死に診察 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)	

	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩のオンコール回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(オンコールの理由)	
5回目	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 脱嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)	
	⑤対応内容(複数回答)	
	(2)処置内容等(補助を含む)	
	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死に診察 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)	

問、普段あなたが担っている業務や役割についてお答えください【平成26年6月の状況】		
①喀痰吸引・胃ろうケアに関する介護職への指導・助言	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
②介護職員向け研修の実施(講師など)	⇒1. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
③他医療機関への連絡調整(主治医等)	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
④リハ職(PT・OT・ST等)との利用者に関する情報共有	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑤ケアマネジャーとの相談、連携	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑥ケアプランの作成、確認	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑦個別援助計画の作成、確認	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑧サービス担当者会議への参加	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑨ケアカンファレンスへの参加	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑩ケアカンファレンスの召集・連絡調整	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑪ケアカンファレンスの司会進行	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑫家族への連絡調整	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)
⑬利用者・家族からの相談対応	⇒1. 担当している ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	⇒1. 最も近い頻度を以下から選択(○は1つ)

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（看護職員票）

介護老人保健施設
投函締切 8/29(金)
他の調査票とご投函ください

問1、貴施設での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③職種	1. 看護師	2. 准看護師
④勤務日数	()日	うち、夜間勤務()日
⑤勤務時間	()時間	うち、夜間勤務()時間
⑥急変等発生時の対応件数および日数	()件	()日

問2、経歴年数についてお答えください

①経歴年数 ※ ()年 ()月 ()日 ()日 ()曜日

※継続していた期間については、含めないで下さい。

問3、夜間の勤務日（※）の業務内容についてお答えください（10分単位で記入してください）
※直近の勤務日についてお答えください。また、同時に複数の業務を行った場合は主に行ったもので
カウントしてください。

夜間の勤務日	2014年()月()日()曜日	
①開始時間	②終了時間	勤務時間（②-①）
(記入例) 17:00	9:00	960分
()	()	()分(☆)

業務内容		時間(10分単位)	件数(人数)
(1) 介護老人保健施設以外(兼務しているサービスなど)に従事		分	人
(2) 業務準備(自身の身支度等の業務に向けての準備)		分	人
(3) 健康管理(バイタルサイン確認(入浴・リハビリテーション時等の確認を除く)、健康状態確認(日常生活、声かけによる確認を含む))		分	人
(4) 診療の補助		分	人
(5) 移動の介助		分	人
(6) 居室、リビング等での見守り		分	人
(7) 食事介助(配膳、下膳含む)		分	人
(8) 排泄ケア		分	人
(9) 服薬介助(服薬の見守り、服薬状況の確認を含む)		分	人
(10) 口腔ケア		分	人
(11) 記録(リハビリ記録を除く)		分	人
(12) 安眠 ※看取りに関するもの以外		分	人
(13) 連絡・調整		分	人
(14) 利用者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外		分	人
(15) ナースコール対応		分	人
(16) 看取りへの関与		分	人
(17) 服薬管理(薬の区分け・与薬の準備、配付を含む)		分	人
(18) 巡視		分	人
(19) 更衣介助		分	人
(20) 休憩		分	人
(21) その他()		分	人
合計		分(☆)	人

※勤務時間☆と一致させる

問4、緊急対応（※）の状況についてお答えください
※17時から翌朝9時の間に緊急対応を行った日のうち、直近5回の状況についてお答えください。

①対応日	2014年()月()日()曜日	
②一晩で呼び出された回数	()回	
③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分	
④対応に要した時間(合計)	()分	
1回目	(1)利用者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・痙攣 6. 呼吸障害 7. 脱着 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 ()
	(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)
	⑤対応内容(複数回答)	()
	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩で呼び出された回数	()回
2回目	(1)利用者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・痙攣 6. 呼吸障害 7. 脱着 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 ()
	(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)
	⑤対応内容(複数回答)	()
	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩で呼び出された回数	()回

3回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩で呼び出された回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(緊急対応の理由) 1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 嘔吐 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:)	
4回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩で呼び出された回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(緊急対応の理由) 1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 嘔吐 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:)	

5回目	①対応日	2014年()月()日()曜日
	②一晩で呼び出された回数	()回
	③呼び出された時間	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
	④対応に要した時間(合計)	()分
	(1)利用者の状態(緊急対応の理由) 1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 嘔吐 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り期の対応 20. その他(具体的に:)	
	(2)処置内容等(補助を含む) 1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 薬生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)	

問5. 普段あなたが担っている業務や役割についてお答えください【平成26年6月の状況】		
①感染吸引・胃ろう等に関する介護職員への指導・助言	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
②介護職員向け研修の実施(講師など)	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
③他医療機関への連絡調整(主治医等)	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
④リハ職(P.T・O.T・S.T等)との利用者に関する情報共有	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
⑤ケアマネジャーとの相談、連携	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
⑥ケアプランの作成、確認	⇒ 1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 ()件	
⑦個別援助計画の作成、確認	⇒ 1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 ()件	
⑧サービス担当者会議への参加	⇒ 1. を回答した場合、参加率を以下から選択(○は1つ) 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上	
⑨ケアカンファレンスへの参加	⇒ 1. を回答した場合、参加率を以下から選択(○は1つ) 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上	
⑩ケアカンファレンスの召集・連絡調整	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
⑪ケアカンファレンスの司会進行	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
⑫家族への連絡調整	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	
⑬利用者・家族からの相談対応	⇒ 1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他	

問6. 施設内の看取り（終末期ケアや死亡確認）への関与についてお答えください（平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況）
※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをさします。

①看取り計画に関与した件数	()件
②施設内で看取りを行う上での課題について（複数回答）	1. 施設の方針として積極的でない 2. 医療機関との連携が悪い 3. 施設内の職員の連携が悪い 4. 看取りのための利用できる個室がない 5. 利用者を医療的に観察するための設備がない 6. 施設内で行える医療処置が少ない 7. 看取りを行うための人材が不足している 8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない 9. 施設全体として看取りの経験が不足している 10. 看取りを行うことで職員の仕事負担が増す 11. 看取りに係る事務負担が増す 12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している 13. 利用者およびその家族が施設内の看取りを望まない 14. 利用者の家族との連携が十分にとれない 15. その他 ()
③施設内の看取りに対するあなたの取り組み姿勢や意向についてお答えください	a)看取りに対する取り組み姿勢 b)看取りに関する施設の方針に対する満足度 c)医師の看取りへの関与に対する満足度 d)介護職員の看取りへの関与に対する満足度 e)看取りへの取り組みに対する今後の意向

1. 積極的	2. やや積極的	3. どちらでもない	4. やや消極的	5. 消極的
1. 満足	2. やや満足	3. どちらでもない	4. やや不満	5. 不満
1. 満足	2. やや満足	3. どちらでもない	4. やや不満	5. 不満
1. 積極的	2. やや積極的	3. どちらでもない	4. やや消極的	5. 消極的
1. 積極的	2. やや積極的	3. どちらでもない	4. やや消極的	5. 消極的

問7. 介護老人保健施設における看護職員の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

228

5

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（看護職員票）

投題締切 8/29(金)
他の調査票とご投題ください

③介護療養型医療施設

問1．貴院での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③職種	1. 看護師	2. 准看護師
④勤務日数	()日	うち、夜間勤務()日
⑤勤務時間	()時間	うち、夜間勤務()時間
⑥急変発生時の対応件数および日数	()件	うち、夜間帯()件
	()日	うち、夜間勤務日()日

問2．経験年数についてお答えください

①経験年数 ※	()年	うち介護分野での経験年数 ()年
---------	------	-------------------

※離職していた期間については、含めないで下さい。

問3．夜間の勤務日（※）の業務内容についてお答えください（10分単位で記入してください）

※直近の勤務日についてお答えください。また、同時に複数の業務を行った場合は主に行ったものでカウントしてください。

夜間の勤務日	2014年()月()日()曜日	
①開始時間	②終了時間	勤務時間(②-①)
(記入例) 17:00	9:00	960分
：	：	分(☆)

※下表の合計時間☆と一致させる

業務内容	時間(10分単位)	件数(人数)
(1) 介護療養型医療施設以外(兼務しているサービスなどに従事)	分	人
(2) 業務準備(自身の身支度等の業務に向けての準備)	分	人
(3) 看護管理(バイタルサイン確認・入浴・リハビリ・リネージン時等の確認を除く)、健康状態確認(日常生活、戸がけによる確認を含む)	分	人
(4) 診療の補助	分	人
(5) 移動の介助	分	人
(6) 居室、リビング等での見守り	分	人
(7) 食事介助(配膳、下膳含む)	分	人
(8) 排泄ケア	分	人
(9) 服薬介助(服薬の見守り、服薬状況の確認を含む)	分	人
(10) 口腔ケア	分	人
(11) 記録(リハビリ記録を除く)	分	件
(12) 会議 ※看取りに関するもの以外	分	分
(13) 連絡・調整	分	分
(14) 患者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	分	件
(15) ナースコール対応	分	件
(16) 看取りへの関与	分	件
(17) 服薬管理(薬の区分け・与薬の準備、配布を含む)	分	件
(18) 巡視	分	件
(19) 更衣介助	分	件
(20) 休憩	分	分
(21) その他()	分	分
合計	分(☆)	分(☆)

※勤務時間☆と一致させる

問4．緊急対応（※）の状況についてお答えください

※17時から翌朝9時の間に緊急対応を行った日のうち、直近の一日についてお答えください。

①緊急対応日	2014年()月()日()曜日	
②一晩で呼び出された回数	()回	
③対応開始時間(初回)	(1. 午後・2. 午前) ()時()分	
④対応に要した時間(合計)	()分	
(1)患者の状況(緊急対応の理由)	11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り時の対応 20. その他→(具体的に:)	
(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)	
⑤対応内容(複数回答)	(1)患者の状況(緊急対応の理由)	11. 腹痛 12. 便秘 13. 尿量減少 14. 点滴・カテーテル等の抜去 15. 転倒・転落 16. 不眠 17. せん妄 18. 吐血・下血 19. 看取り時の対応 20. その他→(具体的に:)
	(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)

	(1)患者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
	3回目	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)
⑤対応内容(複数回答)	(1)患者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
	4回目	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)

	(1)患者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
	5回目	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)

問5. 普段あなたが担っている業務や役割についてお答えください【平成26年6月の状況】

①喀痰吸引・胃ろう等に関する介護職員への指導・助言	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
②介護職員向け研修の実施(講師など)	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
③他医療機関への連絡調整(主治医等)	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
④リハ職(PT・OT・ST等)との患者に関する情報共有	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
⑤ケアマネジャーとの相談、連携	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
⑥ケアプランの作成、確認	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 ()件
⑦個別援助計画の作成、確認	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 ()件
⑧サビーズ担当者会議への参加	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、参加数を以下から選択(○は1つ) 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上
⑨ケアカンファレンスへの参加	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、参加数を以下から選択(○は1つ) 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上
⑩ケアカンファレンスの召集・連絡調整	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回
⑪ケアカンファレンスの司会進行	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回
⑫家族への連絡調整	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
⑬患者・家族からの相談対応	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他

問6. 貴院の介護療養病床での看取り（終末期ケアや死に確認）への関与についてお答えください
【平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況】
※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てターミナルケアを行う」ことをさします。

①看取り計画に関与した件数

()件

1. 貴院の方針として積極的でない

2. 他の医療機関との連携が難しい

3. 貴院内の職員の連携が難しい

4. 看取りのために利用できる施設がない

5. 患者を医師的に観察するための設備がない

6. 院内で行える医療処置が少ない

7. 看取りを行うための人材が不足している

8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない

9. 貴院全体として看取りの経験が不足している

10. 看取りを行うことで職員の精神的負担が増す

11. 看取りに係る事務負担が増す

12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している

13. 患者およびその家族が院内の看取りを望まない

14. 患者の家族との連携が十分にとれない

15. その他

②貴院の介護療養病床で看取りを行う上での課題について
(複数回答)

a) 看取りに対する取り組み姿勢

1. 積極的

2. やや積極的

3. どちらでもない

4. やや消極的

5. 消極的

b) 看取りに関する貴院の方針に対する満足度

1. 満足

2. やや満足

3. どちらでもない

4. やや不満

5. 不満

c) 医師の看取りへの関与に対する満足度

1. 満足

2. やや満足

3. どちらでもない

4. やや不満

5. 不満

d) 介護職員の看取りへの関与に対する満足度

1. 積極的

2. やや積極的

3. どちらでもない

4. やや消極的

5. 消極的

e) 看取りへの取り組みに対する今後の意向

1. 積極的

2. やや積極的

3. どちらでもない

4. やや消極的

5. 消極的

問7. 介護療養型医療施設における看護職員の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査
従事者票（看護職員票）

投函締切 8/29(金)
他の調査票とご投函ください

④医療療養病床

問1．貴院での勤務状況についてお答えください（平成26年6月の状況）

①勤務形態	1. 常勤	2. 非常勤
②就業形態	1. 専従	2. 兼務
③職種	1. 看護師	2. 准看護師
④勤務日数	()日	うち、夜間勤務()日
⑤勤務時間	()時間	うち、夜間勤務()時間
⑥急変発生時の対応件数および日数	()件	うち、夜間帯 ()件
	()日	うち、夜間勤務日 ()日

問2．経験年数についてお答えください

①経験年数 ※	()年	うち介護分野での経験年数 ()年
---------	------	-------------------

※離職していた期間については、含めないで下さい。

問3．夜間の勤務日（※）の業務内容についてお答えください（10分単位で記入してください）

※直近の勤務日についてお答えください。また、同時に複数の業務を行った場合は主に行ったものでカウントしてください。

夜間の勤務日	2014年()月()日()曜日	
①開始時間	②終了時間	勤務時間(②-①)
(記入例) 17:00	9:00	960分
：	：	分(☆)

※下表の合計時間☆に一致させる

業務内容	時間(10分単位)	件数(人数)
(1) 医療療養病床以外に従事	分	人
(2) 業務準備(自身の身支度等の業務に向けての準備)	分	人
(3) 健康管理(バイタルサイン確認(入浴・リハビリ・リネージン時等の確認を除く)、健康状態確認(日常生活、戸がけによる確認を含む))	分	人
(4) 診療の補助	分	人
(5) 移動の介助	分	人
(6) 居室、リビング等での見守り	分	人
(7) 食事介助(配膳、下膳含む)	分	人
(8) 排泄ケア	分	人
(9) 服薬介助(服薬の見守り、服薬状況の確認を含む)	分	人
(10) 口腔ケア	分	人
(11) 記録(リハビリ記録を除く)	分	件
(12) 会議 ※看取りに関するもの以外	分	分
(13) 連絡・調整	分	分
(14) 患者・家族への対応 ※看取りに関するもの以外	分	件
(15) ナースコール対応	分	件
(16) 看取りへの関与	分	件
(17) 服薬管理(薬の区分け・与薬の準備、配布を含む)	分	件
(18) 巡視	分	件
(19) 更衣介助	分	件
(20) 休憩	分	分
(21) その他()	分	分
合計	分(☆)	分(☆)

※勤務時間☆に一致させる

問4．緊急対応（※）の状況についてお答えください

※17時から翌朝9時の間に緊急対応を行った日のうち、直近の一日についてお答えください。

①緊急対応日	2014年()月()日()曜日
②一晩で呼び出された回数	()回
③対応開始時間(初回)	(1. 午後・2. 午前) ()時()分
④対応に要した時間(合計)	()分

(1)患者の状態(緊急対応の理由)

1. バイタルサインの低下	11. 腹痛
2. 発熱	12. 便秘
3. 意識障害	13. 尿量減少
4. 頭痛	14. 点滴・カテーテル等の抜去
5. けいれん・麻痺	15. 転倒・転落
6. 呼吸障害	16. せん妄
7. 胸痛	17. せん妄
8. 嘔吐	18. 吐血・下血
9. 不整脈	19. 看取り時の対応
10. 嘔気・嘔吐	20. その他(具体的に:)

(2)処置内容等(補助を含む)

1. 診察	9. 画像検査
2. 創傷処置(縫合を伴う処置)	10. 酸素投与
3. 創傷処置(縫合以外の処置)	11. 投薬(輸液を除く)
4. 蘇生処置	12. 輸液
5. 看取り・死亡診断	13. 緊急手術(内科的手術を含む)
6. 抜去されたカテーテル類の再留置	14. 医師への連絡・相談
7. 血液検査	15. 他医療機関へ搬送
8. 心電図検査	16. その他(具体的に:)

(1)患者の状態(緊急対応の理由)

1. バイタルサインの低下	11. 腹痛
2. 発熱	12. 便秘
3. 意識障害	13. 尿量減少
4. 頭痛	14. 点滴・カテーテル等の抜去
5. けいれん・麻痺	15. 転倒・転落
6. 呼吸障害	16. せん妄
7. 胸痛	17. せん妄
8. 嘔吐	18. 吐血・下血
9. 不整脈	19. 看取り時の対応
10. 嘔気・嘔吐	20. その他(具体的に:)

(2)処置内容等(補助を含む)

1. 診察	9. 画像検査
2. 創傷処置(縫合を伴う処置)	10. 酸素投与
3. 創傷処置(縫合以外の処置)	11. 投薬(輸液を除く)
4. 蘇生処置	12. 輸液
5. 看取り・死亡診断	13. 緊急手術(内科的手術を含む)
6. 抜去されたカテーテル類の再留置	14. 医師への連絡・相談
7. 血液検査	15. 他医療機関へ搬送
8. 心電図検査	16. その他(具体的に:)

	3回目	(1)患者の状態(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
		(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 16. その他(具体的に:)
⑤対応内容(複数回答)	4回目	(1)患者の状況(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
		(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)

	5回目	(1)患者の状況(緊急対応の理由)	1. バイタルサインの低下 2. 発熱 3. 意識障害 4. 頭痛 5. けいれん・麻痺 6. 呼吸障害 7. 誤嚥 8. 胸痛 9. 不整脈 10. 嘔気・嘔吐 20. その他→(具体的に:)
		(2)処置内容等(補助を含む)	1. 診察 2. 創傷処置(縫合を伴う処置) 3. 創傷処置(縫合以外の処置) 4. 蘇生処置 5. 看取り・死亡診断 6. 抜去されたカテーテル類の再留置 7. 血液検査 8. 心電図検査 9. 画像検査 10. 酸素投与 11. 投薬(輸液を除く) 12. 輸液 13. 緊急手術(内科的手術を含む) 14. 医師への連絡・相談 15. 他医療機関へ搬送 16. その他(具体的に:)
問5. 普段あなたが担っている業務や役割についてお答えください【平成26年6月の状況】			
		(1)喀痰吸引・胃ろう等に関する介護職員への指導・助言	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
		(2)介護職員向け研修の実施(講師など)	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
		(3)他医療機関への連絡調整(主治医等)	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
		(4)リハ職(PT・OT・ST等)との患者に関する情報共有	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
		(5)ケアマネジャーとの相談、連携	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回 5. その他
		(6)ケアプランの作成、確認	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 2. 担当していない ⇒ ()件
		(7)個別援助計画の作成、確認	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、担当件数を以下に記入 2. 担当していない ⇒ ()件
		(8)サビーズ担当者会議への参加	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、参加数を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上
		(9)ケアカンファレンスへの参加	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、参加数を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 2割未満 2. 2割～5割未満 3. 5割～8割未満 4. 8割以上
		(10)ケアカンファレンスの召集・連絡調整	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回
		(11)ケアカンファレンスの司会進行	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回
		(12)家族への連絡調整	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回
		(13)患者・家族からの相談対応	1. 担当している ⇒ ⇒1. を回答した場合、最も近い頻度を以下から選択(○は1つ) 2. 担当していない ⇒ 1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月1回

問6. 貴院の医療療養病床での看取り（終末期ケアや死に確認）への関与についてお答えください
【平成26年1月～平成26年6月の6ヶ月間の状況】
※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てターミナルケアを行う」ことをさします。

①看取り計画に関与した件数

()件

1. 貴院の方針として積極的でない

2. 他の医療機関との連携が難しい

3. 貴院内の職員の連携が難しい

4. 看取りのために利用できる施設がない

5. 患者を医師的に観察するための設備がない

6. 院内で行える医療処置が足りない

7. 看取りを行うための人材が不足している

8. 看取りを行うための夜間の体制が十分でない

()

9. 貴院全体として看取りの経験が不足している

10. 看取りを行うことで職員の精神的負担が増す

11. 看取りに係る事務負担が増す

12. 研修等を通じた知識・技術の習得が不足している

13. 患者およびその家族が院内の看取りを望まない

14. 患者の家族との連携が十分にとれない

15. その他

②貴院の医療療養病床で看取りを行う上での課題について
(複数回答)

a) 看取りに対する取り組み姿勢に対する満足度

1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的

b) 看取りに関する貴院の方針に対する満足度

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

c) 医師の看取りへの関与に対する満足度

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

d) 介護職員の看取りへの関与に対する満足度

1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的

e) 看取りへの取り組みに対する今後の意向

1. 積極的 2. やや積極的 3. どちらでもない 4. やや消極的 5. 消極的

問7. 医療療養病床における看護職員の関与・役割に対するご意見をお聞かせください（自由回答）

■■■■ご協力ありがとうございました■■■■

234

5

医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査

利用者票
(①介護老人福祉施設)

口記入にあたってのご注意

- ・この利用者票は看護職員の方が、必要に応じ施設長、配置医、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。
- ・特に指定の無い限り、記入当日時点の状況についてご回答下さい。
- ・特に指定の無い限り、現状該の番号のいずれか1つを選んで○をつけてください。太枠内には数字を記入してください。
- ・本調査は、医療機関、介護施設を利用する方々の横断的な調査であるため、貴施設に該当しない選択肢があり得ますが、最も適当と考えられるものについて記入してください。

口本調査票に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」
株式会社三義総合研究所
電話:0120-966-025(平日9時30分～17時30分)
FAX:03-5157-2143(24時間受付)
メール:iryoushoku26@miri.co.jp
※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

投函締切:8/29(金)
他の調査票をご投函ください

I 利用者の基本情報

運番記入欄:	
※提出する票を区別する運番をご記入ください。	
問1. 性別	1. 男 2. 女
問2. 年齢	満()歳(2014年6月30日時点)
問3. 入所日	西暦()年()月
問4. 入所前の世帯構成(○は1つ)	1. 単独世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他同居 問4-1「3. その他同居」の場合、世帯員の年齢構成(○は1つ) ↓ 1. 65歳以上のみ 2. それ以外
問5. 入所前の場所(○は1つ)	1. 自宅 4. 介護療養型医療施設 7. その他の病棟(病床) 2. 一般病棟(病床) 5. 介護老人福祉施設 8. その他の介護施設・事業所 3. 医療療養病棟(病床) 6. 介護老人保健施設 9. 1～6以外()
問6. 自宅の介護力(○は1つ)	1. 日中、夜間ともに介護を出来る人がいる 4. 日中、夜間とも介護を出来る人がいる 2. 日中のみ、介護を出来る人がいる 5. 不明 3. 夜間のみ、介護を出来る人がいる 6. その他()
問7. 入所の理由(該当すべてに○)	1. 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 2. 継続的に高度な医療管理が必要のため 3. 疾病の急性期状態が安定したため 4. 機能訓練が必要のため 5. 医療施設もしくは他の介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 6. 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療および介護サービスが確保できないため 7. 在宅療養でも対応できるが、現在の住まいでは生活が困難であるため 8. 在宅療養でも対応できるが、家族が介護困難または不在のため 9. 上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため 10. その他()

II 利用者の状態等

問8. 有している傷病病(該当すべてに○)	1. 高血圧 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 12. 血液・免疫の病気 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 8. 腎臓・前立腺の病気 13. うつ病 3. 心臓病 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 14. パーキンソン病 4. 糖尿病 10. 外傷(転倒・骨折等) 15. 目の病気 5. 高脂血症(脂質異常) 11. がん(新生物) 16. 耳の病気 6. 肺・気管支等の呼吸器の病気 17. その他() 18. ない
1～17を複数選択した場合、主傷病と副傷病を1つずつ選び番号を記入。 (1)主傷病(1つ) () (2)副傷病(1つ) ()	

問9. 認知症の有無(○は1つ)	1. 認知症あり ↓ 問9-1「1. 認知症あり」の場合は、周辺症状の状況について記入。 (該当するすべてに○) 1. 幻覚 4. 抑うつ 7. 暴言 10. わめく 2. 妄想 5. 誤認 8. 暴力 11. その他() 3. ゼン妄 6. 無気力 9. 徘徊
問10. 今後30日間の病状見通し(○は1つ)	1. 治癒 3. 不変 5. ターミナルケアを実施する状態 2. 軽快 4. 悪化
問11. 要介護度(○は1つ)	1. 要介護1 3. 要介護3 5. 要介護5 2. 要介護2 4. 要介護4 6. 未申請及び申請中
問12. 障害高齢者の日常生活自立度(○は1つ)	＜別添の記入要領を確認のうえ、記入してください＞ 1. 自立 5. A2 8. C1 2. J1 6. B1 9. C2 3. J2 7. B2 10. 不明 4. A1
問13. 認知症高齢者の日常生活自立度(○は1つ)	＜別添の記入要領を確認のうえ、記入してください＞ 1. 自立 4. IIb 7. IV 2. I 5. IIIa 8. M 3. IIa 6. IIIb 9. 不明
問14. 医療区分(○は1つ)	＜別添の記入要領を確認のうえ、記入してください＞ 1. 医療区分1 3. 医療区分3 2. 医療区分2 4. 不明
問15. ADL(それぞれ○は1つ)	①移動 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ②食事 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ③排泄 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ④入浴 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ⑤着替え 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 1. 痛みがある 2. 痛みはない 3. 不明 ↓ 問16-1「1. 痛みがある」の場合、日常生活の支障の有無(○は1つ) 1. 支障がある 2. 支障はない
問16. 痛みの有無(○は1つ)	1. 支障がある 2. 支障はない

III 受療状況

問17-1 平成26年1～6月における入院の有無	①有無 1. あり 2. なし ②回数 ()回 ③延べ日数 ()日
問17-2 平成26年6月における通院の有無	①有無 1. あり 2. なし ②延べ通院回数 ()回 ③診療科(該当すべてに○) 1. 内科 6. 眼科 2. 外科 7. 歯科 3. 泌尿器科 8. 耳鼻科 4. 整形外科 9. 皮膚科 5. 精神科 10. その他()
問17. 対診の状況	①有無 1. あり 2. なし ②延べ受療回数 ()回 ③診療科(該当すべてに○) 1. 内科 6. 眼科 2. 外科 7. 歯科 3. 泌尿器科 8. 耳鼻科 4. 整形外科 9. 皮膚科 5. 精神科 10. その他()

問17. 対応の状況 (つづき)	①有無	1. あり 2. なし
	問17-4 平成26年6月における往診の有無 ※配置医による定期的な訪問以外の訪問による診療に○	2. 延べ受検回数 () 回 1. 内科 2. 外科 3. 診療科 (該当すべてに○) 4. 泌尿器科 5. 整形外科 6. 眼科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. 皮膚科 10. その他() 14. カテーテル・インリン注射 留置カテーテル等の管理 15. 喀痰吸引 16. ネブライザー 17. 創傷処置(褥瘡を除く) 18. 服薬管理 ※ 19. レスベレーター(人工呼吸器)の管理 20. 摘便 21. 浣腸 22. 9のうら、麻薬を用いるもの 23. その他() 12. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)24. なし 13. 褥瘡の処置
問18. 現在受けている治療 (該当するすべてに○)		
問19. 機能訓練指導員による個別機能訓練 (○は1つ)	問19-1 「1. 受けている」を選択した場合、その頻度と1回当たりの平均時間 平均() 回/週 1回当たりの平均時間() 分/回 1. 肺炎 2. リハビリテーションが必要な疾患 3. 尿路感染症 4. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要なもの) 5. 悪性腫瘍(余命3か月以内) 6. 帯状疱疹 (注)インスリンの点滴注射を必要とするものに限り、JH14c1 120mg/dL以上) 7. JH14c1 5(腹水貯留、NH4c1 120mg/dL以上) 8. 心不全(高度非代償性) 9. 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 10. 脊髄損傷(頸髄損傷) 11. 難病(スモンを除く) 12. スモン 13. その他() 14. なし	
問20 (1) 罹患している疾患 (該当するすべてに○)		
問20 (2) 現在受けている状態 (該当するすべてに○)	1. 脱水かつ発熱を伴う状態 2. 体内出血 3. 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 4. 褥瘡 5. 末梢循環障害による下肢末端潰瘍 6. せん妄 () 種類	

IV 今後の生活・療養の場の見通し等 ※想定できる範囲で記入してください。

問22. 利用者に必要と考える医療の水準 (○は1つ)	1. 入院医療が必要 2. 在宅医療があれば対応可能 3. 外来医療で対応可能 4. 不要
問23. 利用者に必要と考える介護の水準 (○は1つ)	問23-1 「1. を選んだ場合、その理由(該当する全てに○)」 1. 高度な医療処置 2. 常時又は頻回な医療処置 3. 医師による常時又は頻繁な評価 4. その他 1. 施設への入所が必要 2. 居宅サービスの利用で対応可能 3. ほぼ不要

問24. 最も適切と考えられる生活・療養の場 (○は1つ)	※利用者の医療・介護ニーズを踏まえ、現在の生活・療養場所に関わらず、利用者にとって最適な場所を選択。 1. 自宅(家族等との同居も含む) 2. 介護老人福祉施設(特別養老ホーム) 3. 介護老人保健施設 4. その他の介護施設 5. 一般病棟(自院・他院を問わず) 6. 医療療養病棟(自院・他院を問わず) 7. 介護療養型医療施設(自院・他院を問わず) 8. その他の病棟(自院・他院を問わず) 9. その他 ()
問25. 今後の生活・療養の場の見通し (○は1つ)	1. 現時点で、問24で回答した場所での生活・療養する見通しが立っている 2. 現時点で、問24で回答した場所での生活・療養する見通しが立っていない。 問25-1 「2. と回答した場合、その理由(該当する全てに○)」 1. 最も適切な施設に、空床がないため 2. 最も適切な場所では、認知症への対応が困難なため 3. 最も適切な場所では、医療処置(喀痰吸引、経管栄養等)が提供できないため 4. 最も適切な場所では、その他必要な医療を提供する体制(訪問診療、訪問看護等)が確保できないため 5. 最も適切な場所では、必要な介護サービスの確保できないため 6. 最も適切な場所では、夜間に必要な医療・介護サービスの確保できないため 7. 最も適切な場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 8. 最も適切な場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 9. 本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため 10. 経済的事情があるため 11. その他()

V 利用者本人および家族の希望

問26. 今後の生活の場に関する本人の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 医療機関での療養を希望 6. 貴施設以外の介護施設での療養を希望 7. その他 ()
問27. 今後の生活の場に関する家族の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 医療機関での療養を希望 6. 貴施設以外の介護施設での療養を希望 7. その他 ()
問28. 看取りの場に関する本人の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での看取りを希望 4. 自宅での看取りを希望 5. 医療機関での看取りを希望 6. 貴施設以外の介護施設での看取りを希望 7. その他 ()
問29. 看取りの場に関する家族の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での看取りを希望 4. 自宅での看取りを希望 5. 医療機関での看取りを希望 6. 貴施設以外の介護施設での看取りを希望 7. その他 ()
※本調査における「看取り」とは「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをさします。	

利用者票は以上です。 ご協力ありがとうございました。

医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査

利用者票
(②介護老人保健施設)

□記入にあたってのご注意

- ・この利用者票は看護職員の方が、必要に応じ医師、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。
- ・特に指定の無い限り、**記入当日時点の状況についてご回答下さい。**
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号のいずれか1つを選んで○をつけてください。太枠内には数字を記入してください。
- ・**本調査は、医療機関、介護施設を利用する方々への横断的な調査であるため、貴施設に該当しない選択肢があり得ますが、最も適当と考えられるものについて記入してください。**

□本調査票に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実施および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」
株式会社三菱総合研究所
電話：0120-966-025(平日9時30分～17時30分)
FAX: 03-5157-2143(24時間受付)
メール: inyoushoku28@mrco.jp
※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

投票締切：8/29(金)

他の調査票をご返送ください

I 利用者の基本情報

運番記入欄:	
※提出する票を区別する運番をご記入ください。	
問1. 性別	1. 男 2. 女
問2. 年齢	満 () 歳 (2014年6月30日時点)
問3. 入所日	西暦 () 年 () 月
問4. 入所前の世帯構成 (○は1つ)	1. 単独世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他同居 問4-1「3. その他同居」の場合、世帯員の年齢構成 (○は1つ) ↓ 1. 65歳以上のみ 2. それ以外
問5. 入所前の場所 (○は1つ)	1. 自宅 4. 介護療養型医療施設 7. その他の病棟 (病棟) 2. 一般病棟 (病棟) 5. 介護老人福祉施設 8. その他の介護施設・事業所 3. 医療療養病棟 (病棟) 6. 介護老人保健施設 9. 1～8以外 ()
問6. 自宅の介護力 (○は1つ)	1. 日中、夜間ともに介護を出来る人がいる 4. 日中、夜間とも介護を出来る人がいる 2. 日中のみ、介護を出来る人がいる 5. 不明 3. 夜間のみ、介護を出来る人がいる 6. その他 ()
問7. 入所の理由 (該当すべてに○)	1. 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 2. 継続的に高度な医療管理が必要のため 3. 疾病の急性期状態が安定したため 4. リハビリテーションが必要のため 5. 医療施設もしくは他の介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 6. 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療および介護サービスが確保できないため 7. 在宅療養でも対応できるが、現在の住まいでは生活が困難であるため 8. 在宅療養でも対応できるが、家族が介護困難または不在のため 9. 上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため 10. その他 ()

II 利用者の状態等

問8. 有している傷病 (該当すべてに○)	1. 高血圧 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 12. 血液・免疫の病気 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 8. 腎臓・前立腺の病気 13. うつ病 3. 心臓病 9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) 14. パーキンソン病 4. 糖尿病 10. 外傷 (転倒・骨折等) 15. 目の病気 5. 高脂血症 (脂質異常) 11. がん (新生物) 16. 耳の病気 6. 肺炎・気管支炎等の呼吸器の病気 17. その他 () 18. ない
↓	
1～17を複数選択した場合、主傷病と副傷病を1つずつ選び番号を記入。	
(1)主傷病(1つ) () (2)副傷病(1つ) ()	

問9. 認知症の有無 (○は1つ)	1. 認知症あり ↓ 問9-1「1. 認知症あり」の場合は、周辺症状の状況について記入。 (該当するすべてに○)	2. 認知症なし
	1. 幻覚 2. 妄想 3. せん妄 4. 抑うつ 5. 暴言 6. 無力 7. 暴力 8. 徘徊 9. その他 ()	
問10. 今後30日間の病状見通し (○は1つ)	1. 治癒 2. 不変 3. 悪化 4. 悪化 5. ターミナルケアを実施する状態	
問11. 要介護度 (○は1つ)	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 未申請及び申請中	
問12. 障害高齢者の日常生活自立度 (○は1つ)	1. 自立 2. Ⅰ 3. Ⅱa 4. Ⅱb 5. A2 6. B1 7. B2 8. C1 9. C2 10. 不明	
問13. 認知症高齢者の日常生活自立度 (○は1つ)	1. 自立 2. Ⅰ 3. Ⅱa 4. Ⅱb 5. A2 6. B1 7. B2 8. C1 9. C2 10. 不明	
問14. 医療区分 (○は1つ)	1. 医療区分1 2. 医療区分2 3. 医療区分3 4. 不明	
問15. ADL (それぞれ○は1つ)	①移動 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ②食事 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ③排泄 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ④入浴 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ⑤着替え 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 1. 痛みがある 2. 痛みはない 3. 不明	
問16. 痛みの有無 (○は1つ)	↓ 問16-1「1. 痛みがある」の場合、日常生活の支障の有無 (○は1つ) 1. 支障がある 2. 支障はない	

III 受療状況

問17. 対診の状況	①有無 1. あり 2. なし ↓ 「あり」の場合、②、③に詳細をご記入ください。	②延べ通院回数 () 回 ③診療科 (該当すべてに○) 1. 内科 2. 外科 3. 泌尿器科 4. 整形外科 5. 皮膚科 6. 眼科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. 産婦科 10. その他 ()
	問17-1 平成26年6月における通院の有無 ①有無 1. あり 2. なし ↓ 「あり」の場合、②、③に詳細をご記入ください。	②延べ受療回数 () 回 ③診療科 (該当すべてに○) 1. 内科 2. 外科 3. 泌尿器科 4. 整形外科 5. 皮膚科 6. 眼科 7. 歯科 8. 耳鼻科 9. 産婦科 10. その他 ()

1. 血糖測定・インスリン注射	14. カテーテル(ポンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理
2. 静脈内注射	15. 喀痰吸引
3. 中心静脈栄養の管理	16. ネブライザー
4. 透析(在宅自己腹膜透析を含む)の管理	17. 創傷処置(褥瘡を除く)
5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	18. 服薬管理 ※
6. 酸素療法	19. 認知症に関する専門的ケア
7. レスビレーター(人工呼吸器)の管理	20. 排便
8. 気管切開のケア	21. 泣瀉
9. 疼痛の管理	22. 90のうち、座薬を用いるもの
10. 90のうち、座薬を用いるもの	23. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)
11. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	24. その他()
12. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	24. なし
13. 褥瘡の処置	

※本調査における「服薬管理」は、経口薬、塗布薬・貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等を行います。

問18. 現在受けている治療(該当するすべてに○)	1. 肺炎 2. リハビリテーションが必要な疾患 3. 尿路感染症 4. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要なもの) 5. 悪性腫瘍(余命3か月以内) 6. 帯状疱疹 7. 肺炎(全)の点滴注射を必要とするものに限る 8. その他() 9. その他()
---------------------------	---

問19. リハビリ専門職等による個別リハビリテーション(○は1つ)	1. 個別リハビリテーションを受けている 2. 個別リハビリテーションを受けていない
-----------------------------------	---

問20 (1) 罹患している疾患(該当するすべてに○)	1. 肺炎 2. リハビリテーションが必要な疾患 3. 尿路感染症 4. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要なもの) 5. 悪性腫瘍(余命3か月以内) 6. 帯状疱疹 7. 肺炎(全)の点滴注射を必要とするものに限る 8. その他() 9. その他()
-----------------------------	---

問20 (2) 現在見られる状態(該当するすべてに○)	1. 脱水かつ発熱を伴う状態 2. 体内出血 3. 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 4. 褥瘡 5. 末梢循環障害による下肢末端開放創 6. その他()
-----------------------------	---

問21. 内服薬の種類()	1. 脱水かつ発熱を伴う状態 2. 体内出血 3. 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 4. 褥瘡 5. 末梢循環障害による下肢末端開放創 6. その他()
----------------	---

IV 今後の生活・療養の場の見通し等 ※想定できる範囲で記入してください。

問22. 利用者に必要と考える医療の水準(○は1つ)	1. 入院医療が必須 2. 在宅医療があれば対応可能 3. 外来医療で対応可能 4. 不要
----------------------------	--

問21-1-1. を選んだ場合、その理由(該当するすべてに○)	1. 高度な医療処置 2. 常時又は頻回な医療処置 3. 医師による常時又は頻繁な評価 4. その他
---------------------------------	---

問23. 利用者に必要と考える介護の水準(○は1つ)	1. 施設への入所が必要 2. 居宅サービスの利用で対応可能 3. ほぼ不要
----------------------------	--

問24. 最も適切と考えられる生活・療養の場(○は1つ)	※利用者の医療・介護ニーズを踏まえ、現在の生活・療養場所に関わらず、利用者にとって最適な場所を選択。 1. 自宅(家族等との同居も含む) 2. 介護老人福祉施設(特別養老ホーム) 3. 介護老人保健施設 4. その他の介護施設 5. 一般病棟(自院・他院を問わず) 6. 医療療養病棟(自院・他院を問わず) 7. 介護療養型医療施設(自院・他院を問わず) 8. その他の病棟(自院・他院を問わず) 9. その他()
------------------------------	---

問25. 今後の生活・療養の場の見通し(○は1つ)	1. 現時点で、問24で回答した場所での生活・療養する見通しが立っている 2. 現時点で、問24で回答した場所での生活・療養する見通しが立っていない
---------------------------	---

問25-1-1. 2. と回答した場合、その理由(該当するすべてに○)	1. 最も適切な施設に、空床がないため 2. 最も適切な場所では、認知症への対応が困難なため 3. 最も適切な場所では、医療処置(喀痰吸引、経管栄養等)が提供できないため 4. 最も適切な場所では、その他必要な医療を提供する体制(訪問診療、訪問看護等)が確保できないため 5. 最も適切な場所では、必要な介護サービスが確保できないため 6. 最も適切な場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 7. 最も適切な場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 8. 最も適切な場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 9. 本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため 10. 経済的事情があるため 11. その他()
-------------------------------------	---

V 利用者本人および家族の希望

問26. 今後の生活の場に関する本人の希望(○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 医療機関での療養を希望 6. 貴施設以外の介護施設での療養を希望 7. その他()
-----------------------------	---

問27. 今後の生活の場に関する家族の希望(○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 医療機関での療養を希望 6. 貴施設以外の介護施設での療養を希望 7. その他()
-----------------------------	---

問28. 看取りの場に関する本人の希望(○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での看取りを希望 4. 自宅での看取りを希望 5. 医療機関での看取りを希望 6. 貴施設以外の介護施設での看取りを希望 7. その他()
---------------------------	---

問29. 看取りの場に関する家族の希望(○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴施設での看取りを希望 4. 自宅での看取りを希望 5. 医療機関での看取りを希望 6. 貴施設以外の介護施設での看取りを希望 7. その他()
---------------------------	---

※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得て介護を行う」ことをさします。

利用希望は以上です。 ご協力ありがとうございました。

医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査

利用者票
(③介護療養型医療施設)

□記入にあたってのご注意

- ・この患者票は、介護療養型施設を利用する方について記入してください。
- ・この患者票は看護職員の方が、必要に応じて医師、介護職員の方々とご相談のうえ、記入してください。
- ・特に指定の無い限り、記入当日時点の状況についてご回答下さい。
- ・指定の無い限り、選択肢の番号のいずれか1つを選んで○をつけてください。太枠内には数字を記入してください。
- ・本調査は、医療機関、介護施設を利用する方々への横断的な調査であるため、貴施設に該当しない選択肢があり得ますが、最も適当と考えられるものについて記入してください。

□本調査票に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」

株式会社三菱総合研究所
電話：0120-966-025（平日9時30分～17時30分）
FAX：03-6157-2143（24時間受付）
メール：iryoushoku26@mi.co.jp
※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

投函窓口：8/29(金)
他の調査票とご郵送ください

I 患者の基本情報

連番記入欄：	
※提出する票を区別する番号を記入ください。	
問1. 性別	1. 男 2. 女
問2. 年齢	満()歳(2014年6月30日時点)
問3. 入院日	西暦()年()月()日
問4. 入院前の世帯世帯構成(○は1つ)	1. 単独世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他同居 問4-1「3. その他同居」の場合、世帯員の年齢構成(○は1つ) ↓ 1. 65歳以上のみ 2. それ以外 3. その他同居
問5. 入院前の場所(○は1つ)	1. 自宅 4. 介護療養型医療施設 7. その他の病棟(病棟) 2. 一般病棟(病棟) 5. 介護老人福祉施設 8. その他の介護施設・事業所 3. 医療療養病棟(病棟) 6. 介護老人保健施設 9. 1～8以外()
問6. 自宅の介護力(○は1つ)	1. 日中、夜間ともに介護を出来る人がいない 4. 日中、夜間とも介護を出来る人がいる 2. 日中のみ、介護を出来る人がいる 5. 不明 3. 夜間のみ、介護を出来る人がいる 6. その他()
問7. 入院理由(該当すべてに○)	1. 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 2. 継続的に高度な医療管理が必要のため 3. 疾病の急性期状態が安定したため 4. リハビリテーションが必要のため 5. 医療施設もしくは他の介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 6. 在宅療養でも対応できるが、必要が在宅医療および介護サービスが確保できないため 7. 在宅療養でも対応できるが、現在の住まいでは生活が困難であるため 8. 在宅療養でも対応できるが、家族が介護困難または不在のため 9. 上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため 10. その他()

II 患者の状態等

問4. 入院前の状態等(該当すべてに○)	1. 高血圧 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 12. 血液・免疫の病気 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 8. 腎臓・胆立腺の病気 13. うつ病 3. 心臓病 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節痛等) 14. パーキンソン病 4. 糖尿病 10. 外傷(転倒・骨折等) 15. 目の病気 5. 高脂血症(脂質異常) 11. がん(新生物) 16. 耳の病気 6. 肺病・気管支炎等の呼吸器の病気 17. その他() 18. ない
問8. 有している傷病(該当すべてに○)	1. 主傷病(1つ) () (2) 副傷病(1つ) ()
1～17を複数選択した場合、主傷病と副傷病を1つずつ選び番号を記入。	

問9. 認知症の有無(○は1つ)	1. 認知症あり ↓ 問9-1「1. 認知症あり」の場合は、周辺症状の状況について記入。 (該当するすべてに○) 1. 幻覚 4. 抑うつ 7. 暴言 10. わめく 2. 妄想 5. 誤認 8. 暴力 11. その他() 3. せん妄 6. 無気力 9. 徘徊
問10. 今後30日間の病状見通し(○は1つ)	1. 治癒 3. 不変 5. ターミナルケアを実施する状態 2. 軽快 4. 悪化 6. 未申請及び申請中
問11. 要介護度(○は1つ)	1. 要介護1 3. 要介護3 5. 要介護5 2. 要介護2 4. 要介護4 6. 未申請及び申請中
問12. 障害高齢者の日常生活自立度(○は1つ)	<別添の記入要領を確認のうえ、記入してください> 1. 自立 5. A2 9. C1 2. II 6. B1 9. C2 3. II 7. B2 10. 不明 4. AI
問13. 認知症高齢者の日常生活自立度(○は1つ)	<別添の記入要領を確認のうえ、記入してください> 1. 自立 4. IIb 7. IV 2. I 5. IIIa 8. M 3. IIa 6. IIIb 9. 不明
問14. 医療区分(○は1つ)	<別添の記入要領を確認のうえ、記入してください> 1. 医療区分1 3. 医療区分3 2. 医療区分2 4. 不明
問15. ADL(それぞれ○は1つ)	①移動 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ②食事 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ③排泄 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ④入浴 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 ⑤着替え 1. 自立 2. 見守り 3. 一部介助 4. 全介助 1. 痛みがある 2. 痛みはない 3. 不明 ↓ 問16-1「1. 痛みがある」の場合、日常生活の支障の有無(○は1つ) 1. 支障がある 2. 支障はない

III 受療状況

問17. 現在受けている治療(該当するすべてに○)	1. 血糖測定・インスリン注射 14. カテーテル(点滴・点滴カテーテル、留置カテーテル等)の管理 2. 静脈内注射 留置カテーテル等の管理 3. 中心静脈栄養の管理 15. 喀痰吸引 4. 透析(在宅自己腹膜透析を含む)の管理 16. ネブライザー 5. ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理 17. 創傷処置(褥瘡を除く) 6. 酸素療法 18. 服薬管理 ※ 7. レスビレーター(人工呼吸器)の管理 19. 認知症に関する専門的ケア 8. 気管切開のケア 20. 嚥食 9. 褥瘡の管理 21. 浣腸 10. 90のうち、麻薬を用いるもの 22. 一時的導尿 11. 経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む) 23. その他() 12. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) 24. なし 13. 褥瘡の処置
問18. リハビリ専門職等による個別リハビリテーション(○は1つ)	※本調査における「服薬管理」は、経口薬・塗布薬・貼付薬、点眼薬・点耳薬、座薬等の服薬状況の確認や服薬の介助等指します。 1. 個別リハビリテーションを受けている 2. 個別リハビリテーションを受けていない 平均()回/週 1回当たりの平均時間()分/回

問19(1) 罹患している疾患 (該当するすべてに ○は1つ)	1. 肺炎 2. リハビリテーションが必要な疾患 3. 尿路感染症 4. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要なもの) 5. 悪性腫瘍(余命3か月以内) 6. 帯状疱疹 (HIVウイルス抑制の点検注射を必要とするものに限る) 7. 肝不全(胆水高度、NH4C1 120mg/dL以上) 8. 心不全(高度非代償性) 9. 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 10. 脊髄損傷(頸髄損傷) 11. 難病(スモンを除く) 12. スモン 13. その他() 14. なし
問19(2) 現在目られる状態 (該当するすべてに ○は1つ)	1. 脱力かつ発熱を伴う状態 2. 体内出血 3. 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 4. 褥瘡 5. 末梢循環障害による下肢末端開放創 6. セン妄 7. うつ状態 8. 暴行が毎日みられる状態 9. 喘息重症発作 10. 重度意識障害(JCS100以上) 11. なし
問20. 内服薬の種類	() 種類

IV 今後の生活・療養の場の見通し等 ※想定できる範囲で記入してください。

問21. 患者に必要と考える医療の水準 (○は1つ)	1. 入院医療が必 要 2. 在宅医療があれば対応可能 3. 外来医療で対応可能 4. 不要 問21-1-1. 1. を選んだ場合、その理由(該当する全てに○) 1. 高度な医療処置 2. 常時又は頻回な医療処置 3. 医師による常時又は頻回な評価 4. その他
問22. 患者に必要と考える介護の水準 (○は1つ)	1. 施設への入所が必要 2. 居宅サービスの利用で対応可能 3. ほぼ不要
問23. 最も適切と考えられる生活・療養の場 (○は1つ)	※患者の医療・介護ニーズを満たし、現在の生活・療養場所に関わらず、患者にとって最適な場所を選択。 1. 自宅(家族等との同居も含む) 2. 介護老人福祉施設(特別介護老人ホーム) 3. 介護老人保健施設 4. その他の介護施設 5. 一般病棟(自院・他院を問わず) 6. 医療療養病棟(自院・他院を問わず) 7. 介護療養型医療施設(自院・他院を問わず) 8. その他の病棟(自院・他院を問わず) 9. その他()
問24. 今後の生活・療養の場の見通し (○は1つ)	1. 現時点で、問23で回答した場所での生活・療養する見通しが立っている 2. 現時点で、問23で回答した場所での生活・療養する見通しが立っていない。 問24-1-1. 2. と回答した場合、その理由(該当する全てに○) 1. 最も適切な施設に、空床がないため 2. 最も適切な場所では、認知症への対応が困難なため 3. 最も適切な場所では、医療処置(喀痰吸引、経管栄養等)が提供できないため 4. 最も適切な場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 5. 最も適切な場所では、必要介護サービスが確保できないため 6. 最も適切な場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 7. 最も適切な場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 8. 最も適切な場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 9. 本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため 10. 経済的事情があるため 11. その他()

IV 患者本人および家族の希望

問25. 今後の生活の場に関する本人の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 貴院以外の介護施設での療養を希望 7. その他()
問26. 今後の生活の場に関する家族の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 貴院以外の介護施設での療養を希望 7. その他()
問27. 看取りの場に関する本人の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 貴院以外の介護施設での療養を希望 7. その他()
問28. 看取りの場に関する家族の希望 (○は1つ)	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望 5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 貴院以外の介護施設での療養を希望 7. その他()

※本調査における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てターミナルケアを行う」ことをさします。

利用者票は以上です。 ご協力ありがとうございました。

医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査

利用者票
(4)医療療養病

☐記入にあたってのご注意

- ・この患者票は、医療従事病室に利用する方について記入してください。
 - ・この患者票は、医療従事者の方が、必要に応じて医師の方とご相談のうえ、記入してください。
 - ・特に指定の無い限り、**記入当日降参の状態について回答下さい。**
 - ・特に指定の無い限り、選抜票の番号のいずれか1つを選んで○をつけてください。本枠内には数字を記入してください。
- 本調査は、医療従事者、介護施設などを利用する方々への増進的な調査であるため、真実性に該当しない選択が
ある場合があります。**

☐ 本調査票に関するお問い合わせ先

「介護サービス事業所における医療職の勤務実態および医療・看護の提供実態に関する横断的な調査研究事業」

基礎社會三權總合研究所

電話:0120-966-025(平日9時30分~17時30分)

FAX:03-5157-2143(24時間受付)

✉: iryoushoku126@mrj.co.jp

※お問い合わせの際は、上記の調査名をお伝えください。

I 患者の基本情報

申請者の基本情報						通番記入欄	
問1. 性別	1. 男	2. 女	西暦 () 年 () 月	問2. 年齢	満 () 歳 (2014年6月30日時点)	※提出する事項を区分けして記載してください。	
問3. 入居日							
問4. 入院前の世帯構成 (○は1つ)	1. 単独世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他同居 問4-1・13. その他同居の場合、世帯員の年齢構成(○は1つ) ↓						
	1. 65歳以上のみ 2. それ以外						
問5. 入院前の場所 (○は1つ)	1. 自宅 4. 介護療養型医療施設 7. その他の病棟(病床) 2. 一般病棟(病床) 5. 介護老人福祉施設 8. その他の介護施設・事業所 3. 医療療養病棟(病床) 6. 介護老人保健施設 9. 1～8以外()						
問6. 自宅の介護力 (○は1つ)	1. 日中、夜間ともに介護出来る人がいない。1. 日中、夜間とも介護出来る人がある。 2. 日中のみ、介護出来る人がある。 5. 不明 3. 夜間のみ、介護出来る人がある。 6. その他()						
問7. 入院理由 (該当すべてに○)	1. 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 2. 継続的に高度な医療管理が必要ため 3. 疾病の急性期状態が安定したため 4. リハビリテーションが必要のため 5. 他の医療施設もしくは介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 6. 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療および介護サービスが確保できないため 7. 在宅療養でも対応できるが、現在の住まいでは生活が困難であるため 8. 在宅療養でも対応できるが、家族が介護困難または不在のため 9. 上記以外の理由で、本人または家族が強く希望するため 10. その他()						

II 患者の状態等

問8. 有している傷病
(該当すべてに○)

1. 高血圧	7. 胃腸・肝臓・胆のうの病氣	12. 血液・免疫の病氣
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	8. 腎臓・泌尿器の病氣	13. うつ病
3. 心臓病	9. 筋骨格の病氣(骨粗しょう症、関節症等14. パーキンソン病)	
4. 糖尿病	10. 外傷(転倒・骨折等)	15. 目の病氣
5. 高脂血症(脂質異常)	11. がん(新生物)	16. 耳の病氣
6. 肺炎・気管支炎等の呼吸器の病氣		17. その他()
		18. ない

↓ 1～17を複数選択した場合 主病病と副病病を1つずつ選び番号を記入。

(1)主病病(1つ)	(2)副病病(1つ)
------------	------------

[illegible]

III 治療状況

問17. 現在受けている治療（該当するすべてに○）	1. 血糖測定・インスリン注射 2. 静脈内注射 3. 中心静脈栄養の管理 4. 透析（在宅自己回膜濾過を含む）の管理 5. スレーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理 6. 酸素療法 7. レスビレーター（人工呼吸器）の管理 8. 気管切開のケア 9. 疼痛の管理 10. 9のうち、麻薬を用いるもの 11. 経管栄養（胃ろう・腸ろうを含む） 12. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等） 13. 褥瘡の処置 ※本医師における「臨床管理」は、経口薬、塗布薬、貼付薬、点眼薬、点耳薬、座薬等の服薬、点滴の投与や服薬の補助等指します。 問18. リハビリ専門職等による個別リハビリテーション（○は1つ）
	14. カテーテル（コイル・カラムカテーテル、留置カテーテル等）の管理 15. 喀痰吸引 16. ネブライザー 17. 創傷処置（褥瘡を除く） 18. 薬事管理 ※ 19. 認知症に関する専門的ケア 20. 排便 21. 洗眼 22. 一時的導尿 23. その他（ ） 24. なし
	1. 個別リハビリテーションを受けている 問19-1 → 「1. 受けている」を選択した場合、その頻度と1回当たりの平均時間（平均）（ ）回/週（ ）分/回 1回当たりの平均時間（ ）分/回
	2. 個別リハビリテーションを受けていない

問18(1) 罹患している疾患（該当するすべてに○） 1. 肺炎 2. リンパゲーションが必要な疾患 3. 尿路感染症 4. 悪性腫瘍（発症コントロールが必要なもの） 5. 悪性腫瘍（余命3か月以内） 6. 嚥下障害 7. 肝臓・腎臓・心臓の臓器機能を必要とするものに限る 8. 心不全（高度非代償性） 9. 慢性閉塞性肺疾患（COPD） 10. 脊髄損傷（頸髄損傷） 11. 難病（スモンを除く） 12. スモン 13. その他（ ） 14. なし	8. 心不全（高度非代償性） 9. 慢性閉塞性肺疾患（COPD） 10. 脊髄損傷（頸髄損傷） 11. 難病（スモンを除く） 12. スモン 13. その他（ ） 14. なし
問19(2) 現在見られる状態（該当するすべてに○） 1. 脱水かつ発熱を伴う状態 2. 体内出血 3. 頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 4. 褥瘡 5. 末梢循環障害による下肢末端開放創 6. せん妄	7. うつ状態 8. 暴行が毎日みられる状態 9. 喘息重症発作 10. 重度意識障害（CS100以上） 11. なし
問20. 内服薬の種類（ ）種類	

IV 今後の生活・療養の場の見通し等 ※想定できる範囲で記入してください。

問21. 患者に必要と考える医療の水準（○は1つ）	1. 入院医療が必須 2. 在宅医療が可能な場合 3. 外来医療で対応可能 4. 不要
問22. 患者に必要と考える介護の水準（○は1つ）	1. 施設への入所が必要 2. 居宅サービスの利用で対応可能 3. ほほ必要
問23. 最も適切と考えられる生活・療養の場（○は1つ）	※患者の医療・介護ニーズを踏まえ、現在の生活・療養場所に関わらず、患者にとって最適な場所を選択。 1. 自宅（家族等との同居も含む） 2. 介護老人福祉施設（特別養老ホーム） 3. 介護老人保健施設 4. その他の介護施設 5. 一般病棟（自院・他院を問わず） 6. 医療療養病棟（自院・他院を問わず） 7. 介護療養型医療施設（自院・他院を問わず） 8. その他の病棟（自院・他院を問わず） 9. その他（ ）
問24. 今後の生活・療養の場の見通し（○は1つ）	1. 現時点で、問23で回答した場所での生活・療養の見通しが立っている 2. 現時点で、問23で回答した場所での生活・療養の見通しが立っていない 問24-1 02に回答した場合、その理由（該当する全てに○） 01 最も適切な施設に、空床がないため 02 最も適切な場所では、認知症への対応が困難なため 03 最も適切な場所では、医療処置（喀痰吸引、経管栄養等）が提供できないため 04 最も適切な場所では、その他必要な医療を提供する体制（訪問診療、訪問看護等）が確保できないため 05 最も適切な場所では、必要な介護サービスが確保できないため 06 最も適切な場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 07 最も適切な場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 最も適切な場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため 10 経済的事情があるため 11 その他（ ）

IV 患者本人および家族の希望

問25. 今後の生活の場に関する本人の希望（○は1つ）	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望	5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 介護施設での療養を希望 7. その他（ ）
問26. 今後の生活の場に関する家族の希望（○は1つ）	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望	5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 介護施設での療養を希望 7. その他（ ）
問27. 看取りの場に関する本人の希望（○は1つ）	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望	5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 介護施設での療養を希望 7. その他（ ）
問28. 看取りの場に関する家族の希望（○は1つ）	1. 意思の表示が不可能 2. 希望を把握していない 3. 貴院での療養を希望 4. 自宅での療養を希望	5. 貴院以外の医療機関での療養を希望 6. 介護施設での療養を希望 7. その他（ ）

※右欄表における「看取り」とは、「医学的に回復の見込みがないと診断された者に対し、計画を立て、本人・家族の同意を得てターミナルケアを行う」ことを指します。

利用希望は以上です。 ご協力ありがとうございます。

看取り対応に係る業務内容調査（看護職員用）

死亡日	月		日		（ ）																	
■記入例																						
処置・従事業務内容(看護職員)	看取り対象利用者の家族が来所していた時間帯に✓をつける																					
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
診療の補助																						
療養上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						
処置・従事業務内容(看護職員)	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30						
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
診療の補助																						
療養上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						
処置・従事業務内容(看護職員)	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30						
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
診療の補助																						
療養上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						
処置・従事業務内容(看護職員)	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00	23:30						
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
診療の補助																						
療養上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						

看取り対応に係る業務内容調査（介護職員用）

死亡日	月		日		（ ）																	
■記入例																						
処置・従事業務内容(介護職員)	看取り対象利用者の家族が来所していた時間帯に✓をつける																					
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
排泄吸引等																						
日常生活上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						
処置・従事業務内容(介護職員)	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30						
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
排泄吸引等																						
日常生活上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						
処置・従事業務内容(介護職員)	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00	23:30						
家族がいた時間																						
医師がいた時間																						
本人・家族への説明																						
カンファレンス																						
状態観察(バイタル測定、心身の状態観察等)																						
排泄吸引等																						
日常生活上の世話																						
本人への話しかけ、寄り添い、心理的サポート等																						
家族へのサポート(連絡・相談対応・心理的サポート)																						
死後の処置																						